

病 院 年 報

令和5年度



日本赤十字社

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital

理

念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基 本 方 針

1. 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2. 高度・良質で安全な医療をいたします。
3. 災害救護活動を積極的に行います。
4. 周産期・小児及び救急医療を充実します。
5. 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6. 職員の教育・研修を推進します。
7. 健全経営を維持するように努めます。

ミ ッ シ ョ ン ス テ ー ト メ ン ト

リーダーシップを発揮しよう	Leadership
チームワークを大切にしよう	Teamwork
互いにリスペクトする心を持とう	Respect
最高の医療レベルを目指そう	Best Quality
安全第一に心がけよう	Safety

患 者 さ ん の 権 利 と 責 務

当院は、患者さんやご家族のご意向を尊重し、医療者と患者さんとのより良いパートナーシップ（対等な協力関係）を築くため、「患者さんの権利と責務」を明示し、患者さん中心の医療を行うことに最大の努力をいたします。

患者さんの権利

1. 人としての尊厳が保たれた最善の医療を受けることができます。
2. 病気の内容、治療方法、今後の見通しなどについて十分な説明を受け、自らの意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否することができます。
3. 患者さんが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。また、何らかの理由でご自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や適切な代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の方針を拒否することもできます。
4. ご自身の病気の診断や治療について、他の医師や病院を自由に選択し意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
5. 所定の手続きを経て、ご自分の診療記録の開示を求めることができます。
6. 当院は、患者さんに関する情報を承諾なしに第三者に知らせることはありません。

7. 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意思に基づき決めることができます。
8. 診療内容や入院中の生活において問題や不満がある場合には、医療者にそのことを伝えることができます。このことにより、患者さんの診療に関してなんら不利益を被ることはありません。

医療は、患者さんと医療者が信頼関係を築き協同することが肝要です。

この精神にのっとり患者さんに以下の点を望みます。

患者さんの責務

1. 患者さんご自身の病気について、病状、経過、服用している薬など、正確にお伝えください。
2. 検査や治療の内容を十分理解し、合意のうえでお受けください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の方々の治療や病院職員による医療提供に支障が生ずる行為をしないでください。
4. 医療者に対して、暴力的な振る舞いや言動はしないでください。
5. 入院中は、病院の規則を守ってください。
6. 適切な医療を維持するために、医療費をお支払いいただくことが必要です。支払い請求を受けたら、速やかにお支払いください。
7. 当院は臨床研修指定病院（基幹型）で、研修医が直接医療に従事します。また、医学生、看護学生などの臨床実習施設でもありますので、臨床教育にご理解とご協力をお願いします。

巻頭言

2023年に新型コロナウイルス感染症の行政上の取り扱いが5類になり、インフルエンザのように共存していく疾患になりました。しかし病床稼働率は、新型コロナ蔓延前には戻らず、低下したままの急性期病院が多いようです。新型コロナ蔓延の数年の間に受療行動・治療方法に起きた変容に気がついていなかったと考えています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延時期を越えて様々な変化が起きています。身近な自動車では、主な動力が内燃機関からハイブリッドを含む電気モーター辺りに変わりました。人工知能も、日本では1982年に国家プロジェクトとしてスタートしたエキスパートシステム以後の冬の時代を越え、Backpropagationを基にしたLarge Language Models、更にTransformerを用いた生成AIが実用化されています。これらの変化は電気エネルギー需要の増大になりますが、地球環境を守るために脱炭素・再生可能エネルギーシフトが必要です。東日本大震災以後の原子力発電への忌避と、火力発電によるCO₂の抑制を両立させるため、太陽光、洋上風力、ゼロエミッション火力発電、CO₂回収など、新しい電力供給方法が発展しています。日本発のペロブスカイト太陽光発電も脚光を浴びています。

一方で、医療の世界では、働き方改革の導入にリンクした診療報酬の改訂はありましたが、根本的な変化は起きていないようです。不具合が生じた生体機能を、人間の手で修復（復旧はできない）する事の宿命でしょうか。外科のda Vinci手術も「悪い部分を取り除き、機能を可及的に修復する」作業にともなう副損傷が減少しただけです。標的アイソトープ療法も副損傷（被曝）の減少です。CAR-T細胞療法は画期的ですがリンパ球除去という副損傷があります。高度な機能の積み上げで作り上げていく工学と、元来が精緻な人体での異状の検出と修復を行う医学の違いでしょうか。

新型コロナ蔓延期を乗り越えて、多くの会議・集会在復活しました。「衆知を集める」即、問題解決や発展ではありませんが、従来の対面に加えてのwebinarが新型コロナ蔓延後の日常になり、問題解決のスピードが上がったと信じています。

令和7年3月 院長 錦見 尚道



目 次

〈 おことわり 〉

病院年報に収載している各項目の集計対象期間を、今後「年度」（毎年4月から翌年3月まで）に統一します。

これに伴い、令和5年度 病院年報では集計対象期間が令和5年1月1日から令和6年3月31日までの項目があります。

I. 業務概要

1. 医事業務管理課

(1) 病院年度別患者数	2
(2) 病院年度別稼働状況	2
(3) 令和5年度診療科別・月別患者数	3
(4) 令和5年度診療科別・月別稼働状況	5
(5) 令和5年度科別救急患者数	7
(6) 令和5年度曜日別救急患者数	7
(7) 令和5年度月別救急患者数	8
(8) 令和5年度地域別救急患者数	8

2. 栄養課

(1) 令和5年度食種別食数一覧	9
(2) 令和5年度栄養部門加算算定数	9
(3) 令和5年度栄養指導集計表	11

3. 診療情報管理課

(1) 大分類別退院患者数	12
(2) 大分類別退院患者数の推移	13
(3) 住所別退院患者数	14
(4) 主要疾患別退院患者数の推移	15
(5) 診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数	17

4. 放射線科部

(1) 令和5年度診療科別被検者数	19
(2) 年度別検査項目別件数	21
(3) 年度別放射線治療患者数	21

5. 病理部・細胞診分子病理診断部

(1) 診療科別生検検体数	22
(2) 病理特殊検査検体数	22
(3) 院外受託検査	22
(4) 剖検検体数（科別検体数、月別検体数）	23
(5) 細胞診件数（検体種別検体数）	23
(6) 遺伝子件数	23

6. 輸血部

(1) 令和5年度検査年報集計	24
(2) 令和5年度院内廃棄血集計（輸血管理室）	24
(3) 令和5年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室）	25
(4) 令和5年度成分採血室稼働状況	25

7. 健診部

令和5年度健診実績	26
-----------	----

8. 薬剤部

(1) 入院・外来処方せん枚数	27
(2) 入院薬剤管理指導料算定数	27
(3) 妊娠と薬外来の相談件数	27
(4) 薬学生実務実習受け入れ人数	27
(5) 抗がん剤調製延患者数	27
(6) 新規の治験・製造販売後調査受託件数	27
(7) 専門薬剤師資格取得薬剤師数	27

9. 検査部

(1) 令和5年度検査種別稼働集計	28
(2) 令和5年度判断料	30
(3) 令和5年度検査加算・管理料	31

10. 看護部

(1) 看護部の理念	32
(2) 基本方針	32
(3) 看護部目標	32
(4) 令和5年度看護部行事・看護職員対象研修等一覧	33
(5) 令和5年度看護部委員会活動 活動評価	36

11. リハビリテーション科部

(1) リハビリ依頼件数	61
(2) 令和5年度診療科別依頼件数	61
(3) PT/OT/ST 別 処方件数	61
(4) 令和5年度リハビリ延べ実施件数	61
(5) 令和5年度リハビリ稼働集計	62
(6) 令和5年度ADLの改善状況	62

12. 総務課

(1) 令和5年度災害救護訓練・研修派遣実績	63
(2) 令和5年度災害救護活動 派遣実績	66
(3) 病院ボランティア活動状況	67
(4) 地域福祉活動状況	68

II. 業績

1. 著書	71
2. 論文	74
3. 学会	98
4. 学術講演等記録	128

Ⅲ. 医療社会事業部

1. 地域医療連携室

(1) 地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】(年度別推移)	132
(2) 地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】(年度月別推移)	132
(3) 【診療科別】 紹介件数 (過去5年度比較)	133
(4) 【診療科別】 逆紹介件数 (過去5年度比較)	133
(5) 【診療科別】 初診件数 (過去5年度比較)	134
(6) 【診療科別】 紹介・逆紹介率 (令和5年度)	134
(7) 【地域、医療圏別】 2次医療圏別紹介元動向 (過去5年度比較)	135
(8) 【地域、医療圏別】 2次医療圏別逆紹介先動向 (過去5年度比較)	135
(9) 令和5年度医療機器等の共同利用の実績	136
(10) 病診連携システム学術セミナー開催状況	137
(11) 令和5年度地域医療研修プログラム実績	138

2. 医療社会事業課

(1) 令和5年度年間援助件数	147
(2) 令和5年度科別援助件数	148
(3) 令和5年度がん相談支援センター援助件数	149

I . 業 務 概 要

1. 医事業務管理課

(1) 病院年度別患者数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	新患者数	36,932	36,141	25,519	27,674	31,060	29,618
	患者延数	402,895	395,359	377,062	339,098	346,477	343,363
	1日平均	1,658.0	1,647.3	1,392.8	1,401.2	1,425.8	1,418.9
入院	入院患者数	21,853	21,516	18,614	18,926	19,208	19,830
	退院患者数	21,855	21,507	18,679	18,878	19,300	19,851
	在院患者延数	261,682	259,859	219,640	226,520	218,351	218,370
	入院患者延数	283,537	281,366	238,319	245,398	237,187	238,221
	1日平均	776.8	768.8	652.9	672.3	649.8	650.9

※平成20年4月1日以降 許可病床数852床（一般病床）

(2) 病院年度別稼働状況（単位：千円）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	外来診療	8,172,840	8,834,291	8,624,390	9,341,919	9,966,265	10,200,586
入院	包括評価	8,713,029	8,630,039	7,632,381	7,712,453	7,594,783	7,724,540
	出来高	12,995,132	13,090,987	12,254,138	13,145,260	13,251,474	13,820,781
	合計	21,708,161	21,721,026	19,886,519	20,857,713	20,846,257	21,545,321

(3) 令和5年度診療科別・月別患者数(患者延数)

	各 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	内科	38	42	53	56	43	38
外 来	腎臓内科	619	563	633	627	631	634
	内分泌内科	1,400	1,252	1,381	1,265	1,310	1,247
	血液内科	1,426	1,498	1,493	1,475	1,626	1,529
	化学療法内科	1	0	1	2	1	1
	総合診療科	97	128	139	132	161	146
	精神科	28	25	27	29	30	25
	脳神経内科	1,222	1,225	1,350	1,233	1,274	1,250
	呼吸器内科	1,576	1,641	1,865	1,924	2,008	1,930
	消化器内科	3,038	2,867	3,276	3,210	3,174	3,020
	循環器内科	1,453	1,335	1,543	1,252	1,224	1,270
	小児科	1,551	1,652	1,967	1,935	2,129	1,667
	一般・消化器外科	1,096	1,049	1,098	1,003	1,019	1,067
	乳腺外科	933	910	974	973	1,070	995
	整形外科	2,154	2,086	2,181	2,157	2,398	2,135
	形成外科	243	204	278	250	275	233
	脳神経外科	670	648	689	671	699	707
	呼吸器外科	285	293	338	313	306	357
	心臓血管外科	405	429	427	397	404	411
	血管外科	278	241	280	271	279	262
	小児外科	145	121	125	141	170	142
	皮膚科	1,146	1,067	1,176	1,189	1,265	1,154
	泌尿器科	1,406	1,259	1,438	1,308	1,450	1,374
	女性泌尿器科	344	392	375	343	403	355
	産婦人科	1,821	1,821	1,963	1,812	1,948	1,762
	眼科	605	512	599	578	562	524
	耳鼻咽喉科	1,568	1,428	1,611	1,458	1,575	1,433
	放射線科	822	760	831	833	940	925
	リハビリ	334	349	408	364	438	394
	歯科口腔外科	1,567	1,598	1,708	1,609	1,702	1,674
	合計	28,271	27,395	30,227	28,810	30,514	28,661

	各 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	内科	0	0	0	0	0	0
入 院	腎臓内科	315	266	220	315	365	357
	内分泌内科	175	202	83	87	250	202
	血液内科	1,920	1,797	1,927	2,029	2,086	1,974
	化学療法内科	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0
	精神科						
	脳神経内科	1,242	1,413	1,172	919	1,311	1,495
	呼吸器内科	1,753	1,560	1,709	2,194	2,063	1,861
	消化器内科	2,046	1,795	1,950	2,248	2,871	2,277
	循環器内科	1,082	1,257	1,285	1,070	842	910
	小児科	2,073	2,152	2,454	2,622	2,402	2,296
	一般・消化器外科	1,504	1,301	1,339	1,695	1,422	1,538
	乳腺外科	430	416	365	370	409	410
	整形外科	1,119	1,323	1,099	1,125	1,158	993
	形成外科	47	123	64	90	115	45
	脳神経外科	695	690	563	542	556	693
	呼吸器外科	453	426	432	392	415	395
	心臓血管外科	508	363	530	595	548	497
	血管外科	205	159	189	126	141	111
	小児外科	77	44	57	56	74	65
	皮膚科	72	171	128	110	84	94
	泌尿器科	706	699	710	639	794	836
	女性泌尿器科	160	131	136	153	139	119
	産婦人科	1,723	1,626	2,156	2,103	2,015	1,898
	眼科	6	11	2	0	3	0
	耳鼻咽喉科	705	545	703	695	762	697
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	306	259	245	216	213	216
	合計	19,322	18,729	19,518	20,391	21,038	19,979

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各 科
35	38	46	37	41	42	509	内科
647	615	630	619	578	615	7,411	腎臓内科
1,373	1,266	1,322	1,221	1,264	1,330	15,631	内分泌内科
1,586	1,550	1,533	1,516	1,550	1,522	18,304	血液内科
2	1	1	1	2	2	15	化学療法内科
146	150	152	159	146	148	1,704	総合診療科
21	30	19	25	19	27	305	精神科
1,322	1,306	1,290	1,239	1,177	1,277	15,165	脳神経内科
2,004	1,721	1,977	1,876	1,802	1,776	22,100	呼吸器内科
3,307	3,256	3,260	2,820	2,916	2,913	37,057	消化器内科
1,341	1,217	1,394	1,247	1,160	1,264	15,700	循環器内科
1,573	1,485	1,749	1,423	1,415	1,746	20,292	小児科
1,120	1,079	1,013	994	951	1,006	12,495	一般・消化器外科
1,029	1,026	1,025	1,019	1,017	1,023	11,994	乳腺外科
2,061	2,018	2,031	1,859	1,946	2,218	25,244	整形外科
237	241	264	212	259	270	2,966	形成外科
661	668	666	577	671	725	8,052	脳神経外科
349	266	390	305	275	414	3,891	呼吸器外科
428	379	403	347	311	346	4,687	心臓血管外科
269	246	250	245	252	230	3,103	血管外科
136	102	119	124	144	170	1,639	小児外科
1,238	1,115	1,152	1,062	1,033	1,170	13,767	皮膚科
1,387	1,337	1,345	1,347	1,362	1,480	16,493	泌尿器科
414	422	365	337	354	325	4,429	女性泌尿器科
1,888	1,763	1,805	1,773	1,773	1,790	21,919	産婦人科
612	628	582	541	472	569	6,784	眼科
1,508	1,444	1,526	1,352	1,396	1,521	17,820	耳鼻咽喉科
799	789	653	603	650	643	9,248	放射線科
378	353	297	297	317	329	4,258	リハビリ
1,912	1,727	1,763	1,670	1,697	1,754	20,381	歯科口腔外科
29,783	28,238	29,022	26,847	26,950	28,645	343,363	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各 科
0	0	0	0	0	0	0	内科
326	287	418	430	297	451	4,047	腎臓内科
107	146	87	255	135	285	2,014	内分泌内科
1,902	1,960	2,106	1,996	1,811	1,698	23,206	血液内科
0	0	0	0	0	0	0	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	0	総合診療科
							精神科
1,690	1,431	1,441	1,534	1,386	1,444	16,478	脳神経内科
2,096	1,910	2,088	2,109	2,056	2,026	23,425	呼吸器内科
2,002	2,189	1,915	2,233	2,079	2,032	25,637	消化器内科
1,084	1,161	1,161	1,168	999	1,158	13,177	循環器内科
2,391	2,104	2,304	2,380	2,110	1,959	27,247	小児科
1,512	1,280	1,491	1,407	1,233	1,355	17,077	一般・消化器外科
456	396	410	434	449	407	4,952	乳腺外科
1,157	1,035	1,194	1,198	1,282	1,080	13,763	整形外科
34	85	69	58	24	60	814	形成外科
689	570	633	510	508	640	7,289	脳神経外科
484	441	471	396	438	501	5,244	呼吸器外科
616	491	541	542	495	509	6,235	心臓血管外科
144	153	137	154	124	120	1,763	血管外科
44	66	77	40	105	73	778	小児外科
98	81	81	53	143	185	1,300	皮膚科
815	694	585	597	721	604	8,400	泌尿器科
149	121	153	119	112	160	1,652	女性泌尿器科
2,015	1,977	2,134	1,834	1,717	1,977	23,175	産婦人科
24	10	6	16	12	1	91	眼科
667	511	576	621	586	502	7,570	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
311	252	235	193	226	215	2,887	歯科口腔外科
20,813	19,351	20,313	20,277	19,048	19,442	238,221	合計

(4) 令和5年度診療科別・月別稼働状況(単位:千円)

	各 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	内科	350	671	783	802	645	364
外 来	腎臓内科	10,092	8,876	10,116	9,149	9,948	13,253
	内分泌内科	37,559	36,096	38,236	20,849	36,667	35,283
	血液内科	154,877	142,967	154,438	144,901	196,360	170,230
	化学療法内科	73	21	24	24	68	39
	総合診療科	1,417	1,643	1,684	1,784	1,674	1,488
	精神科	217	208	148	199	178	178
	脳神経内科	19,574	29,795	37,019	21,609	33,947	35,773
	呼吸器内科	83,906	84,060	88,349	90,038	95,467	96,618
	消化器内科	112,361	101,960	112,644	102,255	114,598	100,840
	循環器内科	25,560	24,670	26,528	20,775	20,428	22,609
	小児科	27,420	48,106	47,239	50,471	56,555	51,739
	一般・消化器外科	42,995	37,735	43,907	37,441	42,330	35,787
	乳腺外科	69,823	69,643	75,309	67,339	75,281	69,294
	整形外科	27,660	27,747	27,446	26,253	30,188	26,788
	形成外科	1,672	1,278	1,786	1,728	1,786	1,133
	脳神経外科	10,641	9,772	9,706	9,845	10,026	10,670
	呼吸器外科	10,979	9,252	12,999	9,740	12,117	13,261
	心臓血管外科	5,206	5,775	5,642	5,472	4,858	5,047
	血管外科	2,601	2,634	2,192	2,693	2,608	2,418
	小児外科	877	754	896	1,074	961	939
	皮膚科	12,622	12,083	13,620	13,065	12,996	15,069
	泌尿器科	41,845	42,156	44,034	45,526	48,013	52,455
	女性泌尿器科	4,963	5,432	5,348	4,741	4,284	5,844
	産婦人科	33,362	34,510	37,479	35,462	39,307	32,679
	眼科	9,506	8,334	9,914	11,738	7,627	7,966
	耳鼻咽喉科	19,216	18,333	21,441	18,448	20,383	21,146
	放射線科	23,809	21,096	24,977	24,414	28,410	28,664
	リハビリ	2,689	2,537	2,895	2,797	3,051	2,735
	歯科口腔外科	11,487	11,757	13,119	12,937	14,878	12,508
	合計	805,356	799,903	869,917	793,568	925,638	872,815

	各 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	内科	1,446	446	788	1,012	450	1,696
入 院	腎臓内科	20,307	14,571	12,757	18,389	23,117	19,188
	内分泌内科	9,952	10,208	4,095	5,090	14,085	10,914
	血液内科	157,777	176,423	174,375	206,332	209,675	191,752
	化学療法内科	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0
	精神科						
	脳神経内科	120,856	111,761	118,140	138,122	180,677	140,967
	呼吸器内科	101,669	91,688	107,762	136,130	126,967	113,673
	消化器内科	77,751	78,910	65,761	49,971	79,822	87,855
	循環器内科	147,206	163,218	170,279	144,395	110,607	115,614
	小児科	119,968	104,174	112,454	122,173	122,208	115,813
	一般・消化器外科	40,846	36,770	33,242	37,392	41,640	37,741
	乳腺外科	61,749	63,601	65,780	61,766	65,070	60,705
	整形外科	128,952	115,078	132,460	128,390	153,547	167,618
	形成外科	37,493	22,245	30,829	34,262	30,137	20,207
	脳神経外科	13,618	8,624	9,860	8,685	10,902	11,701
	呼吸器外科	95,915	104,742	101,595	100,847	102,859	82,056
	心臓血管外科	76,458	69,135	73,669	55,108	58,446	76,374
	血管外科	161,524	155,291	202,674	188,606	190,796	173,424
	小児外科	190,103	210,171	213,965	235,084	220,680	199,932
	皮膚科	46,322	38,040	47,843	44,247	48,910	43,639
	泌尿器科	3,372	8,618	5,802	4,456	4,112	4,205
	女性泌尿器科	53,805	50,314	57,657	48,763	65,564	60,936
	産婦人科	16,273	15,489	15,895	19,547	15,640	14,912
	眼科	699	474	521	0	561	0
	耳鼻咽喉科	3,278	10,100	4,252	5,118	8,239	3,294
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	22,560	18,206	17,451	17,394	19,069	25,023
	合計	1,709,902	1,678,296	1,779,904	1,811,276	1,903,779	1,779,240

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各 科
322	402	434	263	368	420	5,822	内科
9,096	9,293	9,015	9,581	8,371	8,564	115,354	腎臓内科
32,105	30,386	31,432	30,019	31,448	20,365	380,445	内分泌内科
175,657	182,057	161,137	184,080	178,235	185,375	2,030,314	血液内科
114	27	29	183	33	84	719	化学療法内科
1,937	2,167	2,047	2,011	1,812	1,854	21,516	総合診療科
138	213	109	165	115	191	2,059	精神科
24,698	30,701	39,413	22,242	29,902	40,816	365,489	脳神経内科
87,611	97,135	97,286	100,661	94,891	89,040	1,105,060	呼吸器内科
113,457	109,390	108,016	94,815	92,804	95,889	1,259,028	消化器内科
22,614	22,684	24,588	22,539	22,007	23,903	278,904	循環器内科
48,901	49,385	55,377	25,306	26,087	29,685	516,271	小児科
40,469	39,384	36,003	39,108	38,524	38,376	472,059	一般・消化器外科
78,247	82,341	79,193	76,799	73,952	71,213	888,433	乳腺外科
25,444	25,553	23,697	26,630	24,768	27,301	319,475	整形外科
1,460	1,715	1,284	1,144	1,418	1,711	18,115	形成外科
10,014	10,158	10,511	8,936	9,157	9,473	118,908	脳神経外科
12,061	10,903	12,070	10,237	8,107	14,242	135,969	呼吸器外科
5,237	4,982	5,133	4,247	4,184	4,690	60,474	心臓血管外科
2,387	2,484	2,228	2,648	2,596	2,082	29,571	血管外科
988	735	821	736	895	1,088	10,764	小児外科
14,052	12,340	12,343	11,438	11,798	13,947	155,373	皮膚科
55,703	51,430	49,093	48,213	45,612	62,911	586,991	泌尿器科
5,549	5,023	5,455	5,000	5,240	3,700	60,578	女性泌尿器科
34,586	39,610	38,027	36,700	41,215	35,447	438,384	産婦人科
11,543	12,130	8,136	8,653	8,624	9,285	113,456	眼科
21,679	21,860	21,133	18,976	18,302	19,226	240,142	耳鼻咽喉科
23,217	21,847	19,641	19,195	18,246	18,888	272,402	放射線科
2,580	2,406	2,114	2,088	2,090	2,175	30,158	リハビリ
14,726	15,759	14,587	14,778	17,124	14,693	168,352	歯科口腔外科
876,590	894,501	870,351	827,389	817,925	846,633	10,200,586	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各 科
680	1,818	868	1,291	432	214	11,140	内科
19,944	16,650	26,568	26,043	17,924	28,042	243,502	腎臓内科
6,261	7,461	4,890	13,484	7,517	15,093	109,050	内分泌内科
171,506	176,156	198,169	193,284	171,878	179,005	2,206,332	血液内科
0	0	0	0	0	0	0	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	0	総合診療科
							精神科
120,381	125,732	112,279	135,981	125,872	122,234	1,553,002	脳神経内科
120,236	119,850	125,393	134,194	117,841	119,565	1,414,968	呼吸器内科
91,446	75,917	81,969	95,185	81,617	81,768	947,972	消化器内科
184,608	164,529	172,925	160,229	175,194	179,491	1,888,296	循環器内科
124,705	114,461	117,931	109,221	95,443	119,146	1,377,697	小児科
43,870	34,432	40,057	45,867	43,311	39,270	474,439	一般・消化器外科
72,706	72,275	68,552	63,314	67,413	70,442	793,375	乳腺外科
130,244	115,151	140,512	149,908	143,302	127,266	1,632,427	整形外科
29,393	21,046	25,511	21,519	27,573	23,508	323,722	形成外科
8,518	11,507	12,057	8,389	14,715	14,098	132,675	脳神経外科
105,436	94,161	122,334	103,301	114,516	96,328	1,224,089	呼吸器外科
82,061	58,262	77,756	49,380	71,138	72,773	820,560	心臓血管外科
194,390	188,275	203,991	181,075	167,220	180,667	2,187,931	血管外科
207,823	201,545	204,956	225,550	198,782	187,497	2,496,088	小児外科
46,892	32,425	41,155	43,232	38,774	36,017	507,495	皮膚科
4,050	3,608	3,596	2,489	6,628	8,763	59,700	泌尿器科
59,402	53,064	45,404	52,823	57,773	48,492	653,997	女性泌尿器科
17,460	14,330	17,666	14,123	12,957	16,959	191,250	産婦人科
1,786	315	964	582	914	35	6,850	眼科
3,088	5,150	4,784	3,743	1,925	3,966	56,938	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
25,453	17,979	18,216	14,006	17,967	18,506	231,828	歯科口腔外科
1,872,341	1,726,099	1,868,501	1,848,212	1,778,627	1,789,144	21,545,321	合計

(5) 令和5年度科別救急患者数

	入院	外来	計	%
内科	0	149	149	0.8
腎臓内科	127	92	219	1.2
内分泌内科	73	95	168	0.9
血液内科	197	184	381	2.1
消化器内科	866	1,205	2,071	11.5
呼吸器内科	617	1,297	1,914	10.7
脳神経内科	626	935	1,561	8.7
循環器内科	570	905	1,475	8.2
一般消化器外科	336	225	561	3.1
呼吸器外科	62	40	102	0.6
心臓血管外科	110	74	184	1.0
血管外科	22	33	55	0.3
乳腺外科	44	65	109	0.6
小児外科	3	13	16	0.1
整形外科	303	1,183	1,486	8.3
リハビリ科	0	0	0	0.0
脳神経外科	271	882	1,153	6.4
産婦人科	408	553	961	5.3
小児科	715	2,459	3,174	17.7
耳鼻咽喉科	118	622	740	4.1
皮膚科	40	406	446	2.5
形成外科	2	91	93	0.5
泌尿器科	205	494	699	3.9
女性泌尿器科	3	7	10	0.1
眼科	2	48	50	0.3
歯科口腔外科	9	173	182	1.0
精神科	0	1	1	0.0
総合診療科	0	7	7	0.0
化学療法内科	0	1	1	0.0
放射線科	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0.0
計	5,729	12,239	17,968	100.0

(6) 令和5年度曜日別救急患者数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日、休日	計	1日平均
4月	186	164	165	148	195	274	282	1,414	47.1
5月	179	213	155	133	142	224	541	1,587	51.2
6月	213	153	163	243	205	245	226	1,448	48.3
7月	207	193	211	189	201	316	450	1,767	57.0
8月	200	228	230	235	138	244	350	1,625	52.4
9月	150	155	169	193	218	249	325	1,459	48.6
10月	181	202	165	158	171	209	359	1,445	46.6
11月	164	158	190	164	141	224	351	1,392	46.4
12月	169	169	179	161	177	279	387	1,521	49.1
1月	137	153	143	168	195	202	508	1,506	48.6
2月	138	166	170	207	113	229	401	1,424	49.1
3月	190	156	116	163	214	230	311	1,380	44.5
合計	2,114	2,110	2,056	2,162	2,110	2,925	4,491	17,968	
平均	176.2	175.8	171.3	180.2	175.8	243.8	374.3	1,497.3	49.1
%	11.8	11.7	11.4	12.0	11.7	16.3	25.0	100.0	

(7) 令和5年度月別救急患者数

	入 院			外 来			合 計
	時間内	時間外	深 夜	時間内	時間外	深 夜	
4 月	(91) 120	(116) 223	(58) 98	(92) 204	(191) 573	(81) 196	(629) 1,414
5 月	(79) 130	(134) 253	(67) 117	(75) 184	(206) 677	(90) 226	(651) 1,587
6 月	(94) 157	(108) 192	(65) 120	(93) 225	(157) 547	(81) 207	(598) 1,448
7 月	(88) 127	(112) 236	(73) 129	(94) 253	(239) 747	(99) 275	(705) 1,767
8 月	(115) 161	(114) 226	(71) 120	(94) 256	(167) 622	(94) 240	(655) 1,625
9 月	(82) 128	(91) 186	(77) 136	(104) 256	(190) 580	(48) 173	(592) 1,459
10 月	(95) 153	(98) 214	(63) 121	(87) 202	(155) 562	(69) 193	(567) 1,445
11 月	(93) 143	(115) 229	(53) 96	(60) 183	(160) 555	(68) 186	(549) 1,392
12 月	(104) 144	(146) 257	(75) 110	(73) 214	(161) 596	(85) 200	(644) 1,521
1 月	(90) 133	(134) 247	(82) 125	(67) 206	(172) 618	(61) 177	(606) 1,506
2 月	(79) 131	(112) 216	(59) 98	(67) 180	(161) 604	(74) 195	(552) 1,424
3 月	(97) 136	(98) 213	(73) 104	(80) 207	(169) 532	(78) 188	(595) 1,380
合計	(1,107) 1,663	(1,378) 2,692	(816) 1,374	(986) 2,570	(2,128) 7,213	(928) 2,456	(7,343) 17,968
1 日平均	(3.0) 4.5	(3.8) 7.4	(2.2) 3.8	(2.7) 7.0	(5.8) 19.7	(2.5) 6.7	(20.1) 49.1

※ () 内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

(8) 令和5年度地域別救急患者数

地域		患者数	地域		患者数
名古屋市内	中村区	5,695	名古屋市以外	清須市	1,021
	中川区	2,650		津島市	293
	西区	1,218		北名古屋市	139
	北区	384		稲沢市	161
	中区	383		愛西市	162
	その他	1,214		あま市	2,233
	小計	11,544		その他	607
海部郡	大治町	1,151	西春日井郡	小計	4,616
	蟹江町	148		豊山町	11
	その他	1		その他	0
	小計	1,300		小計	11
			その他	県外	477
				不明	20

2. 栄養課

(1) 令和5年度食種別食数一覧

	一般食	5・7分粥	0・3分粥	糖尿食	*1エネコン	*2蛋白コン	*3脂肪コン	幼児食	鼻腔食	嚥下食	胃切術後食
4月	15,601	723	659	2,810	9,094	969	618	1,707	1,513	3,137	106
5月	15,015	457	343	3,469	9,404	731	578	1,801	1,245	2,865	119
6月	15,440	577	457	3,294	9,925	730	368	2,192	1,201	3,551	116
7月	16,729	428	543	3,185	9,872	1,014	491	2,041	1,410	3,818	165
8月	16,899	539	592	3,138	10,283	777	623	2,047	1,602	3,851	86
9月	16,449	469	579	2,821	9,598	671	635	2,010	1,839	3,805	223
10月	16,875	480	478	3,043	9,565	768	488	2,156	2,236	3,954	209
11月	16,390	730	606	2,491	9,381	654	688	1,682	1,310	3,591	113
12月	17,278	976	411	2,743	8,944	1,296	382	1,920	1,279	4,054	108
1月	15,945	597	717	2,979	8,855	1,185	601	1,769	1,373	4,793	160
2月	14,159	532	642	2,720	10,378	703	521	1,854	1,185	3,841	195
3月	14,828	659	697	3,167	9,844	971	777	1,955	1,777	3,653	211
総延食数	191,608	7,167	6,724	35,860	115,143	10,469	6,770	23,134	17,970	44,913	1,811
一食平均	175	7	6	33	105	10	6	21	16	41	2

(2) 令和5年度栄養部門加算算定数

	NST加算	個別栄養食事管理加算 (緩和)	早期栄養介入管理加算		周術期栄養管理実施加算
			早期経腸栄養	その他	
4月	17	5	78	146	234
5月	13	2	76	122	193
6月	20	3	191	129	198
7月	26	4	220	158	199
8月	17	3	296	306	223
9月	9	3	288	320	189
10月	13	5	286	332	211
11月	14	4	275	291	206
12月	4	1	350	338	192
1月	12	3	237	404	214
2月	11	2	287	304	232
3月	21	5	349	273	237
合計	177	40	2,933	3,123	2,528
月平均	15	3	244	260	211

[単位＝食]

低 残 渣 食	腸 検 査 食	検 査 後 食	*4 B C 食	そ の 他	一 般 食	特 別 食	合 計
551	51	74	453	0	15,601	22,465	38,066
638	28	61	281	0	15,015	22,020	37,035
502	27	72	503	0	15,440	23,515	38,955
678	36	60	620	0	16,729	24,361	41,090
947	47	62	580	0	16,899	25,174	42,073
468	37	65	688	0	16,449	23,908	40,357
400	46	75	680	0	16,875	24,578	41,453
536	31	72	475	0	16,390	22,360	38,750
706	29	62	507	0	17,278	23,417	40,695
425	28	71	570	0	15,945	24,123	40,068
86	35	77	484	0	14,159	23,253	37,412
93	44	66	693	0	14,828	24,607	39,435
6,030	439	817	6,534	0	191,608	283,781	475,389
6	0	1	6	0	175	259	434

*1：エネルギーコントロール食 *2：蛋白コントロール食 *3：脂肪コントロール食 *4：パースエンター食

(3) 令和5年度栄養指導集計表

【 個人指導 】

[単位＝件]

		糖 尿 病 食	心 臓 病 食	脂 質 異 常 症	腎 臓 病 食	胃 切 術 後 食	潰 瘍 食	低 残 渣 食	痛 風 食	肝 臓 食	そ の 他	合 計
入 院	4 年度	408	322	97	92	153	93	11	1	36	965	2, 178
	5 年度	415	357	160	94	93	112	17	1	46	1, 570	2, 865
外 来	4 年度	267	61	43	119	63	0	2	1	5	383	944
	5 年度	290	41	47	124	34	1	3	2	19	361	922
合 計	4 年度	675	383	140	211	216	93	13	2	41	1, 348	3, 122
	5 年度	705	398	207	218	127	113	20	3	65	1, 931	3, 787

【 集団指導 】

[単位＝人]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	4 年度	0	0	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	7
	5 年度	0	0	2	2	5	2	5	0	3	3	0	5	27

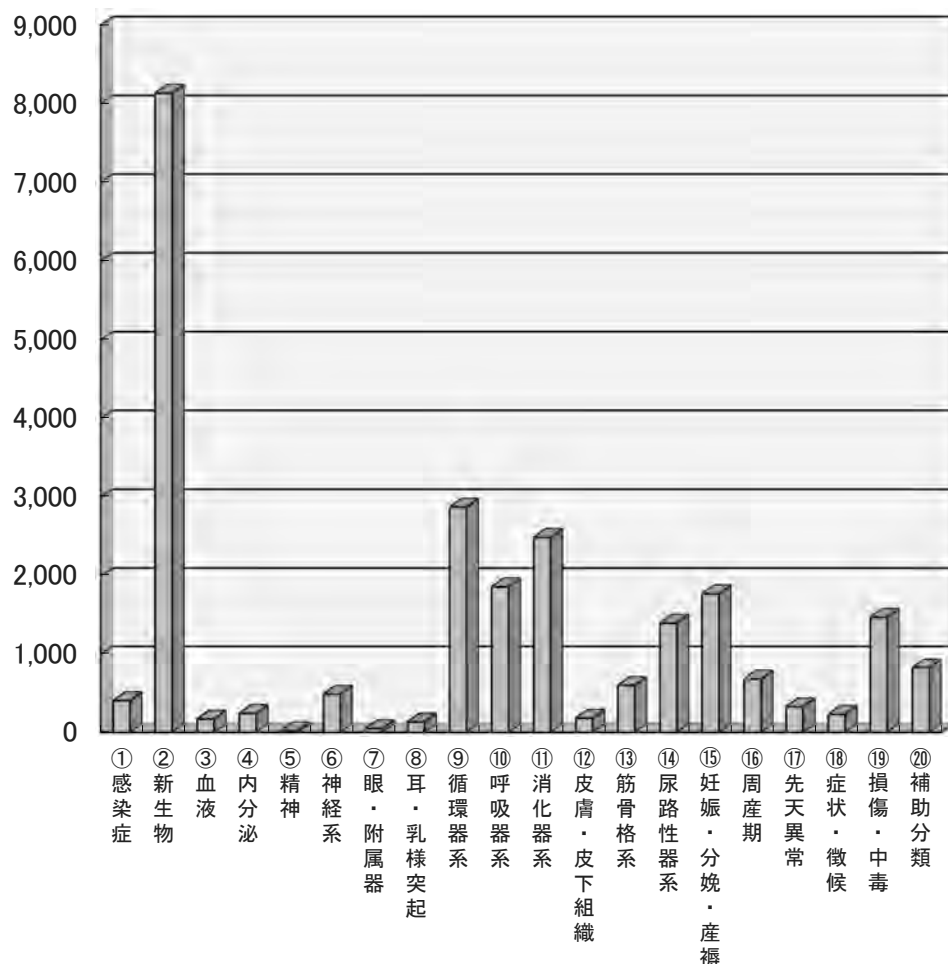
3. 診療情報管理課

令和5年度退院患者に関する諸統計

(1) 大分類別退院患者数

<基準>

- ・2023/1/1～2024/3/31 退院
- ・患者数⇒延人数
- ・退院時診療科



国際大分類	患者数	国際大分類	患者数
①感染症	410	⑪消化器系	2,497
②新生物	8,138	⑫皮膚・皮下組織	184
③血液	173	⑬筋骨格系	605
④内分泌	245	⑭尿路性器系	1,410
⑤精神	22	⑮妊娠・分娩・産褥	1,781
⑥神経系	492	⑯周産期	688
⑦眼・附属器	48	⑰先天異常	330
⑧耳・乳様突起	133	⑱症状・徴候	231
⑨循環器系	2,882	⑲損傷・中毒	1,483
⑩呼吸器系	1,870	⑳補助分類	832
合計		24,454	

(2) 大分類別退院患者数の推移(直近10年間)

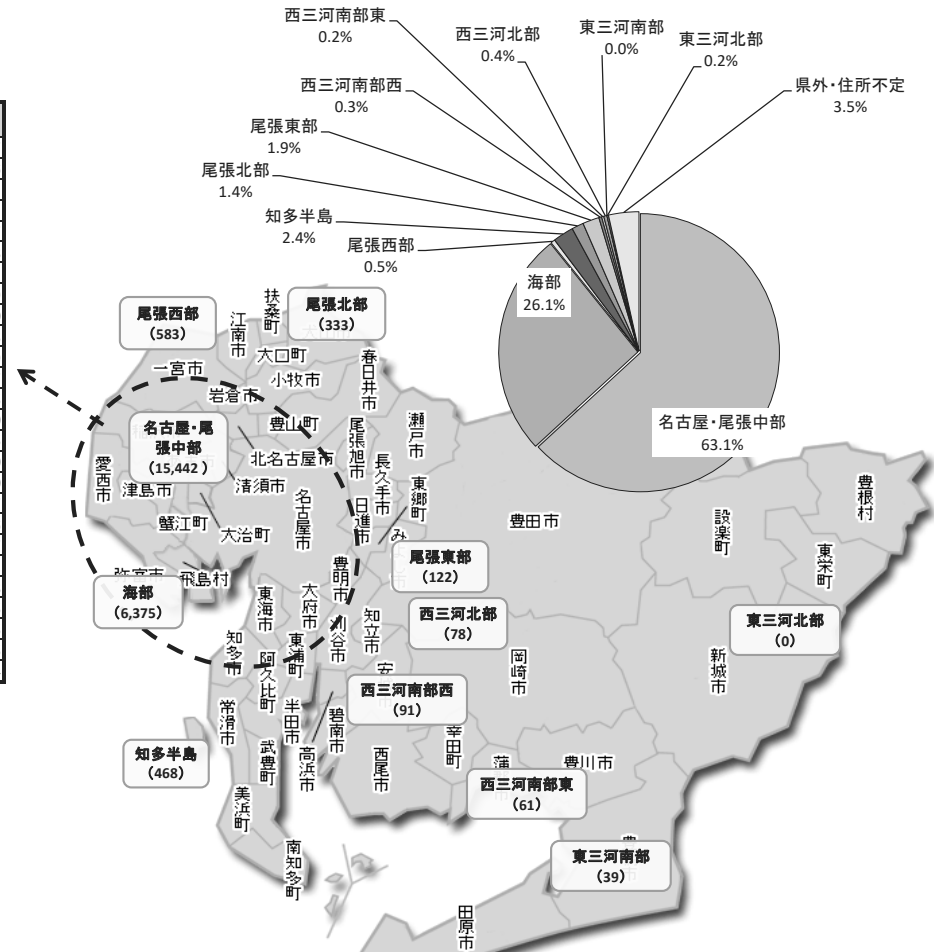
※ 「2014」から「2022」までは各年1月から12月までの患者数、「2023」は2023年1月から2024年3月までの患者数です。

大分類 / 年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①感染症	511	463	429	390	369	410	324	289	296	410
②新生物	5,841	6,557	6,786	6,758	7,088	6,879	6,413	6,575	6,547	8,138
③血液	196	175	182	164	167	159	121	133	115	173
④内分泌	322	306	342	346	331	321	259	277	256	245
⑤精神	13	6	19	20	16	17	17	14	20	22
⑥神経系	510	463	422	432	493	521	463	366	388	492
⑦眼および 附属器	76	27	48	40	56	53	31	27	31	48
⑧耳・乳様 突起	162	177	154	148	155	151	139	157	148	133
⑨循環器系	2,634	2,738	2,799	2,826	2,762	2,661	2,511	2,397	2,280	2,882
⑩呼吸器系	1,707	1,811	1,708	1,747	1,842	1,754	1,138	1,196	1,131	1,870
⑪消化器系	2,040	2,043	2,033	1,993	2,142	2,066	1,913	2,050	1,875	2,497
⑫皮膚・ 皮下組織	165	197	165	155	180	175	154	125	111	184
⑬筋骨格系	519	496	518	514	553	604	574	462	441	605
⑭尿路性器系	1,195	1,233	1,292	1,254	1,198	1,330	1,214	1,176	1,219	1,410
⑮妊娠・ 分娩・産褥	2,007	2,044	2,013	1,841	1,771	1,729	1,540	1,460	1,419	1,781
⑯周産期	621	659	629	543	643	641	554	551	573	688
⑰先天異常	206	223	221	261	256	244	194	216	230	330
⑱症状・ 診断不明確	81	93	138	135	198	214	123	173	170	231
⑲損傷・中毒	1,184	1,083	1,148	1,173	1,309	1,261	1,079	1,076	1,113	1,483
⑳補助分類	560	545	437	460	419	357	430	520	548	832
合 計	20,550	21,339	21,483	21,200	21,948	21,547	19,191	19,240	18,911	24,454

(3) 住所別退院患者数

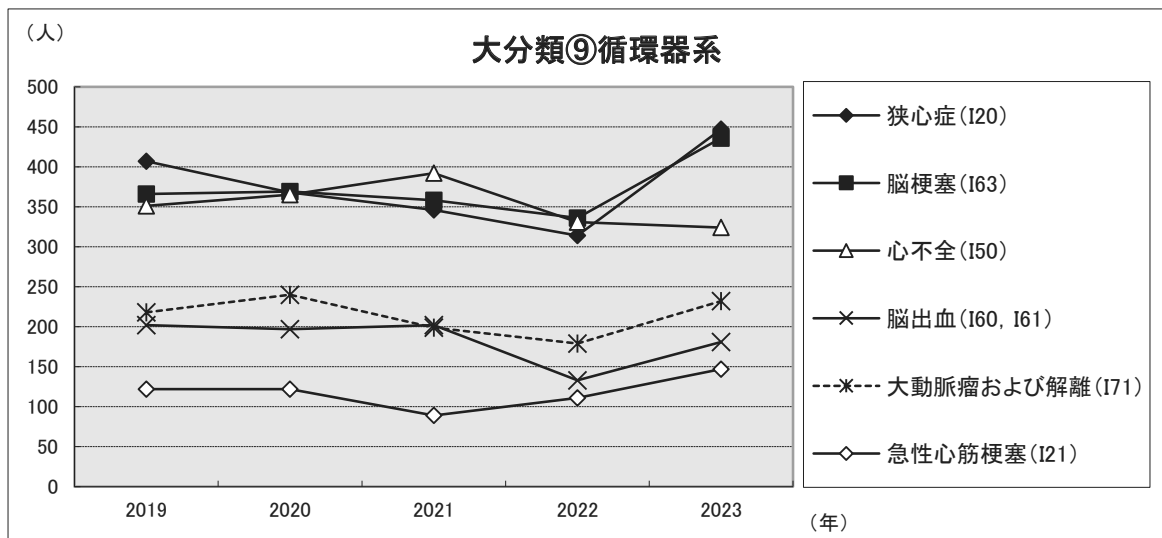
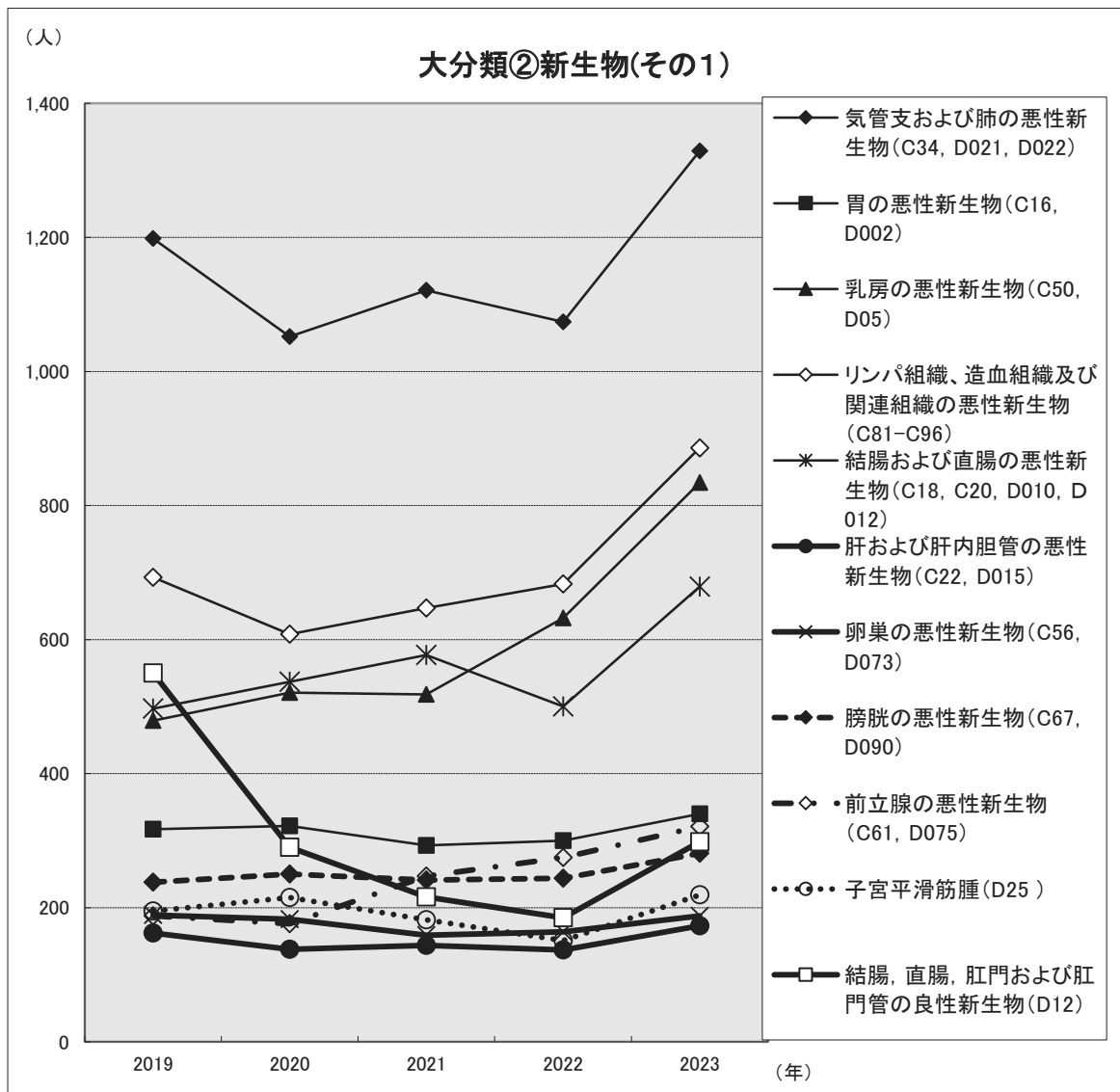
県内・外	二次医療圏	合計	① 感染症	② 新生生物	③ 血液	④ 内分泌	⑤ 精神	⑥ 神経系	⑦ 眼および付属器	⑧ 耳・乳・様突起	⑨ 循環器系	⑩ 呼吸器系	⑪ 消化器系	⑫ 皮膚・皮下組織	⑬ 筋骨格系	⑭ 泌尿器系	⑮ 妊娠・分娩・産褥	⑯ 周産期	⑰ 先天異常	⑱ 症状・診断不明確	⑲ 損傷・中毒	⑳ 補助分類
県内	名古屋・尾張中部	15,442	286	4,775	104	153	14	328	38	74	1,839	1,240	1,676	127	387	853	1,123	422	189	164	1,051	599
	海部	6,375	104	2,464	50	84	6	127	8	33	763	515	644	39	174	341	293	112	68	51	340	159
	尾張東部	122	1	34	2		2	4			10	5	9	1		13	22	5	5	2	3	4
	尾張西部	583	5	249	2	3		7		3	36	43	46	4	11	43	49	28	17	3	17	17
	尾張北部	333	4	102	6	2		4	1		30	15	33	1	3	30	43	21	10	2	18	8
	知多半島	468	2	128	2					1	91	13	27	1	11	22	88	52	10		12	8
	西三河北部	78		45							2	2	1			5	10	1	5		4	3
	西三河南部東	61		12					1	2	7		4			6	10	6	5		6	2
	西三河南部西	91	1	17				3			7	4	10	2	5	10	17	3	5	1	4	2
	東三河北部	0																				
	東三河南部	39		9		1					2		3	1	2	9	6	2	1		1	2
	小計	23,592	403	7,835	166	243	22	473	48	113	2,787	1,837	2,453	176	593	1,332	1,661	652	315	223	1,456	804
県外	岐阜	273	2	113	2			7		3	24	17	18	3	4	29	23	7	5		5	11
	三重	344	3	151	3	2		6		16	42	10	16	4	8	37	17	5	6	4	8	6
	静岡	18		1							4		1			1	7	3	1			
	その他	210	2	31	2			6		1	20	6	8	1		9	72	20	3	4	14	11
	住所不定	17		7							5		1			2	1	1				
小計		862	7	303	7	2	0	19	0	20	95	33	44	8	12	78	120	36	15	8	27	28
総計		24,454	410	8,138	173	245	22	492	48	133	2,882	1,870	2,497	184	605	1,410	1,781	688	330	231	1,483	832

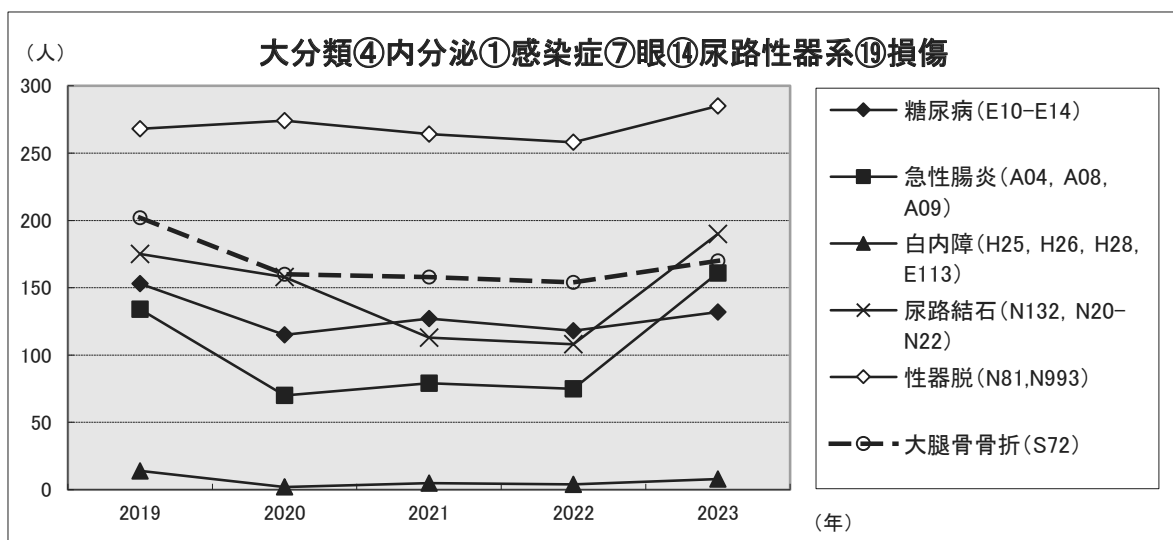
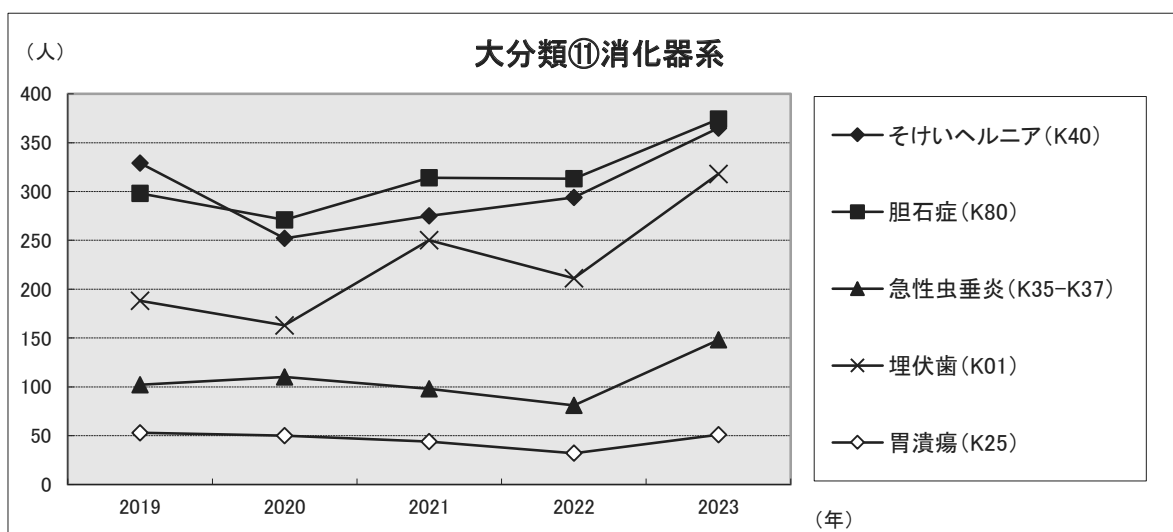
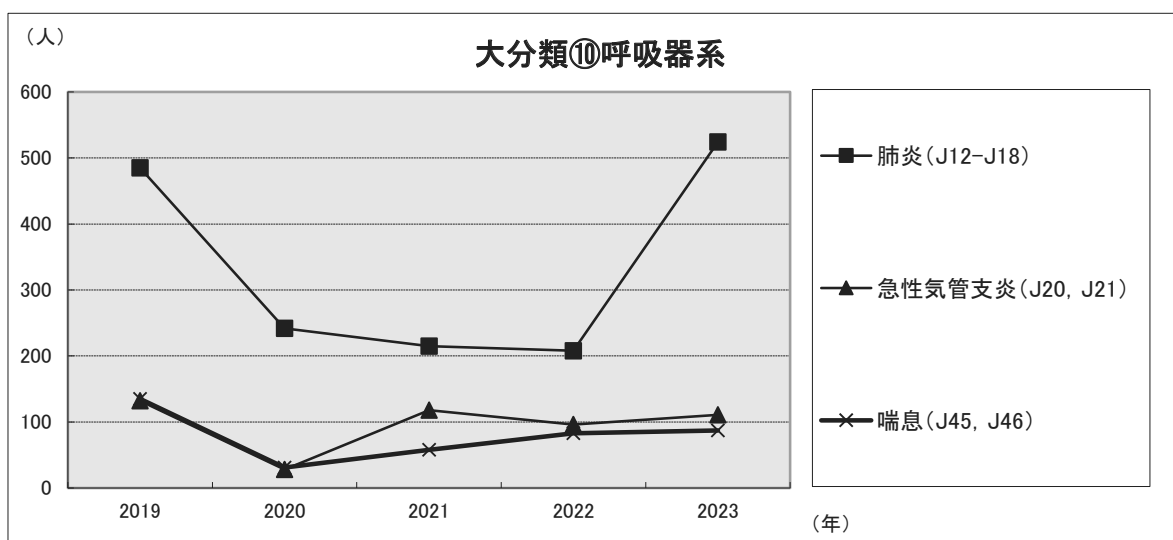
二次医療圏	地区	延人数
名古屋・尾張中部	中村区	6,217
	中川区	3,776
	西区	1,331
	港区	451
	中区	387
	北区	298
	緑区	151
	千種区	179
	熱田区	180
	守山区	113
	名東区	129
	南区	97
	東区	205
海部	瑞穂区	90
	天白区	65
	昭和区	110
	清須市	1,340
	北名古屋市	307
	豊山町	16
	あま市	3,227
	大治町	1,681
	津島市	618
	愛西市	395
	蟹江町	355
	弥富市	95
	飛島村	4



(4) 主要疾患別退院患者数の推移（直近5年間）

※ 「2019」から「2022」までは各年1月から12月までの患者数、「2023」は2023年1月から2024年3月までの患者数です。





(5) 診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

(上段：患者数、下段：平均在院日数)

診療科	1 病名		2 病名		3 病名		4 病名		5 病名	
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0		0		0
化学療法内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
呼吸器内科	C34：気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	966 13.7	J84：その他の間質性肺疾患	128 20.3	J15：細菌性肺炎、他に分類されないもの	117 13.5	U07：エマージェンシーコードU07	74 15.1	J93：気胸	63 11.7
循環器内科	I20：狭心症	351 3.7	I50：心不全	287 18.0	I48：心房細動及び粗動	244 6.5	I21：急性心筋梗塞	134 13.9	T82：心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植物の合併症	69 7.9
消化器内科	D12：結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞	292 2.9	K80：胆石症	226 11.7	C25：膵の悪性新生物＜腫瘍＞	209 16.7	C16：胃の悪性新生物＜腫瘍＞	193 12.7	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	154 13.1
脳神経内科	I63：脳梗塞	392 19.3	I61：脳内出血	111 23.6	G40：てんかん	56 12.9	G12：脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	33 26.1	G20：パーキンソン＜Parkinson＞病	25 20.4
血液内科	C83：非ろく濾＞胞性リンパ腫	234 19.6	C92：骨髄性白血病	162 35.9	C91：リンパ性白血病	96 36.6	C90：多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	74 24.2	D46：骨髄異形成症候群	69 28.9
内分泌内科	E11：2型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜NIDDM＞	86 14.3	E10：1型＜インスリン依存性＞糖尿病＜IDDM＞	20 10.7	E23：下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	8 4.9	E27：その他の副腎障害	8 4.4	E05：甲状腺中毒症〔甲状腺機能亢進症〕	7 10.7
腎臓内科	N18：慢性腎不全	176 11.4	N10：急性尿管間質性腎炎	28 12.8	N02：反復性及び持続性血尿	27 4.3	N04：ネフローゼ症候群	24 13.9	M31：その他のえく＜＞死性血管障害	12 19.5
一般消化器外科	C18：結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	347 12.5	K40：そけい＜鼠径＞ヘルニア	252 2.9	C16：胃の悪性新生物＜腫瘍＞	144 16.6	K80：胆石症	144 6.9	C20：直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	122 17.5
血管外科	I70：アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	91 9.7	I71：大動脈瘤及び解離	88 10.4	I83：下肢の静脈瘤	35 2.0	I72：その他の動脈瘤及び解離	26 7.5	T82：心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植物の合併症	12 12.4
乳腺外科	C50：乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	755 6.8	D05：乳房の上皮内癌	65 6.9	D24：乳房の良性新生物＜腫瘍＞	20 3.5	C77：リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	8 6.6	C73：甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞	5 12.6
呼吸器外科	C34：気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	335 9.9	J93：気胸	94 6.4	C78：呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	53 8.0	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	21 8.1	D02：中耳及び呼吸器系の上皮内癌	21 9.9
小児外科	K40：そけい＜鼠径＞ヘルニア	113 2.3	K42：臍ヘルニア	40 3.0	Q53：停留精巣＜辜丸＞	26 3.2	K35：急性虫垂炎	11 7.5	Q43：腸のその他の先天奇形	7 6.3
心臓血管外科	I71：大動脈瘤及び解離	115 16.6	I20：狭心症	96 13.9	I34：非リウマチ性僧帽弁障害	93 9.9	I35：非リウマチ性大動脈弁障害	83 13.7	I08：連合弁膜症	33 12.9
産婦人科	O70：分娩における会陰裂傷＜laceration＞	582 7.6	D25：子宮平滑筋腫	219 7.2	O34：既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	186 9.9	O53：子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞	180 10.7	C56：卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	179 9.1
小児科	P07：妊娠期間短縮及び低出生体重に関連する障害、他に分類されないもの	394 36.1	T78：有害作用、他に分類されないもの	139 1.2	J12：ウイルス肺炎、他に分類されないもの	89 5.7	P59：その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	82 3.4	C91：リンパ性白血病	82 31.1
整形外科	Z47：その他の整形外科的経過観察＜フォローアップ＞ケア	196 2.6	S72：大腿骨骨折	170 17.0	S52：前腕の骨折	158 3.0	S82：下腿の骨折、足首を含む	106 11.5	S42：肩及び上腕の骨折	104 7.1
脳神経外科	S06：頭蓋内損傷	158 12.3	I67：その他の脳血管疾患	44 9.1	I60：くも膜下出血	41 27.8	I63：脳梗塞	38 27.6	I62：その他の非外傷性頭蓋内出血	33 10.5
泌尿器科	C61：前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	282 5.9	N20：腎結石及び尿管結石	133 7.2	C67：膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	132 11.9	D09：その他及び部位不明の上皮内癌	118 4.7	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	81 2.4
女性泌尿器科	N81：女性性器脱	245 5.2	N09：腎尿路生殖器系の処置後障害、他に分類されないもの	40 5.1	C61：前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	39 5.1	N39：尿路系のその他の障害	29 3.3	D09：その他及び部位不明の上皮内癌	27 4.9
耳鼻咽喉科	J35：扁桃及びアデノイドの慢性疾患	99 8.0	J32：慢性副鼻腔炎	61 6.4	J36：扁桃周囲膿瘍	54 6.8	J34：鼻及び副鼻腔のその他の障害	40 6.0	C32：喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞	35 18.9
眼科	H25：老人性白内障	8 2.5	H50：その他の斜視	3 2.7	B02：帯状疱疹〔帯状ヘルペス〕	1 23.0	T81：処置の合併症、他に分類されないもの	1 2.0	H27：水晶体のその他の障害	1 2.0
皮膚科	L03：蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	30 17.4	B02：帯状疱疹〔帯状ヘルペス〕	22 8.2	C44：皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞	14 7.6	O17：良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）	9 2.6	L63：円形脱毛症	9 3.0
形成外科	D17：良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）	29 4.0	H02：眼瞼のその他の障害	20 3.0	L72：皮膚及び皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞	20 4.3	L91：皮膚の肥厚性障害	8 3.0	L75：アポクリン汗腺の障害	8 5.1
歯科口腔外科	K01：埋伏歯	318 2.1	K07：歯顎顔面（先天）異常〔不正咬合を含む〕	50 8.2	G02：舌のその他及び位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	30 20.9	C03：歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞	29 18.7	K09：口腔部のう＜嚢＞胞、他に分類されないもの	29 3.9

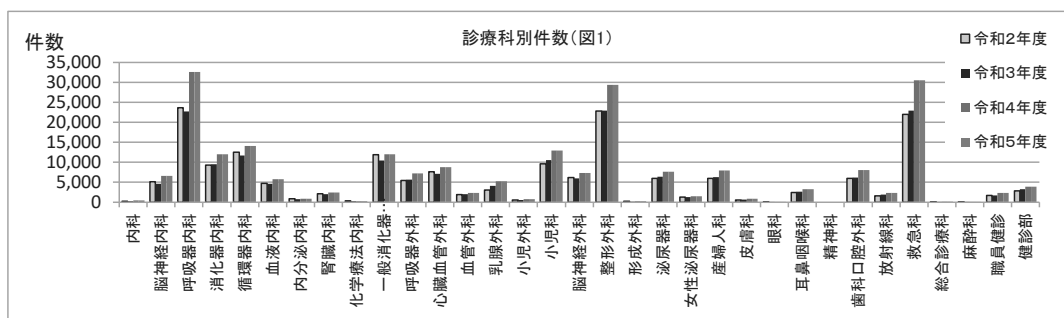
診療科	6 病名		7 病名		8 病名		9 病名		10 病名	
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0		0		0		0		0
化学療法内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
呼吸器内科	J18：肺炎，病原体不詳	59	J69：固形物及び液状物による肺炎	50	J44：その他の慢性閉塞性肺疾患	43	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	39	A31：その他の非結核性抗酸菌による感染症	36
		13.8		22.4		14.0		2.2		9.9
循環器内科	I44：房室ブロック及び左脚ブロック	46	I35：非リウマチ性大動脈弁障害	44	I47：発作性頻拍（症）	39	I71：大動脈瘤及び解離	27	I49：その他の不整脈	26
		12.6		11.5		6.8		18.5		10.5
消化器内科	K57：腸の憩室性疾患	135	C15：食道の悪性新生物＜腫瘍＞	113	C18：結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	96	C20：直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	63	K85：急性膵炎	56
		9.4		12.6		12.2		9.7		15.2
脳神経内科	G45：一過性脳虚血発作及び関連症候群	23	J69：固形物及び液状物による肺炎	23	G23：基底核のその他の変性疾患	15	G61：炎症性多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー	15	U07：エマーゼンシーコードU07	14
		8.8		19.7		30.5		18.8		20.0
血液内科	C82：ろく濾＞胞性リンパ腫	41	D69：紫斑病及びその他の出血性病態	33	D61：その他の無形成性貧血	27	Z52：臓器及び組織の提供者＜ドナー＞	25	C84：成熟T/NK細胞リンパ腫	24
		17.9		19.8		41.5		4.8		34.8
内分泌内科	E87：その他の体液，電解質及び酸塩基平衡障害	4	C73：甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞	4	J69：固形物及び液状物による肺炎	4	E16：その他の膵内分泌障害	3	U07：エマーゼンシーコードU07	3
		10.3		14.3		14.8		21.0		8.0
腎臓内科	N05：詳細不明の腎炎症候群	11	N17：急性腎不全	9	Q61：のう＜囊＞胞性腎疾患	8	J15：細菌性肺炎，他に分類されないもの	8	U07：エマーゼンシーコードU07	8
		16.0		18.9		6.4		13.4		9.0
一般消化器外科	K35：急性虫垂炎	104	C25：膵の悪性新生物＜腫瘍＞	73	C19：直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞	72	K56：麻痺性イレウス及び腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの	70	C15：食道の悪性新生物＜腫瘍＞	39
		9.0		18.2		11.7		11.5		9.4
血管外科	I74：動脈の塞栓症及び血栓症	8	T81：処置の合併症，他に分類されないもの	2	K55：腸の血行障害	1	I48：心房細動及び粗動	1	S75：股関節部及び大腿の血管損傷	1
		12.8		13.0		31.0		5.0		9.0
乳腺外科	C82：ろく濾＞胞性リンパ腫	3	J10：その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	2	L03：蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	2	J18：肺炎，病原体不詳	2	R59：リンパ節腫大	2
		2.0		3.5		8.5		12.5		2.5
呼吸器外科	S27：その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	20	C37：胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞	16	J86：膿胸（症）	14	D14：中耳及び呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞	11	J84：その他の間質性肺疾患	9
		8.6		9.1		22.6		6.5		13.9
小児外科	Q33：肺の先天奇形	7	Q64：尿路系のその他の先天奇形	6	Q89：その他の先天奇形，他に分類されないもの	4	K56：麻痺性イレウス及び腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの	4	Q40：上部消化管のその他の先天奇形	3
		3.1		5.2		4.5		6.8		5.7
心臓血管外科	Q21：心（臓）中隔の先天奇形	14	T82：心臓及び血管のプロステシス，挿入物及び移植片の合併症	14	I50：心不全	12	I21：急性心筋梗塞	10	I33：急性及び亜急性心内膜炎	10
		8.3		28.9		15.6		20.1		28.8
産婦人科	C54：子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞	177	Z39：分娩後のケア及び検査	171	O68：胎児ストレス〔仮死＜ジストレス＞〕を合併する分娩	156	D27：卵巣の良性新生物＜腫瘍＞	124	O60：切迫早産及び早産	99
		7.8		3.7		14.3		5.9		24.7
小児科	J20：急性気管支炎	77	R56：けいれん＜痙攣＞，他に分類されないもの	76	J18：肺炎，病原体不詳	69	J15：細菌性肺炎，他に分類されないもの	67	P22：新生児の呼吸器＜促＞迫	65
		5.1		3.2		5.8		5.7		7.5
整形外科	M48：その他の脊椎障害	97	S83：膝の関節及び靱帯の脱臼，捻挫及びストレイン	50	S32：腰椎及び骨盤の骨折	46	M47：脊椎症	45	M51：その他の椎間板障害	45
		13.6		12.2		14.2		15.6		4.7
脳神経外科	C71：脳の悪性新生物＜腫瘍＞	29	I61：脳内出血	27	G91：水頭症	22	I65：脳実質外動脈（脳底動脈，頸動脈，椎骨動脈）の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	20	G40：てんかん	15
		34.5		24.8		16.0		10.1		13.7
泌尿器科	C64：腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	74	N13：閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	57	N10：急性尿細管間質性腎炎	48	C65：腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞	42	N41：前立腺の炎症性疾患	27
		8.2		10.3		12.5		8.7		19.8
女性泌尿器科	Z03：疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	17	C67：膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	10	C64：腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	5	T81：処置の合併症，他に分類されないもの	4	N82：女性性器を含む瘻	2
		2.4		6.4		6.2		3.8		8.0
耳鼻咽喉科	H71：中耳真珠腫	31	C12：梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞	29	C73：甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞	28	D11：大唾液腺の良性新生物＜腫瘍＞	28	H81：前庭機能障害	27
		12.0		23.0		14.4		7.4		6.4
眼科	H30：網脈絡膜の炎症	1	B00：ヘルペスウイルス〔単純ヘルペス〕感染症	1	H35：その他の網膜障害	1	0	0	0	0
		3.0		29.0		15.0		0.0		0.0
皮膚科	L05：毛嚢のう＜囊＞胞	6	L12：類天疱瘡	4	L10：天疱瘡	2	L02：皮膚膿瘍，せつ＜フルンケル＞及びよう＜カルブンケル＞	2	L51：多形紅斑	2
		10.5		36.8		39.5		13.5		8.5
形成外科	C50：乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	8	S02：頭蓋骨及び顔面骨の骨折	6	D22：メラニン細胞性母斑	5	Q17：耳のその他の先天奇形	4	D18：血管腫及びリンパ管腫，全ての部位	4
		7.9		4.5		3.0		3.0		4.8
歯科口腔外科	K04：歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	25	K10：顎骨のその他の疾患	25	S02：頭蓋骨及び顔面骨の骨折	22	K05：歯肉炎及び歯周疾患	20	C06：その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞	12
		2.5		8.2		7.7		2.3		18.5

4. 放射線科部

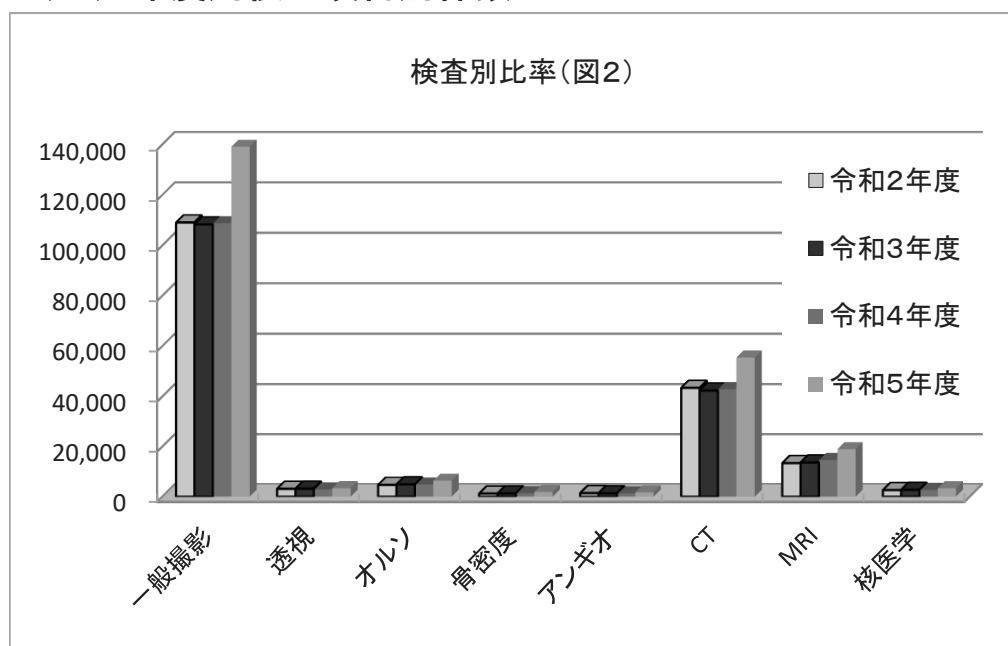
(1) 令和5年度診療科別被検者数(外来+入院)

検査種	一般撮影				透視撮影				オルソ／断層撮影				骨密度／破砕				血管／心カテ			
科名／年度	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
内科	168	141	156	238			2					2			1				9	1
脳神経内科	1,413	1,215	1,156	1,804	6	9	6	21	5		1		9	13	32	36				
呼吸器内科	16,463	16,434	15,564	23,275	60	83	38	54					11	10	10	25			2	2
消化器内科	2,360	2,330	2,350	2,741	353	315	329	443	1	1			6	6	6	19	33	22	25	38
循環器内科	9,108	8,820	9,171	10,842	3	2	2	2					1	3	3	7	976	924	810	1,148
血液内科	2,631	2,507	2,563	2,827	221	269	192	324	1				211	151	159	205				1
内分泌内科	364	305	232	263	4	4		1	2	3			23	44	35	41				
腎臓内科	1,705	1,450	1,524	1,799	14	13	16	25					38	57	61	61	6	11	5	5
化学療法内科	256	199	165	201				1												
一般消化器外科	7,175	6,593	6,176	7,064	746	844	689	695					7				3	3	11	9
呼吸器外科	3,555	4,064	3,772	4,839	8	14	10	7												1
心臓血管外科	6,527	6,437	6,093	7,457	1	3											45	77	63	70
血管外科	844	1,079	888	1,072	9	13	2	3					1				198	198	179	194
乳腺外科	2,166	2,355	2,667	3,379	1	2		3					99	233	335	497			1	1
小児外科	448	391	533	611	61	65	75	89												
小児科	8,302	8,645	9,209	11,197	32	34	37	60	3	2	12	21	79	67	66	74	13	9	19	20
脳神経外科	1,586	1,510	1,427	1,764	9	12	9	18									128	95	135	140
整形外科	18,572	18,804	19,232	24,565	346	216	202	238					613	534	519	664			1	
形成外科	125	116	87	93		1			1											
泌尿器科	2,861	2,724	2,789	3,254	620	695	675	806					2	2	1	1	2	1	1	5
女性泌尿器科	992	912	988	1,109	26	42	27	12					8	4	1	2				
産婦人科	3,985	4,121	4,027	5,047	27	33	34	42					27	27	13	33	3	2	12	21
皮膚科	272	311	293	376				2	1				17	20	18	42				
眼科	8	5	9	10																
耳鼻咽喉科	922	910	899	1,161	7	6	12	9	1			3								
精神科																				
歯科口腔外科	759	773	753	913	32	40	27	29	4,644	4,882	4,804	6,314								
放射線科	54	54	44	54			3				1				1				5	10
救急科	12,061	11,493	12,308	16,415	12	15	11	21	63	38	29	40					11	14	23	44
総合診療科	7	11	56	63									2	1	3	7				
麻酔科	51	68	52	57																1
職員健診	1,706	1,705	1,682	2,330																
健診部	1,629	1,818	1,897	2,263	555	469	469	482					93	125	102	153				
合計	109,075	108,300	108,762	139,083	3,153	3,199	2,867	3,387	4,722	4,926	4,847	6,380	1,247	1,297	1,366	1,867	1,418	1,356	1,301	1,711

CT				MRI				核医学 (R1)				核医学 (PET)				合計				検査種
R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	科名／年度
99	106	124	196	6	8	4	1									273	255	296	438	内科
1,388	1,151	1,161	1,523	2,008	1,795	1,980	2,819	335	348	320	411	4	2	4	3	5,168	4,533	4,660	6,617	脳神経内科
5,670	5,392	5,533	7,315	1,001	1,046	1,056	1,374		1	2	2	429	506	485	614	23,634	23,472	22,690	32,661	呼吸器内科
5,235	5,260	5,116	6,340	1,241	1,520	1,594	2,275	11	8	13	8	87	100	89	125	9,327	9,562	9,522	11,989	消化器内科
1,922	1,636	1,395	1,774	92	97	51	55	404	298	256	294	7	4	2	4	12,513	11,784	11,690	14,126	循環器内科
1,355	1,385	1,445	2,012	102	132	119	206	2	1			182	202	199	236	4,705	4,647	4,677	5,811	血液内科
399	457	360	442	92	114	77	134	39	40	29	37	2				925	967	733	918	内分泌内科
339	396	405	523	43	54	20	33	1	1	2	1	1				2,147	1,982	2,033	2,447	腎臓内科
60	61	52	62			1	1		1	1	2		1	1	3	316	262	220	270	化学療法内科
3,756	3,629	3,350	4,034	124	159	133	150	8	2	6	2	84	96	56	60	11,903	11,326	10,421	12,014	一般消化器外科
1,689	1,741	1,685	2,145	101	84	100	106	4			1	101	80	58	99	5,458	5,983	5,625	7,198	呼吸器外科
1,011	1,011	994	1,271	10	8	13	16	11	1	3	2					7,605	7,537	7,166	8,816	心臓血管外科
828	956	930	1,086	33	43	22	21		1							1,913	2,290	2,021	2,376	血管外科
484	586	673	857	112	103	98	171	202	222	289	348	23	19	20	35	3,087	3,520	4,083	5,291	乳腺外科
15	10	6	17	10	7	7	8				1					534	473	621	726	小児外科
461	396	464	607	668	668	672	869	47	43	65	66	16	20	14	26	9,621	9,884	10,558	12,940	小児科
1,861	1,790	1,600	1,952	2,595	2,508	2,789	3,409	11	9	10	40	6	3	1	4	6,196	5,927	5,971	7,327	脳神経外科
1,737	1,386	1,296	1,835	1,587	1,662	1,663	2,111	4	1	1	3	2	2	1	2	22,861	22,605	22,915	29,418	整形外科
30	36	29	42	97	102	79	114									253	255	195	249	形成外科
2,019	2,091	2,155	2,716	340	435	522	550	162	189	214	268	16	26	15	21	6,022	6,163	6,372	7,621	泌尿器科
170	194	224	263	87	69	81	104	6	25	18	27				1	1,289	1,246	1,339	1,518	女性泌尿器科
1,226	1,182	1,325	1,694	721	785	840	1,099	2	2	1	1	28	20	29	31	6,019	6,172	6,281	7,968	産婦人科
216	215	221	281	70	92	113	171							1	2	576	638	646	874	皮膚科
7	7	11	12	22	36	47	76									37	48	67	98	眼科
1,231	1,278	1,268	1,671	263	304	374	395		3	1		59	73	49	34	2,483	2,574	2,603	3,273	耳鼻咽喉科
																0	0	0	0	精神科
457	483	530	701	19	26	34	44	2	1		2	50	37	42	59	5,963	6,242	6,190	8,062	歯科口腔外科
1,061	914	1,192	1,435	506	351	574	725	4	1	13	9	27	24	47	60	1,652	1,344	1,880	2,293	放射線科
8,641	8,522	9,259	12,507	1,170	1,141	1,281	1,550									21,958	21,223	22,911	30,577	救急科
15	14	14	42		3	2	2									24	29	75	114	総合診療科
		1														51	68	53	58	麻酔科
																1,706	1,705	1,682	2,330	職員健診
99	120	121	150	274	321	309	386					256	311	341	423	2,906	3,164	3,239	3,857	健診部
43,481	42,405	42,939	55,505	13,394	13,673	14,655	18,975	1,255	1,198	1,244	1,525	1,380	1,526	1,454	1,842	179,125	177,880	179,435	230,275	合計



(2) 年度別検査項目別件数



年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般撮影	109,075	108,300	108,762	139,083
透視	3,153	3,199	2,867	3,387
オルソ	4,722	4,926	4,847	6,380
骨密度	1,247	1,297	1,366	1,867
アンギオ	1,418	1,356	1,301	1,711
CT	43,481	42,405	42,939	55,505
MRI	13,394	13,673	14,655	18,975
核医学	2,635	2,724	2,698	3,367

(3) 年度別放射線治療患者数

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3DCRT	514	541	551	640
強度変調放射線治療(IMRT)	58	24	96	170
定位照射(SRS, SRT)	56	17	56	60
全身照射(TBI)	40	35	27	41

5. 病理部・細胞診分子病理診断部

(1) 診療科別生検検体数

診療科名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内科	1	12	0	1
消化器内科	3,227	3,512	3,510	3,438
血液内科	1,831	1,053	972	984
呼吸器内科	563	584	526	553
循環器内科	39	24	20	17
内分泌内科	1	0	1	1
脳神経内科	0	0	1	1
腎臓内科	51	50	30	31
小児科	780	399	376	298
一般・消化器外科	635	621	653	563
小児外科	40	28	42	51
心臓血管外科	17	22	37	23
呼吸器外科	443	526	499	552
乳腺外科	880	924	1,229	1,096
産婦人科	1,736	1,801	1,755	1,785
泌尿器科	566	518	564	530
女性泌尿器科	118	152	217	228
脳神経外科	160	126	144	129
整形外科	90	79	66	82
皮膚科	881	791	882	1,087
形成外科	224	242	171	206
耳鼻咽喉科	457	544	546	507
歯科口腔外科	381	410	487	499
血管外科	7	3	2	4
眼科	3	2	1	2
救急科	2	1	6	4
総合診療科	0	0	0	0
健診部	0	0	0	0
化学療法内科	0	0	0	0
合計	13,133	12,424	12,737	12,672

(2) 病理特殊検査検体数

特殊検査	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
免疫染色	4,121	3,496	4,096	3,554
コンサルテーション症例数	532	113	154	111

(3) 院外受託検査

受託検査	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
骨髄病理検査	1,361	121	168	127
テレパソロジー検査	6	5	0	0

(4) 剖検検体数(科別検体数、月別検体数)

科別検体数

診療科名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般消化器外科	2	0	0	0
血液内科	5	8	6	4
呼吸器内科	1	2	4	2
循環器内科	1	0	0	1
小児科	0	1	1	2
消化器内科	2	3	0	3
脳神経内科	6	5	5	5
呼吸器外科	1	0	1	0
内分泌内科	0	0	0	0
産婦人科	1	0	1	0
心臓血管外科	0	1	0	0
脳神経外科	0	0	0	0
腎臓内科	0	0	0	0
整形外科	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0
救急科	3	0	1	0
泌尿器科	1	0	0	0
合計	23	20	19	17

月別検体数

月	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	1	1	3	1
5月	3	2	1	2
6月	5	3	6	0
7月	2	0	1	1
8月	0	5	1	4
9月	2	2	0	2
10月	1	0	0	0
11月	2	0	1	1
12月	2	1	2	0
1月	3	3	3	1
2月	0	1	1	2
3月	2	2	0	3
合計	23	20	19	17

(5) 細胞診件数(検体種別検体数)

細胞診件数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般細胞診	4,144	4,728	4,530	4,575
婦人科細胞診	3,565	3,319	3,346	3,117
ドック細胞診	452	429	460	418
合計	8,161	8,476	8,336	8,110

(6) 遺伝子件数

特殊検査	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
FISH・遺伝子検査	10,367	21,238	25,834	6,482
受託遺伝子検査	147	62	101	79

6. 輸血部

(1) 令和5年度検査年報集計

		件 数			点 数		
		当年度	前年度	比 (%)	当年度	前年度	比 (%)
輸血管理	入院	11,283	9,553	18.1	345,165	393,920	-12.4
	外来	14,470	13,752	5.2	366,054	358,697	2.1
	他	160	90	77.8	0	0	-
	小計	25,913	23,395	10.8	711,219	752,617	-5.5
分子細胞検査	入院	895	884	1.2	1,425,278	1,376,360	3.6
	外来	929	997	-6.8	836,722	949,096	-11.8
	小計	1,824	1,881	-3.0	2,262,000	2,325,456	-2.7
合 計	入院	12,178	10,437	16.7	1,770,443	1,770,280	0.0
	外来	15,399	14,749	4.4	1,202,776	1,307,793	-8.0
	他	160	90	77.8	0	0	-
総 合 計		27,737	25,276	9.7	2,973,219	3,078,073	-3.4

上の表に含まれる輸血管理時間外検査（入院、外来）

件数	点数
2,238	26,346

加算・管理料

	件 数			点 数		
	入院	外来	件数合計	当年度	前年度	比 (%)
輸血管理料Ⅰ	2,291	1,281	3,572	1,201,520	989,420	21.4
不規則抗体検査加算	3,548	995	4,543	894,971	483,044	85.3
輸血に伴う血液型加算	946	58	1,004	54,216	55,134	-1.7
総 合 計	6,785	2,334	9,119	2,150,707	1,527,598	40.8

(2) 令和5年度院内廃棄血集計（輸血管理室）

血液製剤総購入額 512,622,808円の 0.027%
 血液製剤総使用数 11,886バッグの 0.034%

品 名	略 号	廃棄数(本)	薬 価(円)	合 計(円)	処理日	廃棄理由
照射濃厚血小板-LR「日赤」	Ir-PC-LR-10	1	81,744	81,744	5月18日	ルート接続時に破損
照射赤血球液-LR「日赤」	IrRBC-LR-2	1	18,132	18,132	6月17日	出庫後、医師の指示により中止
照射赤血球液-LR「日赤」	IrRBC-LR-2	1	18,132	18,132	10月4日	2単位2本出庫し、1本目投与後にアレルギー症状を認めた
照射赤血球液-LR「日赤」	IrRBC-LR-2	1	18,132	18,132	1月24日	2単位×2本一度に出庫し2本目室温放置 2本目も実施済と誤認した
総 計		4		136,140		

(3) 令和5年度造血幹細胞移植症例数(分子細胞検査室)

造血幹細胞移植関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
細胞保存	40	43	44	45	56	36	45	43	36	48	38	47	521
末梢血幹細胞保存	1	0	3	1	3	7	3	2	3	2	1	2	28
骨髄液保存	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ドナーリンパ球保存	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
CD34測定	9	6	13	6	12	19	14	9	13	12	14	10	137
末梢血幹細胞輸注	2	2	1	2	2	3	3	1	2	2	2	2	24
臍帯血輸注	3	2	1	1	1	0	1	2	1	4	1	1	18
ドナーリンパ球輸注	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	5
テムセル	0	7	1	0	4	4	0	0	0	0	0	0	16
クリオ調整	0	33	12	18	12	48	6	6	24	6	6	6	177
合 計	55	93	77	73	91	117	74	64	79	74	63	70	930

	移 植 症 例 数				保険点数小計
	内科	小児科	合計	保険点数	
血縁者間骨髄移植	1	2	3	66,450	199,350
非血縁者間骨髄移植	12	1	13	66,450	863,850
血縁間末梢血幹細胞移植	11	0	11	66,450	730,950
自家末梢血幹細胞移植	12	1	13	30,850	401,050
非血縁間末梢血幹細胞移植	1	0	1	66,450	66,450
臍帯血	15	3	18	66,450	1,196,100
自家骨髄移植	0	0	0	25,850	0
合 計	52	7	59		3,457,750

	症例数		保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球輸注	1回目	3	750	2,250
	2回目以降	2	760	1,520
合 計		5		3,770

(4) 令和5年度成分採血室稼働状況

細胞治療関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	保険点数	保険点数小計
自己血採取	4	1	1	0	2	0	3	5	1	6	1	2	26	250	6,500
骨髄採取術*	2	1	1	0	0	1	1	1	2	1	2	1	13	21,640	281,320
末梢血幹細胞採取	1	0	3	1	4	7	4	2	3	3	2	2	32	21,640	692,480
骨髄濃縮	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3	0	7	0	0
リンパ球採取(ドナー)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
リンパ球採取(CAR-T)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	14,480	14,480
体外フォトフェレーシス	0	0	0	5	4	7	13	10	6	20	29	28	122	2,000	244,000
合 計	8	2	7	6	10	15	22	19	12	30	38	34	203	60,010	1,238,780

*手術室で実施

7. 健診部

令和5年度健診実績

(人) / (千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一日ドック	44	50	45	47	59	58	68	59	47	52	35	48	612
	2,983	3,245	3,111	3,289	3,872	3,837	4,526	4,151	3,560	3,690	2,970	3,357	42,591
総合ドック	16	24	25	21	25	19	16	17	18	14	21	20	236
	3,263	4,347	4,557	3,767	4,864	3,475	2,936	3,056	3,076	2,665	4,102	3,706	43,814
PETドック	3	7	8	7	1	5	5	7	12	3	8	6	72
	383	866	1,017	869	122	640	627	870	1,524	369	977	757	9,021
宿泊ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業健診	16	39	73	57	47	47	59	54	54	59	64	38	607
	1,157	2,128	4,783	3,409	3,094	3,304	3,255	3,282	3,126	3,108	3,327	2,381	36,354
日赤健保	7	5	3	2	5	9	6	7	3	3	6	10	66
	314	205	115	73	205	344	210	313	260	111	262	438	2,850
福島県民健康診査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HBOC検診	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	5
	0	0	9	0	25	0	18	0	9	0	0	22	83
特定保健指導	1	2	0	1	1	2	0	2	0	0	0	1	10
	11	20	0	3	10	30	0	26	0	0	0	3	103
令和5年度合計(人)	87	127	155	135	139	140	155	146	135	131	134	124	1,608
令和5年度合計(千円)	8,111	10,811	13,592	11,410	12,192	11,630	11,572	11,698	11,555	9,943	11,638	10,664	134,816

8. 薬剤部

(1) 入院・外来処方せん枚数

	入院		外来		合計総枚数	
	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度
月平均枚数	13,872	14,143	14,742	14,683	28,614	28,825
年間合計枚数	166,469	212,138	176,903	220,237	343,372	432,375
院外処方せん発行率			72.70%	72.20%		

(2) 入院薬剤管理指導料算定数

	薬剤管理指導料算定数	
	4年度	5年度
月平均人数（名）	1,455.83	1,491.40
月平均件数（件）	1,846.83	1,800.87
年間合計人数（名）	17,470	22,371
年間合計件数（件）	22,162	27,013

(3) 妊娠と薬外来の相談件数

	相談件数（件）	
	4年度	5年度
妊娠前	2	3
妊娠後	2	1
授乳	0	0

(4) 薬学生実務実習受け入れ人数

	受け入れ人数（人）	
	4年度	5年度
第二期	0	0
第三期	4	4
第四期	4	4

(5) 抗がん剤調製延患者数

	延調製患者数（人）	
	4年度	5年度
外来	10,595	14,016
入院	6,162	8,488

(6) 新規の治験・製造販売後調査受託件数

	新規の受託件数（件）	
	4年度	5年度
治験	3	5
製造販売後調査	16	18
臨床試験	85	122

(7) 専門薬剤師資格取得薬剤師数

	取得薬剤師数（人）	
	5年度	
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師	16	
日本病院薬剤師会 認定実務実習指導薬剤師	4	
日本病院薬剤師会 日本病院薬学認定薬剤師	25	
日本病院薬剤師会 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1	
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	1	
日本医療薬学会 専門・指導薬剤師	専門：4	指導：1
日本医療薬学会 薬物療法専門・指導薬剤師	専門：2	指導：2
日本医療薬学会 がん専門・指導薬剤師	専門：5	指導：4
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	2	
日本緩和医療薬学会 緩和医療暫定指導薬剤師	1	
日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師	1	
日本腎臓学会 腎臓病療養指導士	4	
日本循環器学会 心不全療養指導士	3	
日本糖尿病療養指導士認定機構 糖尿病療養指導士	4	
日本静脈経腸栄養学会NST専門療養士	7	

9. 検査部

(1) 令和5年度検査種別稼働集計

臨床検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
血液	入院	46,962	56,151	-16.4	1,713,385	2,021,250	-15.2
	外来	266,183	263,055	1.2	6,057,467	6,091,529	-0.6
	その他	6,040	6,011	0.5	0	0	-
	時間外入院	157,438	147,846	6.5	4,033,452	3,729,937	8.1
	時間外外来	55,335	55,174	0.3	1,317,776	1,341,453	-1.8
	小計	531,958	528,237	0.7	13,122,080	13,184,169	-0.5
一般	入院	7,720	9,668	-20.1	231,991	275,458	-15.8
	外来	52,076	56,737	-8.2	1,354,598	1,619,211	-16.3
	その他	6,072	5,916	2.6	0	0	-
	時間外入院	5,949	7,360	-19.2	161,846	221,506	-26.9
	時間外外来	14,585	16,151	-9.7	385,938	511,804	-24.6
	小計	86,402	95,832	-9.8	2,134,373	2,627,979	-18.8
生化学	入院	278,511	279,419	-0.3	4,310,594	3,844,062	12.1
	外来	1,873,778	1,781,246	5.2	17,690,352	16,439,458	7.6
	その他	54,421	56,622	-3.9	0	0	-
	時間外入院	902,934	863,840	4.5	9,744,627	8,948,554	8.9
	時間外外来	402,795	401,972	0.2	4,314,404	3,883,204	11.1
	小計	3,512,439	3,383,099	3.8	36,059,977	33,115,278	8.9
薬物血中濃度	入院	3,556	3,566	-0.3	特定薬剤治療管理料として算出		
	外来	2,230	2,024	10.2			
	その他	0	0	-			
	小計	5,786	5,590	3.5			
免疫血清	入院	18,230	20,374	-10.5	3,391,023	3,630,059	-6.6
	外来	165,298	176,941	-6.6	22,934,539	23,949,056	-4.2
	その他	10,740	10,569	1.6	0	0	-
	時間外入院	18,898	22,524	-16.1	3,198,018	3,806,238	-16.0
	時間外外来	27,065	29,750	-9.0	5,739,313	6,699,897	-14.3
	小計	240,231	260,158	-7.7	35,262,893	38,085,250	-7.4
細菌	入院	40,196	36,678	9.6	6,479,081	5,967,293	8.6
	外来	32,722	27,095	20.8	4,906,637	4,085,059	20.1
	その他	460	393	17.0	0	0	-
	時間外入院	0	0	-	0	0	-
	時間外外来	0	0	-	0	0	-
	小計	73,378	64,166	14.4	11,385,718	10,052,352	13.3

☆細菌検査は、平成24年度から件数の集計方法が変わりました。

☆生化学検査は、平成29年度から件数の集計方法が変わりました。

☆その他の内訳（心カテ・ECG、聴力、血流検査以外のドック検査・職員健診・当院健診等）

☆血液、一般、生化学、薬物血中濃度、免疫血清検査は、令和5年1月から件数の集計方法が変わりました。

生理検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比 (%)	当年度	前年度	比 (%)
脳波	入院	870	871	-0.1	736,630	737,930	-0.2
	外来	1,118	1,103	1.4	1,082,710	1,065,910	1.6
	小計	1,988	1,974	0.7	1,819,340	1,803,840	0.9
筋電図	入院	534	501	6.6	7	413,570	-100.0
	外来	1,286	1,242	3.5	4	1,089,860	-100.0
	小計	1,820	1,743	4.4	10	1,503,430	-100.0
心電図	入院	7,215	7,810	-7.6	1,715,090	1,706,440	0.5
	外来	24,557	26,830	-8.5	4,816,240	5,242,010	-8.1
	その他	1,954	1,642	19.0	0	0	-
	小計	33,726	36,282	-7.0	6,531,330	6,948,450	-6.0
心大血管リハビリ	入院	10	23	-56.5	9,440	26,160	-63.9
	外来	813	1,058	-23.2	677,591	918,950	-26.3
	小計	823	1,081	-23.9	687,031	945,110	-27.3
肺機能	入院	731	759	-3.7	80,180	81,630	-1.8
	外来	6,026	5,063	19.0	662,540	562,250	17.8
	その他	0	0	-	0	0	-
	小計	6,757	5,822	16.1	742,720	643,880	15.4
超音波	入院	8,310	8,693	-4.4	6,806,560	7,102,220	-4.2
	外来	18,595	17,737	4.8	12,326,040	11,548,770	6.7
	その他	1,843	1,860	-0.9	0	0	-
	小計	28,748	28,290	1.6	19,132,600	18,650,990	2.6
ドック（ECG・聴力）検査	その他	3,028	3,087	-1.9	0	0	-

		件数			点数		
		当年度	前年度	比%	当年度	前年度	比%
総合計	入院	412,845	424,513	-2.7	25,473,981	25,806,072	-1.3
	外来	2,444,682	2,360,131	3.6	72,508,718	72,612,063	-0.1
	その他	84,558	86,100	-1.8	0	0	-
	時間外入院	1,085,219	1,041,570	4.2	17,137,943	16,706,235	2.6
	時間外外来	499,780	503,047	-0.6	11,757,431	12,436,358	-5.5
	合計	4,527,084	4,415,361	2.5	126,878,072	127,560,728	-0.5

(2) 令和5年度判断料

1. 包括前後

保険 点数	項目	件数		点数		
		包括前	包括後	包括前	包括後	比 (%)
34	尿・糞便検査判断料	20,703	18,064	703,902	614,176	-12.7
125	血液学的判断料	107,477	94,243	13,434,625	11,780,375	-12.3
144	生化学的判断料Ⅰ	108,391	94,865	15,608,304	13,660,560	-12.5
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	33,560	29,101	4,832,640	4,190,544	-13.3
144	免疫血清学的判断料	86,251	76,894	12,420,144	11,072,736	-10.8
150	微生物学的判断料	19,238	13,918	2,885,700	2,087,700	-27.7
130	病理学的判断料	2,700	2,700	351,000	351,000	0.0
140	呼吸機能学的判断料	2,097	1,919	293,580	268,660	-8.5
350	脳波検査判断料Ⅰ	1,351	1,154	472,850	403,900	-14.6
180	神経・筋検査判断料	1,054	867	189,720	156,060	-17.7
100	遺伝子関連・染色体検査判断料	3,573	3,113	357,300	311,300	-12.9
	合計	386,395	336,838	51,549,765	44,897,011	-12.9

2. 包括後前年比

保険 点数	項目	件数		点数		
		当年度	前年度	当年度	前年度	比 (%)
34	尿・糞便検査判断料	18,064	18,694	614,176	635,596	-3.4
125	血液学的判断料	94,243	93,193	11,780,375	11,649,125	1.1
144	生化学的判断料Ⅰ	94,865	93,821	13,660,560	13,510,224	1.1
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	29,101	28,906	4,190,544	4,162,464	0.7
144	免疫血清学的判断料	76,894	75,226	11,072,736	10,832,544	2.2
150	微生物学的判断料	13,918	24,698	2,087,700	3,704,700	-43.6
130	病理学的判断料	2,700	2,872	351,000	393,200	-10.7
140	呼吸機能学的判断料	1,919	1,464	268,660	204,960	31.1
350	脳波検査判断料Ⅰ	1,154	1,102	403,900	385,700	4.7
180	神経・筋検査判断料	867	607	156,060	109,260	42.8
100	遺伝子関連・染色体検査判断料	3,113	3,234	311,300	323,400	-3.7
	合計	336,838	343,817	44,897,011	45,911,173	-2.2

(3) 令和5年度検査加算・管理料(検査部)

1. 包括前

加算・ 管理料 点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	3,184	2,119	5,303	1,497,830	995,930	2,493,760
280	薬剤初回算定月加算	228	98	326	63,840	27,440	91,280
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	109	0	109	298,660	0	298,660
20	血液化学入院初回加算	10,524	0	10,524	210,480	0	210,480
10	外来迅速検体検査加算	14,377	454,009	468,386	143,770	4,540,090	4,683,860
200	時間外緊急院内検査加算	3,379	6,300	9,679	675,800	1,260,000	1,935,800
240	骨髓像診断加算	660	324	984	158,400	77,760	236,160
500	検体検査管理加算Ⅳ	17,244	0	17,244	8,622,000	0	8,622,000
40	検体検査管理加算Ⅰ	0	104,541	104,541	0	4,181,640	4,181,640
	総合計	49,705	567,391	617,096	11,670,780	11,082,860	22,753,640

2. 包括後

加算・ 管理料 点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	852	2,069	2,921	401,790	972,430	1,374,220
280	薬剤初回算定月加算	0	0	0	0	0	0
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	0	0	0	0	0	0
20	血液化学入院初回加算	904	0	904	18,080	0	18,080
10	外来迅速検体検査加算	753	454,009	454,762	7,530	4,540,090	4,547,620
200	時間外緊急院内検査加算	84	6,244	6,328	16,800	1,248,800	1,265,600
240	骨髓像診断加算	129	2	131	30,960	480	31,440
500	検体検査管理加算Ⅳ	2,195	0	2,195	1,097,500	0	1,097,500
40	検体検査管理加算Ⅰ	0	104,541	104,541	0	4,181,640	4,181,640
	総合計	4,917	566,865	571,782	1,572,660	10,943,440	12,516,100

10. 看護部

(1) 看護部の理念

赤十字の看護師として、おひとりおひとりの患者さんを大切にした看護を目指します。

(2) 基本方針

1. 安全で安楽な看護技術を提供します
2. 継続教育を充実させ看護の専門性を追求します
3. 地域の皆様の健康保持増進を支援します
4. 他部門と協働し病院の健全な運営に取り組みます
5. 救護活動や赤十字の講習会の普及に努めます

(3) 看護部目標

安全・安楽なベッドサイドケアを提供する

(4) 令和5年度 看護部行事・看護職員対象研修等一覧

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 看護部 令和5年4月22日
勤務時間外（青字）の研修は自主参加です。予定ですので変更がある場合があります。

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	会場	参加者
4月	新入看護職員採用時研修会Ⅰ	4/5（水）～4/11（月）終日	演習室1 他	新入看護職員
	赤十字概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4/7（金）終日、4/11（火）12:40～16:40	演習室1 名古屋市公会堂	新入看護職員・未受講者
	病院説明会	4/15（土）・4/29（金）8:30～16:00	演習室1	看護師
	新入看護職員採用時研修Ⅱ	5/8（月）・5/9（火）終日	演習室1・演習室2・研修室3	新入看護職員
5月	NSI勉強会①「院内感染と栄養管理」	5/8（月）17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	ナーシングリサーチカフェⅠ	5/15（月）17:00～17:30	研修室2	看護職員
	看護業務実践委員会	5/18（木）16:30～17:30 → 6/1（木）へ変更	研修室3	実践委員
	病院説明会	5/20（土）8:30～16:00	演習室1	看護師
	空気感染防止対策研修会＋フィットテスト	5/22（月）～5/25（木）時間未定	演習室2・研修室3	看護職員
	褥瘡勉強会「オレゲラスの役割・褥瘡診療予防計画書の記入法」	5/23（火）16:30～18:30	演習室1	新スキケンアナース
	経験者語り合う会①	5/23（火）15:00～17:00	研修室1	新入看護職員（経験者）
	新人語り合う会①	5/25（木）・26（金）13:30～17:00	演習室1	新入看護職員（新卒者）
	看護事務・助手・介護士研修会①	5/29（月）・6/5（月）15:30～16:30	演習室1	看護事務・看護助手・介護士
	プリセプターシップ振り返りの会	6/1（木）・6/2（金）13:30～17:00	演習室1	プリセプター（レベルⅡ相当）
	I CM研修会	6/5（月）16:30～17:30	内ヶ島講堂	I CM
	新入看護職員研修会Ⅰ（呼吸管理・廃用症候群の予防ケア・DM基礎・褥瘡予防）	6/16（金）・6/19（月）・6/20（火）終日	演習室1	新入看護職員
6月	病院説明会	6/17（土）8:30～16:00	内ヶ島講堂	看護師
	看護記録効率化実践委員会①	6/12（月）16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員
	ナーシングリサーチカフェⅠ	6/19（月）17:00～17:30	研修室2	看護職員
	RST勉強会「酸素療法とデバイス」	6/19（月）17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	看護協会等総会報告会	6/22（木）13:00～17:00	ウイंक愛知	実践委員・看護職員
	防災備品説明会	6/23（金）15:00～16:00	内ヶ島講堂	防災係・業務担当係長
	摂食嚥下勉強会①	6/27（火）17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リクナース・看護職員
	リーダーシップ研修会	6/29（木）・6/30（金）終日	演習室1	レベルⅢ
	医療安全・感染対策研修会①	6/30（金）～7/7（金）	内ヶ島講堂	全職員
	トリアージの基本	7/5（水）17:30～18:30	研修室1	救急外来トリアージナース
7月	新入看護職員研修会Ⅱ（心電図Ⅰ・救命救急処置・新人語り合う会）	7/7（金）・7/10（月）・7/11（火）8:30～15:00	演習室1	新入看護職員
	新人語り合う会①	7/7（金）・7/10（月）・7/11（火）15:00～17:00	演習室1	新入看護職員（新卒者）
	病院見学会	7/8（土）8:30～16:00	内ヶ島講堂	看護師
	NSI勉強会②	7/10（月）17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	医療安全 ワークショップ	7/12（火）16:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	RST勉強会「人工呼吸器の基本」	7/13（水）17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	看護技術研修（口腔ケア）	7/19（水）・7/26（水）17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	院内看護研究発表会	7/24（月）18:00～19:00	内ヶ島講堂	看護職員
	日常生活援助技術指導者研修会	7/25（火）13:00～17:00	演習室1	レベルⅡ～Ⅲ
	赤十字救急法	7/26（水）・7/27（木）・7/28（金）終日	内ヶ島講堂	レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ
	意識向上実践委員会①	7/27（木）16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員
	ナーシングスキル活用実践委員会①	7/28（金）16:30～17:30	研修室3	実践委員
	防災訓練（東5・東6・東8・昭和0・西2・西3・化療C/放射線治療）	7/28（金）15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	会場	対象
8月	RSI勉強会「人工呼吸器の構造、グラフィックモニター」	8/7 (月) 17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	各看護単位BLS技術指導者講習会	8/8(火) 13:00～17:00	演習室1	レベルⅡ・ⅢかつICLS受講者・今年度受講予定者
	看護技術研修(導尿)	8/12(金)・8/23(火) 17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	症状アセスメントのコツ	8/16(水) 17:30～18:30	研修室1	救急外来トリアージナース
	ナーシングリサーチカフェⅠ	8/21(月) 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	臨地実習指導者研修会	8/21(月) 8:30～17:00	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	防災訓練(西7・西8A・西8B・西9A・西9B・NICU/GCU・OPE)	8/25(金) 15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	事例で学ぶ対象理解	8/26(土) 8:30～17:00	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
	家族看護研修会	8/29(火) 13:00～17:00	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	摂食嚥下勉強会②	8/31(木) 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リクナース・看護職員
	救護員養成研修(基礎研修)	8/21(月)・8/29(火)・8/30(水)	内ヶ島講堂	看護職員
	第1回 排尿ケア研修会	日未定 17:45～18:45	演習室2・研修室3	全職員
	緩和ケアチーム勉強会「もしハナゲーム」	日未定	未定	全職員
	RSI勉強会「人工呼吸器トラブルシューティング、呼吸音の聴取」	9/4(月) 17:30～18:30	内ヶ島	看護職員
	感染対策研修会Ⅱ「医療器具関連感染防止対策」	9/5(火)・9/26(火) 16:00～17:00	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
9月	小児トリアージ	9/6(水) 17:30～18:30	研修室1	救急外来トリアージナース
	2年目研修(痛みのケア・看取りの看護・症状観察・PPE技術・看護倫理Ⅱ)	9/8(金)・9/11(月)・9/12(火) 8:30～17:00	演習室1	2年目
	NST勉強会③	9/11(月) 17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	第1回 認知症の基礎講座	9/14(木) 17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	看護技術研修(摘便・浣腸)	9/15(木)・9/27(火) 17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	防災備品説明会	9/16(金) 15:00～16:00	内ヶ島講堂	防災係・業務担当係長
	心電図Ⅱ	9/20(火) 17:30～18:30	演習室1	看護職員
	経験者語り合う会②	9/22(金) 15:00～17:00	演習室1	新入看護職員(経験者)
	看護業務実践委員会	10/5(木) 16:30～17:30	研修室3	実践委員
	摂食嚥下勉強会③	10/10(火) 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リクナース・看護職員
	医療安全 ワークショップ	10/11(火) 16:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	看護技術研修(吸引:開放式・閉鎖式)	10/11(水)・10/18(水) 17:30～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	10/13(金) 13:00～17:00	内ヶ島講堂	未受講者
	病院見学会	10/14(土) 8:30～16:00	演習室1	看護師
10月	机上シミュレーション	10/16(月) 17:30～18:30	研修室1	救急外来トリアージナース
	ナーシング リサーチカフェ 「文献検索ワークショップ」	10/16(月) 16:30～17:30	研修室2	全看護職員
	RSI勉強会「人工呼吸器装着中の看護、VAP予防と口腔ケア」	10/17(火) 18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
	感染対策研修会Ⅲ「注意すべき病原体の感染防止対策」	10/17(火) 16:00～17:00	演習室1	レベルⅡ以上
	第2回 認知症の基礎講座	10/19(木) 17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	看護記録効率化実践委員会②	10/23(月) 16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員
	看護助手・介護士研修会②	10/26(月)・11/6(月)・11/16(木) 15:00～16:30	演習室1・2・研修室3	看護助手・介護士
	防災訓練(西10A・西10B・西11A・西11B・西12A・西12B・初療室)	10/27(金) 15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	事例検討会	10/30(月)・10/31(火) 8:30～17:00	演習室1	「令和5年度 事例で学ぶ対象理解」受講者

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	会場	対象
11月	医療安全・感染対策研修会②	11/2 (木) ～11/10 (金)	内ヶ島講堂	全職員
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	11/7 (火) 13:00～17:00	演習室1	未受講者
	看護技術研修 (死後処置)	11/8 (水)・29 (水) 17:15～18:30	演習室1・2・研修室3	看護職員
	NST勉強会④	11/13 (月) 17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	新人看護職員研修Ⅲ (静脈注射STEP3、4・認知症とせきふ症候群アセスメントと看護ケア・ 症状観察)	11/14 (火)・11/20 (月)・11/21 (火) 8:30～15:30	演習室1	新入看護職員
	新人語り合う会②	11/14 (火)・11/20 (月)・11/21 (火) 15:30～17:00	演習室1	新入看護職員 (新卒者)
	第3回 認知症の基礎講座	11/16 (木) 17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	ナーシングリサーチカフェⅡ	11/20 (月) 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	防災訓練 (救命A・救命B・ICU・HCU・MFICU・西6・パースセンター)	11/24 (金) 15:00～16:00	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	RST勉強会「呼吸リハビリ」	11/27 (月) 18:00～19:00	内ヶ島講堂	全職員
12月	実践シミュレーション	11/27 (月) 17:30～18:30	演習室1	救急外来トリアージナース
	摂食嚥下勉強会④	11/28 (火) 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	RST勉強会「NPPVとV6O」	12/5 (月) 17:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	看護技術研修 (気管挿管介助)	12/8 (金)・12/12 (火) 17:15～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	トリアージブラッシュアップ研修	12/14 (木) 17:30～18:30	演習室1	救急外来トリアージナース
	ナーシングリサーチカフェⅡ	12/18 (月) 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	NST勉強会⑤	1/15 (月) 17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	ナーシングリサーチカフェⅠ	1/15 (月) 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	摂食嚥下勉強会⑤	1/16 (火) 17:30～18:30	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	リーダーシップ実践報告会	1/22 (月) 10:00～17:00	演習室1	令和5年度リーダーシップ研修会受講者
1月	ナーシングスキル活用実践委員会②	1/26 (金) 16:30～17:30	研修室3	実践委員
	第2回 排尿ケア研修会	日未定 17:45～18:45	演習室2・研修室3	全職員
	後輩指導Ⅲ OJTリーダー養成研修会	2/9 (金) 8:30～17:00	演習室1	令和6年度 OJTリーダー予定者
	看護技術研修 (包帯法)	2/13 (火)・2/21 (水) 17:30～18:30	演習室2・研修室3	看護職員
	医療安全 ワークシヨップ	2/14 (水) 16:30～18:30	内ヶ島講堂	全職員
	赤十字救急法	2/16 (金)・2/19 (月)・2/20 (火) 終日	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ
	ナーシングリサーチカフェⅡ	2/19 (月) 17:00～17:30	研修室2	看護職員
	意識向上実践委員会②	2/22 (月) 16:30～17:30	演習室2・研修室3	実践委員会
	心電図Ⅲ	2/27 (火) 17:30～18:30	演習室1	看護職員
	後輩指導Ⅰ プリセプター研修会	3/4 (月)・3/5 (火) 13:30～17:00	演習室1	令和6年度 プリセプター予定者
3月	赤十字フォローアップ研修	3/7 (木) 8:30～17:00	内ヶ島講堂	レベルⅢ
	NST勉強会⑥	3/11 (月) 17:45～18:45	内ヶ島講堂	全職員
	後輩指導Ⅱ 新人指導者研修会	3/14 (木)・3/15 (金) 13:00～17:00	演習室1	令和6年度 新人指導者予定者
	看護部事前説明会	3回 日未定	演習室1	令和6年度 新入看護職員

(5) 令和5年度看護部委員会活動

教育企画委員会 活動評価

目的：看護職員の資質向上のための教育活動を企画・実施・評価する

目標：1. 『赤十字の看護師の看護実践能力《指標》』に沿って、レベルⅠ以上の教育計画を企画・実施・評価する

2. 新人・経験者段階別到達目標に沿った新人・経験者の教育体制を支援する

3. 新人・経験者の職場への適応状況を把握し支援する

実践結果：

開催月日	委員会 実践委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
4/5～4/11	新入看護職員採用時研修Ⅰ	R5 年度新入看護職員	99 名	肯定的評価：92% 全体の満足度：「満足」85% 研修期間：「ちょうどよい」86% 「短い」11% 「長い」2%
5/15	委員会	委員	7 名	看護部研修についての検討
5/8. 9	新入看護職員採用時研修Ⅱ	R5 度新入看護職員	98 名	新人は全員参加 経験者は経験、希望に合わせて参加とし全員参加
5/23	経験者語り合う会Ⅰ	新入看護職員（経験者）	4 名	満足度：「満足」100% 時間：「ちょうどよい」100% 時期：「ちょうどよい」75% 「遅い」25%
5/25. 26	新人語り合う会Ⅰ	新入看護職員（新人）	95 名	肯定的評価：93% 満足度：「満足」76% 「やや満足」24% 時間：「ちょうどよい」87% 「短い」12%
5/29. 6/5	看護事務・助手・介護士研修①	看護事務・助手・介護士	142 名	満足度：「大変満足」「やや満足」97% 「不満」3% 時間：「ちょうどよい」89% 「長い」11%
6/1. 2	フターシップ振り返りの会	令和5年度フター	79 名	肯定的評価：100% 満足度：「満足」91% 「やや満足」10% 時間：「ちょうどよい」99%
6/16. 19. 20	新入看護職員研修Ⅰ	R5 度新人看護職員	98 名	肯定的評価：97% 満足度：「満足」90% 「やや満足」8% 時間：「ちょうどよい」96%
6/29. 30	リーダーシップ研修会	リーダーレベルⅢ相当	24 名	肯定的評価：96% システム論：「理解できた」87% 満足度：「満足」75% 時間：「ちょうどよい」87%
7/5	トリアージの基本	救急トリアージナース	36 名	肯定的評価：97% 満足度：「満足」「やや満足」100% 時間：「ちょうどよい」97%
7/7. 10. 11	新入看護職員研修会Ⅱ	R5 度新入看護職員	97 名	肯定的評価：98% 満足度：「満足」91% 「やや満足」9% 時間：「ちょうどよい」97%
7/7. 10. 11	新人語り合う会Ⅱ	新入看護職員（新人）	95 名	満足度：「満足」82% 「やや満足」18% 時間：「ちょうどよい」95% 時期：「ちょうどよい」94%
7/19. 26	看護技術研修（口腔ケア）	全看護職員	32 名	技術の習得：「できた」50% 「大体できた」：50% 自分から参加：44% 時間：「ちょうどよい」100%
7/25	日常生活援助技術研修会Ⅱ	リーダーレベルⅡ～Ⅲ相当	23 名	肯定的評価：100% 満足度：「満足」96% 「やや満足」4% 時間：「ちょうどよい」100%
8/8	BLS 技術指導者講習会	リーダーレベルⅢ相当	30 名	肯定的評価：100% 指導評価方法：「理解できた」90% 時間：「ちょうどよい」93%

開催月日	委員会 実践委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
8/5. 14	看護技術研修 (導尿)	全看護職員	39名	技術の習得:「できた」72% 「大体できた」23% 自分から参加:23% 時間:「ちょうどよい」97%
8/16	症状アセスメント のコツ	救急トリアージナース	40名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」「やや満足」 100% 時間:「ちょうどよい」90%
8/21	臨地実習指導者研修会	ラダーレベル Ⅲ相当	21名	肯定的評価:95% 講義:「理解できた」95% 満足度:「満足」90% 時間:「ちょうどよい」 90%
8/26	事例で学ぶ 対象理解	ラダーレベル Ⅱ相当	55名	肯定的評価:100% 講義:「理解できた」98% 演習:「役に立った」77% 時間:「ちょうどよい」 90%
8/29	家族看護研修	ラダーレベル Ⅲ相当	23名	肯定的評価:96% 講義:「理解できた」91% 満足度:「満足」87% 時間:「ちょうどよい」 91%
9/6	小児トリアージ	救急トリアージナース	38名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」「やや満足」 100% 時間:「ちょうどよい」92%
9/8. 11. 12	2年目研修	2年目	75名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」92%「やや満足」 8% 時間:「ちょうどよい」100%
9/5. 26	感染対策Ⅱ	ラダーレベル Ⅱ相当	67名	肯定的評価:97% 満足度:「満足」81%「やや満足」 19% 時間:「ちょうどよい」97%
9/20. 29	看護技術研修 (摘便・浣腸)	全看護職員	50名	技術の習得:「できた」70% 「大体できた」20% 自分から参加:40% 時間:「ちょうどよい」 100%
9/19. 28	心電図Ⅱ	全看護職員	70名	肯定的評価:97% 満足度:「満足」66% 「やや満足」 33% 自分から参加:34% 時間:「ちょうどよい」94%
9/22	経験者語り 合う会Ⅱ	新入看護職員(経験者)	2名	満足度:「満足」100% 時期:「ちょうどよい」 100% 時間:「ちょうどよい」100%
10/11. 18	看護技術研修 (吸引)	全看護職員	55名	技術の習得:「できた」56% 「大体できた」35% 自分から参加:31% 時間:「ちょうどよい」85%
10/16	机上シミュレーション	救急トリアージナース	39名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」「やや満足」 100% 時間:「ちょうどよい」88% 「短い」7%
10/17	感染対策Ⅲ	ラダーレベル Ⅲ	33名	肯定的評価:97% 時間:「ちょうどよい」97% 内容:「理解できた」64% 「やや理解できた」 30%
10/30. 31	事例検討会	「事例で学ぶ対象理解」受講者	54名	肯定的評価:96% 満足度:「満足」78% 「やや満足」 20% 研修時間:「ちょうどよい」: 91%
10/26. 11/6	看護助手・介護士研修②	看護助手・介護士	114名	肯定的評価:100% 時間「ちょうどよい」: 95% 内容:「理解できた」99% 「やや理解できた」 1%
11/6	委員会	委員	7名	中間報告・評価 次年度の研修計画について 検討

開催月日	委員会 実践委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
11/8. 29	看護技術研修 (死後処置)	全看護職員	64名	技術の習得:「できた」46% 「大体できた」48% 自分から参加:48% 時間:「ちょうどよい」100%
11/14. 20. 21	新入看護職員研修会Ⅲ	新入看護職員	101名	肯定的評価:98% 満足度:「満足」「やや満足」100% 時間:「ちょうどよい」93%
11/14. 20. 21	新人語り合う会Ⅲ	新入看護職員(新人)	92名	「看護を語る」を主にグループワークを実施、互いの看護体験を共有することでリフレッシュの機会となった
11/27	実践シミュレーション	救急トリアージナース	41名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」「やや満足」100% 時間:「ちょうどよい」85% 「長い」12%
12/4	委員会	委員	7名	R6年度新入看護職員採用時研修について検討
12/8. 12	看護技術研修 (挿管管理)	全看護職員	61名	技術の習得:「できた」52% 「大体できた」43% 自分から参加:39% 時間:「ちょうどよい」97%
12/14	トリアージ・プラッシュアップ研修	救急トリアージナース	33名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」94% 時間:「ちょうどよい」100%
R6. 1/15	委員会	委員	7名	R6年度新入看護職員採用時研修について検討
R6. 1/22	リーダーシップ研修実践報告会	リーダーシップ研修会受講者	21名	肯定的評価:96% 満足度:「満足」100% 時間:「丁度よい」92% 講義:「理解できた」50% 「やや理解できた」10% 「難しい」1%
R6. 2/9	OJT リーダー養成研修会	R6年度OJTリーダーの役割を担う者(リーダーレベルⅢ)	30名	肯定的評価:93% 満足度:「満足」93% 「やや満足」7% 時間:「ちょうどよい」73% 「長い」23%
R6. 2/13. 21	看護技術研修 (包帯法)	全看護職員	64名	技術の習得:「できた」89% 「大体できた」11% 自分から参加:43% 時間:「ちょうどよい」97%
R6. 2/27	心電図Ⅲ	全看護職員	29名	肯定的評価:97% 満足度:「満足」86% 「やや満足」14% 自分から参加:24% 時間:「ちょうどよい」83%
R6. 3/4. 5	フリエーター研修会	R6年度フリエーターの役割を担う者(リーダーレベルⅡ)	65名	肯定的評価:100% 満足度:「満足」94% 教育体制の理解:「できた」98% 段階別到達目標の理解:「できた」95% 時間:「ちょうどよい」95%
R6. 3/14. 15	新人指導者研修会	R6年度新人指導者の役割を担う者(リーダーレベルⅡ)	67名	肯定的評価:99% 満足度:「満足」90% 教育体制の理解:「できた」94% 時間:「ちょうどよい」97%

全体評価

目標 1 :

- ・集合教育での学びを実践で活かせるよう、研修は講義で知識学習した後、演習またはグループワークで具体化するという研修構成で実施した。殆どの研修で 95%以上の肯定的評価を得た。
- ・ラダーレベルⅢを取得したスタッフの後輩への教育的関わりを高めるために、技術研修での指導者を担わせ、部署以外の後輩に対しても指導的な役割を担うことでキャリアアップへの支援をした。技術研修の参加者は延べ 368 名で指導者は増員するも、参加者数に対し研修に適したシミュレーターは不足している。
- ・ラダーⅡまでの対象研修では、レベルⅠ評価表項目と研修内容を関連づけて参加者に伝え、参加者のレベルⅠ評価表の達成意識を高めた。今後も継続する。
- ・2 年目研修で行っていたグローバルヘルス基礎（概論）研修は、2023. 9. 1 より各論も加え E ラーニング及び You Tube で配信し全看護職員対象とした。12 月現在、E-ラーニングの閲覧は約 1 割だった。視聴についてのアナウンスを継続する。
- ・2 年目看護師の看護実践能力向上および就業継続に向けての各部署の教育計画立案に取り組んだ。

目標 2 :

- ・新人・経験者の適応状況や進捗状況は集合教育での情報収集が主であり、集合教育の場だけでは新人の適応状況を把握し支援することに限界はあるが、看護師長、各看護単位の教育担当者と情報交換を密にして、できる限り新人個人への支援を配慮できるようにする。
- ・プリセプター評価表からは、概ね新人にポジティブフィードバックや職場に慣れるための行動ができたこと、プリセプターシップ期間終了後も新人支援を継続するなどの評価が得られた。新人指導者は研修後の支援は看護単位に任せているが、11 月の教育担当係長会議で「働き方を学ぶ」段階の支援について指導者支援を共有し実施の推進をした。

目標 3 :

- ・新人のリアリティショック防止として 5 月に「語り合う会」を開催、リアリティショックについての講義のあと、グループワークでリアリティショックを乗り越えるために自分達でできることを話し合う機会をつくり適応を促した。
- ・令和 5 年度入職した新人看護師の離職率は 3. 1%（昨年 2. 4%）、2 年目看護師の在職率は 86%で昨年度とほぼ同じ推移であった。

次年度の課題

- ・看護技術研修は参加者人数やニーズに合わせて、時期や回数について見直しする
- ・Off-JT を OJT へ繋げるための仕組みを検討する
- ・新人看護師の職場適応に向けて、語り合う会や新人研修の充実を図る
- ・OJT での指導支援体制について、教育担当者を通して指導状況を把握し支援を検討する

看護研究委員会 活動評価

目的：看護職員の質向上の為に看護研究に関する活動を推進する

目標：臨床における看護研究の視点を明確にし、看護研究活動を推進、支援できる

実践結果

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加 人数	結果
4月17日	委員会 ナースリサーチ Ⅰ	委員 全看護職員	4名 1名	今年度目標、活動計画を検討、看護研究発表会の準備、ナースリサーチ(以下 NRC)準備を行った。臨時で NRC を実施。西 7 看護師より「骨髄移植を受ける思春期男児への妊孕性温存に関する支援」研究の発表内容と思春期患児への説明書、同意書の作成について相談があり検討した。
5月15日	委員会 ナースリサーチ Ⅰ	委員 全看護職員	3名 なし	看護研究発表会の当日の役割、アンケートの検討をした。
6月19日	委員会 ナースリサーチ Ⅰ	委員 全看護職員	3名 1名	看護研究発表会の進捗状況の確認、当日の役割について検討した。 NRC では、患者相談支援センターより他大学教員からの協力依頼があった「呼吸困難感を抱える外来肺がん患者・介護者の体験とニーズに関する研究」協力に対する当院での倫理審査申請に向けて情報提供を行った。
7月24日	看護研究発表会	全看護職員	71名	健康管理センターと中央手術室の看護師が研究発表を行った。71名と例年同様の参加人数であった。参加者の 78%がラダーレベル 1 またはレベル 2 であった。「臨床における看護研究の視点を明確にし、一連の看護研究活動に取り組むことができる」ことをねらいとした。アンケート結果では、94%が「大満足」もしくは「やや満足」であった。研究的視点をもつことの理解については、98%が「大変理解できた」「理解できた」と答えた 78%の人が研究に対して関心、意欲をもったと回答していた。日頃の看護において研究的視点を持つことが看護の質の向上につながることを理解し、日頃の看護の対する視点を広げることができた。
8月21日	委員会 ナースリサーチ Ⅰ	委員 全看護職員	4名 5名	看護研究発表会の評価、文献検索ワークショップの検討を行った。 NRC は、西 6A 病棟より、妊娠中からの夫の関わり方によって、夫・妻ともに出産・育児に対する満足度の差があるのではないかと、という臨床疑問について研究をすすめていきたいと相談があり検討した。MFICU より「硬膜外麻酔分娩希望の初産婦における妊娠期からの健康行動への意識付けによる分娩所要時間、分娩方法、満足度の変化」の研究内容、方法について検討した。
10月16日	文献検索ワークショップ	全看護職員	5名	文献検索の目的、方法については 100%が理解した。満足度も全員が「大変満足」、活用度も全員が「大いに役立ってる」と回答した。アンケートの自由記載では、研究やレポート作成に役立っていると回答していた。
11月20日	委員会 ナースリサーチ Ⅱ	委員 全看護職員	3名 1名	文献検索ワークショップの評価、次年度の活動計画案を立案した。また、今年度の学術奨励賞の候補者を選定した。

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加 人数	結果
				NRC は、救命 A より 1 名。学修成果レポート「集中治療室における早期リハビリテーションについて看護師の役割」の論述内容、方法を検討した。
12 月 18 日	委員会 ナースリサーチ フェ II	委員 全看護職員	4 名 3 名	年度末評価、次年度活動計画立について検討した。NRC II では西 12B 病棟より 3 名。「乳腺外科強化チーム立ち上げと多職種連携への取り組み」「術後出血を早期に発見し見逃さないための取り組み」の学会発表について検討した。
1 月 15 日	委員会 ナースリサーチ フェ I	委員 全看護職員	4 名 2~3 名	次年度活動計画立案について検討した。NRC I では、西 12B 病棟より 3 名。抄録作成、演題登録、発表までの準備について、学会発表への支援を行った。初療室より 1 名。フィルムドレッシングを用いた小児点滴固定方法の導入について研究の意義を検討した。
2 月 19 日	委員会 ナースリサーチ フェ II	委員 全看護職員	2 名 1 名	次年度活動目標、計画について検討した。NRC では、西 12B 病棟の取り組みにおけるスタッフへのアンケート調査について検討した。
3 月 18 日	委員会	委員	3 名	次年度委員会計画、令和 6 年度院内看護研究発表会について検討した。NRC 開催なかったが、委員により個別で西 12B のアンケート調査、中央手術室のデータコーディング、救命 A のレポート作成について助言した。

全体評価

目標：臨床における看護研究の視点を明確にし、看護研究活動を推進、支援できる 看護師のキャリア開発ラダーの「研究的視点を持ち看護上の課題に取り組むこと」を支援するため看護研究発表会、文献検索ワークショップ、NRC を行った。 ・看護研究発表会では、2 題の発表を行い、その中で研究的視点を持ち看護上の課題に取り組むのに必要なことについても発表も行った。参加者の満足度、理解度も高く、発表者からのプレゼンテーションで、日常の業務の中での疑問が、研究につながり、その結果を業務にいかすことで看護の質の向上やスタッフの行動変容につながるといことがわかったとの意見が多かった。78%の人が研究に対して関心、意欲をもったと回答していた。日頃の看護において研究的視点を持つことが看護の質の向上につながることを理解し、日頃の看護の対する視点を広げることができたと考える。 ・文献検索ワークショップでは、自分が調べたい文献についてキーワードを事前に考えてもらい講義、演習を行った。実際に文献検索ツールを用いて検索を行うため、理解度、満足度、活用度が高かった。日々の看護ケアや疑問、業務改善等にも文献検索を利用できるという目標は達成した。 ・NRC では、4 月～12 月に 8 件実施。研究内容、方法、倫理的配慮、臨床研究審査委員会提出書類、レポートの記載等、多岐にわたる相談に応じた。月 1 回の固定の相談日以外でも相談に応じた。 以上の活動を通して、研究的な視点を明確にし、それぞれのニーズに応じた支援を行い目標は達成したと考える。今後は、研究に興味、関心をもった看護職員が「研究の視点を」明確にし、研究を行えるよう支援を行っていく。

次年度の課題

1. 研究的視点を持ち看護上の問題に取り組めるよう、ナースリサーチフェ、文献検索ワークショップ、看護研究発表会など一連の看護研究活動の支援を継続する。 2. 必要な時に研究の相談に応じられるような体制をつくる。 3. 院外の学会、研究会への参加も促していく。

令和5年度 ラダー認定委員会 活動評価

目的：キャリア開発ラダー認定の監査・実施・評価に関する審議を行う

目標：1. 「赤十字医療施設のキャリア開発ラダー」改定後の申請を支援し、認定者が全看護職員の67%以上（2023年度末）を占めるよう推進する

2. 経験のある看護師でラダーⅡ未取得者への支援をしていく

3. 同僚評価会の質向上に向けての支援をする

実践結果：

開催月日	委員会 実践委員会 研修会等	対象	参加人数	内容
4月20日	委員会	委員	7名	今年度目標管理 活動計画について 申請書類の確認・監査
5月18日	委員会	委員	6名	① ラダー申請予定者について確認する ② 申請書類の確認・監査
6月15日	委員会	委員	8名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
7月20日	委員会	委員	7名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
8月17日	委員会	委員	8名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
9月21日	委員会	委員	6名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討 中間評価
10月19日	委員会	委員	7名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
11月16日	委員会	委員	8名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
12月21日	委員会	委員	8名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討 年度末評価
1月18日	委員会	委員	6名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
2月15日	委員会	委員	8名	① 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ② ラダー申請における課題について検討
3月21日	委員会	委員	8名	② 申請状況の把握及び申請書類の確認・監査 ③ ラダー申請における課題について検討

全体評価

目標 1 :

- ・令和 5 年度の実践者ラダー認定者数は 115 名であった。
- ・実践者ラダー認定者数は延べ 672 名（Ⅰ：313 名 Ⅱ：214 名 Ⅲ：145 Ⅳ：Ⅰ名）で全看護職員（994 名）における割合は 67.6%で目標値を達成した。実践者ラダー対象の看護職員（看護管理者、新人看護師、パート・再雇用看護師除外）778 名での割合は 86.3%となる結果だった
- ・評価会予定の延期また中止が相次いだ。感染症による申請者または同僚評価者の欠席や勤務調整・書類の準備不足による延期や中止、研修の未受講による中止等が要因として挙げられる。余裕をもって申請予定が計画できるよう支援していく。

目標 2 :

- ・経験者のあるラダー未取得の申請相談は 1 名で、ラダーⅡを取得した。

目標 3 :

- ・ラダーレベルⅡ・Ⅲにおいては事例や総括より評価会が適正に行われるよう、必要時には司会者に確認して書類の再提出を依頼するなど評価の質の維持に努めた。特にレベルⅢの実践者評価においては、司会者を含めた申請者・同僚評価者の指標解釈にバラツキが見られるため、評価会前に根拠や目標を明確にしていく支援が必要である。

次年度の課題

- ・各部署のラダー申請取得状況を可視化し、計画的にラダー取得ができるよう支援する
- ・ラダーレベルⅡ、Ⅲの指標評価についての理解を深められるように取り組む
- ・経験のある看護師でラダー未取得者の把握をもとにラダー取得の支援方法を検討する

令和5年度 ナーシングスキル活用委員会 活動評価

目的：1. 看護基準・手順の整備をおこなう

2. ナーシングスキルの活用について周知する

目標：1-1) ナーシングスキルと看護基準手順の整合性をはかる

2) 基準手順ファイルの見直しと修正の実施

3) ナーシングスキル「ノート（当院の部分）」を改定・更新

2-1) ナーシングスキルのアクセス数が伸びるよう支援する

活動計画：

開催月日	委員会 実践委員会	対象	予定参加 人数	内容
4月28日	委員会	委員	10名	・2023年度委員会目的・目標および年間活動計画の共有 ・今年度の実施内容の共有
5月26日	委員会	委員	7名	・基準手順Ⅰ修正項目および目次の検討 ・2022年度の課題よりデータの確認・修正の検討 ・基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 ・担当グループ決定（基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱおよび検査処置）
6月23日	委員会	委員	10名	・7月実践委員会の内容検討 ・基準手順Ⅰ修正項目および目次の検討 ・基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正
7月28日	委員会 実践委員会	委員 実践委員	8名 26名	・基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 「実践委員会」 ・今年度の活動計画を実践委員と共有 ・ナーシングスキルの活用の周知（使用方法、注意事項の説明）
8月25日	委員会	委員	9名	・基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 ・ナーシングスキル「ノート（当院の部分）」調整（旧入力部分削除） ・エルゼビア・ジャパン担当者と打合せ（8/22）
9月22日	委員会	委員	5名	・基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 ・ナーシングスキル「ノート（当院の部分）」削除 ・ファイルとナーシングスキルの活用についての検討
10月27日	委員会	委員	7名	・基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 ・ファイルのあり方についての検討
11月24日	委員会	委員	8名	・基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 ・2024年1月ガルーン移行予定についての検討 ・1月実践委員会の内容検討
12月22日	委員会	委員	9名	・基準手順Ⅰ、基準手順Ⅱ、検査処置ファイルの見直し・修正 ・ファイル更新・印刷 ・1月実践委員会の内容検討
1月26日	委員会 実践委員会	委員 実践委員	10名 28名	・基準手順Ⅰ、検査処置ファイルの見直し・修正 「実践委員会」 ・基準手順Ⅱファイル撤収について ・ナーシングスキルの活用状況について

開催月日	委員会 実践委員会	対象	予定参加 人数	内容
3 月 22 日	委員会	委員	9 名	・今年度の課題、次年度目標、活動計画 ・新入看護職員採用時研修会内容検討

臨時会議：6 月～3 月

全体評価

目標 1 ・ナースングスキルと基準手順ファイルⅠの整合性を図り、整備したのち 52 項目はナースングスキルへ移行した。移行にあたって、スタッフが混乱することのないように 3 段階に分けて周知する予定としている。 基準手順ファイルⅡ、検査処置ファイルは手順内の単語や表現の不適切部分の見直し・修正を行った。 ・ナースングスキル「ノート（当院の部分）」は検討した結果、全て削除した。 目標 2 ・7 月実践委員会でナースングスキルの活用について周知した。ナースングスキルの手技のアクセス数は 4 月～11 月の期間で令和 4 年度 7436 件、令和 5 年度 6266 件と減少した。動画講義のアクセス数は令和 4 年 383 件、令和 5 年 1519 件となっており、4 倍増の利用であった。新入オリエンテーション、実践委員会後にアクセス数が増加する傾向がある。 ・ガルーンへ移行し活用できるように作業中である。

次年度の課題

・活用しやすい基準・手順に向けて整備を行う。更新の予定はなし。 ・ナースングスキルのアクセス数が伸びるよう活動する。 ※定例委員会：第 4 金曜日 研修室 3 ※実践委員会：7 月および 1 月第 4 金曜日 16:30～17:30 研修室 3・演習室 2

令和５年度 業務委員会 活動評価

目的：看護業務の標準化と改善

- 目標： 1. なかむら日赤看護方式の導入と定着に向けて実践委員を支援する
 2. 看護職員に看護必要度の内容を周知し、評価基準の正しい理解を促す
 3. 看護業務管理ノートの修正・見直しを実施する
 （看護用具の整備・点検表、看護助手業務）
 4. 看護補助者との更なる協働を推進する

活動計画：

（ ）内の数字は目標の番号

開催月日	委員会 実践委員会 研修会等	対象	参加人数	内容
4月5日	委員会 新入看護職員 採用時研修会	新入看護 職員	6名 88名＋ 3名	新人オリエンテーション （看護業務・看護必要度）
4月6日	委員会	委員	4名	年間計画、新人オリエンテーション振り返り 必要度研修の内容決定 第1回実践委員会開催要項作成
5月11日	委員会 実践委員会	委員	6名	第1回実践委員会 必要度研修準備 業務管理ノート見直し①（仕様書差し替え） 患者ボード検討（1・2・3）
6月1日	委員会	委員	5名 29名	第1回実践委員会開催（1・2・4） （必要度研修・部署内での研修実施の働きかけ）
7月6日	委員会	委員	5名	業務管理ノート見直し②（3・4） （看護補助者閲覧用業務ファイル作成の検討） 「看護補助者との更なる協働」eラーニング方法検討
8月3日	委員会	委員	5名	業務管理ノート見直し③（1・2・3）
9月7日	委員会	委員	5名	業務管理ノート見直し④ 患者ボード検討 「看護補助者との更なる協働」eラーニング開始（1・3・4）
10月5日	委員会 実践委員会	委員	5名 29名	業務管理ノート見直し⑤ 患者ボード検討 （1・2） 第2回実践委員会 （各看護単位の実践状況の共有と課題確認・標準化支援）
11月2日	委員会	委員	5名	業務管理ノート見直し⑥ 実践委員会の振り返り・標準化に向けた提案事項検討 必要度研修評価（1・2・3・4）
12月7日	委員会	委員	4名	委員会年度末評価（1・2・3・4）
1月4日	委員会	委員	6名	患者ボード検討（1・3・4） 次年度に向けて業務管理ノート差し換え準備
2月1日	委員会	委員	6名	患者ボード検討（1） 新入看護職員採用時研修会準備
3月7日	委員会	委員	6名	患者ボード検討（1） 新入看護職員採用時研修会準備 （看護用具点検表確認） 次年度委員会目標

活動評価

全体評価

1. なかむら日赤看護方式の導入と定着に向けて実践委員を支援する

業務実践委員会を2回開催した。初回は、なかむら日赤看護ケア提供方式について説明した。2回目は、各部署での進捗状況を全体で共有し、定着に向けた動機づけを行うことができた。

2. 看護職員に看護必要度の内容を周知し、評価基準の正しい理解を促す

初回の業務実践委員会で、昨年度からの看護必要度の評価基準の変更点を説明し、各部署で実践委員が中心となり看護必要度の評価が正しく行えるよう研修を実施した。2回実施した研修では、10項目のテストのうち、1回目を上回り80%を超えた正解率となった項目は6項目。3項目は80%を超えなかったが、1回目よりは正解率は高くなった。しかし、1項目は1回目も2回目も80%を超えなかった。今年度も、研修を繰り返すことで正しい評価基準の理解が高まったと評価できた。ただし、看護必要度の評価は、100%の正確性が求められる。次年度も看護必要度の研修は継続し、スタッフ全体で正確な判断ができるようにする必要がある。

3. 看護業務管理ノートの修正・見直しを実施する

(看護用具の整備・点検表、看護助手業務、患者ボード)

- ・2023年度の看護用具の備品・点検表について、コロナ用物品を含めて内容を更新できた。
- ・2023年度の看護助手、介護士、保育士の仕様書にある業務内容を確認し、ファイルを差し替えることができた。
- ・看護補助者業務マニュアルの整備については現在も検討中である。
昨年度作成した「ベッドメイキング」「食事介助」「ポータブルトイレ介助」「床上排泄の介助」「移送の介助」「紙おむつ交換」「清拭」「手浴・足浴」「部分浴・陰部洗浄」「洗髪」「寝衣交換」「整容・髭剃・結髪」「移乗の介助」「義歯手入れ・取り扱い」「体位変換・ポジショニング」の手順を挿入し、年度内あるいは次年度初めにはわかりやすいようなファイルにできるようにする予定である。看護補助者の実施記録を残す方法についても決定し、マニュアルに挿入できるよう取り組む。
- ・看護業務管理ノート内で管理する内容を看護基準手順ファイルの内容から確認して順次検討する必要があることがわかった。まずは「巡視手順」を標準2交替勤務に合わせて変更した。
- ・患者ボードの更新を検討したが、物品確保困難だったこともあり、更新に至らなかった。劣化が著しい部署もあるため、再度検討しわかりやすいボードへの更新を目指したい。

4. 看護補助者との更なる協働を推進する

- ・昨年度同様にeラーニングを実施し、全看護師が研修を受けられるようにした。12月末を期限とし、休職者等含む全看護師・助産師997名の内、920名(92.2%)の実施率である。年度内に、休職者以外の看護師・助産師の研修実施率が100%とすることができた。次年度は診療報酬上の基準に則り、看護補助者との更なる協働に向けた研修を計画する。
- ・看護補助者による依頼業務の実施記録について、今年度は他施設での実施状況の情報収集を行った。看護補助者の実施確認を記録に残している施設、まだ着手していない施設とあった。当院としては、患者1名に対しケア予定を印刷し、その用紙に実施した看護補助者が押印、1日分をDARTSスキャンで記録に残す方法が妥当と考えられた。現在システムの変更を打診中である。システムの変更が可能となれば、具体的な実施、運用手順を整備し、全体周知につなげていくことができると考える。

5. その他

- ・血液製剤専用バックの運用方法を検討し決定、周知することができた。
- ・「せん妄ハイリスク患者ケア加算 リスク因子」の処置オーダー入力を実践できるよう、表示方法の変更案を検討した。現在、看護支援システムへ変更を依頼し調整中である。

次年度の課題

- ・2024年度病院機能評価に向けて、標準二交替における「標準看護業務内容」の完成。
- ・なかむら日赤看護ケア提供方式の定着に向けて、各部署作成の業務内容がマニュアルに綴じられ全看護単位が同様に整えられているかの確認。
- ・患者ボード・PHS割当表の更新。
- ・看護必要度は次年度も研修を継続し、スタッフ全体での評価精度を高める。

令和５年度 看護記録効率化委員会 活動評価

目的：看護記録の質を向上する
看護記録の効率化を図る

目標：①看護記録記載基準の見直し（看護記録の標準化 診療報酬上必要な記録の明確化）
②クリニカルパス作成と見直しの推進 →新規作成件数 見直し件数 適応率 68 %
③病棟再編性に伴う記録の変更、見直し（ケアセット、テンプレート）→件数
④オーディットの推進 →全部署 10 件以上
⑤略語集の選定と購入

実践結果

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加 人数	結果
4 月 6 日	新入職員オリエン テーション	新人	99 名	・新入職員オリエンテーション 「看護記録とは」
4 月 10 日	委員会	委員	8 名	・新入オリエンテーション評価 ・年間活動計画と担当決定
5 月 8 日	委員会	委員	8 名	・第 1 回実践委員会準備 ・①～⑤
6 月 12 日	委員会	委員	8 名	・①～⑤
6 月 12 日	実践委員会	実践委員	29 名	・第 1 回実践委員会 実践委員の役割について 取組み課題決定 オーディット件数
7 月 10 日	委員会	委員	8 名	・①～⑤
8 月 14 日	委員会	委員	8 名	・①～⑤
9 月 11 日	委員会	委員	8 名	・第 2 回実践委員会準備・①～⑤
10 月 23 日	委員会	委員	8 名	・①～⑤
10 月 23 日	実践委員会	実践委員	28 名	・第 2 回実践委員会 取組み課題中間評価 オーディット件数 アウトカム評価実施率 ・①～⑤
11 月 13 日	委員会	委員	8 名	・①～⑤
12 月 11 日	委員会	委員	8 名	・年度末評価・①～⑤
1 月 15 日	委員会	委員	8 名	・①～② ・看護サマリー監査
2 月 19 日	委員会	委員	8 名	・①～② ・新入オリエンテーション ・機能評価資料確認
3 月 11 日	委員会	委員	8 名	・①～② ・来年度活動計画 ・看護サマリー監査

全体評価

- ①看護記録記載基準の見直し
看護記録記載基準を見直しが出来、今年度中に配布予定
・特殊部門の部門システムにおける記載基準については、まだ未着手である。
- ②クリニカルパス作成と見直しの推進
新規作成件数 3 件 パス修正件数 36 件 患者用新規作成件数 8 件 患者用パス修正 21 件
適応率 4 月～9 月 60.7% 10～11 月を 60.6%
・目標の適応率に達成しなかった要因として、新規作成件数が少ないことがあり、特にパスのない
内科系に働きかける必要がある。
・クリニカルパス作成にとりかかりやすいように、作成の業務フローを検討中

- ③病棟再編に伴う記録の変更、見直し（ケアセット、テンプレート）
ケア予定ケアセット作成 6 件 テンプレート・拡張コメント作成 21 件
・実践委員の取り組み課題にあげており、作成がすすんだ。しかし、現時点ではまだ周知や修正に留まっており、効率化や標準化につながったかの評価には至っていない。
- ④オーディットの推進
オーディット件数は平均 20.8 件/月
・病棟・部署により差が大きく全部署 10 件/月は達成できなかった。今まで実施してこなかった部署が新たにオーディットを実施できるようになったことは評価できる。
- ⑤略語集の選定と購入
選定することができなかった。
- ⑥その他（追加）
・クリニカルパスアウトカム評価実施率を実践委員にて2回集計した。第1回57.8% 第2回67.1%
実施することを知らない部署があることや、実施率が低い現状が明らかになった
・看護サマリーを2週間以内に記載できていない現状があり、2週間以内に作成するために各部署で対策を検討依頼

次年度の課題

- ①看護記載基準 特殊部門の見直しをする。
- ②クリニカルパス適応率増加のため、新規作成件数を増やす。
クリニカルパス作成の業務フローを策定、周知する。
- ③アウトカム評価を実施し、パスを適切に運用する。
- ④オーディット件数 全部署 10 件以上を目指し、記録の質と標準化を図る。

令和5年度 リスクマネジメント委員会 活動評価

目的：医療事故の予防に努め、安全な組織をつくる

目標：１．実践委員（看護単位リスクマネージャー）を支援し、医療安全教育を推進する

①各看護単位の医療事故、IA レポートを分析し傾向を把握する

②繰り返されるインシデントに対する対応策を考え実行できるよう導く

２．実際の事例に基づいたリスクマネジメントニュースを発行し、事故防止を啓蒙する

実践結果

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加人 数	結果
4月7日	新人看護職員 採用時研修会	新入看護職員 委員	99名 7名	安全確保の技術；転倒転落 点滴・内服確認方法 安全確保；講義と実演で説明
4月13日	委員会	委員	8名	新入オリエンテーションの振り返り 委員会目的・目標、年間活動計画の検討
5月11日	委員会	委員	8名	リスクマネージャー会説明内容検討 （IA レポート分析方法を含む） 転倒・転落予防スクリーニングと転倒後の記録の 課題について検討
6月8日	委員会	委員	8名	リスクマネージャー会の進行確認 転倒転落予防スクリーニング内容の検討
6月14日	第1回 リスクマネージャー会 委員会	リスクマネージャー 委員	30名 8名	看護単位での活動内容共有 リスクマネージャー活動支援、対応策確認
7月13日	委員会	委員	7名	看護単位 IA レポート分析状況の確認 転倒・転落防止対策の現状評価 リスクマネージャーの取り組みのグループ分け
8月10日	委員会	委員	8名	看護単位 IA レポート分析状況の確認 リスクマネージャー活動支援、対応策確認 転倒・転落予防スクリーニングと転倒後の記録の 課題について検討
9月13日	第2回 リスクマネージャー会 委員会	リスクマネージャー 委員	30名 8名	看護単位の繰り返されるインシデントの現状と対 策の共有
9月14日	委員会	委員	6名	第3回リスクマネージャー会の進行について リスクマネージャー活動支援、対応策確認 転倒・転落予防スクリーニングと転倒後の記録の 課題について検討
10月12日	委員会	委員	7名	転倒転落防止対策の実施状況の把握について 転倒・転落予防スクリーニングと転倒後の記録の 課題について検討 リスクマネジメントニュースの内容検討 第3回リスクマネージャー会の進行確認
11月9日	委員会	委員	7名	リスクマネジメントニュースの内容最終確認 第3回リスクマネージャー会の進行確認 次年度新入オリエンテーション動画案検討
12月14日	委員会	委員	8名	活動計画の年度末評価について 転倒・転落予防スクリーニングと転倒後の記録の 新規作成案
1月11日	委員会	委員		次年度新入オリエンテーション内容検討、動画撮 影編集
2月8日	委員会	委員		次年度新入オリエンテーション内容確認

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加人 数	結果
2月13日	第3回 リスクマネージャー 委員会	リスクマネ ージャー 委員		看護単位の繰り返されるインシデントへの取り組み発表
3月7日	委員会	委員		次年度新人オリエンテーション準備 次年度活動計画立案

全体評価

1. 実践委員（看護単位リスクマネージャー）を支援し、医療安全教育を推進する

1) 各看護単位の医療事故、IA レポートを分析し傾向を把握する

昨年度の IA レポート結果から繰り返されるインシデントの現状を分析した。内服に関すること 11 看護単位、転倒転落に関すること 8 看護単位、ルートトラブルに関すること 5 看護単位、注射薬に関すること 6 看護単位であった。

2) 繰り返されるインシデントに対する対応策を考え実行できるよう導く

インシデントの内容毎に、内服 2 グループ、転倒転落 2 グループ、ルートトラブル 1 グループ、注射薬 1 グループ計 6 グループとし、グループ毎に担当委員会メンバーが支援を行った。3 回の実践員会を予定し、第 1 回では繰り返されるインシデントの分析方法について説明し、第 2 回では取り組み内容についてグループ内で共有し見直しをすることができた。内服については、1 月から電子カルテ更新に伴い処方箋からスマートデバイスを使用した内服薬確認方法となったが、マニュアルが整備されていない中での取り組みとなったため配慮を要した。毎月メールにて担当の委員会メンバーが進捗を確認し、スタッフの協力を得ながら取り組んでいる状況を確認できた。第 3 回のリスクマネージャー会で取り組みの結果をグループ毎で共有した。アンケート結果（n30 名）から、繰り返されるインシデントに対する取り組みに対して分析・計画・実施した自身の満足度は 85% で、委員会担当メンバーのサポートと病棟係長のサポートを受けていた。特に委員会メンバーのサポートに対する満足度は満足 67%、やや満足 17% で困った時の相談や、定期的なサポートが満足度へつながったと考える。病棟係長には、分析や対策、スタッフへの働きかけ、結果のまとめ、発表資料の作成まで広範囲にわたるサポートを受けていることがわかった。また、同じ問題で取り組みを共有する中で、他部署の分析や対策までの過程が参考になった等の意見が聞かれた。同じテーマでのグループ分け、サポートする委員会担当者を固定したことが満足度に影響していると考えた。

来年度の病院機能評価に向けて「転倒転落に防止対策を実施している」項目に関する現状調査をした。その結果、①転倒転落後の本人または家族への説明内容のカルテ記載 ②転倒転落後多職種を含めたカンファレンスの実施 ③継続的観察に基づいた看護計画の修正等が課題となり、基準手順に沿った行動ができていない項目が明確となった。①については、転倒転落時の「初期対応記録」に家族への説明欄を設け、②については「転倒転落予防スクリーニングに「アセスメント評価」欄を設け、「看護計画#転倒転落リスク状態」に口継続口追加・修正欄を追加した。③については、観察項目をセット化することで記載漏れをなくし、継続した観察ができるようにした。①～③の対応策については 12 月の師長会で承認を得たため準備を行い来年度早々に運用開始予定である。

2. 実際の事例に基づいたリスクマネジメントニュースを発行し、事故防止を啓蒙する

医療安全委員会が推進している SBAR が現場で活用できているかの視点で現状をみると、医師への報告内容の誤認や勤務交代時の情報伝達エラーによる実際のインシデント事例が発生していた。そのため、日常業務における患者状態の報告や情報共有の場面で SBAR が使用できることを目的に 11 月に一部発行した。

次年度の課題

1. 実践委員（看護単位リスクマネージャー）を支援し、医療安全教育を推進する

各看護単位の医療事故、IA レポートを分析し傾向を把握した上で、リスクマネージャーが中心になって改善に向けて取り組めるよう支援する体制を整備する。

来年度、病院機能評価の受審に合わせ、転倒転落防止対策、薬剤の安全な使用に向けた対策、情報伝達エラー、医療機器の安全使用等について現状を把握し改善に向けて取り組む。

2. スマートデバイスを使用した内服薬確認方法のマニュアルを周知する

3. 実際の事例に基づいたリスクマネジメントニュースを発行し、事故防止を啓蒙する

SBAR が現場で効果的に活用できているか評価方法を検討する。また、今年度リスクマネージャーが取り組んだ内容で効果的かつ再現性のある内容を共有できるツールとしてもニュースを活用していけるよう検討する。

令和5年度 看護支援システム管理委員会 活動評価

目的：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院情報システム「病院情報運用マニュアル」「電子カルテ操作マニュアル看護編」に遵守した看護支援システムの適正な運用、システム更新後の整備を行なう

- 目標：1. システム更新後の整備
 1) 「一般指示」「処方指示」の運用についての現状把握と課題抽出
 2) 解決した課題に対しての運用の周知徹底
 2. 「電子カルテ操作マニュアル看護編」の差し替え
 3. 障害時伝票の見直し
 4. 「病院情報運用マニュアル」「電子カルテ操作マニュアル看護編」の周知
 1) 病院情報システム定期メンテナンスおよび病院情報システム障害時運用について
 2) 個人情報の取扱いについて
 3) 電子カルテシステムで取り扱う電子機器の管理について
 5. 看護支援システム（ケア等）・処置マスタの効果的な活用のための追加・修正の実施

実践結果

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
4月6日	新採用者 研修会	新採用者	99名 担当者5名	新採用者オリエンテーション「看護記録と安全な 情報システムの活用方法」
4月20日	委員会	委員	8名	看護支援システム管理委員会の規定、細則見直 し 令和5年度新採用者研修の評価、「情報管理」テ スト正解率：99.6%、次年度に向けて検討 17看護単位、利用者75名が操作訓練実施
5月18日	委員会	委員	7名	電子カルテ操作マニュアルの見直し 障害時伝票の見直しと障害時運用について検討
6月15日	委員会	委員	8名	電子カルテ操作マニュアルの見直し 障害時伝票と障害時運用マニュアルの見直し 8/26 ネットワーク更新に伴うシステム全停止に ついて情報共有
7月20日	委員会	委員	7名	8/26 システム全停止時の対応資料を配布、アン ケート準備 障害時運用マニュアル改訂（新ファイルを配布）
8月17日	委員会	委員	8名	8/26 システム全停止時の対応等の最終確認 電子カルテ操作マニュアル改訂：37 部署に配布・ 差し替え 障害時伝票 30 種類改訂、2 種類新規作成 病院情報システム利用者の責務に関する実態調 査：1 回目ラウンド他者評価：33 部署実施
9月21日	委員会	委員	8名	8/26 システム全停止実施状況確認：問題なく終 了 8/26 システム全停止時のアンケート実施：事前 準備について追加項目や工夫点など今後のお知 らせに追加検討
10月19日	委員会	委員	7名	サイバー攻撃によるシステム障害時マニュアル 検討 スマートデバイス ケア項目に対するアンケート 実施 病院情報利用者の責務に関する実態調査：自己 評価実施
11月16日	委員会	委員	7名	サイバー攻撃によるシステム障害時マニュアル 検討

開催 月日	実践委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
				病院情報システム利用者の責務に関する実態調査：2 回目ラウンド他者評価：33 部署実施、8 月より全体に改善傾向
12 月 21 日	委員会	委員	6 名	委員会年度末評価 1/24 定期メンテナンス対応、お知らせ、アンケート準備 看護サマリー削除依頼書作成 案内 サイバー攻撃によるシステム障害時マニュアル検討
1 月 18 日	委員会	委員	7 名	定期メンテナンスの対応、お知らせ 令和 6 年度 新入看護職員採用時研修会企画検討
2 月 15 日	委員会	委員	8 名	定期メンテナンス評価 令和 6 年度新入看護職員採用時研修会の準備
3 月 21 日	委員会	委員	6 名	令和 6 年度新入看護職員採用時研修会の準備・確認・担当者確認 令和 6 年度の委員会役割・方向性について

全体評価

目標 1：システム更新後の整備 更新後の整備の重点課題として「一般指示」「処方指示」の運用を課題とした。同時期に師長会チームでも「内服薬（経口）における指示受けから実施まで」の運用が検討された。チームからの電子カルテシステムに関する機能などの質問・要望に対応した。次年度は、委員会として運用について現状把握し周知徹底していく。また、「スマートデバイスらしく看護師の“スケジュール”項目検索に時間を要し、実施業務の効率が悪い」という意見があった。「看護」のタブに「実施進捗」という新たな項目の追加と画面の並び順の変更、また、入力画面表示のズレの不具合についても調整し効率化を図った。 目標 2：「電子カルテ操作マニュアル看護編」の差し替え 2022 度のシステム更新に伴い「電子カルテ操作マニュアル看護編」を見直し改訂し、37 部署に配布・差し替えを実施した。 目標 3：障害時伝票の見直し 8/26 のシステム全停止（レベル 4）に向けて、「障害時運用マニュアル」及び 障害時伝票 30 種類見直し改訂と新たに 2 種類障害時伝票の作成を実施した。 目標 4：「病院情報運用マニュアル」「電子カルテ操作マニュアル看護編」の周知 1) 8/26 システム全停止に向けて、「電子カルテ操作マニュアル看護編」「障害時運用マニュアル」「障害時伝票」を改訂、周知し、システム全停止時は問題なく終了した。システム更新時の機会を活用し周知を図ることができた。今後もシステム更新や定期メンテナンスの機会を活用し周知していく。 2) 新採用者へのオリエンテーション時「情報管理」の確認テストとして意識付けした。「病院情報システム利用者の責務に関する実態調査」で個人情報の取扱いに関する自己評価を行い意識付けした。また、8 月と 11 月に委員が 33 部署をラウンドし、PC とスマートデバイス、検温中のワゴンの書類等の情報の取扱いの調査を実施した。離席時のログアウトはデスクトップ PC：93.6%→96.1%、ノート PC：85.4%→91.6%、スマートデバイス：86.8%→92.5%と向上しており、その他項目も全体的に改善傾向にあり、自己評価による意識付けとラウンドによる注意喚起は効果的だったと評価できる。次年度も継続して行い、適切な運用への働きかけを行う。 3) ノート PC のキーボード外れは 6 月～8 月に 7 件報告、いずれもキーボードの上にクリップボードやマウス等を置いた状態で画面を閉じていることが原因であり、師長会を通し取り扱いへの説明資料を配布し注意喚起を行い 9 月以降の報告はなし。また「病院情報システム利用者の責務に関する実態調査」で電子機器の取扱いに関する自己評価を行い意識付けすることで、2 回目の他者評価結果では適切な取り扱いができるようになった。しかし、スマートデバイスに機種変更後、落下による初めての破損報告が 1 件あり、取扱いの周知徹底が必要。今後も自己評価・他者評価による実態調査を実施し、結果を提示し意識付けしていく。 目標 5：看護支援システム（ケア等）・処置マスタの効果的な活用のための追加・修正の実施 4 月～12 月までで、ケア項目 1 件、ケアセット 19 件、テンプレート 13 件、項目スケジュール 2 件、処

置マスタ7件の追加修正・新規作成を行った。各部署からの依頼の中で、その部署の特性のみに着目して部分最適の視点で受けるのではなく、場合によっては全体最適の視点から看護部全体の運用として考えることも必要であり、看護支援システムを有効活用することで、安全かつ効率化を目指していく。

次年度の課題

1. サイバー攻撃による大規模システム障害時マニュアルの作成、周知
2. システム更新後の整備
 - 1) 各看護単位がより安全で効率的に看護支援システムが活用できるよう「項目スケジュール」「ケアセット」などの見直し
 - 2) 「一般指示」「処方指示」の運用について周知徹底
3. 「病院情報運用マニュアル」の周知徹底
 - 1) 病院情報システム定期メンテナンスおよび病院情報システム障害時運用について
 - 2) 個人情報の取扱いについて
 - 3) 電子カルテシステムで取り扱う電子機器の管理について
4. 看護支援システム（ケア項目・セット、テンプレート等）・処置マスタの効果的な活用のための追加・修正の実施と整備

令和5度 防災救護研修委員会 活動評価

目的：防災および救護体制の整備と看護師の「救護員としての赤十字看護師」の教育活動を推進する

目標：1. 防災訓練を通して防災マニュアル（火災・地震）を検証する

2. 防災・救護に関する実践能力の向上を図る

実践結果

開催月日	実践委員会 研修会等	対象	参加 人数	備考
4月11日	赤十字概論研修	新入看護職員 未受講者	104 名	アンケート結果（回収率100%） 「赤十字の現況と課題」 理解度：理解できた84% やや理解できた16% 「基本原則と国際人道法」 理解度：理解できた87% やや理解できた13%
4月28日	委員会	委員	7名	目標の共有・年間計画の調整
5月26日	委員会	委員	7名	防災備品説明会の準備 シナリオに頼らない訓練ができるよう防災訓練計画書内容の見直し
6月23日	委員会	委員	6名	防災備品点検表差し替え 防災訓練事前説明会の内容検討
6月23日 9月22日	防災備品説明会	全看護単位 防災係業務 担当係長	56名	各看護単位の防災係と係長1名が参加 機械室加藤係長、社会課浦野氏の協力を得、スタッフに指導できるよう消火器・消火栓等の取り扱いの体験とエアーストレッチャーの使用体験とデモンストレーションの見学を行った。
7月～12月	防災訓練	全看護単位	145 名	シナリオありきの訓練が課題だったことから、今年度の新たな取り組みとして、リーダーと係長2人だけシナリオ共有したブラインド訓練を実施した。リーダーが的確に指示を出すことができ、スタッフも指揮命令系統に従い訓練に取り組んでいた。 今年度より新設部門としてHCUと患者支援センターの防災訓練も実施した。
8月21日 8月29日 8月30日	救護員 養成研修	レベルⅡ以上	25名	愛知県支部救護員研修修了証を25名取得した。
10月13日 11月7日	災害看護論	レベルⅠ・ Ⅱ相当	63名	アンケート結果（回収率98.8%） 満足度：大変満足63% やや満足32% 理解度：理解できた81% やや難しい19% 課題レポート：受講者の多くから救護員としての心構えと災害看護師としての自己の課題が明確にされていた。
12月22日	防災訓練委員会	患者相談センター 委員	7名	患者相談センター防災訓練 年度末評価
1月16日	フォローアップ 研修	レベルⅢを 目指す者と 未受講者		八事主催の救護員フォローアップ研修に参加。 委員会メンバー4名、受講生8名
1月27日	委員会	委員	7名	フォローアップ研修準備等 来年度課題 整理

開催月日	実践委員会 研修会等	対象	参加 人数	備考
2月24日	委員会	委員	7名	フォローアップ研修準備等 来年度課題 整理
3月7日	フォローアップ 研修	レベルⅢを目指す 者と未受講者	20名	アンケート結果（回収率 100%） 満足度：大変満足 90% やや満足 10% 理解度：理解できた 80% やや難しい 20%
3月24日	委員会	委員	7名	来年度目標設定 4月新入職員研修準備

全体評価

目標 1：防災訓練を通して防災マニュアル（火災）を検証する ・シナリオありきの火災訓練が課題であったことから、令和 5 年度の新たな取り組みとして、リーダーと係長 2 人だけシナリオ共有し、他の参加者は発災後どんな役割を指示されてもいように各病棟で事前練習をしてもらった。リーダーが的確に指示を出すことができおり、スタッフも指示に従い行動することができていた。ブラインド訓練を実施することにより AC の使用率が高まると想定していたが R4 年度より使用率が悪かった（Ⅲ-2 の評価×5 部書）。AC の浸透により AC を見なくても防災行動できるようになっていると評価していいか迷うところではある。 ・安全区画に速やかに避難することが重要であるが、同一フロアで訓練が実施することにより動線や避難場所が被ってしまうことが多々見受けられた。そのため来年は同一フロアの病棟の訓練時期を検討していく。 ・地震については、大規模災害訓練時「災害モード時日常生活援助および環境整備に関する基準」を活用するよう周知した。定着できるよう来年度も実施をしていく。 目標 2：防災・救護に関する実践能力の向上を図る ・「赤十字概論」「災害看護論」のアンケート結果や課題レポートの内容から救護班要員としての基礎的知識の習得につなげることができた。 ・「救護員養成研修」では、参加者全員が 2 日間全日程に参加し、「赤十字概論」「災害看護論」で得た知識の確認と、救護に必要な技術（トリアージ・無線の取り扱い棟）の習得につなげることができた。 ・防災訓練（火災）については、防災備品説明会で消火器・消火栓の実技訓練は訓練評価から全看護単位で消火器・消火栓の使用方法が適確にできていたため効果的だったと考える。 ・1 月に八事日赤とフォローアップ合同研修を実施する予定だったが、1 月 1 日発災した能登半島地震により中止となった。3 月のフォローアップ研修の参加者は 20 名（係長 5 名含）だった。直近に発災した能登半島地震の事例を交え、災害関連知識を確認し救護活動のイメージ化と心構えにつなげることができた。
--

次年度の課題

1. 研修については、アンケート結果を踏まえ内容を検討する。 2. 防災訓練は同一フロアの病棟の動線が被らないよう訓練時期を検討する 3. 地震アクションカードの内容を検証し、防災マニュアルに追加する。

令和5年度 意識向上委員会 活動評価

目的： 接遇マナーの向上に努め、看護専門職としての自覚を高める

- 目標： 1. 挨拶・身だしなみを整えることができる
2. 更衣室の環境を整えることができる
3. 看護の専門職として職能団体の役割を理解できる

実践結果

開催月日	委員会・実践委員会・研修会等	対象	参加人数	結果
4月5日	新入看護職員研修委員会	新入看護職員	99名 +3名 6名	オリエンテーション（接遇・身だしなみ・更衣室利用の仕方など） 更衣室・仮眠室の点検を新委員へ説明 活動計画確認、同方会・更衣室移転準備
5月25日	同方会手続き（ベッドコントロール後）委員会	委員	6名	目標・活動計画の確認・同方会について 更衣室移転の準備、 仮眠室・更衣室の点検報告
6月22日	委員会	委員	6名	身だしなみ評価・チェックの見直し（8月・11月）更衣室移転の準備。更衣室点検準備実践委員会の内容検討。高校生1日看護体験の打ち合わせ 仮眠室・更衣室の点検報告
7月27日	実践委員会	実践委員	27名 +5名	実践委員会の役割・今年度の活動について説明 仮眠室・更衣室の点検報告
8月2日	高校生対応	委員	6名 37名参加	高校生1日看護体験 身だしなみチェック 仮眠室・更衣室点検報告
9月28日	委員会	委員	5名	高校生1日看護体験の振り返り。中間評価 8月身だしなみチェックの結果を実践委員にメール 仮眠室・更衣室点検報告
10月26日	委員会	委員	6名	実践委員会の内容確認。仮眠室・更衣室点検報告。新人オリエンテーション検討
11月24日	委員会	委員	6名	身だしなみチェック 身だしなみ中間評価 仮眠室11月から使用者がきれいに使用する 更衣室点検報告。新人オリエンテーション検討
12月8日	看護連盟の手続きの手伝い	委員	5名	看護連盟入会継続手続き 年度末評価・次年度課題検討（メールで検討）
1月25日	委員会	委員	6名	新人オリエンテーション検討 身だしなみチェックの問題提案 更衣室の点検報告 実践委員会大掃除の内容検討
2月22日	委員会 実践委員会	委員 実践委員	6名 29名 +6名	新人オリエンテーション内容検討、実践委員会大掃除の打ち合わせ、更衣室の点検報告 更衣室の大掃除 身だしなみチェックの結果報告
3月28日	委員会	委員	4名	次年度の活動計画確認。同方会集金打ち合わせ 新人オリエンテーションの内容確認 2月更衣室掃除評価、来年度の更衣室掃除検討

全体結果

目標 1：挨拶・身だしなみ

- ・身だしなみチェック表を見直し、「エクステ」「髭」「爪」「インナーカラー」を追加した。「髪」は×8月5名→11月4名であった。「髭」は11月1名
- ・×8月の108名、11月は31名と激減させることが出来た。しかしスタッフからの確認依頼による他者評価、言葉使い・電話対応は自己評価のため整合性にかけることが考えられる。
- ・挨拶に関しては、×8月13名→11月5名（自己評価）と意識は高まっていると考える。引き続き啓蒙していく。

目標 2：更衣室の環境整備

- ・実践委員が更衣室の担当場所を毎月点検し、結果を各部署に報告し注意を促すことで、ロッカー上のゴミは昨年度7月～11月13件が9件に減少した。
- ・昨年度放置された傘の撤去数は50本程度であったため、更衣室の移転に伴い傘立てを1台にした。12/14（雨の翌日でない日）に7本しか置き傘がなかった。1台にしたことで減少させることができた。

目標 3：看護専門職としての職能団体の役割の理解

- ・看護協会に、新入職員全員の103名が入会した。
- ・同方会は934名の入会（新規＋継続）があった。昨年度の917名から増加することが出来た。
- ・通常総会の要綱を各看護単位に回覧して理解を得るようにした

次年度の課題

1. 身だしなみチェックの方法を見直し、実践委員が主体的に現場で啓蒙できるよう支援する。
2. 1回/年に更衣室の清掃を行い、実践委員による更衣室の点検を継続する。
3. ハイブリッドを含めた総会や講演会により、看護の専門職としての役割の理解を深める。

令和5年度 看護職員確保委員会 活動評価

目的：看護職員確保に向けて、看護職員新規採用の募集活動を行う

目標：1、院内病院説明会を開催する

2、院外の就職合同説明会・看護大学への説明会に参加し活動する

3、看護職員募集パンフレット等を作成する

1) 2023 年度新入職員紹介、病棟紹介

2) 2024 年度看護職員募集のパンフレット・ポスター

実践結果

開催月日	委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
4/15	病院説明会	学生＋ スタッフ	48 名(対面 31 名 オンライン 17 名)＋16 名	全社統合システムの電波環境が悪く途中で個人 PC に切り替え。参加者は全体的に積極的。
4/27	委員会	委員	12 名	1、2023 年度活動計画、4/15 活動報告 4/29 企画確認・準備を行なった。
4/29	病院説明会	学生＋ スタッフ	17 名(対面 12 名 オンライン5名) ＋6 名	新メンバーでの開催だったが参加人数が少なく問題なく開催。参加者の「参考になった」は 100%。
5/20	病院説明会	学生＋ スタッフ	7 名(対面 5 名 オンライン2名) ＋10 名	2 回続けて参加者が少なかった。次年度の参考として考える必要がある。参加者の「参考になった」は 100%。
5/25	委員会	委員	12 名	1、4/29・5/20 活動報告、6/17 の企画・準備 3、ホームページ 内容検討を行なった。
6/17	病院説明会	学生＋ スタッフ	9 名(対面のみ) ＋7 名	人数が少ない分、一人一人の質問に答える事が出来た。参加者の「参考になった」は 100%。
6/22	委員会	委員	12 名	6/17 活動報告、7/8 の企画準備 ホームページ・YouTube の企画を行なった
7/8	病院説明会	学生＋ スタッフ	29 名(対面のみ) ＋7 名	対面のみで特に問題なし。今後もオンラインはなしでもよいか。参加者の「参考になった」は 100%。
7/27	委員会	委員	12 名	1、7/8 活動報告 2、マイナビ準備 3、病院体験見学の企画を行なった。
8/24	委員会	委員	12 名	10/14 準備企画、次年度パンフレットの企画、病院体験見学会の企画を行なった。
9/28	委員会	委員	12 名	10/14 準備、次年度パンフレットモデル募集 確認・撮影準備、YouTube の企画、大学病院説明会について検討。
10/14	病院説明会	学生＋ スタッフ	38 名＋5 名	地下鉄東山線の遅延のため開始を 10 分遅らせた。資料配付を行なわなかったが、参加者はメモを取るなどいつも以上に積極的。参加者の「参考になった」は 100%。
10/26	委員会	委員	12 名	10/14 活動報告、合同就職説明会の企画打合せ、YouTube の企画を行なった
11/30	委員会	委員	12 名	1/14 ナース専科打合せ、YouTube 最終確認を行なった。
12/21	委員会	委員	12 名	1 月ナース専科・病院説明会の準備 年度末評価
1/27	病院説明会	学生＋ スタッフ	30 名＋6 名	小児母性の希望が 16 名と多かったが従来通りの 3 グループで開催
1/25	委員会	委員	12 名	1 月病院説明会活動報告 2 月の企画

開催月日	委員会 研修会等	対象	参加人数	結果
2/17	病院説明会	学生＋ スタッフ	37名＋6名	当日欠席連絡が3名あったが、満員の申込であった
2/22	委員会	委員	12名	2月病院説明会の活動報告 3月マイナビの企画など
3/15	病院説明会	学生＋ スタッフ	38名＋18名	参加人数多かったが3グループで編成。特に問題はなかった。
3/21	委員会	学生＋ スタッフ	32名＋18名	参加人数多かったが3グループで編成。特に問題はなかった

全体評価

目標 1 6月からは対面のみで病院説明会を行なったが、大きな問題はなく、次年度も対面のみで行なう予定である。説明会1回につき参加する委員の数を絞ったが、役割分担を行ない問題なく実施できた。 6月からは、既卒の参加者に対し個別に面談を行なう機会を設け入職へのアピールを開始した。 6月以後の病院説明会への参加者が減少している。近隣の病院の募集要項の情報収集を行ない、病院説明会の日程を考慮し次年度の参考とした。参加者の全員が説明会のプログラムに「大変満足」または「満足」との回答であり、当院を理解してもらう目的は達成された。 目標 2 1月から、ナース専科・マイナビで対面での合同就職説明会の準備を行なっている。 副部長と委員で看護大学への就職説明会を実施できた。2022年度のパンフレットでの説明となった。 目標 3 新入職員紹介・病棟紹介のパンフレットを新たに作成し、入職説明会で活用できている。 看護職員募集パンフレット作成、YouTubeの新たな作成を行ない、12月下旬完成した。1月からの合同説明会や次年度の院内就職説明会で活用している。

次年度の課題

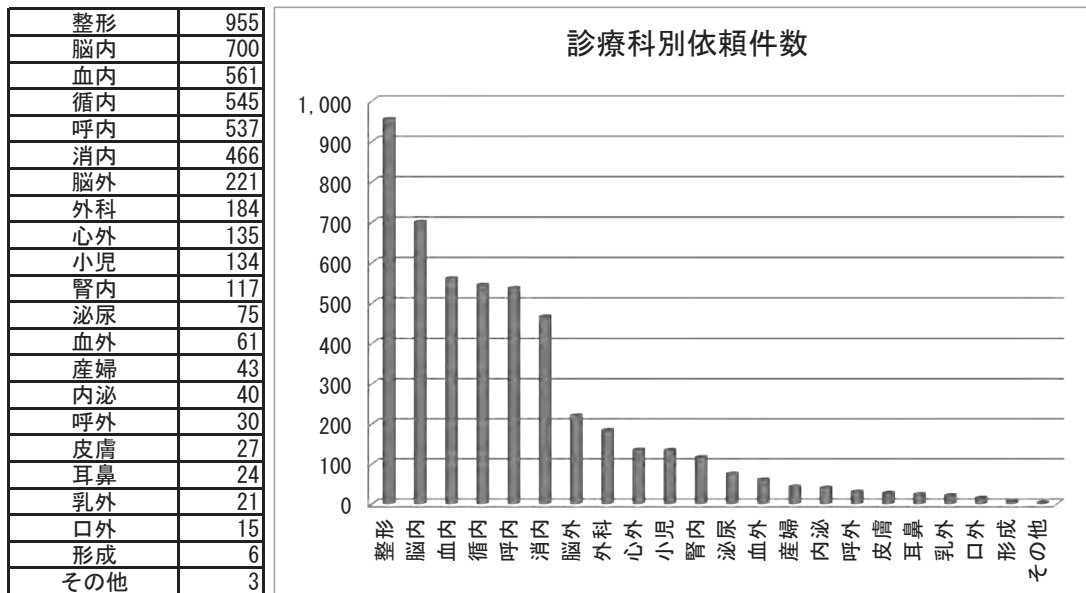
病院説明会は対面式のみで開催し、参加者に丁寧に接することで満足感を得てもらう。1回に参加する委員の数を6名程度で要領よく行なう。そのために、説明会の引き継ぎ活動報告を綿密に行なう。 今年度開催を開始した病院体験見学会を軌道に乗せ、当院の魅力のアピールに繋げたい。 来年度の看護職員募集パンフレットは、看護大学への就職説明会に間に合うように早めに作成完了をめざす。今年度、デジタルパンフレット等に取り組み、時間を有していた委員の働き方を見直すとともに、人材確保に結びつく委員会活動が問題となった。限られた時間と予算の中で、確実に人材確保につながるよう、看護学生の傾向を知り、かつ学生から選ばれるような病院の姿をアピールできることが必要である。目的・目標を見直し、人事課、看護部と連携、協働することで効率的な委員会活動を目指し、学生の傾向を分析した上で、学生から選ばれる病院を提示できることが課題である。

11. リハビリテーション科部

(1) リハビリ依頼件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院	3,791	4,322	4,480	4,717
外来	268	184	182	180

(2) 令和5年度診療科別依頼件数



(3) PT/OT/ST別 処方件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
PT	3,637	4,055	4,274	4,521
OT	999	1,069	1,029	1,156
ST	710	779	691	824

(4) 令和5年度リハビリ延べ実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ料	2,295	2,737	2,640	2,026	2,552	2,491	2,973	2,513	2,760	2,878	2,761	2,729	31,355
廃用症候群リハ料	1,006	769	958	1,010	1,163	1,010	930	1,043	791	774	692	761	10,907
運動器リハ料(Ⅰ)	914	1,066	1,083	1,060	1,166	921	1,055	1,003	891	862	941	892	11,854
呼吸器リハ料	507	632	546	584	698	721	479	413	618	620	568	687	7,073
心大血管疾患リハ料	434	447	477	347	352	336	328	366	390	417	315	361	4,570
がん患者	953	792	994	964	1,059	927	914	825	1,130	852	792	819	11,021
基本診療	177	189	186	167	190	145	165	162	144	154	178	139	1,996
緩和ケア	0	1	2	2	1	0	2	12	15	20	5	8	68
緩和ケア(基本診療)	1	3	6	2	1	0	0	9	2	4	0	0	28
早期加算(14日)	2,762	2,576	2,426	2,172	2,561	2,237	2,459	2,231	2,690	2,455	2,464	2,669	29,702
早期加算(30日)	1,122	1,686	1,414	1,280	1,555	1,444	1,616	1,478	1,348	1,605	1,320	1,527	17,395
退院時リハビリ指導料	199	165	221	192	212	201	199	230	238	178	206	178	2,419
リハ総合計画評価料	337	314	338	392	488	508	488	451	492	451	466	441	5,166
リハ総合計画評価料(介護へ)	2	2	3	1	3	3	1	3	2	4	1	3	28
精密知覚機能検査	20	15	19	14	14	18	17	12	20	20	13	15	197
目標設定加算(初回)	2	1	6	3	2	4	5	4	3	1	5	1	37
目標設定加算(2回目以降)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
摂食機能療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

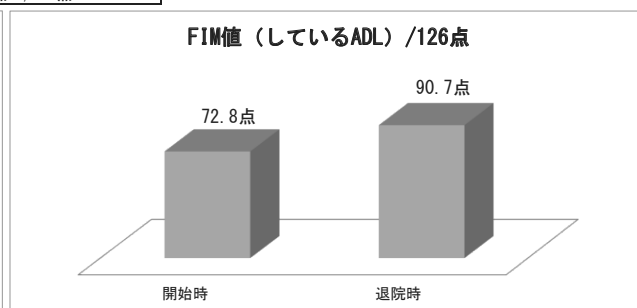
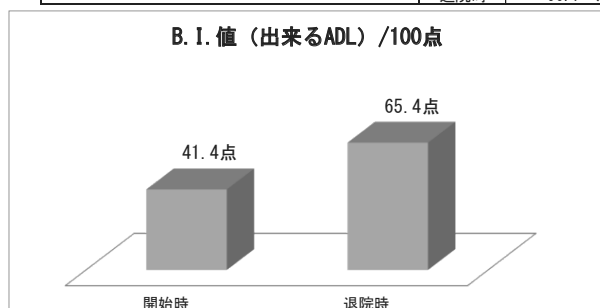
(5) 令和5年度リハビリ稼働集計(点数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ料	896,985	1,026,550	1,046,890	865,830	988,085	972,895	1,169,900	1,041,250	1,122,590	1,135,615	1,138,780	1,189,720	12,595,090
廃用症候群リハ料	259,920	198,900	246,240	256,320	302,220	278,100	248,220	284,040	218,520	207,900	183,780	209,160	2,893,320
運動器リハ料(Ⅰ)	355,930	386,620	411,145	405,090	414,690	318,170	362,260	356,860	329,415	304,835	336,850	341,090	4,322,955
呼吸器リハ料	131,425	165,900	152,425	148,575	173,950	179,550	122,675	123,375	173,950	170,625	147,525	194,425	1,884,400
心大血管疾患リハ料	144,525	141,860	155,185	116,850	121,770	119,310	117,055	133,660	146,575	143,500	108,445	129,765	1,578,500
がん患者	276,955	238,415	285,565	285,565	285,565	285,565	285,565	285,565	285,565	285,565	285,565	285,565	3,371,020
基本診療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア(基本診療)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早期加算(14日)	326,565	292,545	288,960	262,965	297,525	263,955	300,150	286,800	333,900	292,785	301,665	342,150	3,589,965
早期加算(30日)	52,440	75,990	66,300	61,860	71,040	65,880	76,440	72,000	68,190	75,840	64,590	80,880	831,450
退院時リハビリ指導料	59,700	49,500	66,300	57,600	63,600	60,300	59,700	69,000	71,400	53,400	61,800	53,400	725,700
リハ総合計画評価料	101,100	94,200	101,400	117,600	146,400	152,400	146,400	135,300	147,600	135,300	139,800	132,300	1,549,800
リハ総合計画評価料(介護へ)	480	480	720	240	720	720	240	720	480	960	240	720	6,720
精密知覚機能検査	5,320	4,200	5,320	3,920	3,920	5,040	4,760	3,360	5,600	5,600	3,640	4,200	54,880
目標設定加算(初回)	500	250	1,500	750	500	1,000	1,250	1,000	750	250	1,250	250	9,250
目標設定加算(2回目以降)	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0	200
摂食機能療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(点)	2,611,845	2,675,410	2,827,950	2,583,165	2,869,985	2,702,885	2,894,815	2,792,930	2,904,535	2,812,175	2,773,930	2,963,625	33,413,250

(6) 令和5年度 ADLの改善状況 (開始時 ⇒ 退院時)

入院患者 4,363人の平均

B. I. 値(出来るADL)	開始時	41.4 点 /100点
	退院時	65.4 点 /100点
FIM値(しているADL)	開始時	72.8 点 /126点
	退院時	90.7 点 /126点



病棟	B. I. (100点)		FIM (126点)	
	初期	退院時	初期	退院時
西棟12階A	34.2	59.1	66.7	83.7
西棟12階B	33.9	58.1	68.4	86.2
西棟11階A	31.9	53.1	66.3	79.7
西棟11階B	27.6	67.0	63.5	92.0
西棟10階A	31.4	58.3	58.9	81.7
西棟10階B	42.0	58.2	66.3	81.0
西棟9階A	28.1	76.3	62.0	98.6
西棟9階B	44.7	64.3	74.5	88.5
西棟8階A	30.1	51.5	62.8	79.5
西棟8階B	31.9	64.9	67.7	92.5
東棟8階	85.8	89.9	115.8	116.9
東棟6階	54.0	71.0	82.0	94.4
東棟5階	62.4	79.1	91.1	104.3

12. 総務課

(1) 令和5年度災害救護訓練・研修派遣実績（派遣者一覧）

I. 臨時救護・行政訓練等への協力事業

NO.	区分	事業名	実施日（予定）	場所	職種	人数
1	臨時救護	子ども新聞プロジェクト取材	6月24日（土） ～ 6月25日（日）	静岡県、愛知県	看護師	1
2	臨時救護	知多・海部地区 L. T. C	7月22日（土） ～ 7月23日（日）	美浜町	看護師	1
3	臨時救護	中村公園夏まつり	7月26日（水）	中村公園	看護師	2
			7月27日（木）			2
			7月28日（金）			2
4	臨時救護	支部高校 L. T. C	7月29日（土） ～ 7月31日（月）	岡崎市	看護師	1
6	行政等訓練	県営名古屋空港消防救難総合訓練	10月5日（木）	豊山町	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
7	行政等訓練	「地域における防災・減災訓練」 医療救護実動訓練	10月21日（土）	田原市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
					災害医療コーディネーター	1
					企画運営スタッフ	5
8	臨時救護	中村区区民まつり	10月28日（土）	中村公園一帯	看護師	2
9	行政等訓練	大規模津波総合訓練	11月11日（土）	名古屋市港区	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2

NO.	区分	事業名	実施日（予定）	場所	職種	人数	
10	第3ブロック支部	第3ブロック支部 災害救護訓練	11月17日（金）	愛知県 （豊田市）	災害医療コーディネーター	1	
					支部CoS	2	
					医師	1	
					看護師	2	
					主事	2	
			11月18日（土）		災害医療コーディネーター	1	
					看護師長	1	
					看護師	1	
					主事	3	
					看護師長	1	
	主事	3					
	11	行政等訓練	国府宮はだか祭り	2月22日（木）	稲沢市	医師	1
						看護師長	1
						看護師	2
主事						1	
12	臨時救護	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知	3月10日（日）	名古屋市	医師	1	
					看護師	2	
					主事	1	
13	行政等訓練	南海トラフ地震時医療活動訓練	11月14日（火）	愛知県	災害医療コーディネーター	1	
					DMAT隊員	1	
14	行政等訓練	洋上救急慣熟訓練	12月20日（水）	セントレア	医師	1	
					看護師	1	

Ⅱ. 赤十字救護員としての研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内研修	救護員養成研修（基礎）	8月21日（月）等	当院	合計42名	
2	本社研修	日赤災害医療コーディネート研修	7月8日（土） ～ 7月9日（日）	本社	研修生	1
3	本社研修	日赤災害医療コーディネート研修	9月23日（土） ～ 9月24日（日）	本社	研修生	1
4	本社研修	こころのケア指導者養成研修会	10月11日（水） ～ 12日（木）	本社	支部・管内施設希望者	1

Ⅲ. 病院訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内訓練	大規模災害時医療救護活動訓練	12月7日（木）	当院	合計 147名	
2	院内訓練	災害対策本部机上シミュレーション訓練	7月20日（木）	当院	合計 28名	
			9月21日（木）		合計 29名	
			12月7日（木）		合計 30名	

Ⅳ. 日本DMAT・愛知DMAT隊員養成研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	研修	日本DMAT隊員養成研修	令和6年1月10日～12日	東京都	看護師	1
2	研修	統括DMAT隊員養成研修	6月22日（木） ～ 6月23日（金）	東京	日本DMAT 医師	1
3	研修	愛知DMAT隊員養成研修	令和6年 3月16日～17日	愛知医科大学	業務調整員	1
					看護師	1
4	研修	中部ブロックDMAT登録者 技能維持研修	随時	随時	日本DMAT隊員	3

Ⅴ. 日本DMAT隊員研修・訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	DMAT訓練	中部ブロックDMAT実動訓練	10月14日（金） ～10月15日（土）	山梨県	コントローラー	1
					DMAT医師	2
					DMAT看護師	1
					DMAT調整員	1

Ⅵ. その他

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	研修	MCLS大量殺傷型テロ 対応病院コース	5月27日（土）	豊田厚生病院	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					救急救命士	1

(2) 令和5年度 災害救護活動 派遣実績

救護班・DMAT等の派遣について

派遣日	救護名	場所	派遣者		特記事項
			職種	人数	
令和6年1月2日 ～ 令和6年1月6日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第1班)	石川県七尾市	医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	2	臨床工学技士
			薬剤師	1	
令和6年1月10日 ～ 令和6年1月14日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第2班)	石川県珠洲市	医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	2	
					薬剤師
令和6年1月17日 ～ 令和6年1月21日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第3班)	石川県珠洲市	医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	2	
令和6年1月26日 ～ 令和6年1月30日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第4班)	石川県珠洲市	医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	2	
令和6年2月3日 ～ 令和6年2月7日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第5班)	石川県珠洲市	薬剤師	1	
			医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	2	
令和6年2月12日 ～ 令和6年2月16日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第6班)	石川県珠洲市	薬剤師	1	
			医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	3	
令和6年2月19日 ～ 令和6年2月23日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第7班)	石川県珠洲市	薬剤師	1	
			医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	3	
令和6年3月5日 ～ 令和6年3月9日	令和6年能登半島地震災害救護 (救護班：第8班)	石川県輪島市	薬剤師	1	
			医師	1	
			看護師長	1	
			看護師	2	
			主事	2	
令和6年1月2日 ～ 令和6年1月6日	令和6年能登半島地震災害救護 (日赤災害医療CoT：第1班)	石川県金沢市	薬剤師	1	
			C o	1	
令和6年1月8日 ～ 令和6年1月15日	令和6年能登半島地震災害救護 (日赤災害医療CoT：第2班)	石川県金沢市	C o S	1	診療放射線技師
令和6年1月19日 ～ 令和6年1月24日	令和6年能登半島地震災害救護 (日赤災害医療CoT：第3班)	石川県金沢市	C o	1	
			C o S	1	MSW
令和6年2月10日 ～ 令和6年2月14日	令和6年能登半島地震災害救護 (日赤災害医療CoT：第4班)	石川県金沢市	C o S	1	
令和6年3月2日 ～ 令和6年3月7日	令和6年能登半島地震災害救護 (日赤災害医療CoT：第7班)	石川県金沢市	C o S	1	
令和6年1月15日 ～ 令和6年1月20日	令和6年能登半島地震災害救護 (DMAT)	石川県輪島市	医師	1	
			看護師	2	
令和6年1月10日	令和6年能登半島地震災害救護 (石川県内高齢者施設入所者受入)	愛知県保健医療調整本部	業務調整員	1	診療放射線技師
令和6年1月11日		県営名古屋空港	本部要員	2	
			医師	1	
			看護師	1	
			業務調整員	2	

※用語解説 C o T：コーディネートチーム、C o：コーディネーター、C o S：コーディネートスタッフ

(3) 病院ボランティア活動状況

1. 病院ボランティア活動状況（その1）

活動項目	令和5年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
広報媒体等を活用した 地域住民に対する共生 意識・ノーマライゼー ション理念の普及啓発	1. 名古屋第一赤十字病院奉仕団 (1) 病院内 ①外来受診者の車椅子移送の補助 ②入院患者の荷物移送の補助 ③患者サロンにおける本の整理整頓 ④慢性疾患児家族宿泊施設(めばえ)清掃 ⑤衛生材料作成 ⑥当院機関紙等発送作業 ⑦車椅子点検整備 ⑧赤十字健康教室手伝い (2) 役員会等活動 ①総会 令和5年5月12日 内ヶ島講堂 ②役員会・委員会 随時 ③勉強会 ・車椅子講習会 令和5年4月24日(月)、27日 ・当院大規模災害救護訓練 令和5年12月7日(木) (3) 関係各機関への協力(病院外) ①日本病院ボランティア協会との連携 ・活動時間等の報告 ・オンライン交流会 令和5年6月5日(月) ②中部善意銀行との連携 ③名古屋市社会福祉協議会との連携 ・団員募集の掲示とボランティア保険加入	
	2. 同朋大学学生 「あんぱんまんサークル」 保育指導ボランティア	活動方法検討中
	3. 日本ホスピタルクラウン協会 ホスピタルクラウンボランティア	活動方法検討中
	4. 特定非営利活動法人「ぷくぷくばるーん」 ばるーんで遊ぼう！ボランティア	活動方法検討中
	5. 緩和ケアセンターボランティア 個人ボランティア、音楽療法、日常生活支援 喫茶、ハンドマッサージ、傾聴ボランティア等	令和5年8月～活動再開

2. 患者慰問活動

活動項目	令和5年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
その他地域福祉活動に 関すること	1. 小児医療センター慰問 ・ハロウィンパーティー 令和5年10月25日(水) ・クリスマス会 令和5年12月14日(木) 2. 緩和ケアセンター慰問 ・夏まつり 令和5年 8月24日(木) ・クリスマス会 令和5年12月21日(木) ・お花ウィーク 令和6年 3月15日(金)	

(4) 地域福祉活動状況

1. 令和5年度赤十字健康教室開催状況

回 数	開催日	講演テーマ	講師 (職名)	参加 人員
第 187 回	令和5年 5月22日(月)	【がんの化学療法】	【座長】山口 丈夫 (副院長兼内視鏡センター長)	45名
		講演 1 がん薬物療法の最近の話題、新規薬剤や遺伝子パネル検査について	中野 祐往 化学療法内科部長	
		講演 2 治療中の生活で気をつけること	大路 小千代 がん化学療法看護認定看護師 看護師長	
		講演 3 がんと薬物療法について	榎原 秀之 がん専門薬剤師 教育研修課長	
		講演 4 がん治療と食事について	伴野 広幸 がん病態栄養専門管理栄養士 栄養課長	
第 188 回	令和5年 7月18日(火)	緩和ケア ～心と身体のつらさを和らげる医療～	【座長】河合 奈津子 (緩和ケア科副部長)	42名
		講演 1 緩和ケアとは・緩和ケアチームについて	尾関 美代子 がん性疼痛看護認定看護師	
		講演 2 診断された時からの緩和ケア	八木 美樹 がん看護専門看護師	
		講演 3 緩和ケアセンターについて	武藤 直美 緩和ケア認定看護師 看護師長	
第 189 回	令和5年 9月6日(水)	【救急医療 どうする私 ～救急で病院にかかるとき！～】	【座長】都築 通孝 (集中治療部長兼救急部長)	32名
		講演 1 救急車を呼ぶ、その時	渡辺 永司 救急救命士 救急部付係長	
		講演 2 救急外来を受診される方へのお願い	山北 奈美 初療室看護係長	
		講演 3 どんなときに救命救急センター受診 を考える？	都築 通孝 集中治療部長兼救急部長	
第 190 回	令和5年 11月14日(火)	【高齢者と糖尿病】	【座長】尾崎 信暁 (内分泌内科部長)	52名
		講演 1 高齢者における糖尿病の特徴	今瀧 柚衣 内分泌内科医師	
		講演 2 血糖値だけじゃない。知っておきたい糖尿病の検査について	中西 由香理 愛知県糖尿病療養指導士 中央採血係長	
		講演 2 高齢者に気をつけて欲しい糖尿病治療薬	石川 惣一 糖尿病薬物療法認定薬剤師 外来薬剤業務係長	
第 191 回	令和6年 2月21日(水)	【腰背部痛】	【座長】井上 英則 (整形外科部長)	84名
		講演 1 背骨の変形による腰背部の痛み	井上 英則 整形外科部長	
		講演 2 明日からできる“腰痛体操”	打田 健人 主任 理学療法士	
		講演 3 知っておくべき腰・背部の痛み ～up to date～	八木 英樹 脊椎脊髄外科部長	

2. 令和5年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

利用月 部屋号	月 別 利 用 日 数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1													0
2							1	1				5	7
3				26	31	30	7						94
5													0
6													0
合 計	0	0	0	26	31	30	8	1	0	0	0	5	101
備 考	総日数 366 日 × 5 = 1,830 利用日数 101 日 利用率 5.519 %												

Ⅱ．業　　績

1．著　　書

令和5年1月～令和6年3月

小児科

小児科学レビュー ―最新主要文献とガイドライン― II. 新生児疾患

大城誠

小児科臨床 21-27, 2023 長谷川奉延, 加藤元博 編 総合医学者発行

小児科学レビュー ―最新主要文献とガイドライン― II. 新生児疾患

大城誠

小児科臨床 21-28, 2024 長谷川奉延, 加藤元博 編 総合医学者発行

頻度が高い感染症(NICU、GCU、乳幼児期) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)

大城誠

with NEO 52-58, 2023 編 メディカ出版発行

【アップデート, RS ウイルスとRS ウイルス感染症】RS ウイルス感染の院内感染予防

大城誠

臨床とウイルス 115-120, 2023 堤 裕幸, 吉川哲史, 中山哲夫, 他 編 日本臨床ウイルス学会発行

【ワクチン up to date】ロタウイルスワクチン 特殊な状況における接種 先天性消化管障害を有する児

大城誠

小児内科 1445-1446, 2023 小児内科編集委員会 編 東京医学社発行

【新型コロナウイルス感染症と周産期医療】新生児医療への影響 新生児とSARS-CoV-2 感染症

大城誠

周産期医学 1481-1485, 2023 周産期医学編集委員 編 東京医学社発行

22 新生児疾患 新生児発作

杉山裕一朗

今日の治療指針 1396-1397, 2023 福井 次矢, 高木 誠, 小室 一成 編 医学書院発行

小児特発性再生不良性貧血

吉田奈央

血液専門医テキスト(改訂第4版)日本血液学会 編集 南江堂, 202-206, 2023(血液)

再生不良性貧血

吉田奈央

小児科診療ガイドライン―最新の診療指針―(第5版)加藤 元博 編集 総合医学社, 420-424, 2023(血液)

若年性骨髄単球性白血病

吉田奈央

特集 小児・AYA 世代がん診療の現在と未来 小児科診療 86(8):931-934, 2023, 診断と治療社(血液)

再生不良性貧血

吉田奈央

エキスパートが教える小児の薬物治療 小児内科 55(増刊号):616-621, 2023, 東京医学社(血液)

骨髄検査

濱麻人

小児臨床検査ガイド第3版 文光堂 東京 2023 年

再生不良性貧血

濱麻人

小児の治療指針 小児科診療 2023 年春増刊号 診断と治療社 東京 2023 年

整形外科

特集 脊椎骨髄領域の画像診断-最新の知識と進歩 II. 成人の脊椎骨髄疾患の画像診断 特発性骨髄ヘルニアの病態と画像診断

八木秀樹

整形・災害外科 66(5),575-580,2023 今釜史郎 編 金原出版 発行

産婦人科

出生前診断

伊藤由美子

with NEO 64-66,2023 メディカ出版

救急外来からのコールの受け方

津田弘之

臨床婦人科産科 2024 増刊号 8-12,2024 産婦人科医のための緊急対応サバイバルブック 医学書院

耳鼻咽喉科

高齢者の疑問にどう答えるか(耳領域) 補聴器が雑音ばかりで聞き取りにくい場合はどうしたらいいのでしょうか？

柘植勇人

JOHNS 第39巻第9号 2023年9月 東京医学社

きょう耳の日「補聴器をあきらめないで」

柘植勇人

産経新聞 2023年03月03日朝刊

就寝時の耳鳴り「寝るとき音響療法」

柘植勇人

週刊女性 2023年8月29日 掲載

臨床工学科

困った時に使える工具

開正宏

できるエンジニアと言われるために3年目までにしておきたい112のこと p45-48, 2023 石井宣大、奥田晃久、相良文 編 Gakken 発行

V-A ECMOとV-V ECMOって何？目的は？(総論)

開正宏

できるエンジニアと言われるために3年目までにしておきたい112のこと p172-175, 2023 石井宣大、奥田晃久、相良文 編 Gakken 発行

人工心肺中のモニタリングと指標(送脱血、血液ガス、体温、抗凝固、電解質など)

開正宏

できるエンジニアと言われるために3年目までにしておきたい112のこと p285-289, 2023 石井宣大、奥田晃久、相良文 編 Gakken 発行

看護部

新生児集中ケア認定看護師のキャリアアップ教育

平岩美緒

小児看護 第46巻第10号 1237-1242 2023 長谷川潤 へるす出版

緩和ケア病棟を併設する高度急性期病院におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)支援からの知見

平野美枝子, 武藤直美, 高間紀子, 橋本千智, 松井咲樹, 高見澤潤一, 河合奈津子, 湯浅典博

ホスピスケアと在宅ケア 88 第31巻3号 244-257 2023 日本ホスピス・在宅ケア研究会

Ⅱ. 業 績

2. 論 文

令和5年1月～令和6年3月

腎臓内科

同種造血幹細胞移植後患者に発生する腎障害—当院で腎生検を行った 15 例の検討—

清水仁美, 田中友規, 鈴木彰, 平松絵美子, 横江優貴, 遠藤信英

日本腎臓学会誌 65(7):907-915 2023

内分泌内科

A case of hereditary coproporphria in which the patient followed an improved course after discontinuation of givosiran treatment

Ozaki N, Hayashi Y, Kiyota A

Internal Medicine 2024 Mar 11

血液内科

Improved Long-Term Net Survival after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation in Patients with Hematologic Malignancies over Two Decades

Ohbiki M¹, Ito Y², Inamoto Y³, Miyamura K⁴, Uchida N⁵, Fukuda T³, Fujiwara H⁶, **Nishida T⁷**, Hayashi M⁸, Tanaka M⁹, Kawakita T¹⁰, Ikegame K¹¹, Katayama Y¹², Ara T¹³, Ichinohe T¹⁴, Kiyoi H¹⁵, Matsuo K¹⁶, Atsuta Y¹⁷

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan; Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 2: Department of Medical Statistics, Research & Development Center, Osaka Medical and Pharmaceutical University, Takatsuki, Japan 3: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Inuyama Chuo General Hospital, Inuyama, Japan 5: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Tranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 10: Department of Hematology, National, Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 11: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 12: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 16: Division of Cancer Epidemiology and Prevention/Introduction, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan; Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 29(12):768.e1-768.e10, 2023

Effect of Graft-versus-Host Disease on Post-Transplantation Outcomes following Single Cord Blood Transplantation Compared with Haploidentical Transplantation with Post-Transplantation Cyclophosphamide for Adult Acute Myeloid Leukemia

Konuma T¹, Matsuda K², Shimomura Y³, Tanoue S⁴, Sugita J⁵, Inamoto Y⁶, Hirayama M⁷, Ara T⁸, Nakamae H⁹, Ota S⁵, Maruyama Y¹⁰, Eto T¹¹, Uchida N¹², Tanaka M¹³, Ishiwa T¹⁴, Koi S¹⁵, Takahashi S¹⁶, **Ozawa Y¹⁷**, Onizuka M¹⁸, Kanda Y¹⁹, Kimura T²⁰, Ichinohe T²¹, Atsuta Y²², Kanda J²³, Yanada M²⁴

1: Department of Hematology and Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 3: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 4: Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan 8: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 9: Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka Metropolitan University, Osaka, Japan 10: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 11: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 12: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 14: Department of Hematology, Toranomon Hospital Kajigaya, Kanagawa, Japan 15: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 16: Division of Clinical Precision Research Platform, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 17: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 19: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 20: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 22: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 23: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 24: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 29(6):365.e1-365.e11, 2023

HLA-Haploidentical Peripheral Blood Stem Cell Transplantation with Post-Transplantation Cyclophosphamide versus HLA-Matched Unrelated Donor Transplantation for Myelodysplastic Syndrome

Nakaya Y¹, Koh H², Konuma T³, Shimomura Y⁴, Ishiyama K⁵, Itonaga H⁶, Hino M¹, Doki N⁷, **Nishida T⁸**, Ohigashi H⁹, Matsuoka K¹⁰, Kanda Y¹¹, Maruyama Y¹², Sawa M¹³, Eto T¹⁴, Hiramoto N¹⁵, Fukuda T¹⁶, Atsuta Y¹⁷, Nakamae H¹⁸

1: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 2: Department of Preventive Medicine and Environmental Health, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 3: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan; Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 5: Department of Hematology, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan 6: Transfusion and Cell Therapy Unit, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 11: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 12: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan

14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 15: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 16: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 18: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 30(3):316.e1-316.e12, 2024

Effect of Conditioning Regimens and Graft-versus-Host Disease Prophylaxis on the Outcomes of Umbilical Cord Blood Transplantation Performed with Cyclophosphamide/Total Body Irradiation-Based Regimens

Imahashi N¹, Kurita N², Konuma T³, Takahashi S³, **Nishida T⁴**, Tanaka M⁵, Nakamae H⁶, Kawakita T⁷, Ota S⁸, Doki N⁹, Onishi Y¹⁰, Sawa M¹¹, Ozeki K¹², Hiramoto N¹³, Onizuka M¹⁴, Ishimaru F¹⁵, Ichinohe T¹⁶, Atsuta Y¹⁷, Kanda J¹⁸

1: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology, Institute of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 3: Department of Hematology/Oncology, the Institute of Medical Science, the University of Tokyo, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 6: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Hospital, Osaka, Japan 7: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 8: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Konan Kosei Hospital, Konan, Japan 13: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 14: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 15: Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 30(3):318.e1–318.e11, 2024

Comparison of Allogeneic Transplant Outcomes Between Matched Sibling Donors and Alternative Donors in Patients Over 50 Years of Age with Acute Myeloid Leukemia: 8/8 Allele-Matched Unrelated Donors and Unrelated Cord Blood Provide Better Leukemia-Free Survival Compared with Matched Sibling Donors During Nonremission Status

Konuma T¹, Yamasaki S², Ishiyama K³, Mizuno S⁴, Hayashi H⁵, Uchida N⁶, Shimabukuro M⁷, Tanaka M⁸, Kuriyama T⁹, Onizuka M¹⁰, Ishiwata K¹¹, Sawa M¹², Tanaka T¹³, Ohigashi H¹⁴, Fujiwara S¹⁵, Matsuoka K¹⁶, Ota S¹⁷, **Nishida T¹⁸**, Kanda Y¹⁵, Fukuda T¹³, Atsuta Y¹⁹, Nakasone H²⁰, Yanada M²¹ Adult Acute Myeloid Leukemia and Donor/source Working Groups of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Internal Medicine, Kyushu University Beppu Hospital, Beppu, Japan 3: Department of Hematology, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan 4: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, School of Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 6: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 11: Department of Hematology, Toranomon Hospital Kajigaya, Kanagawa, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 13: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 14: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 15: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 17: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 18: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Stem Cell Regulation, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Nagoya City University East Medical Center, Nagoya, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 30(2):215.e1–215.e18, 2024

The prognosis and risk factors for patients with complex karyotype myelodysplastic syndrome undergoing allogeneic haematopoietic stem cell transplantation

Shimomura Y^{1,2}, Komukai S³, Kitamura T², Tachibana T⁴, Kurosawa S⁵, Itonaga H⁶, Tsukamoto S⁷, Doki N⁸, Katayama Y⁹, Ito A¹⁰, Sawa M¹¹, Ueda Y¹², Nakamae H¹³, Nawa Y¹⁴, Tanaka M⁴, Arai Y¹⁵, Ota S¹⁶, Kataoka K^{17,18}, **Nishida T¹⁹**, Kanda J¹⁵, Fukuda T¹⁰, Atsuta Y^{20,21}, Ishiyama K²²

1: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 2: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 3: Division of Biomedical Statistics, Department of Integrated Medicine, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 4: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 5: Department of Hematology, Yokohama Municipal Citizen's Hospital, Kawasaki-shi, Kanagawa, Japan 6: Transfusion and Cell Therapy Unit, Nagasaki University Hospital, Nagasaki-shi, Nagasaki, Japan 7: Department of Hematology, Chiba University Hospital, Chiba-shi, Chiba, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 10: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo-shi, Aichi, Japan 12: Department of Hematology/Oncology, Kurashiki Central Hospital, Kurashiki, Okayama, Japan 13: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University, Graduate School of Medicine, Abeno-ku, Osaka, Japan 14: Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital, Matsuyama-shi, Ehime, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 17: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 18: Division of Molecular Oncology, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 19: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center, Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya-shi, Aichi, Japan 20: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 21: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 22: Department of Hematology, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

British Journal of Haematology 204(2):612–622, 2024

Hematopoietic stem cell transplantation from haploidentical offspring donors using post-transplant cyclophosphamide versus human leukocyte antigen-matched siblings in older patients with myelodysplastic syndrome

Shimomura Y^{1,2}, Kitamura T², Konuma T³, Nakaya Y⁴, Doki N⁵, Sawa M⁶, Nakamae H⁴, Eto T⁷, **Nishida T⁸**, Ohigashi H⁹, Ota S¹⁰, Onizuka M¹¹, Hiramoto N¹, Kawakita T¹², Kanda J¹³, Ichinohe T⁷, Atsuta Y^{15,16}, Itonaga H¹⁷

1: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 2: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 3: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo-shi, Japan 7: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya-shi, Japan 9: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 12: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 14: Department of Hematology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 17: Transfusion and Cell Therapy Unit, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan

American Journal of Hematology 99(2):E42–E45, 2024

Antibody response after third dose of COVID-19 mRNA vaccination in allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients is comparable to that in healthy counterparts

Takagi E¹, Terakura S², Fujigaki H³, Okamoto A⁴, Miyao K⁵, Sawa M⁵, Morishita T⁶, Goto T⁶, Ozawa Y⁶, Nishida T⁶, Fukushima N⁷, Ozeki K⁷, Hanaajiri R¹, Saito K³, Murata M¹, Tomita A⁴, Kiyoi H¹

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Advanced Diagnostic System Development, Fujita Health University Graduate School of Health Sciences, Toyoake, Japan 4: Department of Hematology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan, Japan

International Journal of Hematology 118(4):462–471, 2023

Age and allogeneic hematopoietic cell transplantation outcomes in acute myeloid leukemia

Yanada M¹, Yamasaki S², Konuma T³, Mizuno S⁴, Uchida N⁵, Onai D⁵, Fukuda T⁷, Tanaka M⁸, Ozawa Y⁹, Eto T¹⁰, Ikegame K¹¹, Sawa M¹², Y Katayama Y¹³, Kawakita T¹⁴, Onizuka M¹⁵, Kanda Y¹⁶, Ichinohe T¹⁷, Atsuta Y^{4,18}, Yano S¹⁹

1: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 2: Kyusyu University Beppu Hospital, Beppu, Japan 3: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 4: Aichi Medical University, Nagakute, Japan 5: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 11: Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan 12: Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 13: Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 14: National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 16: Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 17: Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 19: The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan

International Journal of Hematology 117(3):398–408, 2023

Effect of the COVID-19 pandemic on allogeneic stem cell transplantation in Japan

Shimomura Y^{1,2}, Kitamura T³, Nishikubo M⁴, Sobue T³, Uchida N⁵, Doki N⁶, Tanaka M⁷, Ito A⁸, Ishikawa J⁹, Ara T¹⁰, Ota S¹¹, Onizuka M¹², Sawa M¹³, Ozawa Y¹⁴, Maruyama Y¹⁵, Ikegame K¹⁶, Kanda Y¹⁷, Ichinohe T¹⁸, Fukuda T⁸, Okamoto S¹⁹, Teshima T²⁰, Atsuta Y^{21,22}

1: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 2: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 3: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Suita, Japan 4: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 8: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 10: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 14: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 15: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 16: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 17: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 18: Department of Hematology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 19: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 20: Department of Hematology, Faculty of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan 21: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 22: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan

International Journal of Hematology 117(4):590–597, 2023

Different effects of thymoglobulin on acute leukemia with pre-transplant residual blasts in HLA mismatch transplantation

Wakamatsu M¹, Murata M², Kanda J³, Fukushima K⁴, Fukuda T⁵, Najima Y⁶, Katayama Y⁷, Ozawa Y⁸, Tanaka M⁹, Kanda Y¹⁰, Eto T¹¹, Takada S¹², Kako S¹³, Uchida N¹⁴, Kawakita T¹⁵, Yoshiko H¹⁶, Ichinohe T¹⁷, Atsuta Y^{18,19}, Terakura S²⁰

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan 4: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Division of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 10: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 11: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 12: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 13: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 14: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology, National Hospital Organization, Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 16: Department of Pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

International Journal of Hematology 117(6):889–899, 2023

Antibody-mediated pathogenesis of chronic GVHD through DBY/HLA class II complexes and induction of a GVL effect

Umino K¹, Morita K¹, Ikeda T¹, Kawaguchi S¹, Nagayama T¹, Ito S¹, Minakata D¹, Ashizawa M¹, Yamamoto C¹, Hatano K¹, Sato K¹, Ohmine K¹, Fujiwara S¹, Kimura S², Kako S², Doki N³, Ozawa Y⁴, Mori Y⁵, Eto T⁶, Hiramoto N⁷, Nakamae H⁸, Kanda J⁹, Ichinohe T¹⁰, Atsuta Y^{11,12}, Nakasone H², Morishima S¹³, Kanda Y^{1,2}

1: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 3: Division of Hematology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 5: Hematology, Oncology & Cardiovascular Medicine, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan 6: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 7: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 8: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Hospital, Osaka, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 11: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 12: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 13: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology and Rheumatology, Second Department of Internal Medicine, Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus, Nishihara, Japan

Blood 142(11):1008–1021, 2023

Novel risk assessment for the intensity of conditioning regimen in older patients

Akahoshi Y^{1,2}, Tada Y³, Sakaida E⁴, Kusuda M¹, Doki N⁵, Uchida N⁶, Fukuda T⁷, Tanaka M⁸, Sawa M⁹, Katayama Y¹⁰, Matsuoka K¹¹, **Ozawa Y¹²**, Onizuka M¹³, Kanda J¹⁴, Kanda Y¹⁵, Atsuta Y^{16,17}, Nakasone H¹

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 2: The Tisch Cancer Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY 3: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 4: Department of Hematology, Chiba University Hospital, Chiba, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 10: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 15: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan

Blood Advances 7(17):4738–4747, 2023

CMV reactivation after allogeneic HCT is associated with a reduced risk of relapse in acute lymphoblastic leukemia

Akahoshi Y^{1,2}, Nakasone H¹, Takenaka K³, Yamasaki S⁴, Nakamura M⁵, Doki N⁶, Tanaka M⁷, **Ozawa Y⁸**, Uchida N⁹, Ara T¹⁰, Nakamae H¹¹, Ota S¹², Onizuka M¹³, Yano S¹⁴, Tanaka J¹⁵, Fukuda T¹⁶, Kanda Y^{1,17}, Atsuta Y^{18,19}, Kako S¹, Yanada M²⁰, Arai Y^{5,21}

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 2: The Tisch Cancer Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY 3: Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine, Ehime, Japan 4: Department of Internal Medicine, Kyushu University Beppu Hospital, Oita, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 9: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Hokkaido University Faculty of Medicine, Hokkaido, Japan 11: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 12: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Hokkaido, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 14: Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 16: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 17: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan 20: Department of Haematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Centre, Aichi, Japan 21: Department of Clinical Laboratory Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

Blood Advances 7(12):2699–2708, 2023

Prognostic impact of complex and/or monosomal karyotypes in post-transplant poor cytogenetic acute myeloid leukaemia: A quantitative approach

Jo T^{1,2}, Arai Y^{1,2}, Oshima S¹, Kondo T¹, Harada K³, Uchida N⁴, Doki N⁵, Fukuda T⁶, Tanaka M⁷, **Ozawa Y⁸**, Kuriyama T⁹, Ikegame K¹⁰, Katayama Y¹¹, Ota S¹², Ara T¹³, Kawakita T¹⁴, Onizuka M³, Ichinohe T¹⁵, Atsuta Y^{16,17}, Yanada M¹⁸

1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Center for Research and Application of Cellular Therapy, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 10: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Hyogo, Japan 11: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 12: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 17: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 18: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

British Journal of Haematology 202(2):356–368, 2023

Poor outcome of allogeneic transplantation for therapy-related acute myeloid leukemia induced by prior chemoradiotherapy

Araie H¹, Arai Y², Kida M³, Aoki J⁴, Uchida N⁵, Doki N⁶, Fukuda T⁴, Tanaka M⁷, **Ozawa Y⁸**, Sawa M⁹, Katayama Y¹⁰, Matsuo Y¹¹, Onizuka M¹², Kanda Y¹³, Kawakita T¹⁴, Kanda J², Atsuta Y^{15,16}, Yanada M¹⁷

1: Department of Hematology and Oncology, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Fukui, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan 4: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations TORANOMON HOSPITAL, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 10: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 11: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 12: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 13: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 17: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan

Annals of Hematology 102(10):2879–2893, 2023

Allogeneic transplantation of bone marrow versus peripheral blood stem cells from HLA-identical relatives in patients with myelodysplastic syndromes and oligoblastic acute myeloid leukemia: a propensity score analysis of a nationwide database

Itonaga H¹, Miyazaki Y^{2,3}, Aoki K⁴, Shingai N⁵, **Ozawa Y⁶**, Fukuda T⁷, Kataoka K^{8,9}, Kawakita T¹⁰, Ueda Y¹¹, Ara T¹², Tanaka M¹³, Katayama Y¹⁴, Sawa M¹⁵, Eto T¹⁶, Kanda J¹⁷, Atsuta Y^{18,19}, Ishiyama K²⁰

1: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 2: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 3: Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 4: Laboratory of Stem Cell Genetics, Institute for Life and Medical Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department

of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 9: Division of Molecular Oncology, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 11: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital, Okayama, Japan 12: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Hokkaido, Japan 13: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 14: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 16: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan 20: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan
Annals of Hematology 102(5):1215–1227, 2023

Risk factors and outcome of *Stenotrophomonas maltophilia* infection after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: JSTCT, Transplant Complications Working Group

Saburi M¹, Oshima K², Takano K³, Inoue Y⁴, Harada K⁵, Uchida N⁶, Fukuda T⁷, Doki N⁸, Ikegame K⁹, Matsuo Y¹⁰, Katayama Y¹¹, **Ozawa Y¹²**, Matsuoka K¹³, Kawakita T¹⁴, Mori Y¹⁵, Ara T¹⁶, Nakamae H¹⁷, Kimura T¹⁸, Kanda Y¹⁹, Atsuta Y^{20,21}, Ogata M³
1: Department of Hematology, Oita Prefectural Hospital, Oita, Japan 2: Department of Hematology, Jyoban Hospital, Tokiwa Foundation, Fukushima, Japan 3: Department of Hematology, Oita University Hospital, Oita, Japan 4: Department of Hematology, Kumamoto University Hospital, Kumamoto, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Tokai University, Isehara, Japan 6: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Division of Hematology, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan 10: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 11: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Hematology, Oncology & Cardiovascular medicine, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan 16: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Hokkaido, Japan 17: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Hospital, Osaka, Japan 18: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 19: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 20: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 21: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan
Annals of Hematology 102(9):2507–2516, 2023

A convolutional neural network-based model that predicts acute graft-versus-host disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation

Jo T^{1,2}, Arai Y^{3,4}, Kanda J¹, Kondo T¹, Ikegame K⁵, Uchida N⁶, Doki N⁷, Fukuda T⁸, **Ozawa Y⁹**, Tanaka M¹⁰, Ara T¹¹, Kuriyama T¹², Katayama Y¹³, Kawakita T¹⁴, Kanda Y¹⁵, Onizuka M¹⁶, Ichinohe T¹⁷, Atsuta Y^{18,19}, Terakura S²⁰
1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Center for Research and Application of Cellular Therapy, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Center for Research and Application of Cellular Therapy, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 5: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Hyogo, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 11: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 13: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 16: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Communications Medicine (Lond) 3(1):67, 2023

Should a matched sibling donor still be considered the primary option for allogeneic hematopoietic cell transplantation in patients over 50 years of age with myelodysplastic syndrome?

Konuma T¹, Itonaga H², Ishiyama K³, Doki N⁴, Uchida N⁵, Sawa M⁶, Katayama Y⁷, Tanaka M⁸, Ueda Y⁹, Onizuka M¹⁰, Miyakoshi S¹¹, **Ozawa Y¹²**, Fukuda T¹³, Matsuoka K¹⁴, Tanaka J¹⁵, Kimura T¹⁶, Ichinohe T¹⁷, Atsuta Y^{18,19}
1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 3: Department of Hematology, Kanazawa University, Kanazawa, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 7: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 8: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital, Kurashiki, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 11: Department of Hematology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, Tokyo, Japan 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 13: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Hospital, Tokyo, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 15: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan
Bone Marrow Transplantation 58(8):893–906, 2023

Impact of HLA disparity on overall mortality risk in patients with extensive chronic GVHD: The HLA Working Group of Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy

Fuji S¹, Hakoda A², Kanda J³, Fukuda T⁴, Doki N⁵, YKatayama N⁶, Uchida N⁷, **Ozawa Y⁸**, Kanda Y⁹, Tanaka M¹⁰, Kataoka K¹¹, Ara T¹², Sawa M¹³, Onizuka M¹⁴, Onishi Y¹⁵, Kimura T¹⁶, Ichinohe T¹⁷, Atsuta Y^{18,19}, Shintani A², Morishima S²⁰
1: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 2: Department of Medical Statistics, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 7: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel

Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 9: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 10: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 11: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 12: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Hokkaido, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 14: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 15: Department of Hematology, Tohoku University Hospital, Miyagi, Japan 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan 20: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology, Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan

Bone Marrow Transplantation 58(11):1257–125, 2023

External validation and extended application of the transplant conditioning intensity score in acute myeloid leukemia

Yanada M¹, Shimomura Y², Mizuno S³, Matsuda K⁴, Kondo T², Doki N⁵, Tanaka M⁶, Fukuda T⁷, Ara T⁸, Uchida N⁹, Onizuka M¹⁰, Sawa M¹¹, **Ozawa Y**¹², Hiramoto N², Ota S¹³, Kanda J¹⁴, Kanda Y¹⁵, Ichinohe T¹⁶, Okamoto S¹⁷, Atsuta Y^{3,18}, Konuma T¹⁹

1: Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 2: Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 3: Aichi Medical University, Nagakute, Japan 4: Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 5: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 7: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 9: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 10: Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 11: Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 12: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 13: Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 14: Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 15: Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 16: Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 17: Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

Bone Marrow Transplantation 58(10):1096–1103, 2023

Identifying the optimal conditioning intensity for stem cell transplantation in patients with myelodysplastic syndrome: a machine learning analysis

Shimomura Y^{1,2}, Komukai S³, Kitamura T⁴, Sobue T⁴, Kurosawa S⁵, Doki N⁶, Katayama Y⁷, **Ozawa Y**⁸, Matsuoka K⁹, Tanaka T¹⁰, Kako S¹¹, Sawa M¹², Kanda Y¹³, Nakamae H¹⁴, Nakazawa H¹⁵, Ueda Y¹⁶, Kanda J¹⁷, Fukuda T¹⁰, Atsuta Y^{18,19}, Ishiyama K²⁰

1: Department of Hematology, Kobe City Hospital Organization Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 2: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 3: Division of Biomedical Statistics, Department of Integrated Medicine Osaka University, Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 4: Department of Environmental Medicine and Population Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 5: Division of Stem Cell and Molecular Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 10: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 11: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 13: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 14: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 15: Department of Hematology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan 16: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital, 1-1-1 Miwa, Kurashiki-shi, Okayama, 710-8602, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Ishikawa, Japan

Bone Marrow Transplantation 58(2):186–194, 2023

Analysis of risk factors for fatal renal complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation

Yanagisawa R¹, Koyama H², Yakushiji K³, Uchida N⁴, Jinguji A⁵, Takeda W⁶, **Nishida T**⁷, Tanaka M⁸, Eto T⁹, Ohigashi H¹⁰, Ikegame K¹¹, Matsuoka K¹², Katayama Y¹³, Kanda Y¹⁴, Sawa M¹⁵, Kawakita T¹⁶, Onizuka M¹⁷, Fukuda T⁶, Atsuta Y^{18,19}, Shinohara A², Nakasone H^{14,20}

1: Division of Blood Transfusion, Shinshu University Hospital, Matsumoto, Japan 2: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 3: Department of Medical Oncology and Hematology, Kobe University Hospital, Kobe, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations TORANOMON HOSPITAL, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 10: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 13: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 14: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 16: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 17: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 20: Division of Emerging Medicine for Integrated Therapeutics, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan

Bone Marrow Transplantation 59(3):325–333, 2023

Impact of MRD on clinical outcomes of unrelated hematopoietic stem cell transplantation in patients with Ph+ ALL: A retrospective nationwide study

Hirabayashi S¹, Kondo T¹, Nishiwaki S², Mizuta S³, Doki N⁴, Fukuda T⁵, Uchida N⁶, **Ozawa Y**⁷, Kanda Y⁸, Imanaka R⁹, Takahashi S¹⁰, Ishikawa J¹¹, Yano S¹², Nakamae H¹³, Eto T¹⁴, Kimura T¹⁵, Tanaka J¹⁶, Ichinohe T¹⁷, Atsuta Y^{18,19}, Kako S⁸

1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology & Immunology, Kanazawa Medical University, Kanazawa, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 9: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 10: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 11: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 12: Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Hospital, Osaka, Japan 14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 15: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 16: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 19:

Progress in survival following three decades of allogeneic hematopoietic cell transplantation for myelodysplastic syndrome: A real-world registry study in Japan

Konuma T¹, Itonaga H², Ishiyama K³, Hamamura A⁴, Uchida N⁵, **Ozawa Y⁶**, Katayama Y⁷, Sakurai M⁸, Ueda Y⁹, Matsuoka K¹⁰, Kawakita T¹¹, Eto T¹², Ara T¹³, Kanda J¹⁴, Onizuka M¹⁵, Fukuda T¹⁶, Atsuta Y^{17,18}

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 3: Department of Hematology, Kanazawa University, Kanazawa, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital, Kurashiki, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 11: Department of Hematology, National Hospital Organisation Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 16: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Hospital, Tokyo, Japan 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 18: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan
American Journal of Hematology 98(4):E68–E71, 2023

Outcomes in human T-cell leukemia virus type I carriers after hematopoietic stem cell transplantation for diseases other than adult T cell leukemia/lymphoma: a Japanese national survey

Nakano N¹, Nakasone H², Fuji S³, Shinohara A⁴, Suzuki R⁵, Utsunomiya A¹, Eto T⁶, Morishima S⁷, Ikegame K⁸, Kakinoki Y⁹, Matsuoka K¹⁰, Mori Y¹¹, Suehiro Y¹², Uchida N¹³, Ito A¹⁴, Doki N¹⁵, **Ozawa Y¹⁶**, Kanda J¹⁷, Kanda Y¹⁸, Fukuda T¹⁴, Atsuta Y^{19,20}, Ogata M²¹

1: Department of Hematology, Inamura General Hospital, Kagoshima, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 3: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 4: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 5: Shimane University Hospital Cancer Center, Izumo, Japan 6: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 7: Second Department of Internal Medicine, Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology and Rheumatology, University of the Ryukyus, Nishihara, Japan 8: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 9: Department of Hematology, Asahikawa City Hospital, Asahikawa, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 11: Hematology, Oncology & Cardiovascular Medicine, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan 12: Department of Hematology and Cell Therapy, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan 13: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 14: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 15: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 16: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 18: Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimono, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 20: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 21: Department of Medical Oncology and Hematology, Oita University Faculty of Medicine, Yufu, Japan
The Lancet Regional Health Western Pacific 40:10090–100902, 2023

Impact of anti-thymocyte globulin on survival outcomes in female-to-male allogeneic hematopoietic stem cell transplantation

Tamaki M¹, Akahoshi Y^{2,3}, Ashizawa M⁴, Misaki Y², Koi S⁵, Kim S⁶, **Ozawa Y⁷**, Fujiwara S⁴, Kako S², Matsuoka K⁸, Sawa M⁹, Katayama Y¹⁰, Onizuka M¹¹, Kanda Y^{2,4}, Fukuda T⁶, Atsuta Y^{12,13}, Yakushijin K¹⁴, Nakasone H^{15,16}

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, 1-847 Amanuma-cho, Omiya-ku, Saitama, 330-8503, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, 1-847 Amanuma-cho, Omiya-ku, Saitama, 330-8503, Japan 3: Tisch Cancer Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, USA 4: Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Disease Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 10: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 11: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 12: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 13: Department of Registry Science for Transplantation and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 14: Department of Medical Oncology and Hematology, Kobe University Hospital, Kobe, Japan 15: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 16: Division of Stem Cell Regulation, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan
Scientific Reports 13(1):7166, 2023

Outcomes after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in acute myeloid leukemia patients with der(1;7)(q10;p10)

Mizumaki H¹, Ishiyama K¹, Aoki J², Mori J³, Mizuno S⁴, Doki N⁵, Fukuda T⁶, Uchida N⁶, Onizuka M⁷, Tanaka M⁸, Katayama Y⁹, **Ozawa Y¹⁰**, Ikegame K¹¹, Takada S¹², Kawakita T¹³, Aotsuka N¹⁴, Atsuta Y^{15,16}, Yanada M¹⁷

1: Department of Hematology Kanazawa University Hospital Kanazawa Japan 2: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation National Cancer Center Hospital Tokyo Japan 3: Department of Hematology Jyoban Hospital of Tokiwa Foundation Fukushima Japan 4: Division of Hematology Department of Internal Medicine Aichi Medical University Nagakute Japan 5: Hematology Division Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital Tokyo Japan 6: Department of Hematology Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital Tokyo Japan 7: Department of Hematology and Oncology Tokai University School of Medicine Isehara Japan 8: Department of Hematology Kanagawa Cancer Center Yokohama Japan 9: Department of Hematology Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital Hiroshima Japan 10: Department of Hematology Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital Nagoya Japan 11: Department of Hematology Hyogo Medical University Hospital Hyogo Japan 12: Leukemia Research Center Saiseikai Maebashi Hospital Maebashi Japan 13: Department of Hematology National Hospital Organization Kumamoto Medical Center Kumamoto Japan 14: Division of Hematology-Oncology Japanese Red Cross Society Narita Hospital Narita Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation Nagoya Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy Aichi Medical University School of Medicine Nagakute Japan 17: Department of Hematology and Cell Therapy Aichi Cancer Center Nagoya Japan
eJHaem 4(1):251–257, 2023

Autologous peripheral blood stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia is safe but poses challenges for long-term maintenance of molecular remission: Results of the Auto-Ph17 study

Nishiaki S¹, Sugiura I², Sato T^{3,4}, Kobayashi M⁵, **Osaki M⁶**, Sawa M⁷, Adachi Y⁸, **Okabe M⁶**, Saito S⁵, **Morishita T⁶**, Kohno A⁸, Nishiyama T⁹, Iida H¹⁰, Kurahashi S², Kuwatsuka Y¹, Sugiyama D³, Ito S³, Nishikawa H³, Kiyoi H⁴

1: Department of Advanced Medicine Nagoya University Hospital Nagoya Japan 2: Division of Hematology and Oncology Toyohashi Municipal Hospital Toyohashi Japan 3: Department of Immunology Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya Japan 4: Department of Hematology and Oncology Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya Japan 5: Department of Hematology and Oncology Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daini Hospital Nagoya Japan 6: Department of Hematology Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital Nagoya Japan 7: Department of Hematology and Oncology Anjo Kosei Hospital Anjo Japan 8: Department of Hematology and Oncology JA Aichi Konan Kosei Hospital Konan Japan 9: Division of Hematology Ichinomiya Municipal Hospital Ichinomiya Japan 10: Department of Hematology National Hospital Organization Nagoya Medical Center Nagoya Japan
EJHaem. 2023;4(2):358–369. Published 2023 Mar 20. doi:10.1002/jha2.677

Risk factors for fatal cardiac complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation: Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy transplant complications working group

Yanagisawa R¹, Tamaki M², Tanoshima R³, Misaki Y², Uchida N⁴, Koi S⁵, Tanaka T⁶, **Ozawa Y⁷**, Matsuo Y⁸, Tanaka M⁹, Ikegame K¹⁰, Katayama Y¹¹, Matsuoka K¹², Ara T¹³, Kanda Y², Matsumoto K¹⁴, Fukuda T⁶, Atsuta Y^{15,16}, Kato M¹⁷, Nakasone H²

1: Division of Blood Transfusion, Shinshu University Hospital, Matsumoto, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 3: Department of Pediatrics, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 10: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital, Nishinomiya, Japan 11: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 17: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan
Hematological Oncology 41(3):535–545, 2023

Intensified conditioning regimens improved disease-free survival and engraftment after unrelated single-unit cord blood transplantation but not after matched sibling or matched unrelated donor allogeneic hematopoietic cell transplantation

Konuma T¹, Kanda J², Uchida N³, Nishijima A⁴, Tanaka M⁵, **Ozawa Y⁶**, Sawa M⁷, Onizuka M⁸, Ota S⁹, Maruyama Y¹⁰, Kanda Y¹¹, Kawakita T¹², Ara T¹³, Eto T¹⁴, Nakamae H¹⁵, Kimura T¹⁶, Fukuda T¹⁷, Atsuta Y^{18,19}

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan. 3: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan. 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 9: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 11: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 12: Department of Hematology, National Hospital Organisation Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 13: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 15: Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 17: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 19: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan
Hematological Oncology (1):147–158, 2023

Clinical characteristics and risk factors of pneumococcal diseases in recipients of allogeneic hematopoietic stem cell transplants in the late phase: A retrospective registry study

Okinaka K¹, Inoue Y², Uchida N³, Toya T⁴, Ogawa H⁵, **Ozawa Y⁶**, Eto T⁷, Mori T⁸, Sugita J⁹, Kondo T¹⁰, Kato K¹¹, Suzuki R¹², Fukuda T²

1: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 2: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 3: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Hematology/Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 12: Department of HSCT Data Management and Biostatistics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Journal of Infection and Chemotherapy 29(7):726–730, 2023

Asciminib vs bosutinib in CML patients pretreated with ≥2 tyrosine kinase inhibitors: Results from the Japanese subgroup analysis of ASCEMBL study

Yuda J¹, Doki N², Matsuoka H³, Yokota T⁴, Tomita A⁵, Takahashi N⁶, Matsumura I⁷, Kubo K⁸, **Goto T⁹**, Kirito K¹⁰, Maki A¹¹, Aoki M¹¹, Allepuz A¹², Minami Y¹

1: National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan 2: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan 3: Kobe University Hospital, Kobe, Japan 4: Osaka University Hospital, Osaka, Japan 5: Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 6: Akita University Hospital, Akita, Japan 7: Kindai University Hospital, Osaka, Japan 8: Aomori Prefectural Central Hospital, Aomori, Japan 9: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 10: University of Yamanashi Hospital, Yamanashi, Japan 11: Novartis Pharma KK, Tokyo, Japan 12: Novartis Pharma AG, Basel, Switzerland
Cancer Medicine 12(3):2990–2998, 2023

Clinical utility of genomic profiling of AML using paraffin-embedded bone marrow clots: HM-SCREEN-Japan 01

Hosono N¹, Chi S², Yamauchi T¹, Fukushima K³, Shibayama H³, Katagiri S⁴, Gotoh A⁴, Eguchi M⁵, **Morishita T⁵**, Ogasawara R⁶, Kondo T⁶, Yanada M⁷, Yamamoto K⁷, Kobayashi T⁸, Kuroda J⁸, Usuki K⁹, Utsu Y¹⁰, Yoshimitsu M¹¹, Ishitsuka K¹¹, Ono T¹², Takahashi N¹³, Iyama S¹⁴, Kojima K¹⁵, Nakamura Y¹⁶, Fukuhara S¹⁷, Izutsu K¹⁷, Abutani H¹⁸, Yamauchi N², Yuda J², Minami Y²; All HM-SCREEN-Japan 01 Investigators

1: Department of Hematology and Oncology, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan 2: Department of Hematology, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan 4: Department of Hematology, Tokyo Medical University Hospital, Tokyo, Japan 5: Division of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 6: Blood Disorders Center, Aiku Hospital, Sapporo, Japan 7: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 8: Division of Hematology and Oncology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan 9: Department

of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Narita Hospital, Narita, Japan 11: Department of Hematology, Kagoshima University Hospital, Kagoshima, Japan 12: Department of Hematology, Hamamatsu University Hospital, Hamamatsu, Japan 13: Department of Hematology, Nephrology, and Rheumatology, Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan 14: Department of Hematology, Sapporo Medical University, Sapporo, Japan 15: Department of Hematology, Kochi Medical School Hospital, Nankoku, Japan 16: Third Department of Internal Medicine, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan 17: Department of Hematology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 18: Chugai Pharmaceutical Co., Ltd, Tokyo, Japan
Cancer Science 114(5):2098–2108, 2023

Allogeneic hematopoietic cell transplantation for patients with acute myeloid leukemia not in remission

Yanada M^{1,2}, Yamasaki S³, Kondo T⁴, Kawata T⁵, Harada K⁶, Uchida N⁷, Doki N⁸, Yoshihara S⁹, Katayama Y¹⁰, Eto T¹¹, Tanaka M¹², Takada S¹³, Kawakita T¹⁴, **Nishida T**¹⁵, Ota S¹⁶, Serizawa K¹⁷, Onizuka M⁶, Kanda Y¹⁸, Fukuda T¹⁹, Atsuta Y^{20,21}, Konuma T²²

1: Nagoya City University East Medical Center, Nagoya, Japan 2: Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 3: Kyusyu University Beppu Hospital, Beppu, Japan 4: Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 5: Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Amagasaki, Japan 6: Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 7: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 8: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 10: Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 11: Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 12: Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 13: Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 14: National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 16: Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 17: Kindai University Hospital, Osaka-, Sayama, Japan 18: Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 19: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 20: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 21: Aichi Medical University, Nagakute, Japan 22: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

Leukemia. 2024 Mar;38(3):513–520. doi: 10.1038/s41375-023-02119-0. Epub 2023 Dec 21.PMID: 38129514

Impact of stem cell selection between bone marrow and peripheral blood stem cells for unrelated hematopoietic stem cell transplantation for hematologic malignancies: on behalf of the Donor/Source Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy

Hayashi H¹, Iwasaki M¹, Nakasone H², Tanoshima R³, Shimabukuro M⁴, Takeda W⁵, **Nishida T**⁶, Kako S⁷, Fujiwara S⁸, Katayama Y⁹, Sawa M¹⁰, Serizawa K¹¹, Matsuoka K¹², Uchida N¹³, Ikeda T¹⁴, Ohigashi H¹⁵, Fukushima K¹⁶, Hino M¹⁷, Kanda Y¹⁸, Fukuda T⁵, Atsuta Y¹⁹, Kanda J²⁰

1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Stem Cell Regulation, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 3: YCU Center for Novel and Exploratory Clinical Trials, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 8: Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 9: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 11: Division of Hematology and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Hospital, Osakasayama, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 13: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Association Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 14: Division of Hematology and Stem Cell Transplantation, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka, Japan 15: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 17: Department of Pediatrics, School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan 18: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan 20: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

Cytotherapy 26(2):178–184, 2024

Scoring system for optimal cord blood unit selection for single cord blood transplantation

Watanabe M¹, Konuma T², Imahashi N³, Terakura S⁴, Seo S⁵, Morishima S⁶, Uchida N⁷, Doki N⁸, Tanaka M⁹, **Nishida T**¹⁰, Kawakita T¹¹, Eto T¹², Takahashi S¹³, Sawa M¹⁴, Uehara Y¹⁵, Kim S¹⁶, Ishimaru F¹⁷, Ichinohe T¹⁸, Fukuda T¹⁶, Atsuta Y¹⁹, Kanda J²⁰

1: Department of Hematology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan; Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 3: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Aichi, Japan 4: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Dokkyo Medical University, Tochigi, Japan 6: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology, Second Department of Internal Medicine, Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan 7: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 11: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 13: Division of Clinical Research Platform, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 15: Department of Hematology, Kitakyushu City Hospital Organization, Kitakyushu Municipal Medical Center, Fukuoka, Japan 16: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 17: Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Aichi, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan 20: Department of Hematology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan

Cytotherapy 26(3):286–298, 2024

Comparative Analysis of Allogeneic Bone Marrow Transplantation Outcomes Between Japanese and Non-Japanese Populations

Yanagisawa R¹, Shindo M², Shinohara A², Kuwatsuka Y³, Nakase K⁴, Kimura F⁵, Shingai N⁶, **Nishida T**⁷, Fukuda T⁸, Sakurai M⁹, Kurokawa M¹⁰, Koike T¹¹, Ota S¹², Takada S¹³, Onizuka M¹⁴, Uchida N¹⁵, Tanaka M¹⁶, Noguchi M¹⁷, Maruyama Y¹⁸, Hagihara M¹⁹, Ichinohe T²⁰, Atsuta Y²¹, Kanda J²², Nakasone H²³, Toubai T²⁴

1: Division of Blood Transfusion, Shinshu University Hospital, Matsumoto, Japan 2: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 3: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 4: Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital, Ehime, Japan 5: Division of Hematology, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 9: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 10: Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 11: Department of Pediatrics, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 12: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 13: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 14: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 15: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 16: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 17: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan 18: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 19: Department of Hematology and Clinical Immunology, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Japan 20:

Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 21: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 22: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 23: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Emerging Medicine for Integrated Therapeutics (EMIT) Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 24: Department of Hematology and Cell Therapy, Yamagata University Hospital, Yamagata, Japan.
Transplantation Proceedings 56(2):416–421, 2024

Outcomes of allogeneic hematopoietic cell transplantation under letermovir prophylaxis for cytomegalovirus infection

Takenaka K¹, Fuji S², Matsukawa T³, Uchida N⁴, Kobayashi T⁵, Tanaka M⁶, Ara T³, Ikegame K⁷, **Ozawa Y⁸**, Kanda Y⁹, Sawa M¹⁰, Maruyama Y¹¹, Fukuda T¹², Nakamae H¹³, Kimura T¹⁴, Ogata M¹⁵, Seo S¹⁶, Atsuta Y^{17,18}, Matsuo K¹⁹, Nakasone H⁹

1: Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine, Ehime, Japan 2: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan. 3: Department of Hematology, Hokkaido University Faculty of Medicine, Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 7: Department of Hematology, Hyogo Medical University Hospital, Nishinomiya, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 11: Department of Hematology, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Japan 12: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, Osaka Metropolitan University Hospital, Osaka, Japan 14: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Osaka, Japan 15: Department of Hematology, Oita University Hospital, Oita, Japan 16: Department of Hematology and Oncology, Dokkyo Medical University, Tochigi, Japan 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 18: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University, School of Medicine, Nagakute, Japan 19: Division of Molecular Medicine, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan
Annals of Hematology 103(1):285–296, 2024

Reduced-intensity allogeneic transplantation for children and adolescents with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia

Ishida H¹, Arakawa Y², Hasegawa D³, Usami I⁴, Hashii Y⁵, Arai Y⁶, Nishiwaki S⁷, Keino D⁸, Kato K⁹, Sato M¹⁰, Yoshida N¹¹, **Ozawa Y¹²**, Okada K¹³, Hidaka M¹⁴, Yuza Y¹⁵, Tanaka M¹⁶, Watanabe K¹⁷, Takita J¹⁸, Kosaka Y³, Fujita N¹⁹, Tanaka J²⁰, Sato A²¹, Atsuta Y^{22,23}, Imamura T²⁴

1: Department of Pediatrics, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 2: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Center of Childhood Cancer, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 4: Department of Pediatric Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Hyogo, Japan 5: Department of Pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 7: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 8: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan 9: Division of Pediatric Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Ibaraki, Japan 10: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 13: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 14: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology/Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan 16: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 18: Department of Pediatrics, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 19: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 20: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 22: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 23: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 24: Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Graduate School of Medical Science, Kyoto, Japan
Annals of Hematology 103(3):843–854, 2024

脳神経内科

Hot cross bun sign を呈した大脳皮質基底核変性症の 1 剖検例

安藤孝志, 横井風児^{1,2}, 陸雄一³, 赤木明生⁴, 宮原弘明⁴, 長谷川成人⁵, 勝野雅史, 吉田眞里⁴, 岩崎靖⁴

1: 成田記念病院 2: 渥美病院 3: 名古屋大学神経内科 4: 愛知医科大学 5: 東京都医学総合研究所

臨床神経学 63(10):700, 2023

脳梗塞とともに発症し、両側頭極に病変の広がりを認めた脳幹型 Posterior reversible encephalopathy syndrome(PRES)の 1 例

鶴飼陽一, 安藤孝志, 渡邊はづき, 後藤洋二

臨床神経学 63(10):698, 2023

当院における孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病 8 剖検例の臨床病理学的検討

伊藤理樹, 安藤孝志, 渡邊はづき, 後藤洋二, 真野和夫, 赤木明生¹, 吉田眞理¹, 岩崎靖¹

1: 愛知医科大学加齢医科学研究所

臨床神経学 63:324, 2023

中枢神経系外病変として間質性肺炎を呈し、肺癌も合併した視神経脊髄炎の高齢男性例

大河内建, 陸雄一¹, 渡邊はづき, 安藤孝志, 後藤洋二, 真野和夫, 吉田眞理², 岩崎靖²

1: 名古屋大学神経内科 2: 愛知医科大学加齢医科学研究所

臨床神経学 63:29, 2023

間質性肺炎を合併した視神経脊髄炎の 1 例

大河内建, 本田大祐, 渡邊はづき, 後藤洋二, 真野和夫

臨床神経学 63(3):190, 2023

免疫チェックポイント阻害薬投与から1年以上後に辺縁系脳炎と脊髄炎を発症した一例

伊藤理樹, 渡邊はづき, 加藤暉康, 大河内建, 福野貴仁, 三澤尚史, 谷本由佳, 近藤隼人, 本田大祐, 後藤洋二, 真野和夫

臨床神経学 63(3):190, 2023

胸腺腫摘出後に、神経症状の増悪と落葉状天疱瘡の発症をきたした Morvan 症候群の一症例

三澤尚史, 伊藤理樹, 加藤暉康, 大河内建, 谷本由佳, 福野貴仁, 近藤隼人, 本田大祐, 渡邊はづき, 後藤洋二, 真野和夫
臨床神経学 63(3):190, 2023

運動失調と感音難聴で発症し TWNK 遺伝子変異を認めた Perrault 症候群の 1 例

谷本由佳, 渡邊はづき, 伊藤理樹, 加藤暉康, 大河内建, 福野貴仁, 三澤尚史, 近藤隼人, 安藤孝志, 後藤洋二, 真野和夫
臨床神経学 63(7):478, 2023

Intramedullary trigeminal tract に一致した異常信号と三叉神経中枢性髄鞘病変を認め、多発性硬化症と考えられた一例

加藤暉康, 伊藤理樹, 大河内建, 福野貴仁, 三澤尚史, 近藤隼人, 谷本由佳, 安藤孝志, 渡邊はづき, 後藤洋二, 真野和夫
臨床神経学 63(7):475, 2023

【脊椎脊髄領域の画像診断-最新の知識と進歩】成人の脊椎脊髄疾患の画像診断 内科疾患による脊髄障害の画像診断

安藤孝志, 勝野雅央, 吉田眞理, 岩崎靖

整形・災害外科 66(5):591-597, 2023

Neurogenic intermittent claudication caused by vasculitis in the cauda equina: an autopsy case report

Ando T^{1,2}, Watanabe H³, Riku Y^{1,2}, Yoshida M², Goto Y³, Ando R⁴, Fujino M⁴, Ito M⁴, Koike H¹, Katsuno M^{1,6}, Iwasaki Y²

1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan 2: Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Aichi, Japan 3: Department of Neurology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 5: Department of Clinical Research Education, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan
European Spine Journal 32(7):2602-2606, 2023

Dysregulation of Aldh1a2 underlies motor neuron degeneration in spinal muscular atrophy

Kataoka M¹, Sahashi K¹, Tsujikawa K¹, Takeda J², Hirunagi T¹, Iida M¹, Katsuno M^{1,3}

1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Division of Neurogenetics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Clinical Research Education, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 466-8550, Japan
Neuroscience Research 194:58-65, 2024

循環器内科

Endoscopic Aortic Valve Replacement: Initial Outcomes of Isolated and Concomitant Surgery

Hosoba S¹, Ito T¹, Mori M², Kato R¹, Kajiyama K¹, Maeda S¹, Nakai Y³, Morishita Y⁴

1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of Cardiothoracic Surgery, Yale School of Medicine, New Haven, Connecticut 3: Department of Clinical Engineering, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
The Annals of Thoracic Surgery 116(4):744-749, 2023

呼吸器内科

Clinical efficacy of osimertinib in EGFR-mutant non-small cell lung cancer with distant metastasis

Gen S¹, Tanaka I², Morise M¹, Koyama J¹, Kodama Y³, Matsui A⁴, Miyazawa A⁵, Hase T¹, Hibino Y⁵, Yokoyama T³, Kimura T⁶, Yoshida N⁴, Sato M⁷, Hashimoto N¹

1: Department of Respiratory Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Respiratory Medicine, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 4: Department of Respiratory Medicine, Konan Kosei Hospital, Konan, Japan 5: Department of Respiratory Medicine and Allergy, Tosei General Hospital, Seto, Japan 6: Division of Host Defense Sciences, Department of Integrated Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
BMC Cancer 22(1):654, 2023

Multicenter, Retrospective Study to Evaluate Necitumumab Plus Cisplatin and Gemcitabine After Immune Checkpoint Inhibitors in Advanced Squamous Cell Lung Cancer in Japan: The NINJA Study

Murata Y¹, Tanzawa S², Misumi T³, Yoshioka H⁴, Miyauchi E⁵, Ninomiya K⁶, Takeshita M¹, Ito K⁷, Okamoto T⁷, Sugawara S⁸, Kawashima Y⁸, Hashimoto K⁹, Mori M⁹, Miyana A¹⁰, Hayashi A¹⁰, Tanaka H¹¹, Honda R¹², Nojiri M¹³, Sato Y¹⁴, Hata A¹⁵, Masuda K¹⁶, Kozuki T¹⁷, Kawamura T¹⁸, Suzuki T¹⁹, Yamaguchi T²⁰, Asada K²¹, Tetsumoto S²², Tanaka H²³, Watanabe S²⁴, Umeda Y²⁵, Yamaguchi K²⁶, Kuyama S²⁷, Tsuruno K²⁸, Misumi Y²⁹, Kuraishi H³⁰, Yoshihara K³¹, Nakao A³², Kubo A³³, Yokoyama T³⁴, Watanabe K³⁵, Seki N²

1: Department of Respiratory Medicine, Ichinomiya Nishi Hospital, Aichi, Japan 2: Division of Medical Oncology, Department of Internal Medicine, Teikyo University School of Medicine, Tokyo, Japan 3: Department of Data Science, National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan 4: Department of Thoracic Oncology, Kansai Medical University Hospital, Osaka, Japan 5: Department of Respiratory Medicine, Tohoku University Hospital, Miyagi, Japan 6: Center for Comprehensive Genomic Medicine, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 7: Department of Thoracic Oncology, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan 8: Department of Pulmonary Medicine, Sendai Kousei Hospital, Miyagi, Japan 9: Department of Thoracic Oncology, National Hospital Organization Osaka Toneyama Medical Center, Osaka, Japan 10: Department of Pulmonary Medicine and Oncology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 11: Department of Respiratory Medicine, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Aomori, Japan 12: Department of Respiratory Medicine, Asahi General Hospital, Chiba, Japan 13: Department of Respiratory Medicine, Kanazawa Medical University, Ishikawa, Japan 14: Department of Respiratory Medicine, Kobe City Medical Center General Hospital, Hyogo, Japan 15: Division of Thoracic Oncology, Kobe Minimally Invasive Cancer Center, Hyogo, Japan 16: Department of Respiratory Medicine, Hiroshima Prefectural Hospital, Hiroshima, Japan 17: Department of Thoracic Oncology and Medicine, National Hospital Organization Shikoku Cancer Center, Ehime, Japan 18: Department of Thoracic Oncology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 19: Department of Respiriology, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan 20: Department of Thoracic Oncology, Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan 21: Department of Respiratory Medicine, Shizuoka General Hospital, Shizuoka, Japan 22: Department of Respiratory Medicine and Clinical Immunology, Suita Municipal Hospital, Osaka, Japan 23: Department of Internal Medicine, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan 24: Department of Respiratory Medicine and Infectious Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 25: Third Department of Internal Medicine, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Fukui, Japan 26: Department of Respiratory Medicine, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan 27: Department of Respiratory Medicine, National Hospital Organization Iwakuni Clinical Center, Yamaguchi, Japan 28: Department of Respiratory Medicine, Iizuka Hospital, Fukuoka, Japan 29: Department of Respiratory Medicine, Yokohama Municipal Citizen's Hospital, Kanagawa, Japan 30: Department of Pulmonary Medicine, Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan 31: Department of Internal Medicine, Division of Medical Oncology and Respiratory Medicine, Shimane University Faculty of Medicine, Shimane, Japan 32: Department

of Respiratory Medicine, Fukuoka University Hospital, Fukuoka, Japan 33: Department of Respiratory Medicine and Allergology, Aichi Medical University, Aichi, Japan 34: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 35: Department of Respiratory Medicine, Miyagi Cancer Center, Miyagi, Japan JTO clinical and reports 4(12), 2023

Comprehensive circulating microRNA profile as a supersensitive biomarker for early-stage lung cancer screening
Inagaki M¹, Uchiyama M², Yoshikawa-Kawabe K³, Ito M³, Murakami H³, Gunji M⁴, Minoshima M⁴, Kohnoh T¹, Ito R¹, Kodama Y¹, Tanaka-Sakai M¹, Nakase A¹, Goto N¹, Tsushima Y¹, Mori S⁵, Kozuka M⁶, Otomo R², Hirai M², Fujino M³, Yokoyama T¹
1: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 2: Research and Development Division, ARKRAY, Inc, Kyoto, Japan 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 4: Department of Cytology and Molecular Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 5: Department of Respiratory Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan Journal of Cancer Research and Clinical Oncology 149(11):8297-8305, 2023

A Case of Recurrent Verruconis Gallopava Infection at 1 Year after Excision of a Solitary Pulmonary Lesion
Kodama Y, Matsuura A, Shirahige A, Hiroshima M, Tsusima Y, Tanaka M, Inagaki M, Ito R, Yokoyama T
Intern Med, 2023

腹膜炎が先行し局所麻酔下胸腔鏡検査にて診断に至った両側結核性胸腹膜炎の一例
後藤希, 高納崇, 伊藤亮太, 小玉勇太, 稲垣雅康, 中瀬敦, 都島悠佑, 白鬚彩, 松浦彰彦, 横山俊彦

消化器内科
最新の内視鏡診断法(内視鏡光源、NBI、TXI、RDI、AI 診断)に関する知見
藤吉俊尚 山口丈夫
内科臨床誌 medicina 60(1): 94-96, 2023 医学書院 発行

小児科
Totally 3D Endoscopic Repair of Double-Chambered Right Ventricle
Kato R¹, Hosoba S¹, Fukumi D², Ito T¹
1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Michishita, Japan 2: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Michishita, Japan Annals of Thoracic Surgery Short Reports 1(1):88-90,2023

小児 T 細胞性急性リンパ性白血病治療中に運動障害を発現した症例に対する薬剤因果関係の検討
小山佐知子¹, 坂口静羽¹, 向山直樹¹, 北澤宏展², 吉田奈央², 田中雅大², 濱麻人², 成瀬徳彦¹
1: 薬剤部 2: 小児科
日本小児臨床薬理学会雑誌, 36(1):118-121 2023

新生児治療室におけるロタウイルスワクチン接種の現状 全国調査
小林正樹¹, 大城誠¹, 岩谷壮太¹, 岡崎薫¹, 木下大介¹, 高橋尚人¹, 田中太平¹, 戸石悟司¹, 徳永康行¹, 野崎昌俊¹, 久田研¹, 森岡一朗¹
1: 日本新生児成育医学会感染対策予防接種委員会
日本新生児成育医学会雑誌, 35(1):104-112 2023

新生児糖尿病に対してインスリン持続皮下注射と持続血糖モニタリングで管理した超低出生体重児の一例
水谷謙介, 西門優一, 落合加奈代¹, 大城誠
1: 江南厚生病院小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌, 59(2):239-244 2023

小児科医に潜在するワクチン忌避(Vaccine Hesitancy)に対する教育プログラム
勝田友博¹, 天羽清子¹, 荒木かほる¹, 石和田稔彦¹, 大宜見力¹, 神谷元¹, 越田理恵¹, 高野智子¹, 津川毅¹, 富樫篤生¹, 中野貴司¹, 西村直子¹, 野崎昌俊¹, 菱木はるか¹, 保科隆之¹, 細矢光亮¹, 前田明彦¹, 水野由美¹, 宮入烈¹, 宮崎雅仁¹, 吉川哲史¹, 和田泰三¹, 岩田敏¹, 尾内一信¹, 岡田賢司¹, 岡部信彦¹, 是松聖悟¹, 清水直樹¹, 菅秀¹, 宮崎千明¹, 森内浩幸¹, 大城誠¹, 藤岡雅司¹, 森岡一朗¹, 塚原宏一¹, 齋藤昭彦¹, 多屋馨子¹
1: 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会
日本小児科学会雑誌, 127(5):787-794 2023

コロナウイルス感染症 2019 流行下における国内小児医療の現状に関する調査
中村幸嗣¹, 勝田友博¹, 清水直樹¹, 神谷元¹, 天羽清子¹, 大城誠¹, 菅秀¹, 津川毅¹, 西村直子¹, 菱木はるか¹, 藤岡雅司¹, 細矢光亮¹, 水野由美¹, 吉川哲史¹, 和田泰三¹, 石和田稔彦¹, 是松聖悟¹, 中野貴司¹, 宮入烈¹, 尾内一信¹, 相澤悠太¹, 庄司健介¹, 齋藤昭彦¹, 森内浩幸¹, 多屋馨子¹
1: 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会
日本小児科学会雑誌, 127(1):84-89 2023

データベースを用いた国内小児新型コロナウイルス感染症の臨床症状に関する評価
勝田友博¹, 清水直樹¹, 神谷元¹, 天羽清子¹, 大城誠¹, 菅秀¹, 津川毅¹, 西村直子¹, 菱木はるか¹, 藤岡雅司¹, 細矢光亮¹, 水野由美¹, 吉川哲史¹, 和田泰三¹, 石和田稔彦¹, 是松聖悟¹, 中野貴司¹, 宮入烈¹, 尾内一信¹, 齋藤昭彦¹, 森内浩幸¹, 多屋馨子¹
1: 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会
日本小児科学会雑誌, 127(1):79-83 2023

Acute and Postacute Clinical Characteristics of Coronavirus Disease 2019 in Children in Japan

Katsuta T^{1,2}, Aizawa Y³, Shoji K⁴, Shimizu N^{1,2}, Okada K^{1,4}, Nakano T^{1,5}, Kamiya H^{1,6}, Amo K^{1,7}, Ishiwada N^{1,8}, Iwata S^{1,9}, **Oshiro M^{1,10}**, Okabe N^{1,11}, Korematsu S^{1,12}, Suga S^{1,13}, Tsugawa T^{1,14}, Nishimura N^{1,15}, Hishiki H^{1,16}, Fujioka M^{1,17}, Hosoya M^{1,18}, Mizuno Y^{1,19}, Miyairi I^{1,20}, Miyazaki C^{1,21}, Morishima T^{1,22}, Yoshikawa T^{1,23}, Wada T^{1,24}, Ouchi K¹⁵, Moriuchi H^{1,24}, Tanaka-Taya K^{1,25}, Saitoh A^{1,3}

1: From the The Committee on Immunization and Infectious Diseases, Japan Pediatric Society, Japan 2: Department of Pediatrics, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan 3: Department of Pediatrics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 4: Division of Infectious Diseases, Department of Medical Subspecialties, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 5: Department of Pediatrics, Kawasaki Medical School, Okayama, Japan 6: Center for Surveillance, Immunization, and Epidemiologic Research, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan 7: Department of Pediatric Emergency, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 8: Department of Infectious Diseases, Chiba University, Medical Mycology Research Center, Chiba, Japan 9: Department of Infectious Diseases, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 11: Kawasaki City Institute for Public Health, Kanagawa, Japan 12: Department of Pediatrics, Saitama Medical Center, Saitama, Japan 13: Infectious Disease Center and Department of Clinical Research, National Hospital Organization Mie National Hospital, Mie, Japan 14: Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, Hokkaido, Japan 15: Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital, Aichi, Japan 16: Department of Pediatrics, Chiba University Hospital, Chiba, Japan 17: Fujioka Pediatric Clinic, Osaka, Japan 18: Department of Pediatrics, Fukushima Medical University, Fukushima, Japan 19: Department of Pediatric infectious diseases and immunology, Fukuoka Children's Hospital, Fukuoka, Japan 20: Department of Pediatrics, Hamamatsu University School of Medicine, Shizuoka, Japan 21: Fukuoka-city Social Welfare Agency, Fukuoka, Japan 22: Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Aichi, Japan 23: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Aichi, Japan 24: Department of Pediatrics, Kanazawa University, Ishikawa, Japan 25: Department of Pediatrics, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan

Pediatrics Infectious Disease Journal, 42(3):240–246 2023

Predictive value of the Thompson score for short-term adverse outcomes in neonatal encephalopathy

Aoki H¹, Shibasaki J², Tsuda K³, Yamamoto K⁴, Takeuchi A⁵, **Sugiyama Y⁶**, Isayama T⁷, Mukai T⁸, Ioroi T⁹, Yutaka N¹⁰, Takahashi A¹¹, Tokuhisa T¹², Nabetani M¹⁰, Iwata O³; Baby Cooling Registry of Japan Collaboration Team

1: Department of Neonatology, Kanagawa Children's Medical Center, Kanagawa, Japan 2: Department of Neonatology, Kanagawa Children's Medical Center, Kanagawa, Japan 3: Center for Human Development and Family Science, Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Aichi, Japan 4: Department of Biostatistics, School of Medicine, Yokohama City University, Yokohama, Kanagawa, Japan 5: Division of Neonatology, National Hospital Organization Okayama Medical Center, Okayama, Japan 6: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 7: Division of Neonatology, Center for Maternal-Fetal Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 8: Center for Advanced Medical Research, Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan 9: Department of Pediatrics, Perinatal Medical Center, Himeji Red Cross Hospital, Hyogo, Japan 10: Department of Pediatrics, Yodogawa Christian Hospital, Osaka, Japan 11: Department of Pediatrics, Kurashiki Central Hospital, Okayama, Japan 12: Department of Neonatology, Perinatal Medical Center, Imakiire General Hospital, Kagoshima, Japan

Pediatric Research, 93(4):1057–1063 2023

Prolonged requirements for mechanical ventilation and tube feeding support predicted 18-month outcomes for neonatal encephalopathy

Tsuda K¹, Shibasaki J², Takeuchi A³, Mukai T⁴, **Sugiyama Y⁵**, Isayama T⁶, Ioroi T⁷, Takahashi A⁸, Yutaka N⁹, Iwata O¹; Baby Cooling Registry of Japan

1: Center for Human Development and Family Science, Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Aichi, Japan 2: Department of Neonatology, Kanagawa Children's Medical Center, Kanagawa, Japan 3: Division of Neonatology, National Hospital Organization Okayama Medical Center, Okayama, Japan 4: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 6: Division of Neonatology, Center of Maternal-Fetal Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 7: Department of Pediatrics, Perinatal Medical Center, Himeji Red Cross Hospital, Hyogo, Japan 8: Department of Pediatrics, Kurashiki Central Hospital, Okayama, Japan 9: Department of Pediatrics, Yodogawa Christian Hospital, Osaka, Japan

Acta Paediatrica, 112(4):734–741 2023

Next-generation sequencing-based detection of Ureaplasma in the gastric fluid of neonates with respiratory distress and chorioamnionitis

Okumura T¹, Horiba K^{1,2,3}, Tetsuka N⁴, Sato Y⁵, **Sugiyama Y⁶**, Haruta K¹, Yamaguchi M¹, Suzuki T¹, Torii Y¹, Kawada JI¹, Ogi T^{2,3}, Hayakawa M⁵, Ito Y^{1,7}

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Genetics, Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University, Nagoya, Japan 3: Department of Human Genetics and Molecular Biology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Infection Control, Gifu University Graduate School of Medicine, Gifu, Japan 5: Division of Neonatology, Center for Maternal-Neonatal Care, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Pediatrics and Child Health, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan

The Journal of Maternal Fetal & Neonatal Medicine, 36(1):2207113 2023

Total Hydrocortisone Dosage in the Neonatal Period May Be Related to Low Developmental Quotient in Extremely Low Birth Weight Infants: A Retrospective Cohort Study

Taniguchi A^{1,2}, Nishida K³, Suzuki T¹, Kataoka E⁴, Fujishiro N⁵, Kato E⁶, Yamamoto H⁷, Takemoto K⁸, Ito M⁹, Hayashi S¹⁰, **Sugiyama Y¹¹**, Maeda T^{1,2}, Takahashi Y², Sato Y¹

1: Division of Neonatology, Center for Maternal-Neonatal Care, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Biostatistics Section, Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 5: Department of Pediatrics, Nagoya Memorial Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Pediatrics, Tosei General Hospital, Seto, Japan 7: Department of Neonatology,

Toyota Memorial Hospital, Toyota, Japan 8: Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital, Konan, Japan 9: Department of Neonatology, Ogaki Municipal Hospital, Ogaki, Japan
10: Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Okazaki, Japan 11: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
Neonatology, 121(2):195–202 2024

Germline and somatic RUNX1 variants in a pediatric bone marrow failure cohort

Yamamori A¹, Hamada M¹, Muramatsu H¹, Wakamatsu M¹, Hama A², Narita A¹, Tsumura Y¹, Yoshida T¹, Doi T³, Terada K⁴, Higa T⁵, Yamamoto N⁶, Miura H⁷, Shiota M⁸, Watanabe K⁹, **Yoshida N²**, Maemura R¹, Imaya M¹, Miwata S¹, Narita K¹, Kataoka S¹, Taniguchi R¹, Suzuki K¹, Kawashima N¹, Nishio N¹, Iwafuchi H¹⁰, Ito M¹¹, Kojima S¹, Okuno Y¹², Takahashi Y¹

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, Japan 4: Department of Pediatric Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Narita Hospital, Narita, Japan 5: Division of Pediatric Hematology/Oncology, Okinawa Prefectural Nanbu Medical Center and Children's Medical Center, Okinawa, Japan 6: Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan 7: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyooka, Japan 8: Department of Pediatrics, Kitano Hospital, Tazuke Kofukai Medical Research Institute, Osaka, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 10: Department of Pathology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 11: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 12: Department of Virology, Nagoya City University Graduate School of Medical Science and Medical School, Nagoya, Japan

American Journal of Hematology 98(5):E102–E105, 2023

Hematological abnormalities in Jacobsen syndrome: cytopenia of varying severities and morphological abnormalities in peripheral blood and bone marrow

Yamashita D¹, Muramatsu H¹, Narita A¹, Wakamatsu M¹, Tsumura Y¹, Sajiki D¹, Maemura R¹, Yamamori A¹, Imaya M¹, Narita K¹, Kataoka S¹, Taniguchi R¹, Nishio N¹, Okuno Y², Fujita N³, Koh K⁴, Umeda K⁵, Morihana E⁶, Iwafuchi H⁷, Ito M⁸, Kojima S¹, **Hama A⁹**, Takahashi Y¹⁰

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 2: Department of Virology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya 3: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima 4: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama 5: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto 6: Department of Pediatric Cardiology, Aichi Children's Health and Medical Center, Obu 7: Department of Pathology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka 8: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya 9: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya

Haematologica 108(12):3438–3443, 2023

Landscape of driver mutations and their clinical effects on Down syndrome-related myeloid neoplasms

Sato T¹, Yoshida K^{2,3}, Toki T¹, Kanezaki R¹, Terui K¹, Saiki R², Ojima M⁴, Ochi Y², Mizuno S⁵, Yoshihara M^{5,6}, Uechi T⁷, Kenmochi N⁷, Tanaka S⁸, Matsubayashi J⁹, Kisai K⁸, Kudo K¹, Yuzawa K¹, Takahashi Y¹, Tanaka T¹, Yamamoto Y¹, Kobayashi A¹, Kamio T¹, Sasaki S¹, Shiraishi Y¹⁰, Chiba K¹⁰, Tanaka H¹¹, Muramatsu H¹², **Hama A¹³**, Hasegawa D¹⁴, Sato A¹⁵, Koh K¹⁶, Karakawa S¹⁷, Kobayashi M¹⁷, Hara J¹⁸, Taneyama Y¹⁹, Imai C²⁰, Hasegawa D²¹, Fujita N²², Yoshitomi M²³, Iwamoto S²⁴, Yamato G²⁵, Saida S²⁶, Kiyokawa N²⁷, Deguchi T^{24,28}, Ito M²⁹, Matsuo H³⁰, Adachi S³⁰, Hayashi Y^{31,32}, Taga T³³, M Saito A³⁴, Horibe K³⁴, Watanabe K³⁵, Tomizawa D³⁶, Miyano S¹¹, Takahashi S⁴, Ogawa S^{2,37,38}, Ito E^{1,39}

1: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan 2: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Division of Cancer Evolution, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 4: Department of Anatomy and Embryology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 5: Laboratory Animal Resource Center and Trans-border Medical Research Center, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 6: School of Integrative and Global Majors, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 7: Department of Anatomy, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan 8: Department of Clinical Biostatistics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 9: Center for Clinical Research and Advanced Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 10: Division of Genome Analysis Platform Development, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 11: M and D Data Science Center, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 12: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 14: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 16: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 17: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 19: Department of Hematology/Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 20: Department of Pediatrics, Niigata University Graduate School Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 22: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 23: Department of Pediatrics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan 24: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan 25: Department of pediatrics, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi City, Japan 26: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 27: Department of Pediatric Hematology and Oncology Research, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan 28: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 29: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 30: Department of Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 31: Department of Hematology and Oncology, Gunma Children's Medical Center, Gunma, Japan 32: Institute of Physiology and Medicine, Jobu University, Takasaki, Japan 33: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 34: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 35: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 36: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 37: Department of Medicine, Center for Hematology and Regenerative Medicine, Karolinska Institute, Stockholm, Sweden 38: Institute for the Advanced Study of Human Biology, Kyoto University, Kyoto, Japan 39: Department of Community Medicine, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan

Blood, 2024

Cerebral toxoplasmosis developed after unrelated bone marrow transplantation for acute myeloid leukemia

Hirate T¹, Kitazawa H¹, Sakaguchi H^{1,2}, Akita N¹, Hasegawa C³, Yamamoto K⁴, Kutsuna S^{4,5}, Mikita K⁶, Mori T⁷, **Hama A¹**, Yoshida N¹

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital 2: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development 3: Department of Infectious Disease, Nagoya City East Medical Center 4: Disease Control and Prevention Center, National Center for Global Health and Medicine 5: Department of Infection Control and Prevention, Graduate School of Medicine Faculty of Medicine, Osaka University 6: Department of Infectious Diseases, Keio University School of Medicine 7: Department of Hematology, Tokyo Medical and Dental University

Rinsho Ketsueki 64(10):1275–1279, 2023

Severe myelosuppression involving HPV-B19 infection and NUDT15 polymorphisms during therapy for LCH

Hosokawa H, Kitazawa H, Akita N, Yoshida N, Hama A

Pediatrics International 65(1):e15669, 2023

A child who underwent allogeneic bone marrow transplantation for late relapsed TCF3–ZNF384–positive B–cell precursor acute lymphoblastic leukemia

Araki M¹, Yamashita D¹, Yoshida N¹, Kitazawa H¹, Akita N¹, Miyajima Y², Hama A¹

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2 Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan

The Japanese Journal of Pediatric Hematology/ Oncology 60(1): 42–45, 2023

Graft-versus-host disease-free, relapse-free, second transplant-free survival in allogeneic hematopoietic cell transplantation for genetic disorders

Kawaguchi K^{1,2}, Umeda K^{2,3}, Miyamoto S^{2,4}, **Yoshida N^{2,5}**, Yabe H^{2,6}, Koike T⁶, Kajiwara M⁴, Kawaguchi H⁷, Takahashi Y⁸, Ishimura M⁹, Sakaguchi H¹⁰, **Hama A⁵**, Cho Y¹¹, Sato M¹², Kato K¹³, Sato A¹⁴, Kato K¹⁵, Tabuchi K¹⁶, Atsuta Y^{17,18}, Imai K^{2,4,19}

1: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 2: Inherited Disorder Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy, Nagoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Department of Pediatrics and Developmental Biology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Pediatrics, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 7: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Science, Hiroshima, Japan 8: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan 10: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 11: Department of Pediatrics, Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Osaka, Japan 13: Division of Pediatric Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Mito, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 15: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 16: Division of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Disease Komagome Hospital, Tokyo, Japan 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 18: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 19: Department of Pediatrics, National Medical Defense College, Tokorozawa, Japan

Bone Marrow Transplantation 58(5):600–602, 2023

Haematopoietic cell transplantation for children with acute megakaryoblastic leukaemia without Down syndrome

Hama A¹, Taga T², Tomizawa D³, Muramatsu H⁴, Hasegawa D⁵, Adachi S⁶, **Yoshida N¹**, Noguchi M⁷, Sato M⁸, Okada K⁹, Koh K¹⁰, Mitsui T¹¹, Takahashi Y⁴, Miyamura T¹², Hashii Y¹³, Kato K¹⁴, Atsuta Y^{15,16}, Okamoto Y¹⁷

1: Department of Haematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Centre Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Paediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 3: Division of Leukaemia and Lymphoma, Children's Cancer Centre, National Centre for Child Health and Development, Tokyo, Japan 4: Department of Paediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 5: Department of Haematology/Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 6: Department of Human Health Science, Kyoto University, Kyoto, Japan 7: Department of Paediatrics, National Hospital Organization Kyushu Cancer Centre, Fukuoka, Japan 8: Department of Haematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 9: Department of Paediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 10: Department of Haematology/Oncology, Saitama Children's Medical Centre, Saitama, Japan 11: Department of Paediatrics, Yamagata University Hospital, Yamagata, Japan 12: Department of Paediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 13: Department of Paediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 14: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 15: Japanese Data Centre for Haematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 16: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 17: Department of Paediatrics, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima, Japan

British Journal of Haematology 201(4):747–756, 2023

A nationwide survey of late effects in survivors of juvenile myelomonocytic leukemia in Japan

Ozono S¹, Sakashita K², **Yoshida N³**, Kakuda H⁴, Watanabe K⁵, Maeda M⁶, Ishida Y⁷, Manabe A⁸, Taga T⁹, Muramatsu H¹⁰

1: Department of Pediatrics and Child Health, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan 2: Department of Hemato–Oncology, Nagano Prefectural Children's Hospital, Nagano, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Hemato–Oncology, Chiba Prefectural Children's Hospital, Chiba, Japan 5: Department of Hemato–Oncology, Shizuoka Prefectural Children's Hospital, Shizuoka, Japan 6: Department of Pediatrics, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 7: Department of Pediatrics, Ehime Prefectural Central Hospital, Ehime, Japan 8: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Hokkaido, Japan 9: Department of Pediatrics, Shiga Medical College, School of Medicine, Shiga, Japan 10: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

Pediatr Blood Cancer 70(2):e30126, 2023

Reduced-intensity allogeneic transplantation for children and adolescents with Philadelphia chromosome–positive acute lymphoblastic leukemia

Ishida H¹, Arakawa Y², Hasegawa D³, Usami I⁴, Hashii Y⁵, Arai Y⁶, Nishiwaki S⁷, Keino D⁸, Kato K⁹, Sato M¹⁰, **Yoshida N¹**, Ozawa Y¹², Okada K¹³, Hidaka M¹⁴, Yuza Y¹⁵, Tanaka M¹⁶, Watanabe K¹⁷, Takita J¹⁸, Kosaka Y³, Fujita N¹⁹, Tanaka J²⁰, Sato A²¹, Atsuta Y^{22,23}, Imamura T²⁴

1: Department of Pediatrics, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 2: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Center of Childhood Cancer, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 4: Department of Pediatric Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Hyogo, Japan 5: Department of Pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 7: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 8: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan 9: Division of Pediatric Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Ibaraki, Japan 10: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 13: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 14: Department of Pediatrics, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology/Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan 16: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 18: Department of Pediatrics, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 19: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 20: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 22: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan 23: Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 24: Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Graduate School of Medical Science, Kyoto, Japan

Annals of Hematology 103(3):843–854, 2024

Development and evaluation of a rapid one-step high sensitivity real-time quantitative PCR system for minor BCR–ABL (e1a2) test in Philadelphia–positive acute lymphoblastic leukemia (Ph+ ALL)

Hidaka M¹, Inokuchi K², Uoshima N³, Takahashi N⁴, **Yoshida N⁵**, Ota S⁶, Nakamae H⁷, Iwasaki H⁸, Watanabe K⁹, Kosaka Y¹⁰, Komatsu N¹¹, Meguro

K¹², Najima Y¹³, Eto T¹⁴, Kondo T¹⁵, Kimura S¹⁶, Yoshida C¹⁷, Ishikawa Y¹⁸, Sawa M¹⁹, Hata T²⁰, Horibe K²¹, Iida H²², Shimomura T²³, Dobashi N²⁴, Sugiura I²⁵, Makiyama J²⁶, Miyagawa N²⁷, Sato A²⁸, Ito R²⁸, Matsumura I²⁹, Kanakura Y³⁰, Naoe T³¹

1: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 2: Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital, Kyoto, Japan 4: Department of Hematology, Nephrology and Rheumatology, Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 6: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Hokkaido, Japan 7: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 8: Department of Hematology, National Hospital Organization Kyushu Medical Center, Fukuoka, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Center of Childhood Cancer, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Hyogo, Japan 11: Department of Hematology, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan 12: Department of Hematology, National Hospital Organization Sendai Medical Center, Miyagi, Japan 13: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 15: Blood Disorders Center, Aikku Hospital, Hokkaido, Japan 16: Department of Hematology, Respiratory Medicine and Oncology, Saga University, Saga, Japan 17: Department of Hematology, National Hospital Organization Mito Medical Center, Ibaraki, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan 19: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan 20: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan 21: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Aichi, Japan 22: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Aichi, Japan 23: Department of Hematology, National Hospital Organization Hiroshimanishi Medical Center, Hiroshima, Japan 24: Department of Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University Daisan Hospital, Tokyo, Japan 25: Department of Hematology and Oncology, Toyohashi Municipal Hospital, Aichi, Japan 26: Department of Hematology/Oncology, Institute of Medical Science, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan 27: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Kanagawa, Japan 28: Diagnostic Division, Otsuka Pharmaceutical Co. Ltd., Tokushima, Japan 29: Department of Hematology and Rheumatology, Kindai University Faculty of Medicine, Osaka, Japan 30: Sumitomo Hospital, Osaka, Japan 31: National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Aichi, Japan

Japanese Journal of Clinical Oncology 54(2):153–159, 2024

Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation for Juvenile Myelomonocytic Leukemia with a Busulfan, Fludarabine, and Melphalan Regimen: JPLSG JMML-11

Sakashita K¹, Yoshida N², Muramatsu H³, Ohtsuka Y⁴, Watanabe K⁵, Yabe M⁶, Kakuda H⁷, Honda Y⁸, Watanabe T⁹, Haba M¹⁰, Ohmori S¹¹, Matsuda K¹², Yuza Y¹³, Saito A¹⁴, Horibe K¹⁴, Adachi S¹⁵, Manabe A¹⁶

1: Department of Hematology and Oncology, Nagano Children's Hospital, Azumino, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Pediatrics, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Sizuoka, Japan 6: Department of Innovative Medical Science, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 8: Department of Pediatrics, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan 9: Department of Health and Nutritional Sciences, Faculty of Health Sciences, Aichi Gakuin University, Nisshin, Japan 10: Department of Biopharmaceutics, Faculty of Pharmacy, Chiba Institute of Science, Choshi, Japan 11: Department of Pharmacy, Shinshu University Hospital, Matsumoto, Japan 12: Department of Clinical Laboratory Sciences, School of Health Sciences, Shinshu University, Matsumoto, Japan 13: Department of Pediatric Hematology Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Fuchu, Japan 14: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 15: Human Health Science, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan

Transplantation and Cellular Therapy 30(1):105.e1–105.e10, 2024

Recent advances in the diagnosis and treatment of pediatric acquired aplastic anemia

Yoshida N

International Journal of Hematology 119(3):240–247, 2024

Decision analysis of allogeneic bone marrow transplantation versus immunosuppressive therapy for young adult patients with aplastic anemia

Kanda Y^{1,2}, Usuki K³, Inagaki M⁴, Ohta A⁵, Ogasawara Y⁶, Obara N⁷, Kako S⁸, Kurokawa M⁹, Shimada N¹⁰, Suzuki T¹¹, Hama A¹², Yamaguchi H¹³, Nakao S¹⁴, Yamazaki H¹⁴

1: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Tochigi, Japan 2: Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 3: NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan 4: Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 5: Saitama Medical University, Saitama, Japan 6: The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 7: University of Tsukuba, Tsukuba, Ibaraki, Japan 8: Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 9: The University of Tokyo, Tokyo, Japan 10: International University of Health and Welfare, Otawara, Tochigi, Japan 11: Kitasato University, Kanagawa, Japan 12: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 13: Nippon Medical School, Tokyo, Japan 14: Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan

International Journal of Hematology 117(5):660–668, 2023

Clinical and molecular features of CBL-mutated juvenile myelomonocytic leukemia

Yoshida T¹, Muramatsu H², Wakamatsu M¹, Sajiki D¹, Murakami N¹, Kitazawa H¹, Okamoto Y³, Taniguchi R¹, Kataoka S¹, Narita A¹, Hama A⁴, Okuno Y⁵, Takahashi Y⁶

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 2: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 3: Department of Pediatrics, Kagoshima University Graduate school of Medical and Dental Sciences, Kagoshima 4: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya 5: Department of Virology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya 6: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya

Haematologica 108(11):3115–3119, 2023

High-dose cytarabine induction therapy and flow cytometric measurable residual disease monitoring for children with acute myeloid leukemia

Tomizawa D¹, Matsubayashi J², Iwamoto S³, Hiramatsu H⁴, Hasegawa D⁵, Moritake H⁶, Hasegawa D⁷, Terui K⁸, Hama A⁹, Tsujimoto S¹⁰, Kiyokawa N¹¹, Miyachi H¹², Deguchi T^{3,13}, Hashii Y^{14,15}, Iijima-Yamashita Y¹⁶, Taki T¹⁷, Noguchi Y¹⁸, Koike K¹⁹, Koh K²⁰, Yuza Y²¹, Moriya Saito A¹⁶, Horibe K¹⁶, Taga T²², Tanaka S²³, Adachi S²⁴

1: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 2: Center for Clinical Research and Advanced Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 3: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan 4: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine Kyoto University, Kyoto, Japan 5: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 6: Division of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 8: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 10: Department of Pediatrics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan 11: Department of Pediatric Hematology and Oncology Research, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan 12: Department of Laboratory Medicine, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 13: Division of Cancer Immunodiagnostics, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 14: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate

School of Medicine, Suita, Japan 15: Department of Pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 16: Clinical Research Center, NHO Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 17: Department of Medical Technology, Kyorin University Faculty of Health Sciences, Mitaka, Japan 18: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Narita Hospital, Narita, Japan 19: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Mito, Japan 20: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Fuchu, Japan 22: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 23: Department of Clinical Biostatistics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 24: Human Health Science, Kyoto University, Kyoto, Japan
Leukemia 38(1):202–206, 2023

Optimizing transplantation procedures through identification of prognostic factors in second remission for children with acute myeloid leukemia with no prior history of transplant

Ishida H¹, Tsujimoto S², Hasegawa D³, Sakaguchi H⁴, Yamamoto S⁵, Yanagimachi M⁶, Koh K⁷, Watanabe A⁸, **Hama A⁹**, Cho Y¹⁰, Watanabe K¹¹, Noguchi M¹², Takeuchi M², Takita J¹³, Washio K¹⁴, Kato K¹⁵, Koike T⁵, Hashii Y¹⁶, Tabuchi K¹⁷, Hino M¹⁸, Atsuta Y¹⁹, Okamoto Y²⁰

1: Department of Pediatrics, Okayama University Hospital, Okayama 2: Department of Pediatrics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama 3: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo 4: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo 5: Department of Pediatrics, Tokai University, Kanagawa 6: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Kanagawa 7: Department of Hematology and Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama 8: Department of Pediatrics, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata 9: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya 10: Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo 11: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka 12: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka 13: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University 14: Department of Pediatrics, Okayama University Hospital, Okayama 15: Division of Pediatric Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Mito 16: Department of Pediatrics, Osaka International Cancer Institute, Osaka 17: Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Disease Center, Komagome Hospital, Tokyo 18: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba 19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute 20: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University, Kagoshima
Haematologica 109(1):312–317, 2023

一般消化器外科

Significance of Preoperative Pulmonary Function on Shortand Long-Term Outcomes Following Gastrectomy for Gastric Cancer

Sekimoto A, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Yuasa N

J Gastrointestinal Surg 27(5):866–877,2023

Predictors of 1-year mortality after gastrectomy for gastric cancer

Sekimoto A, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Yuasa N

World J Surg. 48(1):138–150 2024

鼠径ヘルニア手術が診断契機となった膵癌腹膜播種の1例

青木優大¹,三宅秀夫¹,永井英雅¹,吉岡裕一郎¹,湯浅典博¹,吉川佳苗²

1:一般・消化器外科 2:病理部

消化器外科 46(2):207–212, 2023

十二指腸傍乳頭憩室からの落石が示唆された腸石による小腸閉塞の1例

関本晃浩,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐

日臨外誌 84(2):596–602, 2023

Clinical features and risk factors for appendiceal diverticulitis: a comparative study with acute appendicitis

Sugiura K¹, Miyake H¹, Nagai H¹, Yoshioka Y¹, Shibata K¹, Yuasa N¹, Fujino M²

1: Department of Gastrointestinal Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

Surgery Today, 2023

心臓血管外科

Totally 3D Endoscopic Repair of Double-Chambered Right Ventricle

Kato R¹, Hosoba S¹, Fukumi D², Ito T¹

1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Michishita, Japan 2: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Michishita, Japan

Annals of Thoracic Surgery Short Reports 1(1):88–90,2023

A giant synovial sarcoma in the left ventricular outflow tract

Kato R, Hosoba S, Kajiyama K, Ito T

European Journal of Cardio- Thoracic Surgery 3:63(2), 2023

Left ventricular pseudoaneurysm after endoscopic mitral valve repair for active endocarditis

Kajiyama K, Hosoba S, Kato R, Ito T

European Journal of Cardio- Thoracic Surgery 2:63(5), 2023

Staged endoscopic mitral valve repair for active infective endocarditis with a mitral annular abscess

Kato R, Hosoba S, Maeda S, Ito T

Interdisciplinary CardioVascular Thoracic Surgery 2:37(3), 2023

Endoscopic Aortic Valve Replacement: Initial Outcomes of Isolated and Concomitant Surgery

Hosoba S¹, Ito T¹, Mori M², Kato R¹, Kajiyama K¹, Maeda S¹, Nakai Y³, Morishita Y⁴

1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of

Cardiothoracic Surgery, Yale School of Medicine, New Haven, Connecticut 3: Department of Clinical Engineering, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
The Annals of Thoracic Surgery 116(4):744-749, 2023

呼吸器外科

Video-assisted thoracoscopic surgery for pleuroperitoneal communication

Tsubouchi H¹, Nakamura S², Fukui T³, Kadomatsu Y², Ueno H², Ozeki N², Fukumoto K², Mizuno M⁴, F Chen-Yoshikawa T²

1: Department of Thoracic Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Thoracic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Division of Chest Surgery, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 4: Department of Renal Replacement Therapy, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

Asian Journal of Endoscopic Surgery 16(2):262-265, 2023

医師労務負担軽減目的に呼吸器外科診療における術前手術説明ビデオ導入の試み

森正一¹, 後藤まどか¹, 市川靖久¹, 坪内秀樹¹, 川角佑太¹, 加藤淳稔², 水野公雄³

1:呼吸器外科 2:事務部 3:産婦人科

日赤医学 72(2):283-286 2023

呼吸器外科専門医を対象とした、胸腺上皮性腫瘍に対する術式等に関する実態調査～診療ガイドラインとの乖離はあるか～

福本紘一^{1,2}, 森正一¹, 吉岡洋³, 岡阪敏樹⁴, 谷口哲郎⁵, 重光希公生⁶, 成田久仁夫⁷, 福井高幸⁸, 中村彰太¹, 芳川豊史¹

1:呼吸器外科 2:名古屋大学呼吸器外科 3:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 4:豊田厚生病院 5:小牧市民病院 6:大垣市民病院 7:豊橋市民病院 8:愛知医科大学

肺癌 (JJLC) 63(4):280-4, 2023

Immunosuppressive treatment for myasthenia gravis crises improve the taste disorder in patients with thymoma: two case reports

Fukumoto K, Ohara Y¹, Okado S¹, Watanabe H¹, Noritake O¹, Nakanishi K¹, Kadomatsu Y¹, Ueno H¹, Kato T¹, Nakamura S¹, Chen-Yoshikawa TF¹

Mediastinum. 2023 Aug 7;7:40. doi: 10.21037/med-23-8. eCollection 2023

原発孤立性形質細胞腫の1例

後藤まどか, 市川靖久, 坪内秀樹, 川角佑太, 内山美佳, 森正一

日本呼吸器外科学会雑誌, 37(6):563-568 2023

Pathologically confirmed spontaneous regression of small cell lung cancer after computed tomography-guided percutaneous transthoracic needle biopsy followed by surgery

Goto M, Fukumoto K, Ichikawa Y, Tsubouchi H, Uchiyama M, Mori S

Surgical Case Reports, 9(1):187 2023

Comprehensive circulating microRNA profile as a supersensitive biomarker for early-stage lung cancer screening

Inagaki M¹, Uchiyama M², Yoshikawa-Kawabe K³, Ito M³, Murakami H³, Gunji M⁴, Minoshima M⁴, Kohnoh T¹, Ito R¹, Kodama Y¹, Tanaka-Sakai M¹, Nakase A¹, Goto N¹, Tsushima Y¹, Mori S⁵, Kozuka M⁶, Otomo R², Hirai M², Fujino M³, Yokoyama T¹

1: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 2: Research and Development Division, ARKRAY, Inc, Kyoto, Japan 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 4: Department of Cytology and Molecular Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 5: Department of Respiratory Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan
Journal of Cancer Research and Clinical Oncology 149(11):8297-8305, 2023

小児外科

Laparoscopic-assisted omentectomy for omental torsion: A case report

Matsumoto T, Tani Y, Murase N

Journal of pediatric Surgery Case report, 103:102792, 2024

整形外科

Gartland Type III Pediatric Supracondylar Humerus Fracture with Radial Nerve Laceration: A Case Report

Ito R¹, Otsuka J, Horii E², Koh S

1: Department of Orthopedic Surgery, Nishio Municipal Hospital 2: Department of Orthopedic Surgery, Kansai Medical University
JBJS Case Connect, 13(1): e22, 2023

第5CM 関節掌尺側脱臼骨折の1例

島本祐哉, 洪淑貴, 井上英則

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 66(3):397-398, 2023

【小児の上肢をいかに診るか-よくわかる, 先天性障害・外傷の診察と治療の進め方】小児前腕骨骨折.

大塚純子, 洪淑貴

臨床整形外科 58(8):1013-1019, 2023

【上腕骨骨折の治療戦略】小児上腕骨外側顆骨折と内側上顆骨折.

大塚純子, 洪淑貴

関節外科 42(10):1166-1174, 2023

造影剤血管外漏出による手・前腕コンパートメント症候群の1例.

藤田友樹, 洪淑貴, 大塚純子, 井上英則

整形外科 75(2):117-120, 2024

Relationship between frailty and methotrexate discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients

Sobue Y¹, Suzuki M^{2,3}, Ohashi Y^{2,4}, Koshima H³, Okui N⁴, Funahashi K⁵, Ishikawa H¹, Inoue H¹, Asai S², Terabe K², Kishimoto K², Kihira D², Maeda M², Sato R², Imagama S²

1: Department of Orthopedic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 2: Department of Orthopedic Surgery and Rheumatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan 3: Department of Orthopedic Surgery, Japan Community Healthcare Organization Kani Tono Hospital, Gifu, Japan 4: Department of Orthopedic Surgery, Yokkaichi Municipal Hospital, Mie, Japan 5: Department of Orthopedic Surgery, Kariya Toyota General Hospital, Aichi, Japan
Clinical Rheumatology 42(8):2069-2077, 2023

Relationship between locomotive syndrome and large joint symptoms in rheumatoid arthritis patients

Sobue Y¹, Suzuki M^{2,3}, Ohashi Y^{2,4}, Koshima H³, Okui N⁴, Funahashi K⁵, Ishikawa H¹, Inoue H¹, Asai S², Terabe K², Maeda M², Sato R², Kosugiyama H², Ohno Y², Imagama S²

1: Department of Orthopedic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Orthopedic Surgery and Rheumatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Orthopedic Surgery, Japan Community Healthcare Organization Kani Tono Hospital, Kani, Gifu, Japan 4: Department of Orthopedic Surgery, Yokkaichi Municipal Hospital, Yokkaichi, Mie, Japan 5: Department of Orthopedic Surgery, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Aichi, Japan
International Journal of Rheumatic Diseases 27(1):e14947, 2023

脳神経外科

Unique vascular structures of a radicular arteriovenous fistula at the craniocervical junction along the first cervical spinal nerve: A case report
Wada K¹, Tanei T², Hattori K¹, Hatano H¹, Fujitani S¹, Ito R¹, Kubo H¹, Nishimura Y², Maesawa S², Saito R²

1: Department of Neurosurgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Neurosurgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Surgical Neurology International, 2023

産婦人科

医師労務負担軽減目的に呼吸器外科診療における術前手術説明ビデオ導入の試み

森正一¹, 後藤まどか¹, 市川靖久¹, 坪内秀樹¹, 川角佑太¹, 加藤淳稔², 水野公雄³

1:呼吸器外科 2:事務部 3:産婦人科
日赤医学 72(2):283-286 2023

東海北陸地方における小児・思春期血液がん患者のがん・生殖相談外来受診状況に対する多機関共同・後ろ向き観察研究

竹中基記¹, 前沢忠志², 齋藤愛, 坊本佳優¹, 三宅菜月³, 榎本紗也子², 西岡美喜子², 松本洋介⁴, 伊東雅美⁵, 宮崎有美子⁶, 松本雅子⁷, 大須賀智子³, 後藤真紀³, 安藤智子, 古井辰郎¹

1:岐阜大学 産婦人科 2:三重大学 産婦人科 3:名古屋大学 産婦人科 4:名古屋市立大学 産婦人科 5:富山大学 産婦人科 6:福井大学 産婦人科 7:浜松医科大学 産婦人科
日本小児血液・がん学会雑誌, 60(1): 20-26, 2023

当院における超緊急帝王切開(GradeA 帝王切開)の施行成績

白倉知香, 津田弘之, 近藤友宏, 成田佑一郎, 林紗由, 森永崇文, 岡見ゆりか, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 告野絵里, 中村侑実, 荒木甫, 黒柳雅文, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 安藤智子, 水野公雄

東海産科婦人科雑誌, 60:45-50, 2023

ペムプロリズマブに伴う続発性副腎不全をきたしたMRI-high 重複癌の1例

宗宮絢帆, 坂堂美央子, 近藤友宏, 成田佑一郎, 林紗由, 森永崇文, 白倉知香, 長岡明日香, 岡見ゆりか, 告野絵里, 中村侑実, 荒木甫, 黒柳雅文, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

東海産科婦人科雑誌, 60:247-256, 2023

不妊治療後に骨盤内感染をきたし腹腔鏡下手術を施行した7症例の検討

上田真子, 安藤智子, 荒木甫, 黒柳雅文, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦

日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 39(2):21-27, 2024

Prevalence, risk factors, and perinatal outcomes of velamentous umbilical cord insertion in twin pregnancies: a single-center retrospective cohort study

Somiya A, Tsuda H, Tsugeno E, Nakamura Y, Kuroyanagi M, Araki H, Masahashi Y, Suzuki M, Fukuhara N, Ito Y, Tazuka A, Ando T, Mizuno K

Journal of Clinical Medicine, 13(5): 1396, 2024

耳鼻咽喉科

口蓋扁桃にランゲルハンス細胞肉腫(LCS)を認めた一例

長谷川雅俊, 柘植勇人, 寺田聡広, 鈴木淳志, 伊藤潤平, 村上優美子, 小澤亮太, 曾根三千彦¹

1:名古屋大医頭頸部・感覚器外科学耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 日耳鼻 126(4), 2023

麻酔科

COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニュー酸素療法の比較と治療戦略の検討

都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 開正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹

1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部
日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

歯科口腔外科

Three cases of maxillofacial fracture with delayed airway stenosis

Naganawa K, Sato H, Hayakawa T, Ono S, Nakaya S, Oh-iwa I

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, Article in press, 2023

Role of induction chemotherapy for locally advanced oral squamous cell carcinoma. A systematic review and meta-analysis based on the GRADE approach

Fu S¹, Sato H², Goto M³, Tanno S⁴, Takeda D⁵, Suzuki T^{6,7}, Yuasa H⁸, Adachi M⁹, Uzawa N¹⁰, Kurita H¹¹

1: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Chutoen General Hospital, Shizuoka, Japan 2: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Maxillofacial Surgery School of Dentistry, Aichi Gakuin University, Aichi, Japan 4: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, School of Life Dentistry at Tokyo, The Nippon Dental University, Tokyo Japan 5: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan 6: Oral Cancer Center, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan 7: Department of Oral Oncology, Oral and Maxillofacial Surgery, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan 8: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, National Hospital Organization Toyohashi Medical Center, Aichi, Japan 9: Department of Oral and Maxillofacial Surgery Akiru Municipal Medical Centre, Tokyo, Japan 10: Department of Oral and Maxillofacial Surgery II, Graduate School of Dentistry, Osaka University, Osaka, Japan 11: Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology in press

Is intra-arterial infusion chemoradiotherapy more effective than surgery in patients with locally advanced oral squamous cell carcinoma? A systematic review and meta-analysis for the update of the 2019 Japanese oral cancer clinical practice guidelines

Sato H¹, Takayama K², Oguri S³, Saito H⁴, Suzuki T^{4,5}, Takeda D⁶, Adachi M⁷, Yuasa H⁸, Uzawa N⁹, Kurita H¹⁰

1: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Southern Tohoku Proton Therapy Center / Department of Radiation Oncology, Southern Tohoku General Hospital, Fukushima, Japan 3: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan 4: Department of Oral Oncology, Oral and Maxillofacial Surgery, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan 5: Oral Cancer Center, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan 6: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan 7: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Akiru Municipal Medical Center, Tokyo, Japan 8: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, National Hospital Organization Toyohashi Medical Center, Toyohashi, Japan 9: Department of Oral and Maxillofacial Surgery II, Graduate School of Dentistry, Osaka University, Osaka, Japan 10: Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 36(3):285–290, 2024

Is chemoradiotherapy more effective than radiotherapy alone in patients with primary unresectable locally advanced oral cancer without distant metastases? Systematic review and meta-analysis based on the GRADE approach

Ikawa H¹, Sato H², Takayama K³, Takeda D⁴, Suzuki T^{5,6}, Yuasa H⁷, Adachi M⁸, Uzawa N⁹, Kurita H¹⁰

1: QST Hospital, National Institutes for Quantum Science and Technology (QST), Inage-ku, Japan 2: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Radiation Oncology, Southern Tohoku Proton Therapy Center, Koriyama, Japan 4: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan 5: Department of Oral Oncology, Oral and Maxillofacial Surgery, Tokyo Dental College, Chiba, Japan 6: Oral Cancer Center, Tokyo Dental College, Chiba, Japan 7: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, National Hospital Organization Toyohashi Medical Center, Aichi, Japan 8: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Akiru Municipal Medical Center, Tokyo, Japan 9: Department of Oral & Maxillofacial Oncology and Surgery, Osaka University, Graduate School of Dentistry, Osaka, Japan 10: Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 36(3):259–265, 2024

Efficacy and safety of neoadjuvant chemotherapy in resectable oral squamous cell carcinomas: A systematic review and meta-analysis

Kitamura N¹, Kamamoto M², Ikoma T³, Takeda D⁴, Suzuki T⁵, Sato H⁶, Asoda S⁷, Adachi M⁸, Yuasa H⁹, Uzawa N¹⁰, Kurita H¹¹

1: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kochi Medical School, Kochi University, Kochi, Japan 2: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Ishikawa Prefectural Central Hospital, Ishikawa, Japan 3: Department of Maxillofacial Surgery, Kanagawa Dental University, Kanagawa, Japan 4: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine, Hyogo, Japan 5: Department of Oral Oncology, Oral and Maxillofacial Surgery, Oral Cancer Center, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan 6: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 7: Department of Dentistry and Oral Surgery, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 8: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Akiru Municipal Medical Center, Tokyo, Japan 9: Department of Oral and Maxillofacial Surgery, National Hospital Organization Toyohashi Medical Center, Aichi, Japan 10: Department of Oral and Maxillofacial Surgery II, Graduate School of Dentistry, Osaka University, Osaka, Japan 11: Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine, Nagano, Japan

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 36(3):266–272, 2024

病理部・細胞診分子病理診断部

鼠径ヘルニア手術が診断契機となった膵癌腹膜播種の1例

青木優大¹, 三宅秀夫¹, 永井英雅¹, 吉岡裕一郎¹, 湯浅典博¹, 吉川佳苗²

1: 一般・消化器外科 2: 病理部

消化器外科 46(2):207–212, 2023

Germline and somatic RUNX1 variants in a pediatric bone marrow failure cohort

Yamamori A¹, Hamada M¹, Muramatsu H¹, Wakamatsu M¹, Hama A², Narita A¹, Tsumura Y¹, Yoshida T¹, Doi T³, Terada K⁴, Higa T⁵, Yamamoto N⁶, Miura H⁷, Shiota M⁸, Watanabe K⁹, Yoshida N², Maemura R¹, Imaya M¹, Miwata S¹, Narita K¹, Kataoka S¹, Taniguchi R¹, Suzuki K¹, Kawashima N¹, Nishio N¹, Iwafuchi H¹⁰, Ito M¹¹, Kojima S¹, Okuno Y¹², Takahashi Y¹

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, Japan 4: Department of Pediatric Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Narita Hospital, Narita, Japan 5: Division of Pediatric Hematology/Oncology, Okinawa Prefectural Nanbu Medical Center and Children's Medical Center, Okinawa, Japan 6: Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan 7: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 8: Department of Pediatrics, Kitano Hospital, Tazuke Kofukai Medical Research Institute, Osaka, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 10: Department of Pathology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 11: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 12: Department of Virology, Nagoya City University Graduate School of Medical Science and Medical School, Nagoya, Japan
American Journal of Hematology 98(5):E102–E105, 2023

Comprehensive circulating microRNA profile as a supersensitive biomarker for early-stage lung cancer screening

Inagaki M¹, Uchiyama M², **Yoshikawa-Kawabe K³**, Ito M³, Murakami H³, Gunji M⁴, Minoshima M⁴, Kohnoh T¹, Ito R¹, Kodama Y¹, Tanaka-Sakai M¹, Nakase A¹, Goto N¹, Tsumura Y¹, Mori S⁵, Kozuka M⁶, Otomo R², Hirai M², **Fujino M³**, Yokoyama T¹

1: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 2: Research and Development Division, ARKRAY, Inc, Kyoto, Japan 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 4: Department of Cytology and Molecular Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 5: Department of Respiratory Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan
Journal of Cancer Research and Clinical Oncology 149(11):8297–8305, 2023

Hematological abnormalities in Jacobsen syndrome: cytopenia of varying severities and morphological abnormalities in peripheral blood and bone marrow

Yamashita D¹, Muramatsu H¹, Narita A¹, Wakamatsu M¹, Tsumura Y¹, Sajiki D¹, Maemura R¹, Yamamori A¹, Imaya M¹, Narita K¹, Kataoka S¹, Taniguchi R¹, Nishio N¹, Okuno Y², Fujita N³, Koh K⁴, Umeda K⁵, Morihana E⁶, Iwafuchi H⁷, **Ito M⁸**, Kojima S¹, Hama A⁹, Takahashi Y¹⁰

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 2: Department of Virology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya 3: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima 4: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama 5: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto 6: Department of Pediatric Cardiology, Aichi Children's Health and Medical Center, Obu 7: Department of Pathology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka 8: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya 9: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya
Haematologica 108(12):3438–3443, 2023

Neurogenic intermittent claudication caused by vasculitis in the cauda equina: an autopsy case report

Ando T^{1,2}, Watanabe H³, Riku Y^{1,2}, Yoshida M², Goto Y³, **Ando R⁴**, **Fujino M⁴**, Ito M⁴, Koike H¹, Katsuno M^{1,6}, Iwasaki Y²

1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan 2: Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Aichi, Japan 3: Department of Neurology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 5: Department of Clinical Research Education, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan
European Spine Journal 32(7):2602–2606, 2023

Clinical features of acquired erythrocytosis: Low levels of serum erythropoietin in a subset of non-neoplastic erythrocytosis patients

Mori Y¹, Araki M^{2,3}, Morishita S^{2,3}, Imai M², Edahiro Y^{1,2,3}, **Ito M⁴**, Ochiai T^{1,2,3}, Shirane S^{1,2,3}, Hashimoto Y^{1,2,3}, Yasuda H¹, Ando J^{1,5}, Ando M¹, Komatsu N^{1,2,3,6}

1: Department of Hematology, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan 2: Laboratory for the Development of Therapies Against MPN, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan 3: Department of Advanced Hematology, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Cell Therapy and Transfusion Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan 6: Pharma Essentia Japan KK, Tokyo, Japan
Cancer Medicine 12(2): 1079–1089, 2023

Clinical features and risk factors for appendiceal diverticulitis: a comparative study with acute appendicitis

Sugiura K¹, Miyake H¹, Nagai H¹, Yoshioka Y¹, Shibata K¹, Yuasa N¹, **Fujino M²**

1: Department of Gastrointestinal Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
Surgery Today, 2023

Landscape of driver mutations and their clinical effects on Down syndrome-related myeloid neoplasms

Sato T¹, Yoshida K^{2,3}, Toki T¹, Kanezaki R¹, Terui K¹, Saiki R², Ojima M⁴, Ochi Y², Mizuno S⁵, Yoshihara M^{5,6}, Uechi T⁷, Kenmochi N⁷, Tanaka S⁸, Matsubayashi J⁹, Kisai K⁸, Kudo K¹⁰, Yuzawa K¹, Takahashi Y¹, Tanaka T¹, Yamamoto Y¹, Kobayashi A¹, Kamio T¹, Sasaki S¹, Shiraishi Y¹⁰, Chiba K¹⁰, Tanaka H¹¹, Muramatsu H¹², Hama A¹³, Hasegawa D¹⁴, Sato A¹⁵, Koh K¹⁶, Karakawa S¹⁷, Kobayashi M¹⁷, Hara J¹⁸, Taneyama Y¹⁹, Imai C²⁰, Hasegawa D²¹, Fujita N²², Yoshitomi M²³, Iwamoto S²⁴, Yamato G²⁵, Saida S²⁶, Kiyokawa N²⁷, Deguchi T^{24,28}, **Ito M²⁹**, Matsuo H³⁰, Adachi S³⁰, Hayashi Y^{31,32}, Taga T³³, M Saito A³⁴, Horibe K³⁴, Watanabe K³⁵, Tomizawa D³⁶, Miyano S¹¹, Takahashi S⁴, Ogawa S^{2,37,38}, Ito E^{1,39}

1: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan 2: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Division of Cancer Evolution, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 4: Department of Anatomy and Embryology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 5: Laboratory Animal Resource Center and Trans-border Medical Research Center, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 6: School of Integrative and Global Majors, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 7: Department of Anatomy, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan 8: Department of Clinical Biostatistics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 9: Center for Clinical Research and Advanced Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 10: Division of Genome Analysis Platform Development, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 11: M and D Data Science Center, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 12: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 14: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 16: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 17: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 19: Department of Hematology/Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 20: Department of Pediatrics, Niigata University Graduate School Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan 21: Department of Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 22: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 23: Department of Pediatrics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan 24: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan 25: Department of pediatrics, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi City, Japan 26: Department of Pediatrics,

Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
27: Department of Pediatric Hematology and Oncology Research, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan 28: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 29: Department of Pathology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 30: Department of Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 31: Department of Hematology and Oncology, Gunma Children's Medical Center, Gunma, Japan 32: Institute of Physiology and Medicine, Jobu University, Takasaki, Japan
33: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 34: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 35: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 36: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 37: Department of Medicine, Center for Hematology and Regenerative Medicine, Karolinska Institute, Stockholm, Sweden 38: Institute for the Advanced Study of Human Biology, Kyoto University, Kyoto, Japan 39: Department of Community Medicine, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan
Blood, 2024

CAMK2D: a novel molecular target for BAP1-deficient malignant mesothelioma
Karnan S^{a,1}, Ota A^{a,1,2}, **Murakami H³**, Rahman M L¹, Md Wahiduzzaman^{1,4,6}, Hasan M N^{1,5}, Quang L Vu⁶, Hanamura I⁶, Inoko A³, Riku M³, Ito H³, Kaneko Y³, Hyodo T¹, Konishi H¹, Tsuzuki S¹, Hosokawa Y¹
1: Department of Biochemistry, , Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Aichi, Japan 2: Department of Nutritional Environment, College of Human Life and Environment, Kinjo Gakuin University, Nagoya, Japan 3: Department of Pathology, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Aichi, Japan 4: Department of Molecular Oncology, H. Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute, Tampa, FL, US 5: Eukaryotic Gene Expression and Function (EuGEF) Research Group, Chattogram, 4000, Bangladesh 6: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Aichi, Japan #Contributed equally
Cell Death Discovery, 2023

胃癌術後 11 年で発症した播種性骨髄癌症、肺腫瘍塞栓微小血管症の 1 剖検例
古川佳苗¹, **藤野雅彦**
1:名古屋大学大学院医学系研究科高次医用臓器病態診断学
現代医学(Web) 70(2):104-110, 2023

臨床医、病理部、検査部の連携によるがんゲノム検査 病理分野のコンパニオン診断の現状と精度管理
郡司昌治
日本臨床検査医学雑誌 71(10):724-729, 2023

救急部
COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニューラ酸素療法の比較と治療戦略の検討
都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 関正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹
1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部
日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

リハビリテーション科部
COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニューラ酸素療法の比較と治療戦略の検討
都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 関正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹
1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部
日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

Ability to walk 10 m within the first week of stroke predicts independent outdoor walking and destination
Muto K¹, Shiratsuchi D², Nanbu K³, Sakamoto H⁴, Furuya N⁵, Nakamura K¹, Mitani Y¹, Tsujita N¹, Makizako H²
1: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 2: Department of Physical Therapy, School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University, Kagoshima, Japan 3: Nishino hospital, Fukuoka, Japan 4: Division of Rehabilitation Services, Kyorin University Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Rehabilitation, Saitama Sekishinkai Hospital, Saitama, Japan
Journal of Stroke and Cerebrovascular Disease 32(8):107145, 2023

Association Between the Redox State of Human Serum Albumin and Exercise Capacity in Patients With Cardiac Disease
Ishimaru Y¹, Adachi T², Ashikawa H³, Hori M⁴, Shimozato T⁵, Ohtake H⁶, Shimizu S⁷, Ueyama J⁸, Yamada S⁹
1: Department of Rehabilitation, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Integrated Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Program in Physical and Occupational Therapy, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Cardiac Rehabilitation, Gifu Heart Center, Gifu, Japan 5: Yokkaichi Naika Heart Clinic, Yokkaichi, Japan 6: Department of Rehabilitation, Nagoya Tokushukai General Hospital, Kasugai, Japan 7: Department of Cardiology, Fujita Health University Bantane Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 9: Department of Cardiology, Aichi Medical University, Nagakute, Japan
American Journal of Cardiology 189:56-60, 2023

薬剤部
小児 T 細胞性急性リンパ性白血病治療中に運動障害を発現した症例に対する薬剤因果関係の検討
小山佐知子¹, 坂口静羽¹, 向山直樹¹, 北澤宏展², 吉田奈央², 田中雅大², 濱麻人², 成瀬徳彦¹
1:薬剤部 2:小児科
日本小児臨床薬理学会雑誌, 36(1):118-121 2023

COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニューラ酸素療法の比較と治療戦略の検討
都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 関正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹
1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部
日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

栄養課

COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニューラ酸素療法の比較と治療戦略の検討

都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 開正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹

1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部

日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

当院救命救急ICUにおける早期栄養介入管理によるタスクシフト/シェアの効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 立花詠子⁴, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

名古屋学芸大学健康・栄養研究所年報 (9)77-84, 2023

保存的治療で軽快した食餌性腸閉塞の4例-食餌性腸閉塞症例本邦報告106例の検討:管理栄養士の視点から-

荒川登紀子¹, 伴野広幸¹, 湯浅典博²

1:栄養課 2:一般消化器外科

日本病態栄養学会誌 26(4), 2023

Traditional Japanese diet score and the sustainable development goals by a global comparative ecological study

Imai T^{1,2}, Miyamoto K^{3,4}, Sezaki A^{3,5}, Kawase F^{6,7}, Shirai Y^{3,8}, Abe C^{3,9}, Sanada M^{3,10}, Inden A¹¹, Sugihara N¹², Honda T^{3,4}, Sumikama Y^{3,13}, Nosaka S¹⁴, Shimokata H^{3,7}

1: Department of Food Science and Nutrition, Doshisha Women's College of Liberal Arts, Kyoto, Japan 2: Institute of Health and Nutrition, Nagoya University of Arts and Sciences, Aichi, Japan 3: Institute of Health and Nutrition, Nagoya University of Arts and Sciences, Aichi, Japan 4: Department of Nursing, Nagoya University of Arts and Sciences, Aichi, Japan 5: National Cancer Center Japan, Tokyo, Japan 6: Department of Nutrition, Asuke Hospital Aichi Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives, Aichi, Japan 7: Graduate School of Nutritional Science, Nagoya University of Arts and Sciences, Aichi, Japan 8: Persuasive Technology Group, Life Science Laboratories, KDDI Research, Inc, Fujimino, Japan 9: Department of Food and Nutrition, Tsu City College, Mie, Japan 10: Department of Nursing, Heisei College of Health Sciences, Gifu, Japan 11: Clinical Nutrition Unit, Hamamatsu University Hospital, Shizuoka, Japan 12: Faculty of Health and Social Services, Kanagawa University of Human Services, Kanagawa, Japan 13: Department of Nutrition, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan 14: Department of Food Science and Nutrition, Doshisha Women's College of Liberal Arts, Kyoto, Japan

Nutrition Journal 2024 Mar 21;23(1):38

臨床工学技術課

Endoscopic Aortic Valve Replacement: Initial Outcomes of Isolated and Concomitant Surgery

Hosoba S¹, Ito T¹, Mori M², Kato R¹, Kajiyama K¹, Maeda S¹, Nakai Y³, Morishita Y⁴

1: Department of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Division of Cardiothoracic Surgery, Yale School of Medicine, New Haven, Connecticut 3: Department of Clinical Engineering, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

The Annals of Thoracic Surgery 116(4):744-749, 2023

COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニューラ酸素療法の比較と治療戦略の検討

都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 開正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹

1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部

日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

臨床工学技士から見た植込み型心臓電気デバイス(CIEDs)の進歩

開正宏

日本人工臓器学会会誌 vol.52(3) p155-160 2023

看護部

COVID-19 重症肺炎の気管挿管下人工呼吸管理と高流量鼻カニューラ酸素療法の比較と治療戦略の検討

都築通孝¹, 森玲央那², 服部哲幸³, 開正宏⁴, 中井悠二⁴, 西川大樹⁵, 林衛⁶, 棚橋由紀子⁷, 山北利恵⁷, 花木芳洋¹

1:救急部 2:麻酔科 3:薬剤部 4:臨床工学技術課 5:リハビリテーション科部 6:栄養課 7:看護部

日本救急医学会中部地方会誌 19:5-10, 2023

自施設評価共有プログラムをとおした、緩和ケア病棟のケアの質向上への取り組み

武藤直美¹, 伊藤智子¹, 尾関美代子¹, 河合奈津子², 湯浅典博²

1:看護部 2:緩和ケア科

Palliative Care Research 33-40, 2024 日本緩和医療学会

続発性微弱陣痛を来さないための妊娠期・分娩期のケア

櫻井優子, 大島和美

臨床助産ケア 26-32, 2024 日総研

Ⅱ．業 績

3．学 会

令和5年1月～令和6年3月

腎臓内科

メトホルミン関連乳酸アシドーシスに対し透析を行った2例

上田怜那, 田口貴士, 鈴木彰, 清水仁美, 平松絵美子, 横江優貴, 遠藤信英

第68回日本透析医学会学術集会・総会 2023年6月 神戸市

アセタゾラミド中毒に対して血液透析を行った一例

平松絵美子, 田口貴士, 上田怜那, 鈴木彰, 清水仁美, 横江優貴, 遠藤信英

第68回日本透析医学会学術集会・総会 2023年6月 神戸市

抗GBM抗体とMPO-ANCA両陽性で透析導入となった一例

田口貴士, 上田怜那, 鈴木彰, 清水仁美, 平松絵美子, 横江優貴, 遠藤信英

第68回日本透析医学会学術集会・総会 2023年6月 神戸市

てんかん重積から横紋筋融解症を発症し血液浄化療法を施行した一例

上田怜那, 田口貴士, 平松絵美子, 横江優貴, 安田香

第252回日本内科学会東海地方会 2024年2月 岐阜市わたな

内分泌内科

シックデイを契機に急性腎不全および乳酸アシドーシスを呈したメトホルミン内服2型糖尿病の1例

武田由季, 清田篤志, 白川晶, 太田美穂子, 土田真梨子, 尾崎信暁

第249回内科学会東海地方会 2023年2月 名古屋(Web)

外来小児・成人内分泌領域における在宅注射自己注射への薬剤師介入による業務の効率化と質の向上を目指したツール作成について

野村浩夫^{1,2}, 樋口直美¹, 山田一尊¹, 中尾静羽¹, 篠田佳那¹, 岩永周子¹, 家城瞭¹, 藤波さやか¹, 田代侑子¹, 山田千草¹, 秋田桂汰¹, 奥村英典¹, 山本侑佳¹, 石川惣一¹, 佐藤美月¹, 安木慶美¹, 向山麻衣子¹, 川嶋千佳¹, 小山佐知子¹, 松田唯子¹, 向山直樹¹, 櫛原秀之¹, 成瀬徳彦¹, 西門優一³, 清田篤志⁴, 尾崎信暁⁴

1:薬剤部 2:野村薬局 3:小児科 4:内分泌内科

日本薬学会第143年会 2023年3月 札幌市

頸部腫瘤を契機に診断しえた副甲状腺癌の一例

清田篤志, 白川晶, 今瀧柚衣, 太田美穂子, 土田真梨子, 渡邊保子, 尾崎信暁

第96回日本内分泌学会学術総会 2023年6月 名古屋市

抗PD-L1抗体投与後に膵臓の画像的変化を観測しえた劇症1型糖尿病の一例

林祐里, 吉田詢, 武田由季, 今瀧柚衣, 土田真梨子, 清田篤志, 尾崎信暁

第97回日本糖尿病学会中部地方会 2023年9月 名古屋市

家族性若年糖尿病5型の一例

吉田詢¹, 清田篤志¹, 武田由季¹, 林祐里¹, 今瀧柚衣¹, 土田真梨子¹, 西門優一², 尾崎信暁¹

1:内分泌内科 2:小児科

第251回日本内科学会東海地方会 2023年10月 名古屋市

低栄養で入院し高侵襲手術を施行するも、継続的な栄養介入により栄養状態改善のみられた1症例

村瀬朱音¹, 林衛¹, 荒川登紀子¹, 伴野広幸¹, 坪内秀樹², 清田篤志³

1:栄養課 2:呼吸器外科 3:内分泌内科

第27回日本病態栄養学会年次学術集会 2024年1月 京都市

血液内科

特別講演 Pro/Con2 移植適応を考える 症例 1:再生不良性貧血

後藤辰徳

第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023年2月 名古屋市

教育講演:WITH コロナ時代の造血細胞移植

西田徹也

第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023年2月 名古屋市

CBTを受ける患者における早期カルシニューリン阻害剤漸減の予後への影響

森下喬允, 久保篤史, 田原玄寛, 内藤知希, 福岡翔, 土門洋祐, 武田健一郎, 石際康平, 一木朝絵, 後藤辰徳, 小澤幸泰, 西田徹也

第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023年2月 名古屋市

当院における同種造血幹細胞移植後急性GVHDの30年間の変遷

内藤知希, 後藤辰徳, 久保篤史, 田原玄寛, 石際康平, 武田健一郎, 土門洋祐, 福岡翔, 一木朝絵, 森下喬允, 小澤幸泰, 西田徹也

第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023年2月 名古屋市

髄外病変を伴う急性骨髄性白血病に対する同種造血細胞移植の治療成績の検討

久保篤史, 後藤辰徳, 田原玄寛, 内藤知希, 石際康平, 武田健一郎, 土門洋祐, 福岡翔, 一木朝絵, 森下喬允, 小澤幸泰, 西田徹也

第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023年2月 名古屋市

当院における同種造血細胞移植後再発AMLに対するベネクレクスタの有効性の検討

田原玄寛, 後藤辰徳, 久保篤史, 内藤知希, 石際康平, 武田健一郎, 福岡翔, 一木朝絵, 森下喬允, 小澤幸泰, 西田徹也

第 45 回日本造血・免疫細胞療学会総会 2023 年 2 月 名古屋市

同種造血幹細胞移植患者の超音波診断装置と CT 画像を用いた骨格筋評価の比較

中村和司¹, 森下喬允², 松永佑哉¹, 小川祐美¹, 中山靖唯¹, 立松典篤³, 杉浦英志³, 小澤幸泰², 西田徹也²

1:リハビリテーション科 2:血液内科 3:名古屋大学大学院 医学研究科総合保健学専攻

第 45 回日本造血・免疫細胞療学会総会 2023 年 2 月 名古屋市 (WEB)

視覚障害を有する白血病患者の入院生活における多職種連携支援の一例

安井茜¹, 小川綾太¹, 青山亜季奈², 中山幸長², 荒川登紀子³, 河瀬洋平⁴, 後藤辰徳⁵

1:リハビリテーション科 2:看護部 3:栄養課 4:薬剤部 5:血液内科

第 11 回がんリハビリテーション研究会 2023 年 3 月 名古屋市

同種造血細胞移植後ドナー型造血不全に対して同一ドナーからの造血幹細胞ブーストを実施した一例

久保篤史, 田原玄寛, 内藤知希, 石際康平, 武田健一郎, 土門洋祐, 福岡翔, 後藤辰徳, 森下喬允, 小澤幸泰, 西田徹也

第 12 回日本血液学会東海地方会 2023 年 5 月 名古屋市 (WEB)

気道閉塞に対し径の小さい気管挿管チューブ挿管となったが覚醒主体で人工呼吸管理を行えた 1 例

都築通孝¹, 福岡翔², 森玲央那³, 川浪匡史¹, 中井悠二⁴, 落合友彌⁴, 佐藤史子⁵, 西川大樹⁶, 開正宏⁴, 後藤辰徳²

1:救急部 2:血液内科 3:麻酔科 4:臨床工学技術課 5:看護部 6:リハビリテーション科

日本集中治療医学会第 7 回東海北陸支部学術集会 2023 年 6 月 金沢市

当院において 3 回目の同種造血幹細胞移植を実施した 7 例の経験

内藤知希, 宇野友梨, 久保篤史, 中谷記衣, 石際康平, 土門洋祐, 福岡翔, 加賀谷裕介, 後藤辰徳, 森下喬允, 西田徹也

第 6 回東海北陸 HLA 研究会 2023 年 7 月 名古屋市

Tumor microenvironment assessment by flow cytometry in newly diagnosed DLBCL and FL

Ishigiwa K, Goto T, Uno Y, Kubo A, Nakatani N, Naito T, Fukuoka S, Domon Y, Kagaya Y, Morishita T, Nishida T

第 85 回日本血液学会学術集会 2023 年 10 月 東京都

Comparison of mutational profiling with or without PIF in newly diagnosed AML: HM-SCREEN-Japan 02

Morishita T¹, Chi S², Naito T¹, Goto T¹, Ogasawara F³, Kojima K³, Yamamoto K⁴, Nakamura Y⁴, Kanaya M⁵, Kondo T⁵, Horiguchi H⁶, Iyama S⁶, Kamoda Y⁷, Usuki K⁷, Hosono N⁸, Yamauchi T⁸, Kobayashi T⁹, Yamashita T⁹, Ikeda D¹⁰, Yoshimoto G¹¹, Kanda J¹², Arai H¹³, Utsu Y¹³, Ueda T¹⁴, Fukushima K¹⁴, Koyama D¹⁵, Ikezoe T¹⁵, Nishida T¹, Minami Y²

1: Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 2: Hematology and Oncology, National Cancer Center Hospital East 3: Hematology, Kochi Medical School Hospital 4: Third Department of Internal Medicine, Yamaguchi University Hospital 5: Blood Disorders Center, Aikku Hospital 6: Medical Oncology and Hematology, Sapporo Medical University Hospital 7: Hematology, NTT Medical Center Tokyo 8: Hematology and Oncology, University of Fukui Hospital 9: Hematology, Akita University Hospital 10: Hematology and Oncology, Kameda Medical Center 11: Hematology, Saga-ken Medical Centre Koseikan 12: Hematology, Kyoto University Hospital 13: Hematology Oncology, Japanese Red Cross Narita Hospital 14: Hematology and Oncology, Osaka University Hospital 15: Hematology, Fukushima Medical University Hospital

第 85 回日本血液学会学術集会 2023 年 10 月 東京都

Higher pre-treatment serum CRP may predict relapse of COP after HSCT

Takeda K, Morishita T, Kubo A, Tahara H, Naito T, Fukuoka S, Domon Y, Ishigiwa K, Goto T, Ozawa Y, Nishida T

第 85 回日本血液学会学術集会 2023 年 10 月 東京都

Clinical significance of myelodysplasia-related gene mutations in AML: HM-SCREEN-Japan 02

Naito T¹, Chi S², Morishita T¹, Goto T¹, Ogasawara F³, Kojima K³, Yamamoto K⁴, Nakamura Y⁴, Kanaya M⁵, Kondo T⁵, Horiguchi H⁶, Iyama S⁶, Kamoda Y⁷, Usuki K⁷, Hosono N⁸, Yamauchi T⁸, Kobayashi T⁹, Yamashita T⁹, Ikeda D¹⁰, Yoshimoto G¹¹, Kanda J¹², Arai H¹³, Utsu Y¹³, Ueda T¹⁴, Fukushima K¹⁴, Koyama D¹⁵, Ikezoe T¹⁵, Nishida T¹, Minami Y²

1: Hematology, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 2: Hematology and Oncology, National Cancer Center Hospital East 3: Hematology, Kochi Medical School Hospital 4: Third Department of Internal Medicine, Yamaguchi University Hospital 5: Blood Disorders Center, Aikku Hospital 6: Medical Oncology and Hematology, Sapporo Medical University Hospital 7: Hematology, NTT Medical Center Tokyo 8: Hematology and Oncology, University of Fukui Hospital 9: Hematology, Akita University Hospital 10: Hematology and Oncology, Kameda Medical Center 11: Hematology, Saga-ken Medical Centre Koseikan 12: Hematology, Kyoto University Hospital 13: Hematology Oncology, Japanese Red Cross Narita Hospital 14: Hematology and Oncology, Osaka University Hospital 15: Hematology, Fukushima Medical University Hospital

第 85 回日本血液学会学術集会 2023 年 10 月 東京都

Trend in cord blood transplantation over the past 2 decades: a single institutional experience

Goto T, Uno Y, Kubo A, Nakatani N, Naito T, Ishigiwa K, Domon Y, Fukuoka S, Kagaya Y, Morishita T, Nishida T

第 85 回日本血液学会学術集会 2023 年 10 月 東京都

Poster session: The Outcomes of Cord Blood Transplantations Infused with Higher Total Number of Nucleated Cells were Equivalent to Unrelated Bone Marrow Transplantations

Ishigiwa K, Morishita T, Uno Y, Kubo A, Nakatani N, Naito T, Domon Y, Fukuoka S, Kagaya Y, Goto T, Nishida T

The 65th ASH Annual Meeting and Exposition 2023 年 12 月 San Diego (WEB)

MRSA および ESBL 産生菌を対象とした監視培養検査の採取部位の検討

伊藤夢乃¹, 服部拓哉¹, 山内淳平¹, 西山秀樹¹, 後藤辰徳², 石際康平²

1:検査部 2:血液内科

第 35 回日本臨床微生物学会総会 2024 年 2 月 横浜市

「名古屋における造血細胞移植の歴史」シンポジウム 8 (同種移植開始 50 周年記念シンポジウム)

西田徹也

第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

同種移植後再発急性骨髄性白血病における HLA-DR 発現量低下の検討

内藤知希, 後藤辰徳, 宇野友梨, 久保篤史, 中谷記衣, 石際康平, 土門洋祐, 福岡翔, 加賀谷裕介, 森下喬允, 西田徹也
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

当院における低形成型急性骨髄性白血病に対する同種造血細胞移植: 非低形成型急性骨髄性白血病との比較検討

宇野友梨, 後藤辰徳, 久保篤史, 中谷記衣, 内藤知希, 石際康平, 土門洋祐, 福岡翔, 加賀谷裕介, 森下喬允, 西田徹也
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

同種造血幹細胞移植後の Autoimmune-like hepatitis 症例の検討

石際康平, 森下喬允, 宇野友梨, 久保篤史, 中谷記衣, 内藤知希, 福岡翔, 土門洋祐, 加賀谷裕介, 後藤辰徳, 西田徹也
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

造血幹細胞移植患者の無菌室内における運動療法実施状況と骨格筋との関連

松永佑哉¹, 森下喬允², 中村和司¹, 立松典篤³, 杉浦英志³, 西田徹也²
1: リハビリテーション科 2: 血液内科 3: 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

同種造血幹細胞移植患者に対するリハビリテーションの効果—Propensity Score Matching を用いて—

中村和司¹, 森下喬允², 松永佑哉¹, 中山靖唯¹, 西田徹也²
1: リハビリテーション科 2: 血液内科
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

同種造血細胞移植における中心静脈カテーテル挿入部位および被覆保護剤の違いによる 血流感染発症の比較検討

寺西真希¹, 後藤辰徳², 林博子¹, 菅内美都¹, 西田徹也³, 小林春美¹
1: 看護部 2: 輸血部 3: 血液内科
第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

脳神経内科

Helweg's triangular tract degeneration in multipre system atrophy

Ando T, Riku Y, Akagi A, Miyahara H, Uematsu T, Aiba I, Sone J, Katsuno M, Yoshida M, Iwasaki Y
第 64 回日本神経学会学術大会 2023 年 5 月 千葉市

The neuropathological features of multiple system atrophy with a long clinical course

Ando T, Riku Y, Akagi A, Miyahara H, Sone J, Yoshida M, Iwasaki Y
第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会／第 66 回日本神経化学会大会合同大会 2023 年 7 月 神戸市

Hot cross bun sign を呈した大脳皮質基底核変性症の 1 剖検例

安藤孝志, 横井風兒, 陸雄一, 赤木明生, 宮原弘明, 長谷川成人, 勝野雅央, 吉田眞理, 岩崎靖
第 166 回日本神経学会東海北陸地方会 2023 年 7 月 名古屋市

The importance of neuropathological evaluation for accurately diagnosing sporadic creutzfeldt-Jacob disease

Ito S, Ando T, Watanabe H, Goto Y, Mano K, Akagi A, Yoshida M, Iwasaki Y
XXVI World Congress of Neurology 2023 年 10 月 Montreal

急性症候性発作で発症し、重度の高次脳機能障害を呈した左後大脳動脈塞栓症の一例

長谷川智哉, 安藤孝志, 渡邊はづき, 後藤洋二
第 167 回日本神経学会東海北陸地方会 2023 年 11 月 福井市

就寝中の舌咬傷を繰り返され、長時間ビデオ脳波で発作を確認できた睡眠てんかんの一例

片岡真由美¹, 安藤孝志¹, 藤谷繁², 渡邊はづき¹, 後藤洋二¹
1: 脳神経内科 2: 脳神経外科
第 167 回日本神経学会東海北陸地方会 2023 年 11 月 福井市

循環器内科

アルコール性肝硬変に合併した肝肺症候群の 1 例

坂本旭美¹, 吉岡直輝¹, 岡本遼太郎², 丸川高弘¹, 藤吉俊尚¹, 鷺見肇¹, 山口丈夫¹, 土居崎正雄¹, 春田純一¹
1: 消化器内科 2: 循環器内科
第 249 回日本内科学会東海地方会 2023 年 2 月 名古屋市

Redox State of Human Serum Albumin Associates with Physical Frailty in Patients with Heart Failure; a Single Center Cross-sectional Study

西川大樹¹, 宮田紳治朗, 足立拓史², 芦川博信³, 清水真也⁴, 柴田義久, 山田純生⁵
1: 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション科 2: 名古屋大学大学院 医学系研究科総合保健学専攻予防・リハビリテーション科学 3: 名古屋大学大学院 医学系研究科総合保健学専攻リハビリテーション療法学コース 4: 藤田医科大学ばんだね病院 循環器内科 5: 愛知医科大学 循環器内科
第 87 回日本循環器学会学術集会 2023 年 3 月 福岡市

Association of Redox State of Human Serum Albumin with Severity in Patients with Heart Failure

Nishikawa T^{1,2}, Shimizu S³, Kamiya H³, Ueyama J⁴, Yamada S⁵
1: Program in Pathophysiological Laboratory Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Rehabilitation, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya

Daiichi Hospital 3: Department of Cardiology, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 4: Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School 5: Department of Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine
ESC Congress2023 2023 年 8 月 Amsterdam, Netherlands

バスケットボールの競技復帰を断念した急性心筋梗塞の一例

西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 名和森太郎¹, 石丸曜¹, 黒田真之²

1:リハビリテーション科部 2:循環器内科

日本心臓リハビリテーション学会第9回東海支部地方会 2023 年 11 月 岐阜市

心不全管理に難渋する中で身体機能を維持することができた初発心不全の症例

石丸曜¹, 西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 竹本賢人², 細羽創宇³

1:リハビリテーション科部 2:循環器内科 3:心臓血管外科

日本心臓リハビリテーション学会第9回東海支部地方会 2023 年 11 月 岐阜市

当院における経皮的僧帽弁接合不全修復術施行患者に関する入院関連機能障害の検討

名和森太郎¹, 西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 石丸曜¹, 細羽創宇², 宮田紳治朗³

1:リハビリテーション科部 2:心臓血管外科 3:循環器内科

第50回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2023 年 11 月 石巻市

呼吸器内科

膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法の4年後に播種性BCG感染症を発症した1例

坂本旭美¹, 堀田侑義¹, 吉岡直輝¹, 稲垣雅康², 伊藤亮太², 宮川慶³, 丸川高弘¹, 藤吉俊尚¹, 鷲見肇¹, 土居崎正雄¹, 横山俊彦², 山口丈夫¹, 春田純一¹

1:消化器内科 2:呼吸器内科 3:総合診療科

第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会 2023 年 11 月 富山市

当院における肺Mycobacterium abscessus症31例の臨床的検討

都島悠佑, 白髭彩, 松浦彰彦, 後藤希, 中瀬敦, 稲垣雅康, 田中麻里, 小玉勇太, 伊藤亮太, 高納崇, 横山俊彦

第63回日本呼吸器学会学術講演会 2023 年 4 月 東京都

ESBL産生肺炎桿菌による菌血症症例におけるセファマイシン系抗菌薬の有効性の検討

伊藤亮太

第97回日本感染症学会総会 2023 年 4 月 横浜市

異なる漢方薬で薬剤性間質性肺炎が再誘発された1例

山本満里奈, 白髭彩, 松浦彰彦, 都島悠佑, 後藤希, 中瀬敦, 田中麻里, 稲垣雅康, 小玉勇太, 伊藤亮太, 高納崇, 横山俊彦

第123回日本呼吸器学会東海地方会 2023年 5 月 名古屋市

肺MAC症治療後に発症した肺ノカルジア症の1例

吉田健太, 白髭彩, 松浦彰彦, 都島悠佑, 後藤希, 中瀬敦, 田中麻里, 稲垣雅康, 小玉勇太, 伊藤亮太, 高納崇, 横山俊彦

第123回日本呼吸器学会東海地方会 2023 年 5 月 名古屋市

アルゴンプラズマ焼却法による気管形成術を施行した特発性気管狭窄症の1例

廣島正雄, 松浦彰彦, 白髭彩, 都島悠佑, 中瀬敦, 後藤希, 稲垣雅康, 田中麻里, 小玉勇太, 伊藤亮太, 高納崇, 横山俊彦

第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2023 年 6 月 横浜市

当院におけるGefitinib長期投与肺癌症例の臨床的検討

山田悠貴, 吉田健太, 白髭彩, 松浦彰彦, 都島悠佑, 廣島正雄, 田中麻里, 稲垣雅康, 小玉勇太, 伊藤亮太, 竹山佳宏, 横山俊彦

第64回日本肺癌学会学術集会 2023 年 11 月 千葉市

左下横隔膜動脈から流入する異常血管が原因と考えられた咯血の1例

松浦彰彦, 吉田健太, 白髭彩, 廣島正雄, 都島悠佑, 山田悠貴, 田中麻里, 稲垣雅康, 小玉勇太, 伊藤亮太, 竹山佳宏, 横山俊彦

第123回日本呼吸器学会東海地方会 2023年 11 月 浜松市

脳死移植後に急速に増大し気管狭窄を来した緑膿菌性縦隔膿瘍の一例

白髭彩, 吉田健太, 松浦彰彦, 廣島正雄, 都島悠佑, 山田悠貴, 田中麻里, 稲垣雅康, 小玉勇太, 伊藤亮太, 竹山佳宏, 横山俊彦

第124回日本呼吸器学会東海地方会 2023 年 11 月 浜松市

集学的治療を行い長期生存が得られている3重多発肺癌の1例

山田悠貴, 吉田健太, 白髭彩, 松浦彰彦, 都島悠佑, 廣島正雄, 田中麻里, 稲垣雅康, 小玉勇太, 伊藤亮太, 竹山佳宏, 横山俊彦

第124回日本肺癌学会中部支部学術集会 2024 年 2 月 名古屋市

ポリコナゾールによる薬剤性心筋症が疑われた1例

都島悠佑, 白髭彩, 松浦彰彦, 廣島正雄, 山田悠貴, 稲垣雅康, 田中麻里, 小玉勇太, 伊藤亮太, 竹山佳宏, 横山俊彦

第252回東海地方会 2024 年 2 月 岐阜市

消化器内科

アルコール性肝硬変に合併した肝肺症候群の1例

坂本旭美¹, 吉岡直輝¹, 岡本遼太郎², 丸川高弘¹, 藤吉俊尚¹, 鷲見肇¹, 山口丈夫¹, 土居崎正雄¹, 春田純一¹

1:消化器内科 2:循環器内科

第 249 回日本内科学会東海地方会 2023 年 2 月 名古屋市

貧血で発見された Osler 病の一例

野村真希, 春田純一, 山口丈夫, 土居崎正雄, 鷺見肇, 藤吉俊尚, 吉岡直輝, 丸川高弘, 松本悠平, 堀田侑義, 三木大地, 川瀬祐, 原啓文
第 250 回日本内科学会東海地方会 2023 年 6 月 桑名市

文書管理クラウドシステム Agatha を用いた治験関連文書の電磁的保管運用構築について

櫛原朋恵¹, 加藤康子¹, 渡部享平¹, 森下和子¹, 櫛原秀之¹, 成瀬徳彦¹, 春田純一²

1:薬剤部 2:消化器内科

第 33 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2023 in 岡山 2023 年 9 月 岡山市

膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法の 4 年後に播種性 BCG 感染症を発症した 1 例

坂本旭美¹, 堀田侑義¹, 吉岡直輝¹, 稲垣雅康², 伊藤亮太², 宮川慶³, 丸川高弘¹, 藤吉俊尚¹, 鷺見肇¹, 土居崎正雄¹, 横山俊彦², 山口丈夫¹, 春田純一¹

1:消化器内科 2:呼吸器内科 3:総合診療科

第 93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 2023 年 11 月 富山市

カット・ドゥ・スクエア廃止に伴う、治験関連文書データの移行について

櫛原朋恵¹, 加藤康子¹, 渡部享平¹, 森下和子¹, 安井元規², 久保敦史², 櫛原秀之¹, 成瀬徳彦¹, 春田純一³

1:薬剤部 2:事務部 3:消化器内科

第 59 回日本赤十字社医学会総会 2023 年 11 月 京都市

直腸 MALT リンパ腫に対して PAEM を施行した一例

原啓文, 藤吉俊尚, 山口丈夫, 土居崎正雄, 鷺見肇, 丸川高弘, 吉岡直輝, 三木大地, 堀田侑義, 川瀬祐, 坂本旭美, 野村真希, 田中悠, 伊藤優理子, 亀島俊太郎, 春田純一

第 66 回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 2023 年 12 月 名古屋市

精神科

非器質性精神障害について

舟橋龍秀

三井住友海上火災保険弁護士研修会 2023 年 2 月 東京都千代田区

造血細胞移植を受ける思春期男子への妊孕性温存に関する支援

佐伯暢隆¹, 秋田直洋², 齋藤愛³, 丹羽早智子⁴, 安藤智子³, 吉田奈央², 小田裕美¹

1:看護部 2:小児科 3:産婦人科 4:精神科

第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京都千代田区

当院におけるフォローアップ発達支援プログラムについての報告:遊びを通じた親子への介入

吉田翔子¹, 丹羽早智子¹, 中山淳², 大城誠²

1:精神科 2:小児科

第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023 年 7 月 名古屋市

Early signs of social development in extremely preterm infants

Yoshida S^{1,2}, Mitani M³, Kuroda M⁴, Oshiro M², Niwa S², Murase A², Mebara S², Suzuki S², Shirakawa Y², Nagata M³

1: Graduate School Education and Human Development, Nagoya University, Nagoya, Japan 2: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Psychological Support & Research Center for Human Development, Nagoya University, Nagoya, Japan, 4: Department Psychology, Faculty of Liberal Arts, Teikyo University, Hachioji, Japan

18th World Association for Infant Mental Health 2023 年 7 月 Dulin, Ireland

超早産児における視覚的選好の特徴について

三谷真優¹, 吉田翔子^{1,2}, 黒田美保³, 永田雅子¹

1:名古屋大学 2:精神科 3:帝京大学

日本心理臨床学会第 42 回大会 2023 年 9 月 横浜市

出廷時におけるフローチャート作成の是非

古川優樹¹, 舟橋龍秀

1:医療法人成精会刈谷病院 精神科

第 19 回日本司法精神医学会 2023 年 9 月 弘前市

小児科

健常小児に発症した帯状疱疹に伴う髄膜炎の一例

細川博紀, 田中雅大, 竹内智哉

第 57 回日本小児神経学会東海地方会 2023 年 1 月 名古屋市

ステロイド忌避により低アルブミン血症に至った重症アトピー性皮膚炎の乳児例

井上学, 牧野篤司, 細川博紀, 田中雅大, 西門優一, 三井さやか, 齋藤明子, 福見大地

第 287 回日本小児科学会東海地方会 2023 年 2 月 名古屋市 (WEB)

シンポジウム 14「NICU で MRSA アウトブレイクが起きた！さあどうする？」「小児科医の立場から NICU における MRSA 感染制御の困難さ」
大城誠

第 34 回日本臨床微生物学会総会・学術集会 2023 年 2 月 横浜市

日本発の移植成績を考える:小児小児再生不良性貧血/骨髓異形成症候群に対する最適な移植法開発への取り組み

吉田奈央

第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023 年 2 月 名古屋市

EBMT 基準による SOS の診断と治療

吉田奈央

Hematology Web Seminar ～SOS/VOD について考える～ 2023 年 3 月 新潟市

外来小児・成人内分泌領域における在宅注射自己注射への薬剤師介入による業務の効率化と質の向上を目指したツール作成について

野村浩夫^{1,2},樋口直美¹,山田一尊¹,中尾静羽¹,篠田佳那¹,岩永周子¹,家城瞭¹,藤波さやか¹,田代侑子¹,山田千草¹,秋田桂汰¹,奥村英典¹,山本侑佳¹,石川惣一¹,佐藤美月¹,安木慶美¹,向山麻衣子¹,川嶋千佳¹,小山佐知子¹,松田唯子¹,向山直樹¹,櫛原秀之¹,成瀬徳彦¹,西門優一³,清田篤志⁴,尾崎信暁⁴

1:薬剤部 2:野村薬局 3:小児科 4:内分泌内科

日本薬学会第 143 年会 2023 年 3 月 札幌市

Outcomes after Cord Blood Transplantation for Inherited Bone Marrow Failure Syndromes: A Report from the JSTCT Inherited Disease Working Group

Yoshida N¹, Yabe M², Yabe H², Umeda K³, Osone S⁴, Koike T², Saito S⁵, Koh K⁶, Ishida H⁷, Sato M⁸, Kato K⁹, Sato A¹⁰, Hashii Y¹¹, Atsuta Y¹²

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pediatrics, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 3: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan 5: Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan 6: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 7: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto, Japan 8: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 9: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 10: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 11: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan 12: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan

49th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation 2023 年 4 月 Paris, France

Allogeneic hematopoietic cell transplantation for Juvenile Myelomonocytic Leukemia using intravenous busulfan, fludarabine, and melphalan regimen; a prospective single-arm phase II study by The Japan Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group

Sakashita K¹, Yoshida N², Muramatsu H³, Ohtsuka Y⁴, Watanabe K⁵, Yabe M⁶, Kakuda H⁷, Honda Y⁸, Manabe A⁹

1: Nagano Children's Hospital, Azumino, Japan 2: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 5: Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 6: Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 7: University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan 8: Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan

49th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation 2023 年 4 月 Paris, France

在胎期間 28 週以下の早産児の後天性サイトメガロウイルス感染に伴う症候、およびその発達予後を調査する多施設前向きコホート研究 中間報告

杉山裕一朗, 鈴木道雄¹, 田中龍一², 田中亮³, 服部哲夫¹, 大城誠, 佐藤義朗², 伊藤嘉規⁴, 鳥居ゆか⁵, 川田潤一⁵

1:安城更生病院 小児科 2:名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター新生児部門 3:大垣市民病院第二小児科 4:愛知医科大学医学部小児科学 5:名古屋大学大学院医学系研究科小児科学

第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会 2023 年 5 月 名古屋市

発症後1年以内に冠動脈造影を行った川崎病症例の検討

福見大地, 三井さやか

第 42 回東海川崎病研究会 2023 年 5 月 名古屋市

シンポジウム2小児科医のあたらしい役割を考える(2)移行期医療を考える～クリニックから病院から～ 新生児期発症の障害児に対する長期的なフォロー

大城誠

第 34 回日本小児科医会総会フォーラム 2023 年 6 月 名古屋市

シンポジウム9 脳性麻痺の予防と診療:分娩管理から NICU 診療、整形外科的治療まで 脳性麻痺を防ぐ周産期診療新生児科医の視点から

杉山裕一朗

第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023 年 7 月 名古屋市

ランチョンセミナー7NICU での新生児発作の診断治療 ～2020 年新生児発作分類変更を踏まえて～

杉山裕一朗

第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023 年 7 月 名古屋市

新生児慢性肺疾患に対する生後早期予測モデルの開発と検証 愛知県の population based study

神澤孝洋¹, 佐藤義朗¹, 難波文彦², 田中太平³, 大城誠, 杉浦崇浩⁴, 加藤有一⁵, 宮田昌史⁶, 山田恭聖⁷, 岩田欧介⁸, 早川昌弘¹

1:名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター新生児部門 2:埼玉医科大学総合医療センター 小児科 3:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児科 4:豊橋市民病院 小児科 5:安城更生病院 新生児科 6:藤田医科大学 医学部小児科学 7:愛知医科大学病院 周産期母子医療センター 8:名古屋市立大学 新生児・小児医学分野

第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023 年 7 月 名古屋市

静脈栄養関連肝障害を合併した超低出生体重児への混合脂肪乳剤 SMOFlipid の投与経験

上田真菜, 榎本さやか, 神原紀香, 近藤真生, 濱崎咲也子, 浅田英之, 杉山裕一朗, 立花貴史, 齊藤明子, 中山淳, 大城誠

第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023 年 7 月 名古屋市

当院におけるフォローアップ発達支援プログラムについての報告:遊びを通じた親子への介入

吉田翔子¹, 丹羽早智子¹, 中山淳², 大城誠²

1:精神科 2:小児科

第59回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023年7月 名古屋市

Early signs of social development in extremely preterm infants

Yoshida S^{1,2}, Mitani M³, Kuroda M⁴, Oshiro M², Niwa S², Murase A², Mebara S², Suzuki S², Shirakawa Y², Nagata M³

1: Graduate School Education and Human Development, Nagoya University, Nagoya, Japan 2: Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Psychological Support & Research Center for Human Development, Nagoya University, Nagoya, Japan, 4Department Psychology, Faculty of Liberal Arts, Teikyo University, Hachioji, Japan

18th World Association for Infant Mental Health 2023年7月 Dulin, Ireland

モニターで気付かれたベラパミル感受性心室頻拍の新生児例

福見大地, 三井さやか, 井上孝

第59回日本小児循環器学会総会・学術集会 2023年7月 横浜市

乳児期にエコーを契機に診断された WPW syndrome、preexcitation induced cardiomyopathy(PIC)の2例

三井さやか, 福見大地

第59回日本小児循環器学会総会・学術集会 2023年7月 横浜市

思春期早発傾向を示した Down 症候群の女児2例

西門優一, 杉山裕一郎, 大城誠

第72回成長ホルモン研究会 2023年7月 名古屋市(WEB)

腓肭性動脈瘤の出血穿破による消化管出血を呈した重症心身障害児の一例

相川拓哉, 田中雅大, 荒木未希絵, 西門優一, 牧野篤司, 三井さやか, 竹内智哉, 福見大地

第288回日本小児科学会東海地方会 2023年7月 名古屋市

水痘ワクチン接種後に急性小脳失調と顔面神経麻痺を同時発症した1例

大竹輝, 田中雅大, 竹内智哉

第58回日本小児神経学会東海地方会 2023年7月 名古屋市

在宅移行し得たタナトフォリック骨異形成症の2例

竹田早織, 榎本さやか, 神原紀香, 近藤真生, 濱崎咲也子, 間宮野里花, 立花貴史, 杉山裕一郎, 浅田英之, 齊藤明子, 中山淳, 大城誠

第58回中部日本小児科学会 2023年8月 名古屋市

造血細胞移植後に未受精卵採取を行った小児がん経験者の3症例

土居崎小夜子¹, 吉田奈央¹, 矢内里紗¹, 小川晃太郎¹, 北澤宏展¹, 秋田直洋¹, 濱麻人¹, 安藤智子²

1:小児科 2:産婦人科

第65回日本小児血液・がん学会学術集会 2023年9月 札幌市

乳幼児期の発達をどう支援する？ 新版K式「新生児科医からみた新版K式発達検査のわからなさ」

杉山裕一郎

超早産児神経発達症研究会 2023年度セミナー第二回 2023年10月 Web

知っておきたい小児がんの現状と課題

吉田奈央

第40回愛知県学校保健会尾西地区学校保健大会 2023年10月 蟹江市

家族性若年糖尿病5型の一例

吉田詢¹, 清田篤志¹, 武田由季¹, 林祐里¹, 今瀧柚衣¹, 土田真梨子¹, 西門優一², 尾崎信暁¹

1:内分泌内科 2:小児科

第251回日本内科学会東海地方会 2023年10月 名古屋市

早産児後天性サイトメガロウイルス感染多施設前向きコホート研究 短期予後について

田中龍一¹, 杉山裕一郎, 田中亮², 服部哲夫³, 大城誠, 早川昌弘⁴, 佐藤義朗¹

1:名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター新生児部門 2:大垣市民病院第二小児科 3:安城更生病院 小児科 4:医療法人葵鐘会小児科

第67回日本新生児育成医学会・学術集会 2023年11月 横浜市

Expanding the Spectrum of Inherited Bone Marrow Failure Syndrome

吉田奈央

第29回岐阜血液疾患研究会 2023年11月 岐阜市(WEB)

EBMT 基準による SOS の診断と治療

吉田奈央

Pediatric hematology Seminar 2024年1月 WEB

造血細胞移植後に卵子凍結保存を試みた4例

安藤智子¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹, 土居崎小夜子³, 吉田奈央³, 濱麻人³, 齋藤愛¹

1:産婦人科 2:検査部 3:小児科

第14回日本がん・生殖医療医学会学術集会 2024年2月 水戸市

造血細胞移植後の未受精卵採取と公的助成制度について

土居崎小夜子, 吉田奈央

第3回 JACLS 勉強会 2024年2月 WEB

造血細胞移植を受ける思春期男子への妊孕性温存に関する支援

佐伯暢隆¹, 秋田直洋², 齋藤愛³, 丹羽早智子⁴, 安藤智子³, 吉田奈央², 小田裕美¹

1:看護部 2:小児科 3:産婦人科 4:精神科

第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024年3月 東京都千代田区

新生児のNICU できる神経モニタリング 新生児仮死や新生児発作から早産児への応用まで

杉山裕一朗

福島県新生児情報交換会 2024 2024年3月 郡山市

一般消化器外科・緩和ケア科

ロボット支援下直腸手術後に 右下肢急性動脈閉塞を発症した1例

吉岡裕一郎, 三宅秀夫, 永井英雅, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 加藤麻予, 荒川拓也, 関本晃裕, 浅井周平, 池田幸陽, 青木優大, 百田浩太郎

第15回日本ロボット外科学会学術集会 2023年2月 名古屋市

虫垂根部の粘膜下組織の増生による虫垂粘液瘤の1例

浅井周平, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 加藤麻予, 湯浅典博

第59回愛知臨床外科学会 2023年2月 名古屋市

S状結腸膀胱瘻に対して瘻孔閉鎖術後に再発した1例

池田幸陽, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎

第59回愛知臨床外科学会 2023年2月 名古屋市

穿孔をともなった虫垂 neroma の1例

青木優大, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 湯浅典博

第59回愛知臨床外科学会 2023年2月 名古屋市

幽門側胃切除、Billroth-II法再建後に空腸横行結腸瘻をきたした1例

伊藤優理子, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 加藤麻予, 湯浅典博

第59回愛知臨床外科学会 2023年2月 名古屋市

神経内分泌、胎児消化管類似癌成分をともなった胃腺癌の1例

白木健太, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 湯浅典博

第59回愛知臨床外科学会 2023年2月 名古屋市

2期的手術で救命しえた大動脈十二指腸瘻の1例

野口晴香, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 湯浅典博

第59回愛知臨床外科学会 2023年2月 名古屋市

直腸癌術後骨盤内再発に対する重粒子線治療前処置として腹腔鏡下スぺーサー留置を行った1例

吉岡裕一郎, 三宅秀夫, 永井英雅, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 加藤麻予, 荒川拓也, 関本晃裕, 浅井周平, 池田幸陽, 青木優大, 百田浩太郎

第26回愛知内視鏡外科研究会 2023年2月 名古屋市

当院で経験した非閉塞性腸間膜虚血(NOMI)の検討

柴田耕治, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 川合亮祐, 高橋大五郎

第59回日本腹部救急医学会総会 2023年3月 宜野湾市

Segmental arterial mediolysis が原因と考えられた中結腸動脈瘤破裂の1例

青木優大, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎

第59回日本腹部救急医学会総会 2023年3月 宜野湾市

De Garengeot hernia の1例

百田浩太郎, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 加藤麻予, 荒川拓也, 関本晃裕, 浅井周平, 池田幸陽, 青木優大

第59回日本腹部救急医学会総会 2023年3月 宜野湾市

胃原発胎児消化管類似癌の1手術例

浅井周平, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 加藤麻予, 荒川拓也, 関本晃裕, 浅井周平, 青木優大

第59回日本腹部救急医学会総会 2023年3月 宜野湾市

腎臓臓転移に対して臍中央切除を行った1例

百田浩太郎, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 加藤麻予, 荒川拓也, 関本晃裕, 浅井周平, 池田幸陽, 青木優大

第59回日本腹部救急医学会総会 2023年3月 宜野湾市

胃癌切除後1年死亡率を予測する臨床的因子

関本晃裕, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 高橋大五郎, 湯浅典博

第123回日本外科学会定期学術集会 2023年4月 東京(WEB)

Stage III結腸癌切除例の予後を亜分類する

浅井周平,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐,高橋大五郎,湯浅典博

第123回日本外科学会定期学術集会 2023年4月 東京(WEB)

腹腔鏡下腹壁瘻痕ヘルニア手術における術前癒着評価エコー検査の有用性

柴田耕治,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,川合亮祐,高橋大五郎

第21回日本ヘルニア学会学術集会 2023年5月 大阪市

根治術を施行した胸部大動脈瘤術後難治性食道穿孔の1例

川合亮祐,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,湯浅典博

第77回日本食道学会学術集会 2023年6月 大阪市

緩和手術としての胃空腸バイパス術 103例の検討

吉岡裕一郎,湯浅典博,河合奈津子

第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月 神戸市(WEB)

緩和ケア病棟自施設評価共有プログラムを用いたケアの質向上の取り組み

伊藤智子¹,武藤直美¹,尾関美代子¹,河合奈津子²,湯浅典博²

1:看護部 2:緩和ケア科

第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月 神戸市

緩和ケア病棟を併設する高度急性期病院におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の現状と課題

平野美枝子¹,武藤直美¹,高間紀子¹,橋本千智¹,松井咲樹¹,高見澤潤一²,河合奈津子³,湯浅典博³

1:看護部 2:検査部 3:緩和ケア科

第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月 神戸市

膵内副脾に発生した epidermoid cyst の1例

百田浩太郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐,高橋大五郎,加藤麻予,関本晃裕,浅井周平,青木優大

第60回愛知臨床外科学会 2023年7月 名古屋市

膵癌術後横行結腸転移を切除した1例

川瀬璃苑,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐,高橋大五郎

第60回愛知臨床外科学会 2023年7月 名古屋市

S状結腸癌術後、異時性肝・子宮・小腸および横行結腸転移を切除し無担癌生存を得ている1例

都築佳林,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐,高橋大五郎

第60回愛知臨床外科学会 2023年7月 名古屋市

胃癌切除例において中等度以上の術後合併症と関連する臨床的因子

関本晃裕,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐,高橋大五郎,湯浅典博

第31回JDDW 2023年11月 神戸市(WEB)

高齢の終末期がん患者におけるポリファーマシー～慎重な投与を要する薬剤の調査～

野村祐司¹,櫛原秀之¹,岩永周子¹,平野美枝子²,中野祐往³,河合奈津子⁴,湯浅典博⁴,成瀬徳彦¹

1:薬剤部 2:看護部 3:化学療法内科 4:緩和ケア科

第33回日本医療薬学会年会 2023年11月 仙台市

手術中多量出血死亡回避システム稼働後の検証

水野公雄¹,永井英雅²,角田伸行³,近森清美⁴,横田修一⁵,関谷知恵子⁴

1:産婦人科 2:一般消化器外科 3:乳腺外科 4:看護部 5:麻酔科

第18回医療の質・安全学会 2023年11月 神戸市

重大事例発生時の潜在リスクを推量するためのインシデント・アクシデントレポートの活用

角田伸行¹,水野公雄²,永井英雅³,近森清美⁴,作間千夏⁴,開正宏⁵,向山直樹⁶,佐藤亮輔⁷,山岡直登⁷,豊島幹一郎⁷

1:乳腺外科 2:産婦人科 3:一般消化器外科 4:看護部 5:臨床工学科 6:薬剤部 7:事務部医療安全管理課

第18回医療の質・安全学会 2023年11月 神戸市

腹腔鏡下腫瘍核出術および噴門形成術を施行した食道胃接合部領域 GIST の1例

川合亮祐,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎

第36回日本内視鏡外科学会総会 2023年12月 横浜市(WEB)

肝内胆管癌との鑑別が困難であった肝類上皮肉芽腫の1例

柴田耕治,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,川合亮祐,高橋大五郎

第36回日本内視鏡外科学会総会 2023年12月 横浜市(WEB)

腹腔鏡下に切除した巨大肝血管腫の1例

高橋大五郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐

第36回日本内視鏡外科学会総会 2023年12月 横浜市(WEB)

機能的端々吻合部に再発した Low-grade appendiceal mucinous neoplasm の一例

若尾聖,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,川合亮祐,小林龍太郎,関本晃裕,浅井周平,矢野彦太,百田浩太郎

第 61 回愛知臨床外科学会 2024 年 2 月 名古屋市

小腸間膜脂肪腫基捻転により急性腹症をきたした 1 例

矢野彦太, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 柴田耕治, 川合亮祐, 小林龍太郎, 関本晃裕, 浅井周平, 若尾聖, 百田浩太郎

第 61 回愛知臨床外科学会 2024 年 2 月 名古屋市

乳腺外科

当院におけるアベマシクリブによる消化器症状と支持療法の実態調査

末松菜月¹, 榑原秀之¹, 角田伸行², 後藤康友², 成瀬徳彦¹

1: 薬剤部 2: 乳腺外科

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023 2023 年 10 月 名古屋市

手術中多量出血死亡回避システム稼働後の検証

水野公雄¹, 永井英雅², 角田伸行³, 近森清美⁴, 横田修一⁵, 関谷知恵子⁴

1: 産婦人科 2: 一般消化器外科 3: 乳腺外科 4: 看護部 5: 麻酔科

第 18 回医療の質・安全学会 2023 年 11 月 神戸市

重大事例発生時の潜在リスクを推量するためのインシデント・アクシデントレポートの活用

角田伸行¹, 水野公雄², 永井英雅³, 近森清美⁴, 作間千夏⁴, 開正宏⁵, 向山直樹⁶, 佐藤亮輔⁷, 山岡直登⁷, 豊島幹一郎⁷

1: 乳腺外科 2: 産婦人科 3: 一般消化器外科 4: 看護部 5: 臨床工学科 6: 薬剤部 7: 事務部医療安全管理課

第 18 回医療の質・安全学会 2023 年 11 月 神戸市

血管外科

足底動脈バイパスにて救肢しえた EVT 後 CLTI の 1 例

佐藤誠洋, 榑原昌志, 山本清人, 錦見尚道

第 31 回日本血管外科学会東海・北陸地方会 2023 年 3 月 金沢市

AFX と EXCLUDER 脚による孤立性腸骨動脈瘤の治療成績

榑原昌志, 佐藤誠洋, 山本清人, 錦見尚道

第 53 回日本心臓血管外科学会学術集会 2023 年 3 月 旭川市

腓腹動脈バイパス術にて大腿切断を回避しえた 1 例

榑原昌志, 佐藤誠洋, 山本清人, 錦見尚道

第 64 回日本脈管学会学術総会 2023 年 10 月 横浜市

心臓血管外科

TEVAR 後の中長期予後

澤木完成

第 53 回 日本心臓血管外科学会学術総会 2023 年 3 月 旭川市

ハートチームで考える僧帽弁治療選択

細羽創宇

第 53 回 日本心臓血管外科学会学術総会 2023 年 3 月 旭川市

完全鏡視下僧帽弁形成術に三尖弁形成術を併施する際の安全性の検討

加藤陸

第 53 回 日本心臓血管外科学会学術総会 2023 年 3 月 旭川市

心不全管理に難渋する中で身体機能を維持することができた初発心不全の症例

石丸曜¹, 西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 竹本賢人², 細羽創宇³

1: リハビリテーション科部 2: 循環器内科 3: 心臓血管外科

日本心臓リハビリテーション学会第 9 回東海支部地方会 2023 年 11 月 岐阜市

当院における経皮的僧帽弁接合不全修復術施行患者に関する入院関連機能障害の検討

名和森太郎¹, 西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 石丸曜¹, 細羽創宇², 宮田紳治朗³

1: リハビリテーション科部 2: 心臓血管外科 3: 循環器内科

第 50 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2023 年 11 月 石巻市

呼吸器外科

術後再発した胸壁デスマイド腫瘍の 1 例

市川靖久, 後藤まどか, 坪内秀樹, 川角佑太, 内山美佳, 森正一

第 122 回日本肺癌学会中部支部学術集会 2023 年 2 月 名古屋市

診断に苦慮した肺サルコイドーシスの 1 例

坪内秀樹, 後藤まどか, 市川靖久, 川角佑太, 内山美佳, 森正一

第 26 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会 2023 年 6 月 名古屋市

呼吸器外科診療における、医師労務負担軽減目的のための手術説明ビデオ導入の試み

後藤まどか, 市川靖久, 坪内秀樹, 川角佑太, 内山美佳, 森正一

第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会 2023 年 7 月 新潟市

ロボット支援下肺切除における特有用な術中合併症・ポート孔出血の検討
市川靖久,後藤まどか,坪内秀樹,福本絃一,内山美佳,森正一
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会 2023 年 7 月 新潟市

乳癌根治術後の同側肺癌に対しロボット支援下に解剖学的切除術を施行した 1 例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,福本絃一,内山美佳,森正一
第 123 回日本肺癌学会中部支部学術集会 2023 年 9 月 沼津市

当院における肺癌術後反回神経麻痺の検討
坪内秀樹,後藤まどか,市川靖久,川角佑太,内山美佳,森正一
第 85 回日本臨床外科学会学術集会 2023 年 11 月 岡山市

肺癌に対する術前患者説明における AI(人工知能)有用性の検討
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,福本絃一,内山美佳,森正一
第 64 回日本肺癌学会学術集会 2023 年 11 月 千葉市

15 年以上に渡り甲状腺癌肺転移として診療されていた良性転移性平滑筋腫の 1 例
後藤まどか,市川靖久,坪内秀樹,福本絃一,内山美佳,森正一
第 64 回日本肺癌学会学術集会 2023 年 11 月 千葉市

当院における原発性肺癌の潜在性リンパ節転移を予測し得る因子の検討
市川靖久,後藤まどか,坪内秀樹,福本絃一,内山美佳,森正一
第 64 回日本肺癌学会学術集会 2023 年 11 月 千葉市

低栄養で入院し高侵襲手術を施行するも、継続的な栄養介入により栄養状態改善のみられた 1 症例
村瀬朱音¹,林衛¹,荒川登紀子¹,伴野広幸¹,坪内秀樹²,清田篤志³
1:栄養課 2:呼吸器外科 3:内分泌内科
第 27 回 日本病態栄養学会年次学術集会 2024 年 1 月 京都市

小児外科

保存的治療が無効であった小児大網捻転症の一例
松本健,村瀬成彦
第 59 回日本腹部救急医学会総会 2023 年 3 月 宜野湾市

自宅退院が可能であった Floyd II 型気管無形成の 1 例
谷有希子,村瀬成彦
第 39 回日本小児外科学会 秋季シンポジウム 2023 年 10 月 福岡市

形成外科

正中頸瘻と鑑別を要した外歯瘻
林祐司,菱田雅之,大島祐希
第 75 回東海形成外科学会 2023 年 3 月 WEB

褥瘡の概要
菱田雅之
中村区海部医師会夜間研修会 2023 年 4 月 WEB

体動困難時に褥瘡が発生し、発見され当院に救急搬送された患者の傾向
菱田雅之¹,伊藤真粧美²
1:形成外科 2:看護部
第 18 回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 2023 年 6 月 岐阜市

褥瘡勉強会に e-ラーニングを導入しての変化
菱田雅之¹,伊藤真粧美²
1:形成外科 2:看護部
第 19 回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 2024 年 3 月 福井市

整形外科

小児上腕骨顆上骨折後 fishtail 変形肘の治療成績.
洪淑貴,大塚純子,田中佑樹¹,堀井恵美子²
1:田中整形外科 2:関西医科大学整形外科
第 35 回日本肘関節学会学術集会 2023 年 2 月 山形市

再手術が必要となった小児陳旧性モンテジア脱臼骨折症例
大塚純子,堀井恵美子¹,外山雄康¹,洪淑貴
1:関西医科大学整形外科
第 35 回日本肘関節学会学術集会 2023 年 2 月 山形市

関節リウマチ患者の副腎皮質ステロイド中止に影響を与える関連因子 - 2 年間の縦断的研究 T-FLAG study -

高橋裕¹,祖父江康司¹,石川尚人¹,鈴木望人²,大橋禎史²,浅井秀司²,今釜史郎²

1:整形外科 2:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 67 回日本リウマチ学会総会・学術総会 2023 年 4 月 福岡市

肘関節周辺骨折患者における術後疼痛・関節可動域と運動恐怖の関連

小川倫永子¹,服部亜衣¹,洪淑貴²

1:リハビリテーション科 2:手外科

第 35 回日本ハンドセラピー学会学術集会 2023 年 4 月 東京都 (WEB)

母指多指症の中期成績と二次手術

洪淑貴,大塚純子,堀井恵美子¹

1:関西医科大学整形外科

第 66 回日本手外科学会学術集会 2023 年 4 月 東京都

母指切断に対する再接着術と動脈皮弁術の比較検討

武重宏樹,原龍哉¹,倉橋俊和¹,桑原悠太郎¹,牧野倫子¹,浦田士郎¹

1:安城更生病院整形外科

第 66 回日本手外科学会学術集会 2023 年 4 月 東京都

指尖切断に対する動脈皮弁術の機能評価 oblique triangular flap と reverse digital artery flap の比較

武重宏樹,原龍哉¹,倉橋俊和¹,桑原悠太郎¹,牧野倫子¹,浦田士郎¹

1:安城更生病院整形外科

第 66 回日本手外科学会学術集会 2023 年 4 月 東京都

関節リウマチ患者の握力が低下するとロコモティブシンドロームが発症するのか

祖父江康司,井上英則,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 140 回中部日本整形外科災害外科学会・学術総会 2023 年 4 月 奈良市

Does frailty reflect methotrexate discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients? -T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 67 回日本リウマチ学会総会・学術総会 2023 年 4 月 福岡市

関節リウマチ患者の握力低下はフレイル発症を反映するか -T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 67 回日本リウマチ学会総会・学術総会 2023 年 4 月 福岡市

肘関節後方脱臼・脱臼骨折に対する治療戦略

洪淑貴,大塚純子,堀井恵美子¹

1:関西医科大学整形外科

第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

小児上腕骨内側上顆骨折の手術成績と手術体位に関して

大塚純子,堀井恵美子¹,洪淑貴

1: 関西医科大学整形外科

第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームは有害事象によるメトトレキサート中止と関連するか -T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

関節リウマチ患者の握力低下はロコモティブシンドローム発症を反映するか -T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

ウィズコロナにおける関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームについて -T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

関節リウマチ患者における副腎皮質ステロイド中止の関連因子 -2 年間の縦断的研究 T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科

第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

関節リウマチ患者の新型コロナウイルスワクチン接種状況 -T-FLAG study-

祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹

1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科
第 96 回日本整形外科学会学術集会 2023 年 5 月 横浜市

肘関節後方脱臼(Simple elbow dislocation)の治療戦略
洪淑貴
第 49 回日本骨折治療学会 2023 年 6 月 静岡市

大関節罹患関節リウマチとロコモティブシンドロームの関連について—T-FLAG study—
祖父江康司,石川尚人,鈴木望人¹,大橋禎史¹,浅井秀司¹,今釜史郎¹
1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科
第 34 回中部リウマチ学会 2023 年 9 月 松本市

骨粗鬆症治療はロコモティブシンドロームを予防するか
祖父江康司,祖父江直久
第 25 回日本骨粗鬆症学会 2023 年 9 月 名古屋市

膝前十字靱帯損傷患者の膝自動伸展不全と超音波画像診断装置を用いた大腿四頭筋の筋厚・筋輝度との関連性
打田健人¹,高木寛人¹,山川桂子¹,山本英樹²
1:リハビリテーション科部 2:整形外科
第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会 2023 年 10 月 福岡市

頸椎椎弓形成術後に嚥下障害を発症した Tapia 症候群の一例
八木秀樹,井上英則
第 99 回東海脊椎脊髄研究会 2023 年 11 月 名古屋市

小指屈筋腱と指神経の二重断裂に基節骨骨折を伴った複合損傷例に対する術後早期運動療法と安静時屈曲位固定の一経験
石丸真歩¹,服部亜衣¹,洪淑貴²
1:リハビリテーション科部 2:手外科
第 50 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2023 年 11 月 石巻市

Relationship Between Frailty and Large Joint Symptoms in Rheumatoid Arthritis Patients
Sobue Y, Suzuki M¹, Ohashi Y¹, Asai S¹, Imagama S¹
1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科
ACR Convergence 2023 2023 年 11 月 Sandiego

高齢者大腿骨転子部骨折の予後に関する全身麻酔と脊椎麻酔の比較～他施設共同後ろ向き研究 (TRON study)
武重宏樹,竹上靖彦¹,徳武克浩²,中島宏彰¹,三島健一¹,今釜史郎¹
1:名古屋大学整形外科 2:名古屋大学手の外科
第 261 回整形外科集談会東海地方会 2023 年 12 月 名古屋市

Manchester short splint を利用して早期運動療法を実施した陳旧性特発性屈筋腱皮下断裂の 1 症例
石丸真歩¹,服部亜衣¹,洪淑貴²
1:リハビリテーション科部 2:手外科
第 11 回中部日本ハンドセラピィ学会 2024 年 1 月 松本市

肘関節後方脱臼(Simple elbow dislocation)の臨床像と治療成績
洪淑貴,大塚純子,堀井恵美子¹
1:関西医科大学整形外科
第 36 回日本肘関節学会学術集会 2024 年 3 月 札幌市

橈骨遠位端骨折後, 遠位骨端線に骨性架橋を生じた思春期女兒の 2 例
武重宏樹,洪淑貴,山本英樹,石川尚人,八木秀樹,大塚純子,祖父江康司,藤田友樹,小牧健太郎,高橋裕,長谷川寛太,井上英則
第 70 回東海整形外科外傷研究会学術集会 2024 年 3 月 名古屋市

脳神経外科
5mm 未満の小径脳動脈瘤塞栓術における double catheter technique の有効性
服部健一
第 48 回日本脳卒中学会 2023 年 3 月 横浜市

当院の破裂前交通動脈瘤治療から今後の適切な治療を考える
和田健太郎
第 48 回日本脳卒中学会 2023 年 3 月 横浜市

頭蓋で発生した Sclerosing Epithelioid Fibrosarcoma (SEF)の 1 例
久保裕昭
第 104 回日本脳神経外科学会中部支部会 2023 年 9 月 浜松市

就寝中の舌咬傷を繰り返され、長時間ビデオ脳波で発作を確認できた睡眠てんかんの一例
片岡真由美¹,安藤孝志¹,藤谷繁²,渡邊はづき¹,後藤洋二¹
1:脳神経内科 2:脳神経外科
第 167 回日本神経学会東海北陸地方会 2023 年 11 月 福井市

術者経験に応じた頸動脈ステント留置術成績の検討
服部健一

第 49 回日本脳卒中学会 2024 年 3 月 横浜市

当院における小児虐待症例の検討

真宮崇

第 47 回日本脳神経外傷学会 2024 年 3 月 東京都

皮膚科

大腿後面に生じた Aneurysmal fibrous histiocytoma の一例

犬飼実紗子, 大見修也, 石原麻衣子, 吉川真人, 井上優貴

第 303 回日本皮膚科学会東海地方会 2023 年 3 月 WEB

臍部に生じた腹膜中皮嚢胞の一例

犬飼実紗子, 磯部里香子, 石原麻衣子, 吉川真人, 井上優貴

第 304 回日本皮膚科学会東海地方会 2023 年 6 月 名古屋市

Sister Mary Joseph 結節を呈した膵癌の一例

犬飼実紗子, 近藤春菜, 磯部里香子, 石原麻衣子, 吉川真人, 井上優貴

第 305 回日本皮膚科学会東海地方会 2023 年 9 月 名古屋(WEB)

右乳輪部皮下腫瘍より診断した男性乳癌の一例

近藤春菜, 磯部里香子, 犬飼実紗子, 石原麻衣子, 吉川真人, 井上優貴

第 305 回日本皮膚科学会東海地方会 2023 年 9 月 名古屋(WEB)

ポリコナゾール長期内服中に生じた有棘細胞癌の4例

犬飼実紗子, 近藤春菜, 磯部里香子, 石原麻衣子, 吉川真人, 井上優貴

第 306 回日本皮膚科学会東海地方会 2023 年 12 月 名古屋(WEB)

全身に多発する単純性血管腫に脳血管奇形を合併した一例

近藤春菜, 磯部里香子, 犬飼実紗子, 石原麻衣子, 吉川真人, 井上優貴

第 306 回日本皮膚科学会東海地方会 2023 年 12 月 名古屋(WEB)

産婦人科

TOLAC 分娩中に出血を認め子宮破裂を疑いつつも経陰分娩へと至った一例

渡邊江里子¹, 大島和美¹, 鈴木明日香¹, 手塚敦子², 伊藤由美子², 津田弘之²

1:看護部 2:産婦人科

第 30 回愛知分娩監視研究会プログラム・抄録集 2023 年 1 月 名古屋市

分娩後に嘔吐が持続し盲腸腫瘍による腸重積が見つかった一例

長岡明日香, 伊藤由美子, 白倉知香, 宗宮絢帆, 田中梨紗子, 寺沢直浩, 簗田章, 正橋佳樹, 中村拓斗, 鈴木美帆, 福原伸彦, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第 143 回東海産科婦人科学会 2023 年 3 月 名古屋市

緊急帝王切開術後に電撃性肺水腫を発症した品胎妊娠の一例

宗宮絢帆, 田中梨紗子, 廣村勝彦, 白倉知香, 長岡明日香, 寺沢直浩, 簗田章, 正橋佳樹, 中村拓斗, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第 143 回東海産科婦人科学会 2023 年 3 月 名古屋市

骨盤内腫瘍で紹介され、3 次元 CT アンギオグラフィーと経陰的針生検で診断しえた直腸 GIST の 1 例

田中梨紗子, 廣村勝彦, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 寺沢直浩, 簗田章, 正橋佳樹, 中村拓斗, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第 143 回東海産科婦人科学会 2023 年 3 月 名古屋市

進行婦人科がんの疑いで紹介され、胸水セリブブロックが診断に有用であった悪性リンパ腫(DLBCL)の 1 例

鈴木美帆, 田中梨紗子, 廣村勝彦, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 寺沢直浩, 簗田章, 正橋佳樹, 中村拓斗, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第 143 回東海産科婦人科学会 2023 年 3 月 名古屋市

子宮平滑筋腫瘍の縦隔転移を疑ったが、CT ガイド下生検で神経鞘腫と診断できた 1 例

簗田章, 田中梨紗子, 廣村勝彦, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 寺沢直浩, 正橋佳樹, 中村拓斗, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第 143 回東海産科婦人科学会 2023 年 3 月 名古屋市

急速に進行する中で捺印細胞診を併用した経陰的理生検で診断した子宮肉腫の 1 例

福原伸彦, 廣村勝彦, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 田中梨紗子, 寺沢直浩, 簗田章, 正橋佳樹, 中村拓斗, 鈴木美帆, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第 143 回東海産科婦人科学会 2023 年 3 月 名古屋市

妊娠末期に急性妊娠性肺炎を来し帝王切開で劇的に改善した 1 例
森永崇文, 福原伸彦, 中村拓斗, 鈴木美帆, 手塚敦子, 伊藤由美子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会 2023 年 5 月 東京都千代田区

当院で開始した産科主導の経産婦計画無痛分娩についての現状
中村拓斗, 津田弘之, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄
第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会 2023 年 5 月 東京都千代田区

硬膜外無痛分娩立ち上げの一年 51 例を振り返って
手塚敦子
令和五年度東海周産期研究会 2023 年 5 月 名古屋市

凍結融解胚移植により 挙児を得た Wunderlich 症候群の 2 例
長岡明日香, 齋藤愛, 中村侑実, 蓼沼美砂¹, 江口智子, 伊藤由美子, 手塚敦子, 津田弘之, 日比初紀², 安藤智子
1:検査部 2:協立総合病院 メールリプロダクション科
第 44 回中部生殖医学会学術集会 2023 年 6 月 名古屋市

当院にて妊娠分娩管理を行った先天性無フィブリノゲン血症の 1 例
白倉知香, 津田弘之, 近藤友宏, 成田佑一郎, 林紗由, 森永崇文, 岡見ゆりか, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 告野絵里, 中村侑実, 荒木甫, 黒柳雅文,
正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 安藤智子, 水野公雄
第 117 回愛知産婦人科学会学術講演会 2023 年 7 月 名古屋市

当院で管理した ART 妊娠における潜在性甲状腺機能低下症合併妊娠に対する妊娠転帰の検討
鈴木美帆, 津田弘之, 中村侑実, 黒柳雅文, 中村拓斗, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 水野公雄
第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023 年 7 月 名古屋市

当院で経験した骨盤内腫瘍を有する悪性リンパ腫 5 例の検討
鈴木美帆, 廣村勝彦, 黒柳雅文, 正橋佳樹, 福原伸彦, 坂堂美央子, 水野公雄
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2023 年 7 月 松江市

婦人科悪性腫瘍における予期せぬ多量出血症例の検討
福原伸彦, 黒柳雅文, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 水野公雄
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2023 年 7 月 松江市

当院で施行した経子宮頸管的針生検 11 例の検討
正橋佳樹, 廣村勝彦, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 田中梨紗子, 寺沢直浩, 蓑田章, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛,
坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄
第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2023 年 7 月 松江市

緊急腹腔鏡下手術により子宮内膜症が原因と考えられた腹腔内出血の 1 例
寺沢直浩, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 安藤智子
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2023 年 9 月 大津市

炎症反応上昇を伴い卵管切除を要した小児孤立性卵管捻転の 1 例
荒木甫, 安藤智子, 黒柳雅文, 正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦
第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2023 年 9 月 大津市

造血細胞移植後に未受精卵採取を行った小児がん経験者の 3 症例
土居崎小夜子¹, 吉田奈央¹, 矢内里紗¹, 小川晃太郎¹, 北澤宏展¹, 秋田直洋¹, 濱麻人¹, 安藤智子²
1:小児科 2:産婦人科
第 65 回日本小児血液・がん学会学術集会 2023 年 9 月 札幌市

発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)合併妊娠に対しエクリズマブを使用し生児を得た 2 例
近藤友宏, 手塚敦子, 成田佑一郎, 林紗由, 森永崇文, 岡見ゆりか, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 告野絵里, 中村侑実, 黒柳雅文, 荒木甫,
正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄
第 118 回愛知産科婦人科学会学術講演会 2023 年 10 月 名古屋市

尿生殖洞合併妊婦から生児を獲得した一例
成田佑一郎, 伊藤由美子, 林紗由, 森永崇文, 近藤友宏, 岡見ゆりか, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 告野絵里, 中村侑実, 黒柳雅文, 荒木甫,
正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 手塚敦子, 齋藤愛, 坂堂美央子, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄
第 118 回愛知産科婦人科学会学術講演会 2023 年 10 月 名古屋市

卵管膨大部妊娠に対する腹腔鏡下卵管切除術の既往があり, 同側間質部妊娠破裂をきたした症例の手術動画を振り返る
黒柳雅文, 坂堂美央子, 成田佑一郎, 林紗由, 森永崇文, 近藤友宏, 岡見ゆりか, 白倉知香, 宗宮絢帆, 長岡明日香, 告野絵里, 中村侑実, 荒木甫,
正橋佳樹, 鈴木美帆, 福原伸彦, 伊藤由美子, 手塚敦子, 齋藤愛, 廣村勝彦, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄
第 118 回愛知産科婦人科学会学術講演会 2023 年 10 月 名古屋市

妊孕性温存のための凍結精子を用いた ART 妊娠中に悪性胚細胞性腫瘍を発症した一例
齋藤愛¹, 成田佑一郎¹, 長岡明日香¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹, 安藤智子¹
1:産婦人科 2:検査部
第 68 回日本生殖医学会学術講演会 2023 年 11 月 金沢市

調整卵巣刺激中の急激な血小板減少により、連続して採卵が中止になった血小板減少症の1例

成田佑一郎¹, 安藤智子¹, 長岡明日香¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹, 齋藤愛¹

1:産婦人科 2:検査部

第68回日本生殖医学会学術講演会 2023年11月 金沢市

子宮体癌・子宮内膜異型増殖症に対して黄体ホルモン療法を施行し不妊治療を行なった18例の転帰

長岡明日香¹, 齋藤愛¹, 成田佑一郎¹, 安藤智子¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹

1:産婦人科 2:検査部

第68回日本生殖医学会学術講演会 2023年11月 金沢市

TeamSTEPS導入による組織の心理的安全性向上に関する評価

近森清美¹, 水野公雄²

1:看護部 2:産婦人科

第18回医療の質・安全学会学術集会 2023年11月 神戸市

手術中多量出血死亡回避システム稼働後の検証

水野公雄¹, 永井英雅², 角田伸行³, 近森清美⁴, 横田修一⁵, 関谷知恵子⁴

1:産婦人科 2:一般消化器外科 3:乳腺外科 4:看護部 5:麻酔科

第18回医療の質・安全学会 2023年11月 神戸市

重大事例発生時の潜在リスクを推量するためのインシデント・アクシデントレポートの活用

角田伸行¹, 水野公雄², 永井英雅³, 近森清美⁴, 作間千夏⁴, 開正宏⁵, 向山直樹⁶, 佐藤亮輔⁷, 山岡直登⁷, 豊島幹一郎⁷

1:乳腺外科 2:産婦人科 3:一般消化器外科 4:看護部 5:臨床工学科 6:薬剤部 7:事務部医療安全管理課

第18回医療の質・安全学会 2023年11月 神戸市

がん遺伝子パネル検査によりLynch症候群と判明した子宮内膜神経内分泌がんの一例

古俣知里¹, 鈴木美帆², 手塚敦子², 坂堂美央子², 伊藤由美子², 安藤智子²

1:看護部 2:産婦人科

第9回日本産婦人科遺伝診療学会学術講演会 2023年12月 名古屋市

当院で経験した鼠径部子宮内膜症10例の診断と治療

齋藤愛, 長岡明日香, 福原伸彦, 坂堂美央子, 安藤智子

第38回日本女性医学学会学術集会 2023年12月 徳島市

先天梅毒児を出生した未受診妊婦の一例

長岡明日香, 福原伸彦, 齋藤愛, 坂堂美央子, 安藤智子

第38回日本女性医学学会学術集会 2023年12月 徳島市

中期流産後のRPOCに対してUAE施行後に産後出血を繰り返した2例

手塚敦子, 告野絵里, 中村侑実, 伊藤由美子, 津田弘之

第127回日本産科麻酔科学会学術集会 2023年12月 大阪府豊中市

胎児18trisomyを疑うも1番染色体部分欠失が判明し、夫婦意思決定に難渋した1例

伊藤由美子¹, 手塚敦子¹, 坂堂美央子¹, 津田弘之¹, 古俣千里², 安藤智子¹

1:産婦人科 2:看護部

第9回日本産科婦人科遺伝診療学会 2023年12月 名古屋市

造血細胞移植後に卵子凍結保存を試みた4例

安藤智子¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹, 土居崎小夜子³, 吉田奈央³, 濱麻人³, 齋藤愛¹

1:産婦人科 2:検査部 3:小児科

第14回日本がん・生殖医療医学会学術集会 2024年2月 水戸市

妊娠第2三半期における経腹的羊水注入および還流の有用性についての検討

告野絵里, 伊藤由美子, 中村侑実, 荒木甫, 黒柳雅文, 鈴木美帆, 手塚敦子, 津田弘之, 安藤智子, 水野公雄

第20回日本胎児治療学会学術集会 2024年1月 東京都品川区

造血細胞移植を受ける思春期男子への妊孕性温存に関する支援

佐伯暢隆¹, 秋田直洋², 齋藤愛³, 丹羽早智子⁴, 安藤智子³, 吉田奈央², 小田裕美¹

1:看護部 2:小児科 3:産婦人科 4:精神科

第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024年3月 東京都千代田区

眼科

前房水のウイルスPCR検査が有用であった桐沢型ぶどう膜炎の1例

福田創, 野坂光司, 佐藤英津子, 伊藤正¹

1:大名古屋ビル

第33回日本医療薬学会年会 2023年11月 仙台市

耳鼻咽喉科

補聴器臨床の進歩:一側難聴や耳鳴に対する補聴器の活用

小澤亮太

西名古屋耳鼻咽喉科懇話会 2023 年 2 月 名古屋市

日本における補聴器事情と対策

柘植勇人

メディアセミナー オーストラリア大使館 2023 年 2 月 東京都

一側性難聴(平均聴力 80dB)で患側装用に満足されている音楽家の症例 続報

小澤亮太,柘植勇人¹,降旗敏熙,渡邊早紀,稲垣計,鈴木淳志,寺田聡広,曾根三千彦¹

1:名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学 耳鼻咽喉科

第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会 2023 年 5 月 福岡市

口蓋扁桃にランゲルハンス細胞肉腫(LCS)を認めた一例

長谷川雅俊¹,柘植勇人¹,寺田聡広,鈴木敦志,稲垣計,伊藤潤平,村上優美子,小澤亮太,曾根三千彦¹

1:名古屋大学医学部 頭頸部・感覚器外科学 耳鼻咽喉科

第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会 2023 年 5 月 福岡市

補聴器を活用して暮らしの質を高めましょう

柘植勇人

第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会 2023 年 5 月 福岡市

補聴器事情の改善を目指した医療連携の価値と難聴症例の対応

柘植勇人(日耳鼻 福祉医療・成人老年 委員)

第 48 回全国身体障害者福祉医療講習会・第 28 回補聴器キーパーソン全国会議 2023 年 6 月 山梨県 甲府市

補聴器フィッティングにて高周波数帯域を高圧縮にする利点

柘植勇人,三宅杏季,加藤大介,薬師寺政美,加藤由記,曾根三千彦¹

1:名古屋大学医学部 耳鼻咽喉科

第 8 回耳鳴難聴研究会 2023 年 7 月 東京

当院補聴器外来にて患側に補聴器装用を試みた一側性難聴患者の検討

三宅杏季,柘植勇人,加藤大介,薬師寺政美,加藤由記

第 8 回耳鳴難聴研究会 2023 年 7 月 東京

補聴器装用に関連する臨床医学

柘植勇人

令和 5 年度認定補聴器技能者に対する講習 2023 年 8 月 名古屋市

当院補聴器外来にて患側に補聴器装用を試みた一側性難聴患者の検討

三宅杏季,柘植勇人,加藤大介,薬師寺政美,加藤由記

日本聴覚医学会 第 45 回補聴研究会 2023 年 10 月 千葉市

補聴器適合の向上をめざしたフィッティングの工夫

柘植勇人,三宅杏季,加藤大介,薬師寺政美,加藤由記,畑ひかり,曾根三千彦¹

1:名古屋大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

日本聴覚医学会 第 45 回補聴研究会 2023 年 10 月 千葉市

補聴器の種類と機能フィッティングのための調整手段

柘植勇人

奈良県補聴器相談医講習会 2023 年 11 月 奈良県

難聴者が補聴器を満足して使用するには ～補聴器ってこんなに聞こえるものだったのですか～

柘植勇人

補聴器フォーラム東海 2023 「補聴器相談医更新講習会」、「市民公開講座」 2023 年 11 月 26 日 名古屋市

小児の副咽頭間隙膿瘍の 1 例

降旗敏熙

西名古屋耳鼻咽喉科懇話会 2024 年 1 月 名古屋市

認定補聴器技能者との連携と適合検査車両の開発

柘植勇人

令和5年度福祉医療・成人老年委員全国会議 2024 年 1 月 東京

麻酔科

手術中多量出血死亡回避システム稼働後の検証

水野公雄¹,永井英雅²,角田伸行³,近森清美⁴,横田修一⁵,関谷知恵子⁴

1:産婦人科 2:一般消化器外科 3:乳腺外科 4:看護部 5:麻酔科

第 18 回医療の質・安全学会 2023 年 11 月 神戸市

気道閉塞に対し径の小さい気管挿管チューブ挿管となったが覚醒主体で人工呼吸管理を行えた 1 例

都築通孝¹,福岡翔²,森玲央那³,川浪匡史¹,中井悠二⁴,落合友彌⁴,佐藤史子⁵,西川大樹⁶,開正宏⁴,後藤辰徳²

1:救急部 2:血液内科 3:麻酔科 4:臨床工学技術課 5:看護部 6:リハビリテーション科
日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会 2023年6月 金沢市

化学療法内科

高齢の終末期がん患者におけるポリファーマシー～慎重な投与を要する薬剤の調査～

野村祐司¹, 榎原秀之¹, 岩永周子¹, 平野美枝子², 中野祐往³, 河合奈津子⁴, 湯浅典博⁴, 成瀬徳彦¹

1:薬剤部 2:看護部 3:化学療法内科 4:緩和ケア科

第33回日本医療薬学会年会 2023年11月 仙台市

リハビリテーション科

同種造血幹細胞移植患者の超音波診断装置とCT画像を用いた骨格筋評価の比較

中村和司¹, 森下喬允², 松永佑哉¹, 小川祐美¹, 中山靖唯¹, 立松典篤³, 杉浦英志³, 小澤幸泰², 西田徹也²

1:リハビリテーション科 2:血液内科 3:名古屋大学大学院 医学研究科総合保健学専攻

第45回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2023年2月 名古屋市(WEB)

Redox State of Human Serum Albumin Associates with Physical Frailty in Patients with Heart Failure; a Single Center Cross-sectional Study

西川大樹¹, 宮田紳治朗¹, 足立拓史², 芦川博信³, 清水真也⁴, 柴田義久¹, 山田純生⁵

1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 循環器内科 2:名古屋大学大学院 医学系研究科総合保健学専攻予防・リハビリテーション科学 3:名古屋大学大学院 医学系研究科総合保健学専攻リハビリテーション療法学コース 4:藤田医科大学ばんだね病院 循環器内科 5:愛知医科大学 循環器内科

第87回日本循環器学会学術集会 2023年3月 福岡市

同種造血幹細胞移植前後の栄養状態と筋力は関係する

松永佑哉¹, 中村和司¹, 立松典篤¹, 杉浦英志¹

1:名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻

第11回がんリハビリテーション研究会 2023年3月 名古屋市

視覚障害を有する白血病患者の入院生活における多職種連携支援の一例

安井茜¹, 小川綾太¹, 青山亜季奈², 中山幸長², 荒川登紀子³, 河瀬洋平⁴, 後藤辰徳⁵

1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:栄養課 4:薬剤部 5:血液内科

第11回がんリハビリテーション研究会 2023年3月 名古屋市

肘関節周辺骨折患者における術後疼痛・関節可動域と運動恐怖の関連

小川倫永子¹, 服部亜衣¹, 洪淑貴²

1:リハビリテーション科 2:手外科

第35回日本ハンドセラピー学会学術集会 2023年4月 東京都(WEB)

視床内側出血患者に対する理学療法の経験～注意障害に着目した症例～

神原直也¹, 中村和司¹, 三谷祐史¹, 武藤健人¹, 藤井七虹¹

1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 リハビリテーション科

第31回愛知県理学療法学術大会 2023年5月 名古屋市

CPXにてST低下を呈した心筋梗塞の一例

西川大樹

第13回東海臨床CPX研究会 2023年6月 WEB

早期離床・リハビリテーション加算導入後のせん妄発症率の変化について

佐藤史子¹, 錦戸幸¹, 西川大樹²

1:看護部 2:リハビリテーション科

日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会 2023年6月 金沢市

気道閉塞に対し径の小さい気管挿管チューブ挿管となったが覚醒主体で人工呼吸管理を行えた1例

都築通孝¹, 福岡翔², 森玲央那³, 川浪匡史¹, 中井悠二⁴, 落合友彌⁴, 佐藤史子⁵, 西川大樹⁶, 開正宏⁴, 後藤辰徳²

1:救急部 2:血液内科 3:麻酔科 4:臨床工学技術課 5:看護部 6:リハビリテーション科

日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会 2023年6月 金沢市

Association of Redox State of Human Serum Albumin with Severity in Patients with Heart Failure

Nishikawa T^{1,2}, Shimizu S³, Kamiya H³, Ueyama J⁴, Yamada S⁵

1: Program in Pathophysiological Laboratory Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Rehabilitation, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 3: Department of Cardiology, Japan Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital 4: Department of Biomolecular Sciences, Field of Omics Health Sciences, Nagoya University Graduate School 5: Department of Health Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine

ESC Congress2023 2023年8月 Amsterdam, Netherlands

急性期高齢軽症脳梗塞患者におけるバランス機能とその自己認識が乖離する症例の特徴

武藤健人¹, 西川大樹¹, 三谷祐史¹, 高木寛人¹, 中村和司¹

1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 リハビリテーション科

第2回日本老年療法学会学術集会 2023年9月 奄美市(WEB)

急性期脳卒中患者における運動機能とGait Efficacy Scaleとの関連性

松元大修¹, 武藤健人¹, 中村和司¹, 三谷祐史¹

1:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 リハビリテーション科

第 21 回日本神経理学療法学会学術大会 2023 年 9 月 横浜市

カフ付きカニューレを使用した気管切開患者の嚥下評価について
犬飼晃見¹, 坂口真那美², 高橋操², 犬飼桂子³, 浅見真未³, 村瀬完太¹

1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:歯科

第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 2023 年 9 月 横浜市

膝前十字靭帯損傷患者の膝自動伸展不全と超音波画像診断装置を用いた大腿四頭筋の筋厚・筋輝度との関連性
打田健人¹, 高木寛人¹, 山川桂子¹, 山本英樹²

1:リハビリテーション科部 2:整形外科

第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会 2023 年 10 月 福岡市

バスケットボールの競技復帰を断念した急性心筋梗塞の一例
西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 名和森太郎¹, 石丸曜¹, 黒田真之²

1:リハビリテーション科部 2:循環器内科

日本心臓リハビリテーション学会第 9 回東海支部地方会 2023 年 11 月 岐阜市

心不全管理に難渋する中で身体機能を維持することができた初発心不全の症例
石丸曜¹, 西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 竹本賢人², 細羽創宇³

1:リハビリテーション科部 2:循環器内科 3:心臓血管外科

日本心臓リハビリテーション学会第 9 回東海支部地方会 2023 年 11 月 岐阜市

当院における経皮的僧帽弁接合不全修復術施行患者に関する入院関連機能障害の検討
名和森太郎¹, 西川大樹¹, 藍澤洋介¹, 石丸曜¹, 細羽創宇², 宮田紳治朗³

1:リハビリテーション科部 2:心臓血管外科 3:循環器内科

第 50 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2023 年 11 月 石巻市

小指屈筋腱と指神経の二重断裂に基節骨骨折を伴った複合損傷例に対する術後早期運動療法と安静時屈曲位固定の一経験
石丸真歩¹, 服部亜衣¹, 洪淑貴²

1:リハビリテーション科部 2:手外科

第 50 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 2023 年 11 月 石巻市

Manchester short splint を利用して早期運動療法を実施した陳旧性特発性屈筋腱皮下断裂の 1 症例
小川倫永子¹, 服部亜衣¹, 洪淑貴²

1:リハビリテーション科部 2:手外科

第 11 回中部日本ハンドセラピー学会 2024 年 1 月 松本市

同種造血幹細胞移植患者に対するリハビリテーションの効果—Propensity Score Matching を用いて—
中村和司¹, 森下喬允², 松永佑哉¹, 中山靖唯¹, 西田徹也²

1:リハビリテーション科部 2:血液内科

第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

造血幹細胞移植患者の無菌室内における運動療法実施状況と骨格筋との関連
松永佑哉¹, 森下喬允², 中村和司¹, 立松典篤³, 杉浦英志³, 西田徹也²

1:リハビリテーション科部 2:血液内科 3:名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻

第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024 年 3 月 東京

歯科口腔外科

根治的治療を断念した口腔悪性腫瘍患者の臨床的検討

早川泰平, 長縄憲亮, 上田整, 服部多市, 神谷雄二郎, 花木俊介, 佐藤春樹, 大岩伊知郎

第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2023 年 1 月 WEB

口腔癌診療ガイドライン 2022 年版 SR15: 局所治療の適応がない口腔癌患者 (遠隔転移は問わない) に対して全身化学療法は有効か?

鈴木大貴, 佐藤春樹, 加藤崇雄, 菅省吾, 武田大介, 鈴木大貴, 鶴澤成一, 栗田浩

第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2023 年 1 月 WEB

口腔癌診療ガイドライン 2022 年版 SR11: 切除不能口腔癌患者の化学放射線治療に導入化学療法を行うべきか?

夫才成, 佐藤春樹, 後藤満雄, 丹野咲貴, 武田大介, 鈴木大貴, 鶴澤成一, 栗田浩

第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2023 年 1 月 WEB

口腔癌診療ガイドライン 2022 年版 SR6: 初発局所進行口腔癌患者に対して、動注化学放射線療法を行うことは手術療法より有効か?

佐藤春樹, 高山香奈子, 小栗千里, 斎藤寛一, 鈴木大貴, 武田大介, 鶴澤成一, 栗田浩

第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2023 年 1 月 WEB

口腔癌診療ガイドライン 2022 年版 SR10: 切除不能な初発局所進行口腔癌患者に対して、化学放射線療法は放射線療法単独より有効か?

佐藤春樹, 伊川裕明, 高山香奈子, 武田大介, 鈴木大貴, 鶴澤成一, 栗田浩

第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2023 年 1 月 WEB

側頭部まで進展した咀嚼筋間隙腫瘍の 9 例

長縄憲亮, 佐藤春樹, 早川泰平, 上田整, 服部多市, 花木俊介, 田中佑樹, 大岩伊知郎

第 77 回(公社)日本口腔科学会総会・学術大会 2023 年 5 月 岡山市

当科における口腔扁平上皮癌患者に対する術後補助療法の実態

上田整, 佐藤春樹, 長縄憲亮, 早川泰平, 服部多市, 花木俊介, 田中佑樹, 大岩伊知郎
第 48 回(公社)日本口腔外科学会 中部支部学術集会 2023 年 6 月 岐阜市

顎顔面骨折の診断遅延例の検討

花木俊介, 佐藤春樹, 長縄憲亮, 早川泰平, 上田整, 服部多市, 田中佑樹, 大岩伊知郎
第 24 回日本顎顔面外傷学会総会・学術大会 2023 年 7 月 北九州市

当科における口腔扁平上皮癌患者の頸部リンパ節転移節外浸潤陽性例

上田整, 佐藤春樹, 長縄憲亮, 早川泰平, 服部多市, 花木俊介, 田中佑樹, 大岩伊知郎
第 43 回日本歯科薬物療法学会・第 36 回日本口腔診断学会・第 33 回日本口腔内科学会・第 32 回日本口腔感染症学会 4 学会合同学術大会
2023 年 9 月 栃木県

言語聴覚士と協働し安全な食事介助の統一化を目指して取り組みと見直し

高橋操¹, 坂口真那美¹, 犬飼桂子², 浅見真未²
1:看護部 2:歯科口腔外科
第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 2023 年 9 月 横浜市

カフ付きカニューレを使用した気管切開患者の嚥下評価について

犬飼晃見¹, 坂口真那美², 高橋操², 犬飼桂子³, 浅見真未³, 村瀬完太¹
1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:歯科
第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 2023 年 9 月 横浜市

当科における過去 13 年間の類天疱瘡症例の臨床的検討

早川泰平, 長縄憲亮, 上田整, 服部多市, 神谷雄二郎, 花木俊介, 佐藤春樹, 大岩伊知郎
第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2023 年 11 月 大阪市

病理部・細胞診分子病理診断部

造血器腫瘍における髄液細胞診の FISH 解析の有用性

郡司昌治¹, 田中知咲季¹, 安村奈緒子¹, 堀口亜矢香², 藤瀬佳穂³, 川喜田恵¹, 伊藤雅文², 藤野雅彦², 村上秀樹¹
1:細胞診分子病理診断部 2:病理部 3:検査部
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会 2023 年 10 月 福岡市

細胞診にてウイルス感染を指摘しえた難治性肺炎の 1 例

安村奈緒子¹, 川喜田恵¹, 藤瀬佳穂², 堀口亜矢香³, 田中知咲季¹, 郡司昌治¹, 藤野雅彦¹, 村上秀樹¹,
1:細胞診分子病理診断部 2:病理部 3:検査部
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会 2023 年 10 月 福岡市

WHO 分類第 5 版の改訂ポイントと鑑別診断の重要性

伊藤雅文
第 85 回日本血液学会学術集会 2023 年 10 月 東京都

WHO 分類第 5 版 骨髓病理検査のポイント

伊藤雅文
第 22 回日本検査血液学会冬季セミナー 2024 年 2 月 東京都

悪性中皮腫の診断における次世代シーケンサーを用いた遺伝子変異解析の有用性

村上秀樹, 郡司昌治, 美濃島慎, 桐山理美, 小出莉央, 白木健太, 藤野雅彦, 伊藤雅文
第 113 回日本病理学会総会 2024 年 3 月 名古屋市

病理診断の補助として有用な遺伝子検査項目－MYD88、BRAF 等を中心に－

郡司昌治
遺伝子病理・検査研究会 第 9 回定期報告会 2023 年 2 月 WEB

ISO15189 の病理部門の精度管理と精度保証について

郡司昌治
第 5 回 東海北陸 LSIM セミナー 2023 年 3 月 WEB

マルチプレックスの検査の現状と精度管理

郡司昌治
アムジェン社内レクチャーミーティング 2023 年 3 月 名古屋市

同一 FFPE 切片からの DNA、RNA 抽出法の基礎検証

郡司昌治, 美濃島慎, 田中知咲季, 尾崎靖将, 安村奈緒子, 川喜田恵
第 72 回日本医学検査学会 2023 年 5 月 高崎市

管理者の立場からみるタスク・シフト/シェアへの取り組み

郡司昌治
第 22 回愛知県医学検査学会 2023 年 7 月 知多市

病理分野のコンパニオン診断の現状と精度管理

郡司昌治

第33回日本臨床化学会 東海・北陸支部総会 2023年7月 WEB

～やってみてわかった！～肺がん遺伝子検査 院内のすすめ

郡司昌治

AmoyDx 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル Web セミナー 2023年8月 WEB

病理からみるマルチ遺伝子検査の精度管理

郡司昌治

LUMAKRAS WEB Seminar 2023年8月 WEB

ISO15189 の取得そして維持へ

郡司昌治

大阪臨床検査技師会管理部門 講演会 2023年11月 大阪市

HER2 検査と悪性リンパ腫検査の実際

郡司昌治

中外製薬社内講演会 2023年12月 WEB

造血器腫瘍遺伝子検査の最新 Topics ―悪性リンパ腫の最新動向、パネル検査と院内検査の位置づけ―

郡司昌治

遺伝子病理・検査研究会 第11回定期報告会 2024年2月 WEB

Ai と検査室の付き合い方

郡司昌治

令和5年度日臨技中部圏支部研修会「臨床検査総合部門研修会」 2024年2月 WEB

管理者からみるタスクシフト

郡司昌治

大阪臨床検査技師会管理部門講演会 2024年2月 大阪市

救急部・集中治療部

救命救急ICUにおける早期栄養介入管理の効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

第26回 日本病態栄養学会年次学術集会 2023年1月 京都市

気道閉塞に対し径の小さい気管挿管チューブ挿管となったが覚醒主体で人工呼吸管理を行えた1例

都築通孝¹, 福岡翔², 森玲央那³, 川浪匡史¹, 中井悠二⁴, 落合友彌⁴, 佐藤史子⁵, 西川大樹⁶, 開正宏⁴, 後藤辰徳²

1:救急部 2:血液内科 3:麻酔科 4:臨床工技術課 5:看護部 6:リハビリテーション科

日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会 2023年6月 金沢市

当院救命救急センターICUにおける早期経腸栄養不可症例の振り返りと今後の課題

林衛^{1,3}, 伴野広幸¹, 川浪匡史², 都築通孝², 塚原丘美³

1:栄養課 2:集中治療部・救急部 3:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

日本メディカルダイエティシアン研究会(JMDS)2023 2023年9月 札幌市

当院救命救急ICUにおける早期栄養介入管理によるタスクシフト/シェアの効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

第70回 日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

当院 EICU 入室後栄養介入までの時間による栄養管理状況の比較

林衛^{1,3}, 伴野広幸¹, 川浪匡史², 都築通孝², 塚原丘美³

1:栄養課 2:集中治療部・救急部 3:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

第59回日本赤十字社医学会総会 2023年11月 京都市

救命救急入院料1及び2算定患者における早期栄養介入管理の現状と課題

林衛¹, 伴野広幸¹, 荒川登紀子¹, 炭竈優太¹, 川浪匡史², 都築通孝²

1:栄養課 2:集中治療部・救急部

第27回 日本病態栄養学会年次学術集会 2024年1月 京都市

救命救急センターICU7日間以上在室患者における早期経腸栄養の効果

林衛¹, 伴野広幸¹, 荒川登紀子¹, 炭竈優太¹, 川浪匡史², 都築通孝²

1:栄養課 2:集中治療部・救急部

第39回 日本臨床栄養代謝学会学術集会 2024年2月 横浜市

水害を想定した患者選定訓練から得たもの

金子洋¹, 浦野紘明², 大鐘隆宏³, 松永優作², 花木芳洋¹

1:救急部 2:管理局事務部 3:看護部

第 29 回日本災害医学会総会学術集会 2024 年 2 月 京都市

薬剤部

新生児集中治療室におけるバランス脂肪乳剤 SMOFlid20%投与に対する薬学的管理

田代侑子,篠田佳那,佐藤美月,向山直樹,成瀬徳彦

日本薬学会第 143 年会 2023 年 3 月 札幌市

外来小児・成人内分泌領域における在宅注射自己注射への薬剤師介入による業務の効率化と質の向上を目指したツール作成について

野村浩夫^{1,2},樋口直美¹,山田一尊¹,中尾静羽¹,篠田佳那¹,岩永周子¹,家城瞭¹,藤波さやか¹,田代侑子¹,山田千草¹,秋田桂汰¹,奥村英典¹,山本侑佳¹,石川惣一¹,佐藤美月¹,安木慶美¹,向山麻衣子¹,川嶋千佳¹,小山佐知子¹,松田唯子¹,向山直樹¹,櫛原秀之¹,成瀬徳彦¹,西門優一³,清田篤志⁴,尾崎信暁⁴

1:薬剤部 2:野村薬局 3:小児科 4:内分泌内科

日本薬学会第 143 年会 2023 年 3 月 札幌市

視覚障害を有する白血病患者の入院生活における多職種連携支援の一例

安井茜¹,小川綾太¹,青山亜季奈²,中山幸長²,荒川登紀子³,河瀬洋平⁴,後藤辰徳⁵

1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:栄養課 4:薬剤部 5:血液内科

第 11 回がんリハビリテーション研究会 2023 年 3 月 名古屋市

文書管理クラウドシステム Agatha を用いた治験関連文書の電磁的保管運用構築について

櫛原朋恵¹,加藤康子¹,渡部享平¹,森下和子¹,櫛原秀之¹,成瀬徳彦¹,春田純一²

1:薬剤部 2:消化器内科

第 33 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2023 in 岡山 2023 年 9 月 岡山市

HIF-PH 阻害薬使用に伴う鉄測定の実態調査

秋田桂汰,櫛原秀之,奥村英典,松井孝美,成瀬徳彦

第 17 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 2023 年 10 月 名古屋市

パンコマイシンの初回投与設計と急性腎障害の関連性について

松井孝美,櫛原秀之,奥村英典,秋田桂汰,成瀬徳彦

第 17 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 2023 年 10 月 名古屋市

当院におけるアベマシクリブによる消化器症状と支持療法の実態調査

末松菜月¹,櫛原秀之¹,角田伸行²,後藤康友²,成瀬徳彦¹

1:薬剤部 2:乳腺外科

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023 2023 年 10 月 名古屋市

高齢の終末期がん患者におけるポリファーマシーへ慎重な投与を要する薬剤の調査～

野村祐司¹,櫛原秀之¹,岩永周子¹,平野美枝子²,中野祐往³,河合奈津子⁴,湯浅典博⁴,成瀬徳彦¹

1:薬剤部 2:看護部 3:化学療法内科 4:緩和ケア科

第 33 回日本医療薬学会年会 2023 年 11 月 仙台市

カット・ドゥ・スクエア廃止に伴う、治験関連文書データの移行について

櫛原朋恵¹,加藤康子¹,渡部享平¹,森下和子¹,安井元規²,久保敦史²,櫛原秀之¹,成瀬徳彦¹,春田純一³

1:薬剤部 2:事務部 3:消化器内科

第 59 回日本赤十字社医学会総会 2023 年 11 月 京都市

重大事例発生時の潜在リスクを推量するためのインシデント・アクシデントレポートの活用

角田伸行¹,水野公雄²,永井英雅³,近森清美⁴,作間千夏⁴,開正宏⁵,向山直樹⁶,佐藤亮輔⁷,山岡直登⁷,豊島幹一郎⁷

1:乳腺外科 2:産婦人科 3:一般消化器外科 4:看護部 5:臨床工学科 6:薬剤部 7:事務部医療安全管理課

第 18 回医療の質・安全学会 2023 年 11 月 神戸市

糖尿病を中心とした認知症、歯周病に関する NST 専門療法士と CDE の新たな取り組み

野村浩夫^{1,2}

1:薬剤部 2:野村薬局

第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会(JSPEN2024) 2024 年 2 月 横浜市

検査部

実践できてない立場から考える臨床検査技師の病棟出張

服部拓哉

第 34 回日本臨床微生物学会 2023 年 2 月 横浜市

【Accepted paper session】研究費や実験機器のない研究環境で取り組む論文投稿

服部拓哉

第 97 回日本感染症学会 2023 年 4 月 横浜市

血液培養陽性症例に対する Antimicrobial Stewardship Team の取り組み

山内淳平,西山秀樹,服部拓哉,郡司昌治,尾崎信暁

第 72 回日本医学検査学会 2023 年 5 月 前橋市

緩和ケア病棟を併設する高度急性期病院におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の現状と課題

平野美枝子¹, 武藤直美¹, 高間紀子¹, 橋本千智¹, 松井咲樹¹, 高見澤潤一², 河合奈津子³, 湯浅典博³

1:看護部 2:検査部 3:緩和ケア科

第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月 神戸市

細胞治療における臨床検査技師の役割 ～造血幹細胞移植関連業務～

池口美代子

第81回日本輸血・細胞治療学会 東海支部例会 2023年11月 WEB

妊孕性温存のための凍結精子を用いたART妊娠中に悪性胚細胞性腫瘍を発症した一例

齋藤愛¹, 成田佑一郎¹, 長岡明日香¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹, 安藤智子¹

1:産婦人科 2:検査部

第68回日本生殖医学会学術講演会 2023年11月 金沢市

調整卵巣刺激中の急激な血小板減少により、連続して採卵が中止になった血小板減少症の1例

成田佑一郎¹, 安藤智子¹, 長岡明日香¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹, 齋藤愛¹

1:産婦人科 2:検査部

第68回日本生殖医学会学術講演会 2023年11月 金沢市

子宮体癌・子宮内膜異型増殖症に対して黄体ホルモン療法を施行し不妊治療を行なった18例の転帰

長岡明日香¹, 齋藤愛¹, 成田佑一郎¹, 安藤智子¹, 蓼沼美砂², 江口智子¹

1:産婦人科 2:検査部

第68回日本生殖医学会学術講演会 2023年11月 金沢市

体外式超音波による虫垂憩室の診断能

中村詩織, 佐藤彩, 二坂好美, 小島祐毅, 前岡悦子

JSS中部 第39回地方会学術集会 2024年1月 名古屋市

MRSAおよびESBL産生菌を対象とした監視培養検査の採取部位の検討

伊藤夢乃¹, 服部拓哉¹, 山内淳平¹, 西山秀樹¹, 後藤辰徳², 石際康平²

1:検査部 2:血液内科

第35回日本臨床微生物学会総会 2024年2月 横浜市

どうする虫垂 ～こんなことで困っていませんか～

小島祐毅

JSS中部 第39回地方会学術集会 2024年1月 名古屋市

初心者大歓迎！腸内細菌目細菌についてとこん学ぶ～実例から学ぶ耐性菌検査のノウハウ～カルバペネム耐性菌服部拓哉

第35回日本臨床微生物学会 2024年2月 横浜市

医師を感激させた微生物検査 Ver.9.0～長期入院中の小児患者での予期せぬ培養結果～

服部拓哉

第35回日本臨床微生物学会 2024年2月 横浜市

栄養課

救命救急ICUにおける早期栄養介入管理の効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

第26回 日本病態栄養学会年次学術集会 2023年1月 京都市

視覚障害を有する白血病患者の入院生活における多職種連携支援の一例

安井茜¹, 小川綾太¹, 青山亜季奈², 中山幸長², 荒川登紀子³, 河瀬洋平⁴, 後藤辰徳⁵

1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:栄養課 4:薬剤部 5:血液内科

第11回がんリハビリテーション研究会 2023年3月 名古屋市

日米における経腸栄養管理の実態～ICUから一般病棟まで～

林衛

管理栄養士学びの場・グローバルプラクティカルニュートリション 2023年2月 WEB

「日赤栄養特別号」より ふたつのモチベーション

林衛

第65回日赤栄養士会全国研修会 2023年8月 東京都

当院救命救急センターICUにおける早期経腸栄養不可症例の振り返りと今後の課題

林衛^{1,3}, 伴野広幸¹, 川浪匡史², 都築通孝², 塚原丘美³

1:栄養課 2:集中治療部・救急部 3:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

日本メディカルダイエティン研究会(JMDS)2023 2023年9月 札幌市

当院救命救急ICUにおける早期栄養介入管理によるタスクシフト/シェアの効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科
第70回 日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

早期栄養介入管理加算対象患者における栄養指導実施状況
炭竈優太,林衛,伴野広幸
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

地中海食スコアと高血圧有病率との関連—10年間の国際縦断解析
瀬崎彩也子^{1,11},今井具子^{2,11},宮本恵子^{3,11},川瀬文哉^{4,12},白井禎朗^{5,11},阿部稚里^{6,11},位田文香⁷,眞田正世^{8,11},杉原規恵⁹,本多利枝^{3,11},
炭竈優太^{10,11},下方浩史^{11,12}
1:国立がん研究セ 2:同志社女子大 3:名古屋学芸大 4:JA 愛知厚生連足助病院 5:KDDI 総合研 6:三重短大 7:浜松医科大医学部附属病院 8:平成医療短大 9:神奈川県立保健福祉大 10:日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11:名古屋学芸大健康・栄養研 12:名古屋学芸大院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

和食スコアと認知症有病率との関連—10年間の縦断解析
阿部稚里^{1,11},今井具子^{2,11},瀬崎彩也子^{3,11},宮本恵子^{4,11},川瀬文哉^{5,12},白井禎朗^{6,11},位田文香⁷,眞田正世^{8,11},鈴木規恵⁹,本多利枝^{4,11},
炭竈優太^{10,11},下方浩史^{11,12}
1:三重短大 2:同志社女子大 3:国立がん研究セ 4:名古屋学芸大 5:JA 愛知厚生連足助病院 6:KDDI 総合研 7:浜松医科大医学部附属病院 8:平成医療短大 9:神奈川県立保健福祉大 10:日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11:名古屋学芸大 健康・栄養研、12:名古屋学芸大院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

和食スコアと健康寿命、平均寿命との関連—オープンデータによる国際縦断研究
今井具子^{1,11},阿部稚里^{2,11},瀬崎彩也子^{3,11},宮本恵子^{4,11},川瀬文哉^{5,11},白井禎朗^{6,11},位田文香^{7,11},眞田正世^{8,11},杉原規恵⁹,本多利枝^{4,11},
炭竈優太^{10,11},下方浩史^{11,12}
1:同志社女子大 2:三重短大 3:国立がん研究セ 4:名古屋学芸大 5:JA 愛知厚生連足助病院 6:KDDI 総合研 7:浜松医科大医学部附属病院 8:平成医療短大 9:神奈川県立保健福祉大 10:日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11:名古屋学芸大 健康・栄養研 12:名古屋学芸大院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

ヨウ素摂取量は健康寿命、平均寿命の延伸と関連する—国際比較研究
宮本恵子^{1,11},今井具子^{2,11},瀬崎彩也子^{3,11},川瀬文哉^{4,12},白井禎朗^{5,11},阿部稚里^{6,11},眞田正世^{7,11},位田文香⁸,杉原規恵⁹,本多利枝^{1,11},
炭竈優太^{10,11},下方浩史^{11,12}
1:名古屋学芸大 2:同志社女子大 3:国立がん研究セ 4:JA 愛知厚生連足助病院 5:KDDI 総合研 6:三重短大 7:平成医療短大 8:浜松医科大医学部附属病院 9:神奈川県立保健福祉大 10:日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11:名古屋学芸大 健康・栄養研 12:名古屋学芸大学院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

卵の摂取量と閉塞性肺疾患(COPD)有病率との10年間の縦断的関連
本多利枝¹,今井具子^{2,11},瀬崎彩也子^{3,11},宮本恵子^{1,11},川瀬文哉^{4,12},白井禎朗^{5,11},阿部稚里^{6,11},眞田正世^{7,11},位田文香⁸,杉原規恵⁹,
炭竈優太^{10,11},下方浩史^{11,12}
1:名古屋学芸大学 2:同志社女子大 3:国立がん研究セ 4:JA 愛知厚生連足助病院 5:KDDI 総合研 6:三重短大 7:平成医療短大 8:浜松医科大医学部附属病院 9:神奈川県立保健福祉大 10:日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11:名古屋学芸大 健康・栄養研 12:名古屋学芸大院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

葉酸と自殺率との関連—国際比較研究
眞田正世¹,今井具子^{2,10},瀬崎彩也子¹⁰,宮本恵子^{3,10},川瀬文哉^{4,10},白井禎朗^{5,10},阿部稚里^{7,10},位田文香^{6,10},杉原規恵⁸,本多利枝^{3,10},
炭竈優太^{9,10},下方浩史^{10,11}
1:平成医療短期大学 2:同志社女子大 3:名古屋学芸大 4:JA 愛知厚生連足助病院 5:KDDI 総合研 6:浜松医科大医学部附属病院 7:三重短大 8:神奈川県立保健福祉大 9:日本赤十字社愛知医療セ名古屋第一病院 10:名古屋学芸大 健康・栄養研 11:名古屋学芸大院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

加工肉とアトピー性皮膚炎有病率との関連—国際比較研究
杉原規恵¹,今井具子^{2,11},瀬崎彩也子^{3,11},宮本恵子^{4,11},川瀬文哉^{5,12},白井禎朗^{6,11},阿部稚里^{7,11},位田文香^{8,11},眞田正世^{9,11},本多利枝^{4,11},
炭竈優太^{10,11},下方浩史¹²
1:神奈川県立保健福祉大 2:同志社女子大 3:国立がん研究セ 4:名古屋学芸大 5:JA 愛知厚生連足助病院 6:KDDI 総合研 7:三重短大 8:浜松医科大医学部附属病院 9:平成医療短大 10:日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11:名古屋学芸大 健康・栄養研 12:名古屋学芸大院
第70回日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

当院 EICU 入室後栄養介入までの時間による栄養管理状況の比較
林衛^{1,3},伴野広幸¹,川浪匡史²,都築通孝²,塚原丘美³
1:栄養課 2:集中治療部・救急部 3:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科
第59回日本赤十字社医学会総会 2023年11月 京都市

シンポジウム 臨床分野における管理栄養士に必要なスキルと卒後教育の在り方
林衛,伴野広幸
第45回日本臨床栄養学会総会・第44回日本臨床栄養協会総会 第21回大連合大会 2023年11月 京都市

救命救急入院料1及び2算定患者における早期栄養介入管理の現状と課題
林衛¹,伴野広幸¹,荒川登紀子¹,炭竈優太¹,川浪匡史²,都築通孝²
1:栄養課 2:集中治療部・救急部
第27回 日本病態栄養学会年次学術集会 2024年1月 京都市

低栄養で入院し高侵襲手術を施行するも、継続的な栄養介入により栄養状態改善のみられた1症例

村瀬朱音¹, 林衛¹, 荒川登紀子¹, 伴野広幸¹, 坪内秀樹², 清田篤志³

1: 栄養課 2: 呼吸器外科 3: 内分泌内科

第 27 回 日本病態栄養学会年次学術集会 2024 年 1 月 京都市

加工肉摂取と NAFLD 発症率との関連—国際比較研究

炭竈優太^{1,9}, 杉原規恵², 今井具子^{3,9}, 瀬崎彩也子⁹, 宮本恵子^{4,9}, 川瀬文哉^{5,10}, 白井禎朗⁹, 阿部稚里^{6,9}, 位田文香⁷, 眞田正世^{8,9}, 本多利枝^{4,9}, 野坂咲耶³, 下方浩史^{9,10}

1: 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 2: 神奈川県立保健福祉大学 3: 同志社女子大学 4: 名古屋学芸大学 5: JA 愛知厚生連足助病院 6: 三重短期大学 7: 浜松医科大学医学部附属病院 8: 平成医療短期大学 9: 名古屋学芸大学 健康・栄養研究所 10: 名古屋学芸大学大学院

第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会 2024 年 1 月 京都市

和食スコアと障害調整生命年との関連—国際的なオープンデータによる縦断研究

今井具子^{1,11}, 阿部稚里^{2,11}, 瀬崎彩也子^{3,11}, 宮本恵子^{4,11}, 川瀬文哉^{5,12}, 白井禎朗^{6,11}, 位田文香⁷, 眞田正世^{8,11}, 杉原規恵⁹, 本多利枝^{4,11}, 炭竈優太^{10,11}, 野坂咲耶¹, 下方浩史^{11,12}

1: 同志社女子 2: 三重短大 3: 国立がん研究セ 4: 名古屋学芸大 5: JA 愛知厚生連足助病院 6: KDDI 総合研 7: 浜松医科大学医学部附属病院 8: 平成医療短大 9: 神奈川県立保健福祉大 10: 日赤愛知医療セ名古屋第一病院 11: 名古屋学芸大健康・栄養研 12: 名古屋学芸大院

第 34 回日本疫学会学術総会 2024 年 1 月 大津市

救命救急センターICU7 日間以上在室患者における早期経腸栄養の効果

林衛¹, 伴野広幸¹, 荒川登紀子¹, 炭竈優太¹, 川浪匡史², 都築通孝²

1: 栄養課 2: 集中治療部・救急部

第 39 回 日本臨床栄養代謝学会学術集会 2024 年 2 月 横浜市

臨床工学技術課

心臓外科領域における臨床工学技士のタスク・シフト/シェア

白鳥頌紘, 蜂須賀章友, 中井悠二, 山口さよ子, 西野遥平, 山鹿彰, 開正宏

第 45 回日本体外循環技術医学会東海地方会 2023 年 2 月 岐阜市

循環補助装置の仕組みと管理 セミナー

開正宏

日本集中治療医学会 ICU セミナー(中級) 本会主催セミナー 2023 年 3 月 WEB

医療ガスの危険性を知り安全に取り扱えるようにしましょう！ セミナー

開正宏

第 18 回三重県臨床工学技士会呼吸療法セミナー 2023 年 3 月 WEB

集中治療領域において iNO 療法を用いる ショートレクチャー

開正宏

第 50 回日本集中治療医学会学術集会 2023 年 3 月 京都市

ロボット支援下 MICS と内視鏡下 MICS に体外循環法の大差はない—MICS における安全な体外循環を目指して— 特別企画

開正宏

第 53 回日本心臓血管外科学会学術集会 2023 年 3 月 旭川市

自施設の常識は他施設の非常識？ セミナー

開正宏

エキスパートなコメディカルを目指す急性血液浄化セミナー 2023 年 3 月 WEB

教えておたくの心筋保護「del Nido のおたく」 パネルディスカッション

蜂須賀章友

第 10 回日本体外循環技術医学会東海地方会学術セミナー 2023 年 5 月 名古屋市

「自施設の常識は他施設の非常識」～他院の常識は自院の非常識～ セミナー

開 正宏

中部 ME web セミナー 2023 年 6 月 WEB

気道閉塞に対し径の小さい気管挿管チューブ挿管となったが覚醒主体で人工呼吸管理を行えた 1 例

都築通孝¹, 福岡翔², 森玲央那³, 川浪匡史¹, 中井悠二⁴, 落合友彌⁴, 佐藤史子⁵, 西川大樹⁶, 開正宏⁴, 後藤辰徳²

1: 救急部 2: 血液内科 3: 麻酔科 4: 臨床工学技術課 5: 看護部 6: リハビリテーション科

日本集中治療医学会第 7 回東海北陸支部学術集会 2023 年 6 月 金沢市

我々は臨床工学技士だから開心術の人工心肺や補助循環の業務だけではもったいない!! 講演

開正宏

第 34 回日本体外循環技術医学会四国地方会学術大会 2023 年 7 月 高知市

MICS における心筋保護回路の適性使用について—MICS では大動脈基部圧力の測定は必須である—

開正宏

心筋保護 web 勉強会 2023 年 8 月 WEB

MICS 用カニューレについて セミナー

開正宏

LivaNova カニューレセミナー 2023 年 8 月 WEB

新しい人工呼吸器の治療モードも知っておきましょう！ 講演

開正宏

第 45 回日本呼吸療法医学会学術集会 2023 年 8 月 名古屋市

RST からマジメに酸素を考えてみるー医療ガス(特に酸素)は正しい知識を持ち安全に使いこなしましょう！ 講演

開正宏

第 45 回日本呼吸療法医学会学術集会 2023 年 8 月 名古屋市

医療機器を安全に扱うための医療ガスのトラブル事情と対策！ 講習会

開正宏

令和 5 年度 医療機器安全基礎講習会 2023 年 8 月 WEB

血液浄化ハンズオンセミナー ―これで安心 CHDF 基本手技マスター― 講義

開正宏

日本集中治療医学会 50 周年記念サマーキャンプ 2023 年 8 月 ニセコ

循環補助装置のしくみと管理 セミナー

開正宏

日本集中治療医学会 ICU セミナー(中級) 本会主催セミナー 2023 年 9 月 WEB

第 10 回ハンズオンセミナー ―これで安心 CHDF 基本手技マスター― 講義

開 正宏

第 34 回日本急性血液浄化学会学術集会 2023 年 9 月 名古屋市

近未来の人工呼吸管理には新しい呼吸モードも駆使しましょう！ セミナー

開正宏

第 15 回石川県呼吸療法セミナー 2023 年 9 月 名古屋市

近未来の人工呼吸管理には新しい呼吸モードも駆使しましょう！ セミナー

開正宏

第 15 回石川県呼吸療法セミナー 2023 年 9 月 名古屋市

クローズドループ生業を行う ASV や発展系である INTELIVENT-ASV を理解して使いこなしましょう！ー機械の得意は機械に任せて、タスクシフト/シェアにも繋げたいー セミナー

開正宏

第 13 回中四国臨床工学会 2023 年 10 月 米子市

医療安全終わりなき戦い 想定外の出来事を想定内にするための医療安全に役立つシンポジウム-(Part5)

開正宏

第 59 回日本赤十字社医学会総会 2023 年 11 月 京都市

低侵襲心臓手術(MICS)のスコープオペレーター始めました 講演

蜂須賀章友

岡山県臨床工学技士会第 9 回 Okayama Operating Room Safety Conference 2023 年 11 月

HFNC の構造と特徴 セミナー

中井悠二

第 33 回日本呼吸ケアリハビリテーション学会第 10 回呼吸ケアスキルアップセミナー 2023 年 11 月 仙台市

重大事例発生時の潜在リスクを推量するためのインシデント・アクシデントレポートの活用

角田伸行¹, 水野公雄², 永井英雅³, 近森清美⁴, 作間千夏⁴, **開正宏**⁵, 向山直樹⁶, 佐藤亮輔⁷, 山岡直登⁷, 豊島幹一郎⁷

1:乳腺外科 2:産婦人科 3:一般消化器外科 4:看護部 5:臨床工学科 6:薬剤部 7:事務部医療安全管理課

第 18 回医療の質・安全学会 2023 年 11 月 神戸市

手術業務の可能性 ～タスクシフト・シェアを含めて～

白鳥頌絃

第 13 回日本赤十字社臨床工学技士会中部ブロック研修会 2023 年 12 月 名古屋市

臨床工学技士のニーズを起点とした医工連携の形

蜂須賀章友

中部経済産業局第 2 回サポーターサロン 2023 年 12 月 名古屋市

クローズドループ生業を行う ASV や発展系である INTELIVENT-ASV を理解して使い倒しましょう！ セミナー

開正宏

第 29 回近畿臨床工学会 2023 年 12 月 姫路市

NPPV 装置のディスプレイ(モニタ)から得られる情報

開正宏

第 22 回急性 NPPV・呼吸ケア研究会 2023 年 12 月 東京都(WEB)

術中術後の乳酸値の変動について～Mdnの影響～

西野遥平, 蜂須賀章友, 中井悠二, 山口さよ子, 白鳥頌紘, 山鹿彰, 開正宏

第46回日本体外循環技術医学会東海地方会 2024年1月 小牧市

シンクロシティ(共時性)

開正宏

第46回日本体外循環技術医学会東海地方会 2024年1月 小牧市

当院の手術関連システムの現状と問題点

蜂須賀章友

第46回日本体外循環技術医学会東海地方会 2024年1月 小牧市

酸素療法のピットフォール セミナー

開正宏

愛知県臨床工学技士会呼吸療法セミナーⅡ 2024年2月 WEB

ICUの診療記録を考えるー当院のカルテ事情についてー セミナー

開正宏

福岡県臨床工学技士会第1回診療記録webセミナー 2024年2月 WEB

鏡視下手術の視野確保 講演

蜂須賀章友

日本臨床工学技士会臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修 2024年2月 那覇市

鏡視下手術の視野確保 講演

蜂須賀章友

日本臨床工学技士会臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修 2024年2月 東京都

循環補助装置のしくみと管理 セミナー

開正宏

日本集中治療医学会 ICU セミナー(中級) 本会主催セミナー 2024年3月 WEB

HFNCの適応と基礎知識の整理 セミナー

中井悠二

第5回東海RST協定会NPPVシミュレーショントレーニング 2024年3月 瀬戸市

pVAD(Impella)は突然停止するかも知れない!という危機感が大切である シンポジウム

開正宏

第51回日本集中治療医学会学術集会 2024年3月 札幌市

医療ガスを知って安全に使用しよう セミナー

開正宏

愛知県臨床工学技士会医療安全セミナー 2024年3月 東海市

看護部

TOLAC分娩中に出血を認め子宮破裂を疑いつつも経膈分娩へと至った一例

渡邊江里子¹, 大島和美¹, 鈴木明日香¹, 手塚敦子², 伊藤由美子², 津田弘之²

1:看護部 2:産婦人科

第30回愛知分娩監視研究会プログラム・抄録集 2023年1月 名古屋市

救命救急ICUにおける早期栄養介入管理の効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

第26回 日本病態栄養学会年次学術集会 2023年1月 京都市

視覚障害を有する白血病患者の入院生活における多職種連携支援の一例

安井茜¹, 小川綾太¹, 青山亜季奈², 中山幸長², 荒川登紀子³, 河瀬洋平⁴, 後藤辰徳⁵

1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:栄養課 4:薬剤部 5:血液内科

第11回がんリハビリテーション研究会 2023年3月 名古屋市

早期離床・リハビリテーション加算導入後のせん妄発症率の変化について

佐藤史子¹, 錦戸幸¹, 西川大樹²

1:看護部 2:リハビリテーション科

日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会 2023年6月 金沢市

緩和ケア病棟自施設評価共有プログラムを用いたケアの質向上の取り組み

伊藤智子¹, 武藤直美¹, 尾関美代子¹, 河合奈津子², 湯浅典博²

1:看護部 2:緩和ケア科部

第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月 神戸市

体動困難時に褥瘡が発生し、発見され当院に救急搬送された患者の傾向

菱田雅之¹, 伊藤真粧美²

1:形成外科 2:看護部

第18回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 2023年6月 岐阜市

緩和ケア病棟を併設する高度急性期病院におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の現状と課題

平野美枝子¹, 武藤直美¹, 高間紀子¹, 橋本千智¹, 松井咲樹¹, 高見澤潤一², 河合奈津子³, 湯浅典博³

1:看護部 2:検査部 3:緩和ケア科

第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月 神戸市

気道閉塞に対し径の小さい気管挿管チューブ挿管となったが覚醒主体で人工呼吸管理を行えた1例

都築通孝¹, 福岡翔², 森玲央那³, 川浪匡史¹, 中井悠二⁴, 落合友彌⁴, 佐藤史子⁵, 西川大樹⁶, 開正宏⁴, 後藤辰徳²

1:救急部 2:血液内科 3:麻酔科 4:臨床工学技術課 5:看護部 6:リハビリテーション科

日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会 2023年6月 金沢市

化学療法専門病棟におけるクリティカルパス作成への取り組み

牛山喜久恵, 八木美樹, 竹内麻里加, 大路小千代

第24回日本赤十字看護学会学術集会 2023年7月 仙台市

慢性閉塞性肺疾患を抱える高齢患者の在宅療養を継続するための外来看護師のきづきによる支援

福山直美, 河邊紅美¹, 森田恵実子², 宇城令¹, 賀沢弥貴¹

1:愛知県立大学大学院看護学研究科 2:公益社団法人愛知県看護協会

第27回日本看護管理学会学術集会 2023年8月 東京都千代田区

健診後偶発症に対する他部門との連携, 受診フローチャート作成に至るまでの経緯

加納典子, 荒木綾子

第28回赤十字健康管理事業研究会 2023年8月 前橋市

言語聴覚士と協働し安全な食事介助の統一化を目指して取り組みと見直し

高橋操¹, 坂口真那美¹, 犬飼桂子², 浅見真未²

1:看護部 2:歯科口腔外科

第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 2023年9月 横浜市

カフ付きカニューレを使用した気管切開患者の嚥下評価について

犬飼見見¹, 坂口真那美², 高橋操², 犬飼桂子³, 浅見真未³, 村瀬完太¹

1:リハビリテーション科部 2:看護部 3:歯科

第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 2023年9月 横浜市

当院救命救急ICUにおける早期栄養介入管理によるタスクシフト/シェアの効果

林衛^{1,4}, 高橋静果², 柴田佳代², 錦戸幸², 伴野広幸¹, 都築通孝³, 塚原丘美⁴

1:栄養課 2:看護部 3:集中治療部・救急部 4:名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

第70回 日本栄養改善学会学術総会 2023年9月 名古屋市

夫の在宅時間が褥瘡のリスクを高め、及び産後うつに与える影響

民田早絵, 木全美智代, 鈴木明日香, 小谷愛未, 志賀由布子, 高木実乃璃, 津坂歩未

第64回日本母性衛生学会総会・学術集会 2023年10月 大阪市

高齢の終末期がん患者におけるポリファーマシーへ慎重な投与を要する薬剤の調査～

野村祐司¹, 櫛原秀之¹, 岩永周子¹, 平野美枝子², 中野祐住³, 河合奈津子⁴, 湯浅典博⁴, 成瀬徳彦¹

1:薬剤部 2:看護部 3:化学療法内科 4:緩和ケア科

第33回日本医療薬学会年会 2023年11月 仙台市

組織の心理的安全性に関する評価

近森清美

第59回日本赤十字社医学会総会 2023年11月 京都市

産科病棟における防災意識向上に向けたスタッフ教育の取り組み

西本実仁, 岩田千聖, 藤澤菜月, 山田朱香音, 鈴木明日香, 落合佳奈, 木全美智代

第59回日本赤十字社医学会総会 2023年11月 京都市

TeamSTEPS導入による組織の心理的安全性向上に関する評価

近森清美¹, 水野公雄²

1:看護部 2:産婦人科

第18回医療の質・安全学会学術集会 2023年11月 神戸市

手術中多量出血死亡回避システム稼働後の検証

水野公雄¹, 永井英雅², 角田伸行³, 近森清美⁴, 横田修一⁵, 関谷知恵子⁴

1:産婦人科 2:一般消化器外科 3:乳腺外科 4:看護部 5:麻酔科

第18回医療の質・安全学会 2023年11月 神戸市

重大事例発生時の潜在リスクを推量するためのインシデント・アクシデントレポートの活用

角田伸行¹,水野公雄²,永井英雅³,**近森清美⁴**,**作間千夏⁴**,開正宏⁵,向山直樹⁶,佐藤亮輔⁷,山岡直登⁷,豊島幹一郎⁷

1:乳腺外科 2:産婦人科 3:一般消化器外科 4:看護部 5:臨床工学科 6:薬剤部 7:事務部医療安全管理課

第18回医療の質・安全学会 2023年11月 神戸市

主任看護師昇進の時期に思いが変化していく様相

大島和美¹,森田恵美子²,宇城令³

1:看護部 2:公益社団法人愛知県看護協会 3:愛知県立大学大学院看護学研究科

第43回日本看護科学学会学術集会 2023年12月 下関市

がん遺伝子パネル検査により Lynch 症候群と判明した子宮内膜神経内分泌がんの一例

古俣知里¹,鈴木美帆²,手塚敦子²,坂堂美央子²,伊藤由美子²,安藤智子²

1:看護部 2:産婦人科

第9回日本産婦人科遺伝診療学会学術講演会 2023年12月 名古屋市

高齢の心臓血管外科患者に対するパンフレットを用いたICU術前訪室の成果と課題

柴田佳代,高田恵理,川副香織,山田悠人

第39愛知県看護学会 2023年12月 名古屋市

胎児18trisomyを疑うも1番染色体部分欠失が判明し、夫婦意思決定に難渋した1例

伊藤由美子¹,手塚敦子¹,坂堂美央子¹,津田弘之¹,**古俣千里²**,安藤智子¹

1:産婦人科 2:看護部

第9回日本産科婦人科遺伝診療学会 2023年12月 名古屋市

水害を想定した患者選定訓練から得たもの

金子洋¹,浦野紘明²,**大鐘隆宏³**,松永優作²,花木芳洋¹

1:救急部 2:管理局事務部 3:看護部

第29回日本災害医学会総会学術集会 2024年2月 京都市

造血細胞移植を受ける思春期男子への妊孕性温存に関する支援

佐伯暢隆¹,秋田直洋²,齋藤愛³,丹羽早智子⁴,安藤智子³,吉田奈央²,小田裕美¹

1:看護部 2:小児科 3:産婦人科 4:精神科

第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024年3月 東京都千代田区

同種造血細胞移植における中心静脈カテーテル挿入部位および被覆保護剤の違いによる 血流感染発症の比較検討

寺西真希¹,後藤辰徳²,林博子¹,菅内美都¹,西田徹也³,小林春美¹

1:看護部 2:輸血部 3:血液内科

第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024年3月 東京

褥瘡勉強会にe-ラーニングを導入しての変化

菱田雅之¹,**伊藤真粧美²**

1:形成外科 2:看護部

第19回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 2024年3月 福井市

Ⅱ．業 績

4．学術講演等記録

令和5年1月～令和6年3月

4. 学術講演等記録

日 付	種 類・テ ー マ	講 師	主 催
1/10 ～2/8	2022年度版 医療ガスに関する安全管理のための職員研修	医療ガス安全管理委員会	医療ガス安全管理委員会
1/23	令和4年度 リーダーシップ研修実践報告会	杉山女学園大学 看護学部長 杉浦美佐子	看護部
1/16	令和4年度 院内輸血勉強会「輸血の実施について・血漿分画製剤の基礎から臨床まで」	日本輸血・細胞治療学会認定 臨床輸血看護師 日本血液製剤機構 三橋和紀	輸血管理及び輸血療法委員会
1/16	令和4年度 第6回NST勉強会「医療現場における乳酸菌の応用」		栄養サポートチーム
2/3	令和4年度 コンフリクト・マネジメント研修「トラブル発生現場での対応と心得」	大阪大学医学部附属病院 医事課・課長補佐（医事企画）榎原章人	患者相談窓口
2/10	令和5年度 OJTリーダー養成研修会		看護部
2/10	臨床研究・治験支援センター 倫理講演会	いなば法律事務所 弁護士 稲葉一人	倫理審査委員会、臨床研究審査委員会
2/13	令和4年度 第7回NST勉強会「経腸栄養法について」		栄養サポートチーム
2/24	令和4年度 医療安全講演会「トラブルを未然に防ぐカルテの書き方」	弁護士法人御堂筋法律事務所 弁護士 山崎祥光	医療安全推進室
2/26	第93回 ICLSなかむら	都築部長、看護師、コメディカル他	救命救急業務係
3/13	令和4年度 第8回NST勉強会「低亜鉛血症について」		栄養サポートチーム
4/3 ～4/4	新入職員オリエンテーション		教育研修推進室
4/3	臨床医・専攻医オリエンテーション		教育研修推進室
4/5 ～4/11	新人看護師採用時研修Ⅰ		看護部
4/5 ～4/11	研修医オリエンテーション		教育研修推進室
4/22	第94回 ICLSなかむら	副院長 花木芳洋、救急部長 都築通孝、看護師、コメディカル他	医事業務管理課 救命救急業務係
4/23	第95回 ICLSなかむら	救急部長 都築通孝、看護師、コメディカル他	医事業務管理課 救命救急業務係
5/8 ～5/9	新入看護職員採用時研修Ⅱ		看護部
5/8	令和5年度 第1回NST勉強会「院内感染と栄養管理」		栄養サポートチーム
5/23	令和5年度 第1回褥瘡勉強会「スキンケアの役割／褥瘡診療予防計画書の記入法」	WOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）	褥瘡対策チーム
5/31	医療廃棄物研修会		医療廃棄物管理委員会
6/19	第1回RST勉強会「酸素療法の基本とデバイス」		呼吸器・モニター管理チーム
7/1 ～8/15	令和5年度 第2回褥瘡勉強会「①褥瘡と間違えやすい皮膚疾患・下腿潰瘍／②褥瘡における薬剤選択／③スキンケア・MDRPUの予防法」	皮膚科医師／薬剤師／WOC	褥瘡対策チーム
7/3～ 7/31	令和5年度第1回 医療安全研修会	整形外科部長 井上英則 薬剤管理係長 山田達也	医療安全推進室

日 付	種 類 ・ テー マ	講 師	主 催
7/3～ 7/31	令和５年度第１回 感染対策研修会	教育研修推進室副室長 向山直樹	感染対策委員会
7/10	令和５年度 第２回NST勉強会「静脈栄養法」		栄養サポートチーム
7/13	第２回RST勉強会「人工呼吸器の基本」		呼吸器・モニター管理チーム
7/28	令和５年度 緩和ケアチームACP勉強会「もしバナゲームをしてみませんか？」	緩和ケアチーム	緩和ケア運営委員会、緩和ケアチーム
8/4	倫理講演会	藤田医科大学医学部生命倫理学教授 飯島祥彦	倫理審査委員会
8/7	第３回RST勉強会「人工呼吸器の構造（NKV-550）」 「人工呼吸器グラフィックモニタ」		呼吸器・モニター管理チーム
8/16	令和５年度 安全衛生教育講演会	外部講師	安全衛生委員会 メンタルヘルス相談室
8/16 ～9/30	令和５年度 第３回褥瘡勉強会「①褥瘡と栄養について／②D３以上の深い褥瘡 スキンテア・MDRPUの治療方法」	管理栄養士／形成外科医師	褥瘡対策チーム
8/17	第１回排尿ケア研修会	排尿ケアチーム	排尿ケアチーム
8/28	令和５年度 緩和ケアチームACP勉強会「もしバナゲームをしてみませんか？」	緩和ケアチーム	緩和ケア運営委員会、緩和ケアチーム
8/30	令和５年度第１回保険診療講演会	内分泌内科部長 尾崎信暁	保険診療委員会
9/4	第４回RST勉強会「人工呼吸器のトラブルシューティング」「呼吸音の聴取について」		呼吸器・モニター管理チーム
9/11	令和５年度 第３回NST勉強会「経腸栄養について」		栄養サポートチーム
9/14	令和５年度 第１回認知症の基礎講座「認知症の～新規治療薬」	第一脳神経内科部長 後藤洋二	認知症ケアチーム
9/22	令和５年度 緩和ケアチームACP勉強会「もしバナゲームをしてみませんか？」	緩和ケアチーム	緩和ケア運営委員会、緩和ケアチーム
10/1 ～11/15	令和５年度 第４回褥瘡勉強会「①褥瘡評価 DESIGN-R®2020について／②創傷被覆剤選択について」	WOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）	褥瘡対策チーム
10/14	令和５年度緩和ケア研修会	間瀬隆弘、杉本由佳、鶴岡昌毅、河合奈津子、太田龍朗、舟橋龍秀、安田香、志村みゆき	緩和ケア科、総務課
10/17	第５回RST勉強会「人工呼吸器装着中の看護」「VAP予防と口腔ケア」		呼吸器・モニター管理チーム
10/19	令和５年度 第２回認知症の基礎講座「睡眠マネジメントで不穏対策しよう」	総合診療科副部長 宮川慶	認知症ケアチーム
10/19	令和５年度 緩和ケアチームACP勉強会「もしバナゲームをしてみませんか？」	緩和ケアチーム	緩和ケア運営委員会、緩和ケアチーム
10/25	緩和ケア地域学術講演会「地域とつなぐACP」	春日井市民病院緩和ケアセンター部長 兼がん相談支援センター部長 會津恵司	緩和ケア運営委員会
11/1	令和５年度 緩和ケアチームACP勉強会「もしバナゲームをしてみませんか？」	緩和ケアチーム	緩和ケア運営委員会、緩和ケアチーム
11/6 ～12/1	令和５年度第２回 医療安全研修会	総務係長 奥村仁哉 臨床工学技術第二課長 山鹿彰	医療安全推進室
11/6 ～12/1	令和５年度第２回 感染対策研修会	感染制御部長 伊藤亮太	感染対策委員会
11/13	令和５年度 第４回NST勉強会「当院の経腸栄養ラインナップについて」		栄養サポートチーム

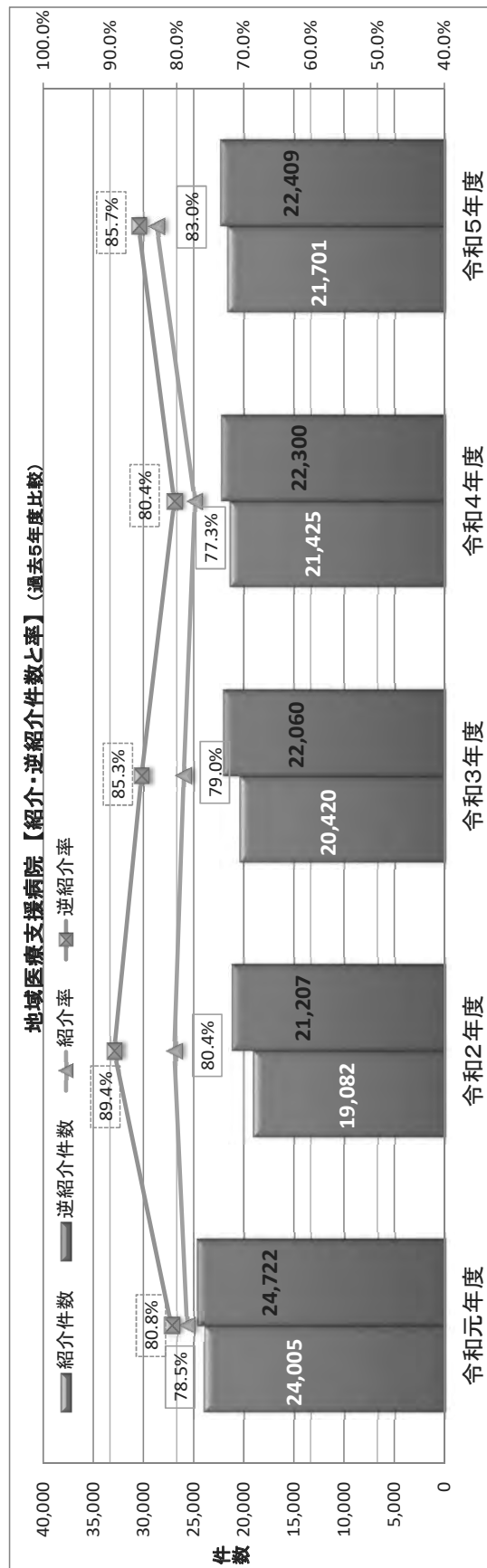
日 付	種 類 ・ テ ー マ	講 師	主 催
11/16	令和５年度 第３回認知症の基礎講座「認知症症状への具体的な介入方法」	認知症看護認定看護師 杉浦朋子、元田愛美	認知症ケアチーム
11/16 ～12/31	令和５年度 第５回褥瘡勉強会「①体圧分散とポジショニング／②褥瘡患者の離床について／③在宅に向けての社会資源」	WOC／PT／MSW	褥瘡対策チーム
11/27	第６回RST勉強会「呼吸リハビリ」「演習」		呼吸器・モニター管理チーム
12/1 ～12/31	令和５年度第２回保険診療講演会	保険診療コーディネーター 堀雅彦	保険診療委員会
12/5	第７回RST勉強会「NPPVとV60」「演習（マスクフィッティング・操作方法など）」		呼吸器・モニター管理チーム
12/22	令和５年度 医療安全管理講演会	島根大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授 深見達弥	医療安全推進室
1/11	第２回排尿ケア研修会	泌尿器科副部長 平林裕樹師 理学療法士 奥田哲也、認定看護師 井内豊子	排尿ケアチーム
1/15	令和５年度 第５回NST勉強会「たんぱく質付加・胃排出遅延について」		栄養サポートチーム
1/22	令和５年度 院内輸血勉強会		輸血・細胞療法委員会
2/6	令和５年度 医療コンフリクト・マネジメント研修会		患者相談窓口
2/20	令和５年度 第２回 医療安全管理講演会 医療サービス職のためのトラブルを回避する伝え方	オフィス アランチャ株式会社 代表取締役 山本淳子	医療安全推進室、患者相談窓口
3/2	本人の意向を尊重した意思決定のための研修会	緩和ケア科副部長 河合奈津子	緩和ケア運営委員会
3/15	養育支援・虐待対策委員会「脳神経外科からみた小児虐待」	第一脳神経外科部長 波多野寿	養育支援チーム (養育支援・虐待対策委員会)

※ 部署名・役職等は開催当時のもの

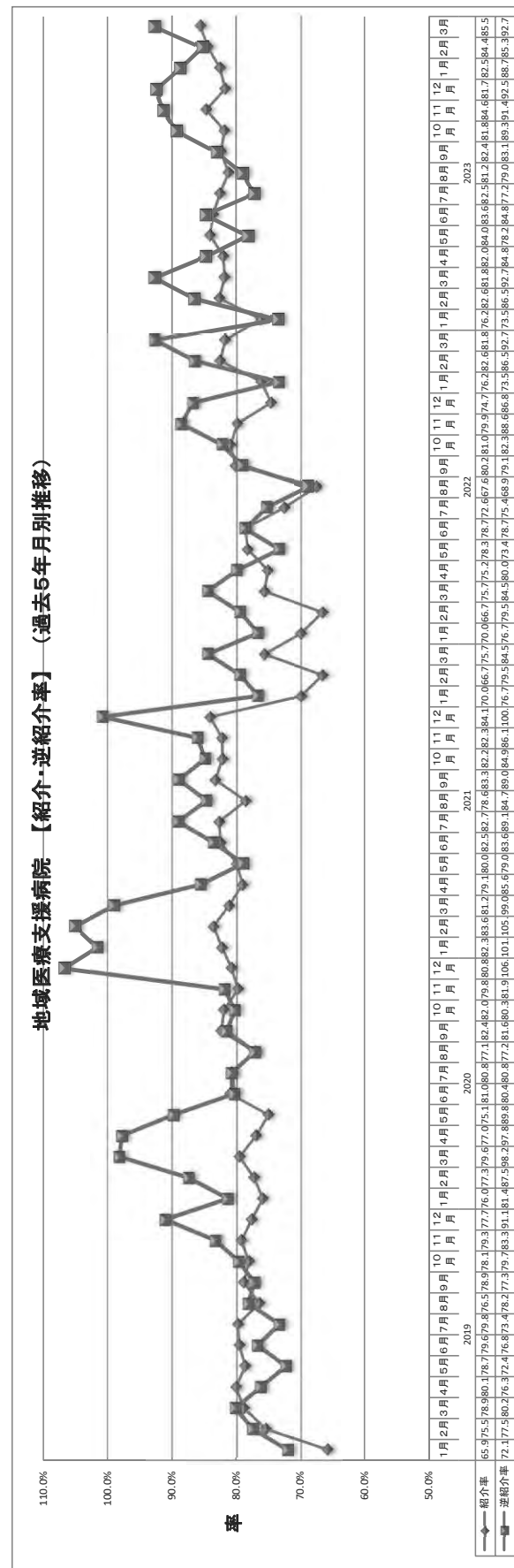
Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

1. 地域医療連携室

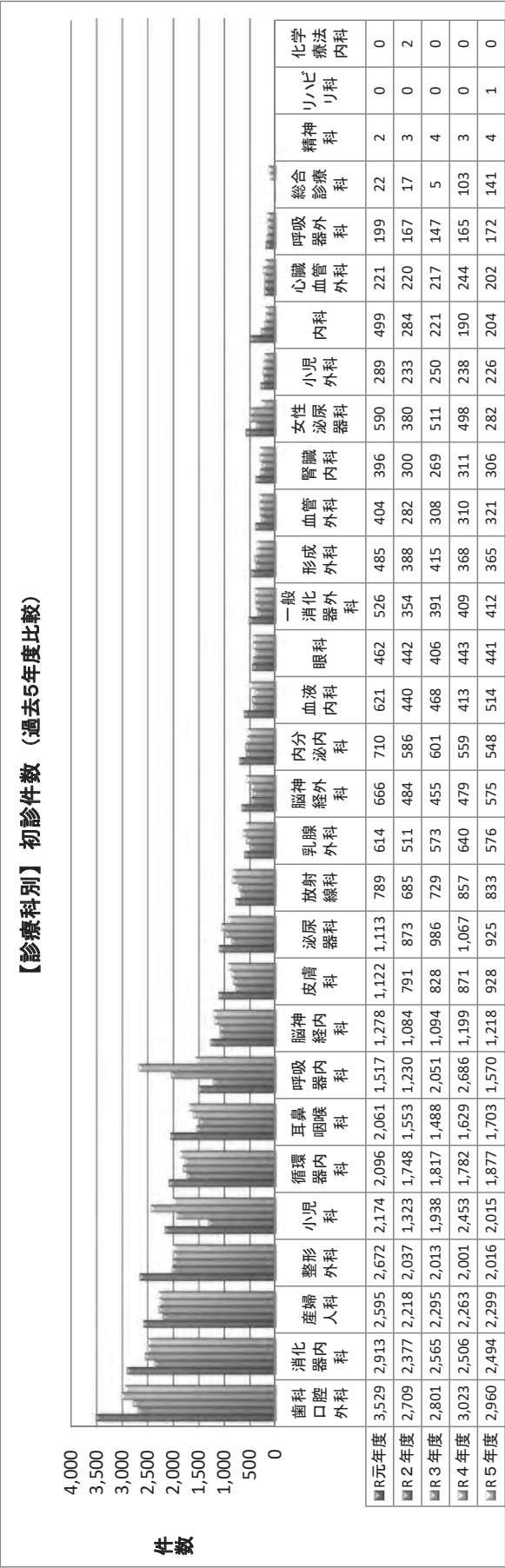
(1) 地域医療支援病院【紹介・逆紹介件数と率（年度別推移）】



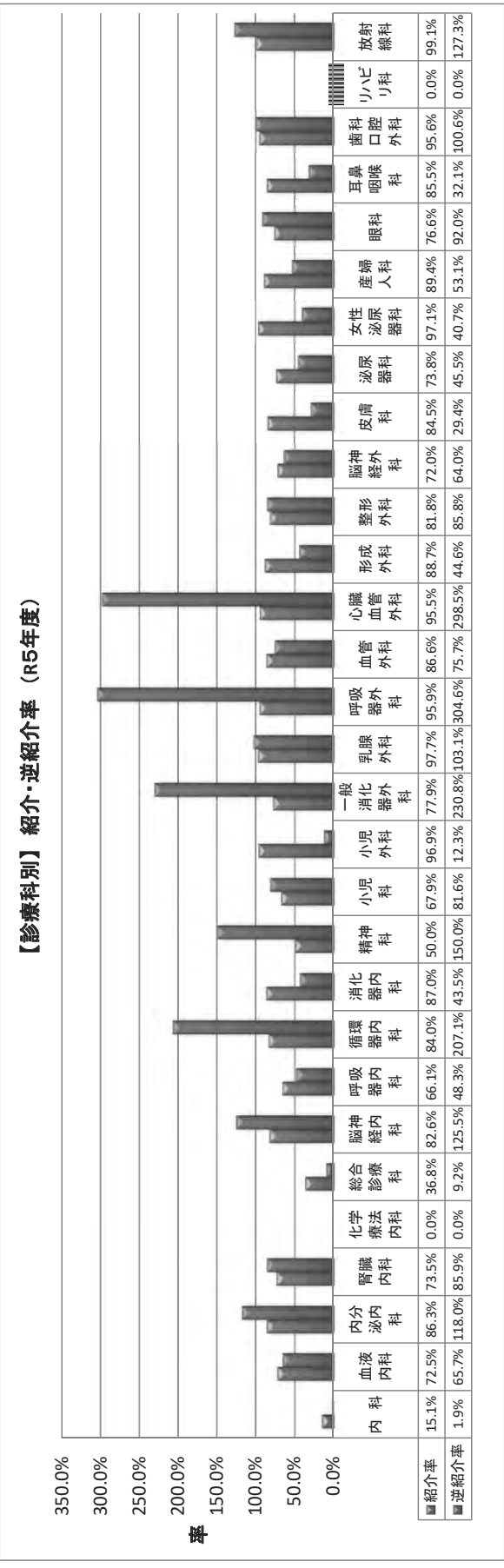
(2) 地域医療支援病院【紹介率・逆紹介率（年度月別推移）】



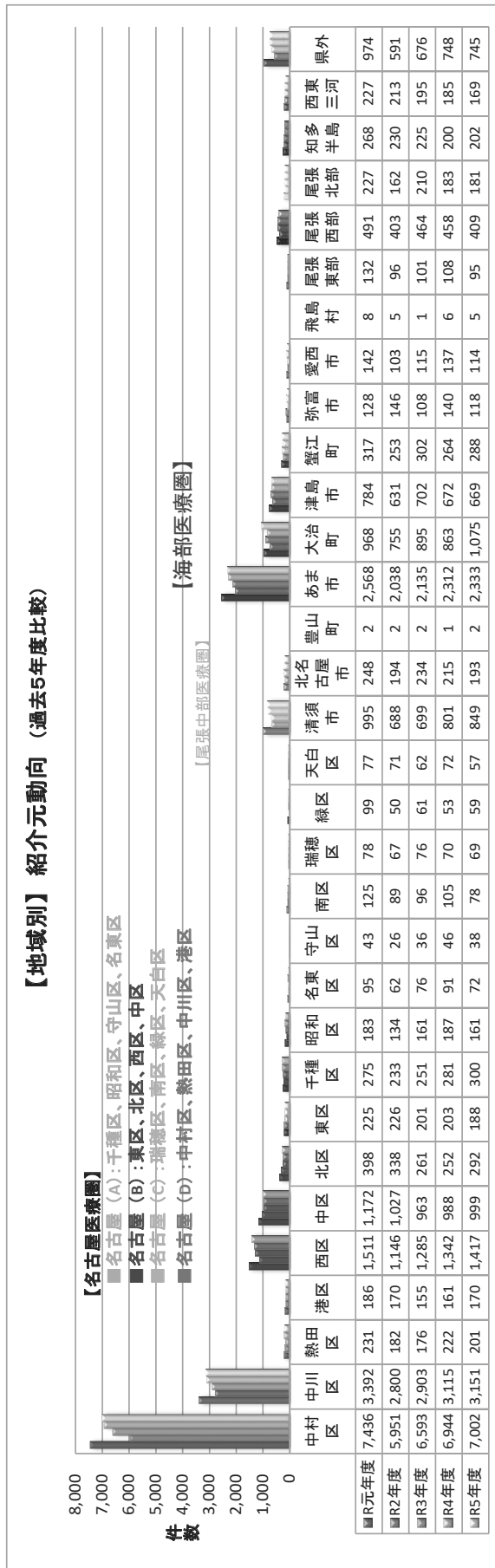
(5) 【診療科別】初診件数（過去5年度比較）



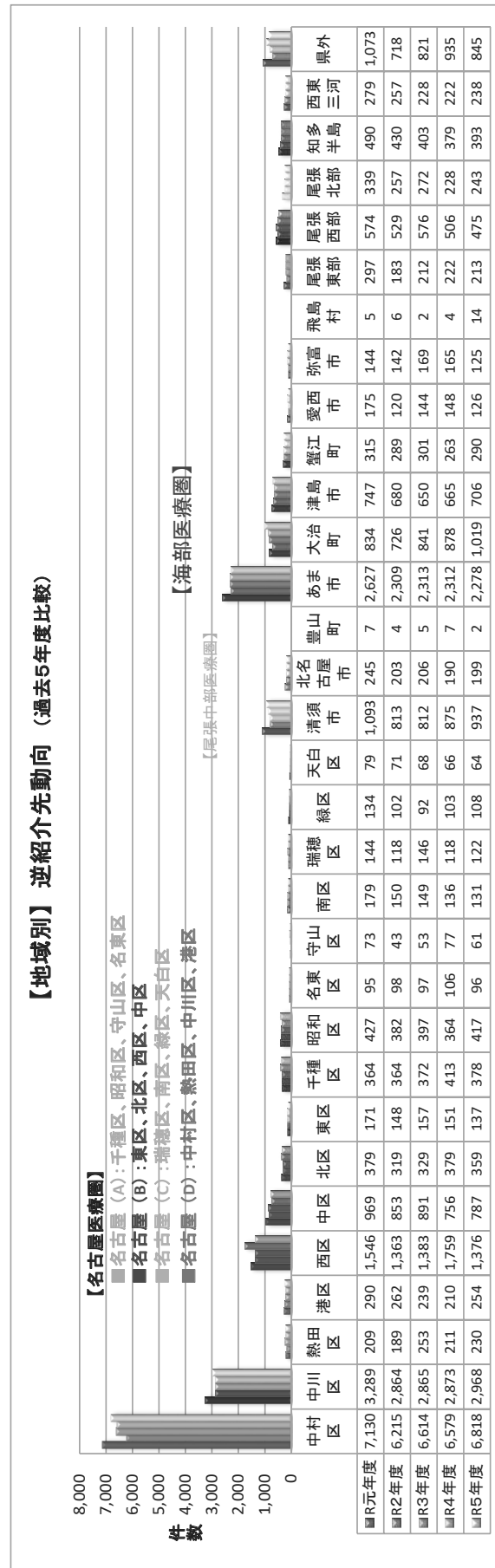
(6) 【診療科別】紹介・逆紹介率（R5年度）



(7) 【地域、医療圏別】2次医療圏別紹介元動向（過去5年度比較）



(8) 【地域、医療圏別】2次医療圏別逆紹介先動向（過去5年度比較）



(9) 令和5年度医療機器等の共同利用の実績

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関延べ数(令和5年4月～令和6年3月)

特殊検査実績 1

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	5	4	11	2	2	6	5	5	10	5	5	2	62
脳波	1	1	4			1			1	1			9
MR(頭頸部)	31	27	20	19	26	24	24	21	39	25	31	28	315
MR(躯幹)	17	9	15	9	16	8	14	10	11	9	13	12	143
MR(四肢)	6	5	6	5	2	6	4	4	10	4	10	3	65
CT(頭頸部)	5	4	4	4	3	1	1	5	5	2	6	6	46
CT(躯幹)	34	39	26	35	34	33	47	36	37	31	29	35	416
CT(四肢)		1			3								4
64列マルチスライスCT	1	5	7	5	1	4	7	7	7	1	3		48
PET-CT	4	5	3	6	5	3	4	2		4	3	5	44
シンチグラム			1			3		1					5
放射線治療	2	2	2	7	2	1	2		1	1		2	22
合 計	106	102	99	92	94	90	108	91	121	83	100	93	1,179

開設者と直接関係のない医療機関延べ数(令和5年4月～令和6年3月)

特殊検査実績 2

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	5	4	11	2	2	6	5	5	10	5	5	2	62
脳波	1	1	4			1			1	1			9
MR(頭頸部)	31	27	20	19	26	24	24	21	39	25	31	28	315
MR(躯幹)	17	9	15	9	16	8	14	10	11	9	13	12	143
MR(四肢)	6	5	6	5	2	6	4	4	10	4	10	3	65
CT(頭頸部)	5	4	4	4	3	1	1	5	5	2	6	6	46
CT(躯幹)	34	39	26	35	34	33	47	36	37	31	29	35	416
CT(四肢)		1			3								4
64列マルチスライスCT	1	5	7	5	1	4	7	7	7	1	3		48
PET-CT	4	5	3	6	5	3	4	2		4	3	5	44
シンチグラム			1			3		1					5
放射線治療	2	2	2	7	2	1	2		1	1		2	22
合 計	106	102	99	92	94	90	108	91	121	83	100	93	1,179

2 共同利用実績(開放型病床)

共同利用による病床利用率(令和5年4月～令和6年3月)

区 分	開放病床		利用した医師数	共同指導回数	利用率
	新入院患者数	入院患者延入数			
4月	0	0	0	0	0.0%
5月	0	0	0	0	0.0%
6月	1	12	1	0	8.0%
7月	0	0	0	0	0.0%
8月	0	0	0	0	0.0%
9月	0	0	0	0	0.0%
10月	0	0	0	0	0.0%
11月	0	0	0	0	0.0%
12月	0	0	0	0	0.0%
1月	0	0	0	0	0.0%
2月	0	0	0	0	0.0%
3月	0	0	0	0	0.0%
年間合計・年間病床利用率	1	12	1	0	0.7%
月平均	0.1	1.0	0.1	0.0	

(10) 病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

回 数	開 催 日 : 会 場	開 催 内 容	講 師 等
第24回 なかむら学術 セミナー	令和5年8月5日(土) 午後4時30分～午後6時 名古屋観光ホテル2階	糖尿病と乳癌について～地域全体で患者さんを診ていくために～ 講演Ⅰ「地域に合わせた糖尿病薬剤の使用について」 講演Ⅱ「回復期病院における糖尿病診療について」 講演Ⅲ「乳がん地域連携パスについて～がん診療拠点病院の立場として～」 講演Ⅳ「乳がん地域連携パスについて～かかりつけ医の立場として～」	座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 副院長 花木芳洋 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 内分泌内科副部長 清田篤志 愛知県済生会リハビリテーション病院 院長 田内宣生先生 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 乳腺外科第一部長 後藤康友 太田なごやかクリニック 院長 太田英正先生

②歯科病診連携システム学術セミナー

回 数	開 催 日 : 会 場	開 催 内 容	講 師 等
第 20 回	日時:令和6年2月8日(木) 午後6時00分～午後7時00分 日赤名古屋第一病院 内ヶ島講堂	「骨粗鬆薬と抜歯・医科歯科連携」 講演Ⅰ「整形外科の立場から」 講演Ⅱ「腎臓内科の立場から」 講演Ⅲ「口腔外科の立場から」	座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 歯科口腔外科部長 佐藤春樹 演者:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 関節外科リウマチ科副部長 祖父江康司 演者:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 腎臓内科部長 安田香 演者:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 歯科口腔外科副部長 長縄憲亮

③日本赤十字愛知医療センター 病診連携セミナー

回 数	開 催 日 : 会 場	開 催 内 容	座長・講師・演者等
第5回やごと・なかむら病診連携セミナー	令和5年7月5日(木) 午後6時～午後7時30分 日赤名古屋第二病院 WEB開催	Ⅰ. 一般演題 「地域に根ざした外来化学療法センターを目指して ～センターの立ち上げと薬剤師の活動を中心に～」 「当院におけるがん地域連携パスの現状」 Ⅱ. 特別演題 「外来機能分化とかかりつけ医機能の明確化～次回決定までに何を準備すべきか～」	座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 副院長 花木芳洋先生 演者:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部長 木全司先生 座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 消化器外科部長 坂本英至先生 演者:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 副院長 山室理先生 演者:株式会社メディチュア 代表取締役 渡辺優先生
第6回なかむら・やごと病診連携セミナー	令和5年12月13日(水) 午後6時～午後7時30分 日赤名古屋第一病院 ハイブリッド開催	Ⅰ. 一般演題 「当院における胆膵領域の内視鏡検査・治療について」 「当院における消化管領域の内視鏡検査・治療について」 Ⅱ. 特別演題 「良質な大腸内視鏡検査をクリニックで提供していくために」	座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 副院長 渡井至彦先生 演者:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 第一消化器内科副部長 鷺見肇 座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 第二消化器内科副部長 藤吉俊尚 座長:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 副院長 山口丈夫先生 演者:亀戸内視鏡・胃腸外科クリニック 院長 丸岡大介先生

(11) 令和5年度地域医療研修プログラム実績

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年4月17日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 耳鼻咽喉科:柘植勇人はじめ2名
2023年5月15日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 一般消化器外科:柴田耕治はじめ3名
2023年6月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 循環器内科:安田健一郎
2023年7月24日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:竹山佳宏、呼吸器外科:坪内秀樹
2023年9月25日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 内分泌内科:林祐里
2023年10月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 脳神経外科:間宮崇
2023年11月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 消化器内科:吉岡直輝
2023年12月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 形成外科:菱田雅之
2024年1月15日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 腎臓内科:安田香
2024年2月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 乳腺外科:角田伸行はじめ2名
2024年3月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・日赤名古屋第一病院合同カンファランス 参加対象:医師	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 血液内科:後藤匠徳
2023年6月15日	木	14:30 ～ 15:30	令和5年度第1回地域医療連携における感染対策についてのカンファランス 参加対象:医師(中村区開業医ほか)	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 感染制御部:伊藤亮太ほか
2023年9月28日	木	14:30 ～ 15:00	令和5年度第2回地域医療連携における感染対策についてのカンファランス 参加対象:医師(中村区開業医ほか)	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 感染制御部:伊藤亮太ほか
2023年12月14日	木	14:30 ～ 15:30	令和5年度第3回地域医療連携における感染対策についてのカンファランス 参加対象:医師(中村区開業医ほか)	研修会・症例検討会 演者:日赤名古屋第一病院 感染制御部 伊藤亮太ほか

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2024年2月29日	木	14:30 ～ 15:30	令和5年度第4回地域医療連携における感染対策についてのカンファレンス 参加対象:医師(中村区開業医ほか)	演者:日赤名古屋第一病院 感染制御部:伊藤亮太ほか
2023年4月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年5月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年6月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年7月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年8月23日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:竹山佳宏
2023年9月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:竹山佳宏
2023年10月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年11月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年12月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2024年1月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2024年2月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2024年3月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、肺癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:横山俊彦
2023年5月26日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 消化器内科:春田純一
2023年7月28日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 消化器内科:春田純一

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年9月22日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 消化器内科:春田純一
2023年11月24日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 消化器内科:春田純一
2024年1月26日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 消化器内科:春田純一
2024年3月22日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・日赤名古屋第一病院、胃癌二重読影研修会 参加対象:医師	講師:日赤名古屋第一病院 消化器内科:春田純一
2023年10月25日	水	17:45 ～ 19:00	地域医療連携学術講演会(緩和ケア) 参加対象:医療従事者	アドバンス・ケア・プランニングと緩和医療 演者:春日井市民病院 外科部長 緩和ケアセンター主任部長 會津恵司先生
2023年11月29日	水	18:15 ～ 19:25	日赤名古屋第一病院 産婦人科 地域連携の会 参加対象:医療従事者	講師:日赤名古屋第一病院 新生児科:近藤真生ほか
2023年8月10日	木	19:00 ～ 20:50	中村区赤地域医療連携セミナー 参加対象者:薬剤師	妊娠期における薬物療法 演者:日赤名古屋第一病院 薬剤師:佐藤美月
2023年8月10日	水	19:30 ～ 21:00	名古屋西地区がん化学療法薬連携セミナー 参加対象者:薬剤師	血液がん治療レジメンについて 演者:日赤名古屋第一病院 薬剤師:大隅萌加ほか
2023年4月12日	水	14:00 ～ 16:00	名古屋北地区医師会学術講演会 参加対象者:医療従事者 MSD株式会社 名古屋第一営業所	北区学術講演会 演者:日赤名古屋第一病院 総合診療科:宮川慶
2023年4月22日	土	14:30 ～ 16:00	中村区薬剤師会講演会 参加対象者:中村区薬剤師会会員 エーザイ株式会社 地域連携東海本部	高齢者睡眠マネジメントの重要性と対処法～睡眠とせん妄の関わり～ 演者:日赤名古屋第一病院 総合診療科:宮川慶

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年4月28日	金	19:00 ～ 20:40	Hepatocellular carcinoma seminar Aichi 参加対象者：医療従事者 中外製薬株式会社 東海・東北統括支店	肝細胞癌に対する治療戦略について 演者：日赤名古屋第一病院 消化器内科：吉岡直輝
2023年5月20日	土	14:10 ～ 16:00	第58回愛知県糖尿病薬物療法研究会 参加対象者：医療従事者 テルモ株式会社 名古屋支店	当院における糖尿病療養指導士および日本くすりと糖尿病学会認定薬剤師の活動報告 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：石川惣一
2023年5月25日	木	19:30 ～ 20:30	リウマチとフレイルを考える会～尾張西部RA連携会～ 参加対象者：中川区、中川区、海部エリアの病院、開業医 中外製薬株式会社 東海・東北統括支店	日赤名古屋第一病院と近隣の開業医に対して関節リウマチの最新情報提供 演者：日赤名古屋第一病院 リハビリテーション科：服部亜衣
2023年5月28日	日	12:30 ～ 16:10	愛知県女性薬剤師会学術講演会 参加対象者：愛知県女性薬剤師会会員 エーザイ株式会社 地域連携東海本部	高齢者睡眠マネジメントの重要性と対処法～睡眠とせん妄の関わり～ 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川慶
2023年5月31日	水	19:30 ～ 20:50	小児低リン血症性くる病WEBセミナー 参加対象者：医療従事者 協和キリン株式会社 名古屋第4営業所	最新の医学的知見を現場の医療関係者に広く普及 演者：日赤名古屋第一病院 小児科：西門優一
2023年5月25日	木	19:30 ～ 20:30	リウマチとフレイルを考える会～尾張西部RA連携会～ 参加対象者：中川区、中川区、海部エリアの病院、開業医 中外製薬株式会社 東海・東北統括支店	日赤名古屋第一病院と近隣の開業医に対して関節リウマチの最新情報提供 演者：日赤名古屋第一病院 整形外科：祖父江康司
2023年5月31日	水	19:00 ～ 20:20	Meet the Expert -DLBCL- 参加対象者：愛知県および名古屋大学関連の血液内科、医療関係者 中外製薬株式会社 東海・東北統括支店	初発DLBCLの治療について、講演とディスカッションを実施する 演者：日赤名古屋第一病院 血液内科：森下喬允
2023年6月9日	金	17:30 ～ 19:00	病棟セミナー 参加対象者：医療従事者 MSD株式会社 PF東海営業部	～不眠症 感染症対策～ 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川慶
2023年6月10日	土	15:00 ～ 16:00	昭和区医師会学術講演会 参加対象者：医療従事者 MSD株式会社 PF東海営業部	昭和区学術講演会 演者：日赤名古屋第一病院 産婦人科：水野公雄

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年6月17日	土	17:00 ～ 18:00	RA switch lecture～よりよいリウマチ診療を目指して～ 参加対象者：医師 田辺三菱製薬株式会社 東海北陸支店	関節リウマチの薬物療法とロコモ・フレイルとの関連性 演者：日赤名古屋第一病院 関節外科リウマチ科：祖父江康司
2023年6月21日	水	20:00 ～ 21:00	中村区医師会研修会 参加対象者：整形外科医 帝人ヘルスケア株式会社 東海第一支店	骨粗鬆症診療における治療戦略～アパロパラチド登場による新たな選択肢～ 演者：日赤名古屋第一病院 関節外科リウマチ科：祖父江康司
2023年6月22日	木	19:00 ～ 19:50	Web講演会 参加対象者：医療従事者 興和株式会社 名古屋支店	Kowa Web Conference 高中性脂肪血症を考える 演者：日赤名古屋第一病院 循環器内科：宮田紳治朗
2023年6月22日	木	19:10 ～ 20:30	Web講演会 参加対象者：医療従事者 田辺三菱製薬株式会社	実例から服薬指導を学ぶ会 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：秋田桂太ほか
2023年6月24日	土	14:30 ～ 17:40	講演会 参加対象者：医療従事者 アポットジャパン株式会社	第59回愛知県薬物療法研究会 テーマ：地域包括ケア推進について 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤部：野村浩夫ほか
2023年6月26日	月	19:00 ～ 20:00	血液・感染症領域Up-to-date(6/26) 参加対象者：医療従事者 MSD株式会社 ジャパン・ミーティング・マネジメント&サービス	血液・感染症領域Up-to-date(6/26) 演者：日赤名古屋第一病院 血液内科：西田徹也
2023年6月30日	金	18:30 ～ 19:05	進化する感染症の話題～COVID-19から患者さんを護るために～ 参加対象者：医師及び薬剤師 アストラゼネカ株式会社 ワクチン・免疫療法事業本部	当院におけるチキサゲマブ/シルガビマブ投与の実際 演者：日赤名古屋第一病院 血液・腫瘍内科：後藤辰徳
2023年7月19日	水	19:00 ～ 19:30	関節リウマチWEBシンポジウム ～TNF α 製剤のポジショニングを再考する～ 参加対象者：医療従事者 アステラス製薬(株)	「関節リウマチ治療とロコモティブシンドロームについて」 演者：日赤名古屋第一病院 整形外科：祖父江康司
2023年8月3日	木	19:00 ～ 20:30	第2回経口抗がん剤薬薬連携セミナー 参加対象者：薬剤師 エーザイ株式会社	経口抗がん剤の副作用マネジメントの向上 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤師：柳原秀之

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年8月18日	金	18:30 ～ 19:30	肺がん治療における病薬連携の会 参加対象者：医師及び薬剤師 アストラゼネカ株式会社 肺がん領域第一営業部	非小細胞肺がんの治療と副作用管理 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤師：末松葉月
2023年8月24日	木	19:00 ～ 20:15	前立腺癌薬物治療セミナー in Nagoya 参加対象者：医師 ホテルグランコート名古屋	症例から考えるMOCRPC治療 演者：日赤名古屋第一病院 泌尿器科：平林裕樹
2023年8月24日	木	17:30 ～ 20:15	東海オンコロジーセミナー 参加対象者：医療従事者 名大病院、インサイト・バイオサイエンス・ジャパン	がんゲノム連携病院でのがんゲノム医療の取り組み 演者：日赤名古屋第一病院 薬剤師：榎原秀之
2023年8月31日	木	19:00 ～ 20:00	医療の質・安全を考えた不眠症診療WEBセミナー 参加対象者：医師 エーザイ名古屋コミュニケーションオフィス	不眠症の診断と治療の向上 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川慶
2023年8月31日	木	19:30 ～ 20:00	地域の患者さんに希望のある選択肢を考える会 ～一人ひとりに最適な医療を届けるために～ 参加対象者：医師 田辺製薬株式会社	慢性腎臓病(CKD)診療とシームレスな医療連携について 演者：日赤名古屋第一病院 腎臓内科：安田香
2023年9月5日	火	19:00 ～ 20:25	桜山AMLセミナー 参加対象者：医療従事者 名古屋ルーセントタワー16F アツヴィ合同会社	AMLにおけるベネケレクスタ使用経験からの考察 演者：日赤名古屋第一病院 輸血部：後藤辰徳
2023年9月6日	水	19:00 ～ 20:00	なかむら てんかん診療WEBセミナー 参加対象者：医師 第一三共株式会社	一過性てんかん性健忘についての検討 演者：日赤名古屋第一病院 脳神経外科：太田佑資
2023年9月9日	土	16:00 ～ 17:00	名古屋市西部骨粗鬆症連携セミナー 参加対象者：医療従事者 旭化成ファーマ(株)	骨粗鬆症の診断学の向上と治療学の確立ほか 演者：日赤名古屋第一病院 リウマチ科：祖父江康司
2023年9月13日	水	18:50 ～ 20:00	rtCGM DexcomG6セミナー 参加対象者：医療従事者 テルモ(株)	rtCGMを活用した糖尿病診療 当院における導入・使用経験 演者：日赤名古屋第一病院 内分泌内科：清田篤志

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年9月27日	水	18:30 ～ 20:10	RARP阻害薬時代の卵巣癌治療を考える 参加対象者：医師 武田薬品工業(株)	RARP阻害薬時代の卵巣癌治療 当院での長期使用症例を振り返る 演者：日赤名古屋第一病院 産婦人科：坂堂美代子
2023年9月27日	水	19:00 ～ 20:20	AirisIV 参加対象者：医療従事者 中外製薬(株)	遺伝子変異陽性肺がんに対する治療戦略 演者：日赤名古屋第一病院 呼吸器内科：小玉勇太
2023年9月29日	金	19:00 ～ 20:30	LENVINA HCC Expert Meeting 参加対象者：医療従事者 エーザイ(株)	肝細胞癌の診断と治療の向上 演者：日赤名古屋第一病院 消化器内科：吉岡直輝
2023年10月5日	木	18:50 ～ 20:30	第4回Young Rheumatologist Conference in NAGOYA 参加対象者：医療従事者 旭化成ファーマ(株)	リウマチ疾患の診断学の向上等 演者：日赤名古屋第一病院 リウマチ科：祖父江康司
2023年10月6日	金	19:00 ～ 20:20	UCB Knowledge Seminar 参加対象者：医療従事者 ユージーピージャパン(株)	関節症性乾癬 演者：日赤名古屋第一病院 リウマチ科：祖父江康司
2023年10月6日	金	19:00 ～ 20:00	なかむら脳卒中WEBセミナー 参加対象者：医療従事者 第一三共株式会社	医療連携と脳梗塞超急性期治療 演者：日赤名古屋第一病院 脳神経内科：福野貴仁
2023年10月12日	木	19:00 ～ 20:15	第7回炎症性皮膚疾患勉強会 参加対象者：医療従事者 アッバイ合同会社	当院におけるい炎症性皮膚疾患症例の報告 演者：日赤名古屋第一病院 皮膚科：磯部里香子
2023年10月13日	金	19:00 ～ 20:30	第2回Respiratory Disease Seminar 参加対象者：医療従事者 中外製薬株式会社	肺癌周術期治療の最新の知見 演者：日赤名古屋第一病院 呼吸器内科：山田悠貴
2023年10月14日	土	17:00 ～ 19:00	臨床セミナー 参加対象者：医療従事者 中外製薬株式会社	高齢認知症患者がしつかり寝るための必要な知識と対処法 演者：日赤名古屋第一病院 総合診療科：宮川慶

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2023年10月19日	木	19:30 ～ 21:00	ASと生活習慣病 参加対象者:医療従事者 エドワーズライフサイエンス(株)	ASのマネジメントについて等 演者:日赤名古屋第一病院 心臓血管外科:澤木完成
2023年10月27日	金	19:00 ～ 20:00	Lung Cancer Webinar 参加対象者:医療従事者 武田薬品工業(株)	中村区糖尿病治療関係者の知識向上等 演者:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:竹山佳宏
2023年10月28日	土	14:30 ～ 16:00	第59回中村区糖尿病研究会 参加対象者:医療従事者 住友ファーマ(株)	中村区糖尿病治療関係者の知識向上等 演者:日赤名古屋第一病院 内分泌内科:林祐里
2023年11月17日	金	19:00 ～ 20:30	Lenvatinib胸腺癌Meet The Export in東海 参加対象者:医療従事者 エーサイ・ジャパン	中村区糖尿病治療関係者の知識向上等 演者:日赤名古屋第一病院 呼吸器内科:小玉勇太
2023年12月2日	土	10:40 ～ 15:40	第18回Cardiovascular Surgical Live Meeting 参加対象者:医療従事者 トーアエイヨー(株)	腹腔鏡下Bentall 手術 演者:日赤名古屋第一病院 心臓血管外科:伊藤敏明
2023年12月8日	金	18:30 ～ 20:00	なかむら薬業連携WEBセミナー 参加対象者:薬剤師 第一三共株式会社	当院の院外処方箋における疑義照会の現状について 演者:日赤名古屋第一病院 薬剤部:榎原秀之ほか
2023年12月9日	土	17:00 ～ 19:00	12月度千種区医師会学術講演会 参加対象者:医療従事者 中外製薬株式会社	12月度千種区医師会学術講演会 演者:日赤名古屋第一病院 総合診療科:宮川慶
2023年12月21日	木	19:50 ～ 21:00	第12回西名古屋整形外科医会 参加対象者:医療従事者 第一三共株式会社	脊椎疾患における最新知見の共有 演者:日赤名古屋第一病院 整形外科:井上英則
2023年12月23日	土	14:30 ～ 16:00	中村区薬剤師会講演会 参加対象者:医療従事者 第一三共株式会社	糖尿病合併症に関する最新情報の提供 演者:日赤名古屋第一病院 内分泌内科:清田篤志

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備考
2024年1月15日	月	18:30 ～ 20:00	第3回 経口抗がん剤薬連携セミナー 参加対象者:薬剤師 エーザイ株式会社	レニマ導入患者に対する院内での関わり 演者:日赤名古屋第一病院 薬剤部:秋田桂汰ほか
2024年1月25日	木	18:30 ～ 20:00	第2回 西名古屋耳鼻咽喉科懇話会 参加対象者:医療従事者 大鵬薬品工業株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 耳鼻咽喉科:降旗敏軒
2024年1月25日	木	19:00 ～ 19:40	神経内科領域における慢性便秘治療WEBセミナー 参加対象者:医療従事者 EAファーマ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 消化器内科:藤吉俊尚
2024年2月6日	火	19:00 ～ 20:30	小児てんかん検討会 参加対象者:医療従事者 EAファーマ株式会社	当院におけるペラパネルの使用経験からの考察 演者:日赤名古屋第一病院 小児科:田中雅大
2024年2月14日	水	18:30 ～ 20:10	脳卒中診療連携セミナーin名古屋南部 参加対象者:医療従事者 エーザイ株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 脳神経外科:真宮崇
2024年2月26日	月	18:30 ～ 19:30	TAKEDA Oncology Web 参加対象者:医療従事者 武田薬品工業株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 血液内科:森下喬允
2024年3月6日	水	19:00 ～ 20:00	Lilly Breast Cancer Web Seminar 参加対象者:医療従事者 日本イーライリリー株式会社	演者:日赤名古屋第一病院 薬剤部:末松菜月

2. 医療社会事業課

(1) 令和5年度年間援助件数

1. 取り扱い件数

月実件数	6,316
継続実件数	257
新規実件数	入院 3,916 外来 2,143

2. 新規ケースの紹介経路

区分	件数
医師	2,011
看護職	458
リハビリ職	8
その他院内職員	158
本人	722
家族・親戚縁者	531
院外関係機関	128
近隣者・知人	19
医療チーム	1,975
援助者	49
合計	6,059

3. 社会的背景

区分	件数
独居	941
経済困窮	95
家族疎遠・身寄りなし	151
ハイリスク妊産婦	24
精神疾患	72
認知症	1,048
家庭内暴力・虐待	45
自殺企図	4
無保険	28
身元不明	1
ホームレス	5
外国人	13

4. 援助内容

区分	実件数	延件数
受診・受療	1,674	3,585
経済的問題	406	1,301
制度活用	1,853	3,685
入院療養生活	170	301
退院支援	2,822	22,299
在宅療養・介護	624	1,898
医療者との関係	29	34
家族関係	34	65
日常生活	349	503
就労・就学	115	333
身元保証・権利擁護	116	473
死後対応	144	546
その他	40	55
合計	8,376	35,078

5. 援助方法

方法	実件数
面談	本人 7,634 家族 4,337 友人・知人 68
電話	本人 989 家族 8,453 友人・知人 132
訪問	家庭 9 その他 9
同行・同伴・代行	49
連絡調整・院内	22,820
院外：面会	410
院外：電話	28,837
院外：文書他 メール他	7,637
カンファレンス(院内職種のみ)	117
カンファレンス(院外職種含む)	66
合同カンファレンス(院内職種のみ)	11
合同カンファレンス(院外職種含む)	339

6. チーム医療

チーム名	症例数
退院支援チーム	18,365
認知症ケアチーム	985
倫理コンサルテーションチーム	5
緩和ケア受入検討	292
虐待対策チーム	20
患者サポートチーム	217
その他	113

(2) 令和5年度科別援助件数

		受診・受療	経済的問題	制度活用	入院療養生活	退院支援	在宅療養・介護	医療者との関係	家族関係	日常生活	就労・就学	身元保証・権利擁護	死後の対応	その他	小計	合計	新規退院支援案件数(再掲)
内科	入院	2													2	29	
	通院	14	1	2		1	6	3							27		
血液内科	入院	32	29	194	13	1,331	4	3	2	8	7	3	8	2	1,636	2,301	138
	通院	200	30	165	7	52	118	5	4	29	17	7	26	5	665		
内分泌内科	入院		17	14	9	268	3					1	10		322	389	29
	通院	10	5	12		3	20	1	2	1	1	4	6	2	67		
腎臓内科	入院	1	12	73	8	861	2	1	2				12		972	1,194	114
	通院	12	8	120		28	26				1		27		222		
脳神経内科	入院	25	82	166	34	4,533	38	2		1	1	8	34	4	4,928	5,546	445
	通院	134	24	240		38	131	1		5	21	1	22	1	618		
循環器内科	入院	5	102	151	24	1,216	23			2		2	20		1,545	1,711	143
	通院	27	32	43	2	9	20			2	4	6	21		166		
呼吸器内科	入院	45	95	157	53	2,508	18		6	8	3	13	56	1	2,963	3,984	295
	通院	179	65	258	3	149	247	1	3	19	9	29	59		1,021		
消化器内科	入院	65	110	108	40	1,929	24	2	2	3	1	14	33		2,331	3,270	256
	通院	346	25	196	5	71	214	8	7	15	3	6	38	5	939		
一般消化器外科	入院	233	30	67	16	766	16			54	3	7	11	5	1,208	1,740	102
	通院	235	31	80	1	26	101	1	3	37	5	1	11		532		
心血管外科	入院	4	22	159	10	361	5								561	660	39
	通院	7	18	60	1		4			1	1		6	1	99		
血管外科	入院			9		115									124	151	13
	通院	18		6	2		1								27		
呼吸器外科	入院	5	1	13	2	86		1		4			7	2	121	190	13
	通院	33	3	9		1	7			15				1	69		
小児外科	入院			3		1									4	52	
	通院	1		5	1	1	39			1					48		
整形外科	入院	13	27	48	3	3,908	6	1	1		1		2	2	4,012	4,256	453
	通院	74	20	100	1	25	20	1		2		1			244		
形成外科	入院	2		1		27									30	53	3
	通院	7	1	3		11	1								23		
脳神経外科	入院	14	35	36	18	1,600	4		1	4		26	11		1,749	1,940	157
	通院	43	4	43	4	41	19			2		32	2	1	191		
乳腺外科	入院	505	43	37	4	158	17		2	142	9				917	1,729	28
	通院	483	30	126		9	79	1	1	50	25		2	6	812		
小児科	入院	22	23	172	7	621	26	1	8	2	46	44	1	3	976	2,309	86
	通院	266	33	231	1	53	402		2	47	140	150		8	1,333		
皮膚科	入院	3		17		134	1			2					157	299	16
	通院	21	10	81		4	21	1			3			1	142		
泌尿器科	入院	14	31	59	9	643	10		1	3			13		783	1,065	68
	通院	110	51	53	3	18	39			7	1				282		
女性泌尿器科	入院	2		1		5	1								9	26	1
	通院	12		4			1								17		
産婦人科	入院	30	67	53	2	183	41		7	2	9	27	5		426	907	39
	通院	198	77	68	1	7	22		3	20	11	70	1	3	481		
眼科	入院														0	20	
	通院			9			7					4			20		
耳鼻咽喉科	入院	11	27	79	7	371	4			2	2		6		509	757	32
	通院	61	24	107	4	10	24			7	8	2		1	248		
歯科口腔外科	入院			11	2	72									85	187	6
	通院	34	24	15			28			1					102		
総合診療科	入院														0	11	
	通院	2		2		1	6								11		
精神科	入院														0	5	
	通院			1			1		1			2			5		
放射線科	入院														0	3	
	通院			3											3		
化学療法内科	入院														0	2	
	通院	2													2		
救急科	入院		24	1	4	36						1	55		121	201	2
	通院	4	7	5			16					8	39	1	80		
その他	入院														0	0	
	通院														0		
小計	入院	1,033	777	1,629	265	21,733	243	11	32	237	82	146	284	19	26,491	2,478	
	通院	2,533	523	2,047	36	558	1,620	23	26	261	250	323	260	36	8,496		
合計		3,566	1,300	3,676	301	22,291	1,863	34	58	498	332	469	544	55	34,987		

(3) 令和5年度がん相談支援センター援助件数

1. 相談者の状況

	相談形式			相談者属性			
	面接	電話	FAX	その他	本人	本人と付添	家族・親戚のみ （院内） 知人・友人 のみ （院外）
院内患者	4,174	2,039	126	57	2,689	953	1,871
院外患者	22	221	315	7	58	3	84
計	4,196	2,260	441	64	2,747	956	1,955

2. 現在の治療状況

診断なし	135
治療前	685
治療中	3,761
治療後	204
経過観察中	685
緩和ケア	1,468
不明	17
死亡	1
その他	5
計	6,961

3. がんの状況

初発	3,774
再発・転移	3,063
その他	43
不明	81
計	6,961

4. 対応内容

傾聴・語りの促進・支援的対応	1,275
助言・提案	673
情報提供	3,386
自施設受診の説明	31
他施設受診の説明	704
自施設他部門への連携	111
他施設への連携	732
ピアサポート機能の紹介	0
苦情・要望への対応	11
判断不明	0
その他	38
計	6,961

5. 相談内容

	眼 脳 神経	耳鼻 咽喉 口腔	胃	食道	大腸	小腸 肛門	肝 胆	膵	肺	縦隔 心臓	乳房	卵巣 膈 外陰部	子宮	精巣	前立腺	腎 尿管 膀胱	甲状腺	副腎	リンパ 血液 ATL	リンパ 血液 その他	皮膚	骨 軟部 組織	後腹膜 横腹	中皮腫	原発 不明	診断 無し	その他	計
がんの治療-手術	1		19		46	2	1		5		67	1	4		2	2					1							151
がんの治療-放射線治療				1	1		1		2		14				1	2				2								24
がんの治療-薬物療法			15	1	22	1		4	7		204	2	2						1	16			1					278
がんの治療-免疫療法											2																	2
がんの治療-免疫療法 (薬物)																												0
がんの治療-ゲノム医療	2		4		27		10	21	20		16	1	5		10	5	1	2					4		2			130
がんの治療-その他			4	3	5			1	10		8								7			4				1		43
がんの検査	1					12	1		2		4								1									21
症状・副作用・後遺症 -妊産性・生殖機能											1								1									2
症状・副作用・後遺症 -アピララクス					3			2	2		27	9	9			2			7									61
症状・副作用・後遺症 -晩期合併症											2		4															6
症状・副作用・後遺症 -長期フォローアップ																												3
症状・副作用・後遺症 -その他	1	1	1		4				3		12	3	2			2			1									29
セカンドオピニオン (一般)	1	2	5	1	3		11	7	6		7	2	2		1	2	1		7						2			60
セカンドオピニオン (受入)		3	5		15		4		7		22	5	6		3	11			91			1						173
セカンドオピニオン (他へ紹介)	2	7	9	11	32		39	39	24		62	18	18	2	44		2	3		44		2						358

[illegible]

国立がん研究センターがん対策情報センターが提示している相談支援センター相談記録に沿って集計しています。

相談援助内容と件数計上の説明

相談援助の内容と件数の計上については下記の通りである。

① 受診・受療

クライアントが適切な医療を受けることができるよう、クライアントや家族に行う受診時の情報提供や調整、医師等へ患者の心理・社会的背景や問題の情報提供を行う、あるいは、社会的背景を含め、自院の入院診療機能を利用するための、いわゆる転院・入院の受け入れに係る支援を実施した場合、ここに計上する。受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライアントに対する援助もこの項目に計上する。
尚、単なる受診科案内業務等は計上しない。また、転院・入院の受け入れに係る業務において、クライアント及びその家族等に関わることなく、情報の収集、これに係る院内協議等を実施した場合は、チーム医療に計上し、ここには計上しない。
在宅療養中のクライアントに対する訪問診療・訪問看護等の相談・調整については、⑥在宅療養生活に計上し、ここでは計上しない。

② 経済的問題

入院・入院外を問わず、クライアントが医療費・生活費に困窮している場合に、社会保障関係法を活用し問題解決に向けた援助や具体的調整を行った、あるいは医療費支払方法に関する相談を行った場合に計上する。特に経済的問題を抱えているとは判断できないクライアントに対し社会保障関係法を活用する場合は③制度活用に計上しここには計上しない。

③ 制度活用

②に計上する経済的な問題解決のための制度活用以外、特に経済的問題はないが、社会保障関係法を紹介・活用する等の場合はこれに計上する。

④ 入院療養生活

クライアントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する。

⑤ 退院支援（在宅・転院・施設入所）

退院支援に係る支援を実施した場合に計上する。

⑥ 在宅療養生活

在宅（自宅を含めた居宅を示す、居住系施設入所中を含む）療養を行っているクライアントに対する介護関連の相談、在宅療養生活に対する心理・社会的援助を行った場合に計上する。外来通院中のクライアントの施設入所・入院相談もこの項目に計上する（入院中の場合は⑤退院支援に計上する）。

⑦ 医療者との関係

クライアントと医療者との関係調整を行った場合に計上する。医療対話促進に代表されるメディエーションマインドをもった支援、あるいは医療事故及びカルテ開示等も含む。

⑧ 家族関係

クライアントの傷病が起因となり表面化あるいは顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下がクライアントの治療継続を困難にしている場合の家族関係の調整を指す。クライアントの今後の治療方針を決める際に、家族間で意見統一ができない、家族に相談ができないことが原因でクライアントが悩んでいる場合等が想定される。クライアントが介護・育児等行っており、これがクライアントの治療継続に係る問題になる等の場合は、⑨日常生活（家事・育児・介護等）を選択し、この項目に含めない。

⑨ 日常生活（家事・育児・介護・社会活動等）

前記、⑥在宅療養・介護に該当しない、クライアントが行っている家事・育児・介護・社会活動等に対し、傷病に起因する問題への支援を実施した場合に計上する。

⑩ 就労・就学

クライアント自身の職業選択、就職問題などの相談をはじめ、職場における人間関係や環境等の調整等クライアントの社会復帰を目的とする就労に関する援助、クライアントに適した就労・就学の確保、復学等に関する相談援助、療養中の教育の確保や学校での人間関係の調整を含む就学に関する支援を実施した場合に計上する。

⑪ 身元保証・権利擁護

入院・入所等にあたり求められる身元保証への対応、あるいは高齢者権利擁護事業・成年後見人制度等に代表される判断能力が低下した場合でも適切な自己決定や選択ができるための支援、金銭管理・財産保全等に係る支援を実施した場合に計上する。

⑫ 死後対応

グリーフケアの実施、あるいは、親族疎遠・身元不詳等による埋火葬等に係る支援等を実施した場合に計上する。本項目は、支援が死後に行われたことから一律にここに計上するものではなく、行った援助に従い、適切な援助項目に計上することに留意する。

⑬ その他

上記①～⑫に該当しない場合、施設の実情にあわせて計上する。

編集後記

このたび「令和5年度病院年報」を編集・発行いたしました。
令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上「5類感染症」に位置付けられ、“ウィズコロナ”の動きが一層加速していったことが強く印象に残ります。

当院では、4月に相談支援センター1階をオープンし、西棟5階病棟をHCUに改装しました。また、11月には内視鏡センターを増築し、機能のさらなる充実を図りました。こうした取り組みを通じて、当院は患者さんやご家族の方々からのご期待に今後も応え続けていきたいと思っております。

なお、病院年報に収載している各種項目の集計対象期間を「年」から「年度」へと改めることに伴い、今号は移行期間として一部の構成が従来とは異なっておりますが、何卒ご容赦ください。

令和5年度 病院年報			
発行日	令和7年3月		
発行者	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院		
	院長 錦見 尚道 名古屋市中村区道下町3丁目35番地 TEL (052)481-5111		
編集者	広報活動委員会		
委員長 (所轄副院長)	井 上 英 則	整形外科部兼医療社会事業部	
副委員長	小 出 実	総務課	
委員	津 田 弘 之	産婦人科部	
	横 山 俊 彦	呼吸器内科部	
	渡 部 亨 平	薬剤部	
	水 野 剛 希	放射線診断科部	
	前 岡 悦 子	検査部	
	坂 口 真 那 美	看護部	
	阿 部 由 希 野	看護部	
	寺 山 知 子	看護部	
	辛 島 禎 史	地域医療連携課	
	渡 邊 淳	総務課	
	今 枝 幸 嗣	管財課	
	柿 原 佑 紀	人事課	
	森 田 洋 充	入院業務課	
写真班	田 代 侑 子	薬剤部	
	西 村 憲 治	放射線診断科部	
	安 井 元 規	診療情報管理課	
幹事	河 合 美 和	総務課	
印刷・製本所	相羽印刷株式会社 名古屋市中村区瀬古一丁目241番地		

